



### COLLECTION ORIENTAL



SVM EKVNCISCO

NEDICVF CENLEK FIBBYKK

NNINEKSLIK OE CVFIEOKNIV



一年 日本の



71 X 44 製 3 制 登 しかる第



250 1 71 Ŧ 9 2 71 24 孤 71 7 題 水 3 6 A 龗 -1 X +4 称 重 U 剩 哥 型 9 24 杂 2 0 繼 7 0 器 71 y Ⅲ 6 事 0 9 0 2 9 X 盃 71 9 2 旦 央 田光 2 24 P 另 业 7 A Z 9 X 2 ° m 业 2 田光 冊 Y 9 3 瘫 24 6 É TH 6 Ry 2 级 惠 71 6 轟 盤 9 吾 业 7 2 ¥6 0 4 弘 14 71 資 剞 4 6 0 ~ Ŧ Mu 央 巨 平 9 哥 趣 Ŧ 4 2 鄉 .4 0 2 趣 9 狂 1 2 事 A C \* -1 無 .4 田光 -1 2 0 业 业 6 9 Z4 \* Ri 祟 口 ¥6 平 -1 御 :4 24 TI 中 是 获 C 遺 71 果 6 28 米 重 -1 24 0 御 :4 6 。。 24 71 是 获 0 9 13 事 塘 Ⅲ 6 तित 旦 :4 17. de A 9 y 預 = 获 哑 Ty 3 9 刊 46 9 8 0 y 4 2 C 7 堂 9 番 7 1 養 ¥ A 7 3 म 111 剩 6 -1 0 3 圖 米 Ti 祟 央 C

器 女. Z 菰 \* 0 資 带 杂 シ \* 9 2 24 -1 派 二二 贏 暑 預 ¥ 8 8 24 6 弊 2 内山 米 目 -1 并 0 2 豐 71 公 1 央 业 B g 24 3 8 亚 辦 2 -1 6 4 14 6 举

26820 9261 N14749N 573 0.0



### 

## 第一時 潘藩天賢易部外

章   蕭陪天人の   欧歌 東 > 劉劉 又 3 平 3 1 3 1 3 4 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1	草 勤瀬斯の斎路天貿易	章 師田簓の斎藤天貿易	章 勇働コ独わる基督嬢の開放	草 イリス・木ス・サンイス寺の駐立		章 身薊の関郡	章 耶藏會の全温膜を三対動商の歎/	章 表吉の吉陈支丹禁閘	章 二氢動簡の韻醇を臭繭	草 西班天崩北縣資動硝の來障>晃袖這	
享	章	章	章	東	真		章	章	章	第十一章	
-		Ξ	回	王	¥	7	T	ut	+	+	
寒	寒	簊	銭	第	簚	第	簚	銭	銭	生	

大五十正辛四月

禅

織

醫

至

中

瞓

音

100	740		7	II	三天	=======================================	垩	西	园	垩	
中國國事命の影響	中 昨蘭郷の日本貿易財政策をシーホハイの数 來	第三	半大對軍○黔瀨>高島林胂…	中 际隔烟王 陈 到 ② 開 對 忠 告	<b>- 味蘭園王再到の開勢忠舎・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</b>	- 体縣刹除辭辯	中 吳副新軍の劇階刑>吳副獎鹽洞	中		下	
九章	十章		章	章	車	阿章	走	章	き	入章	
鴻	数		W	態	新	黎	第	35	數	E.	
27.7	3434		3431	364	2404	38.4	74.7	364	361	244	

第十	第十二章	二十六聖卦の函發
第十	第十二章	圆」
第十	第十四章	
第十	第十五章	題題::::::::::::::::::::::::::::::::::::
第十	第十六章	制
		第二
第	車	<b>□ 中國帝の時刻來</b>
第	章	一年野萬難如〇日也
第	宣 章	至蘇與爾巴曼蘭林斯
第四	宣章	tt
线	草	<b>景訓の割貿長5米旧職貿長</b>
第	章	割人氢壤
第	事	肾長大幺の變墨
第	入 章	支悪文外の緯人
The second name of		



圖の陸上人子葡萄

## 圖版則目亦

### 

第一閱 衛德天貿易制外

平可习然かる庸情天貿易

9 94 布蘭薩不人 E FI 8 1: 1. ふちをこづねむしちき筆を斎藤天人の時勤を引馬を \$ 00 24 ョマン第三世コよりア 列置かられなる耶議會の高僧と の窓の 湿 的 世界 そして長橋を開いて 5t 6 由來を鑑い 間等であ 長訓開新の光鷗各切階隊不王を も宣教宣 開都の 流を配う い長制 夫故 0 11 T 51 Y 4 0 中南 1 0 CA 1:

問題 その研究却本書の目的でないはらとを紹する。一般コ承臨さるく河コもれ知備陰天 製河 お 製画 の 訴子 で 島 で あ こ か ら 日 本 勢 見 の 蜂 一 け ひ 帯 彦 智慧 半 1 かの異態なある。そしてそれお學問上から見れお興味ある お斎蔭子 11 ٥-諸海 は 風 日本國 割 別 記 記 の こといろはなけ 山川 本 **新等お光を守る丁班來し、動動の社へ** 0 9/ な~斑い強い 貿易お 2 年月コ焼い丁お蘇 野家却天文十二年(午正百四十年) コ帯降下 同故 はるやい 24 恋家の 0 2 U のて概に調 10 掣 Y -1 阊 41 庸當一 8 田 0 人等( 二1 数 1



基合 斎蔭不人の數 0 Ì1 à 阿 000 悉 述へんとするこ 用した。 2 à 都 0 24 [ti] 际 FI -1 0 2 貨廠 る基督後二巻する焼原い言仰であ ずる 動息の發 的 貿易 目 張を基督 独わる 斎藤 下人の 明して各自の 쀐 0 鄰 相談 54 衆國に -1 H 馴 0 保を果ち O 林 .1 149 9 71 :4 九種 54 91 71 湖 夏 0 副 闡 CX 量 04 の種品 21 ~ 0 21 東を歌 墨 XX 2 継 督 [14] -1 成~斎蔭不人の 北 14 出 溟 少小 斜 21 動 2 0 0 71 果 2 盘 重 2 帥 -1 潮 童 独 0 额 我 里 2 里 紫 Y Te 獲 某 商 9

0 2 早 瀨 M 落 加 Ty 2 调 日を別 X # V 0 見島 异天 噩 4 6 ~ 等を従 2 **赌京于正百四十八率万月十五日、** X 1 11 4 . 4 . 7 x = 0 1 1 10 翻 71 明から西部 nl T Y 4 日 0 21 七月三二 1: . 派 = 歌 事 x 兒島 1 6 情ア X 距 2

21 1 歌 Y I の隔離が 4 Y いたした。 54 裁 つ海 4 6 1 4 子貴 回等 불 1: 教を政 71 子ころ ることに大 24 5 71 果 0 骅 11 2 多 4 制 24 当に 2 制 ある時 なるつ 結果として翻 经 0 0 始いか完を排斥して五面から話 e CL 司二二二 亚 おししな TY < ~ 立 2 24 身 6 0 事常 Q 74 力を用 のこ別 派 自然の 24 齋島 - 0 發 しなることも 孫 =1 ~ 5t の知識を花釣 養加 制 H < 不 頂き 神 引奏 コ 後 し ア き 脚 る 所 な り 前 語 多 叫 8 0 工 :4 (li) > Y して近 後少 2 號 翻 H 71 0 2 製 -1 機 21 51 滁 個別 0 :4 2 11 不 獎 船 T して又適を襲しゆうけい R 1 Y ·K 記るは の二道、 副 4 魯 2 衛 4 21 剪 たころ V " 其 死 計翻 Ġ 7 ш c4 X -1 子み 间 到 墨 27 4 Ell 9 27 藝藝 21 54 7 肅 71 11 我 豐 M 計 番 1 T 117 E Y 1 铝 -1 帽 71 銏 .4 0 11 > 盡 0 4 I 11

\$ 3. W も置 ちるも シーつ 京 風商, 另 阿 504 放打を夾撃せば 1 多集督教 阿 .7 [11] 出んで居らけ 器 大革命を歩 4 0 21 0 王爷九 6 重 -1 面 型 我國 班 6 狱 郡 X に和 發 1 -1 1111 -1 插 0 h 天人自長を花窓めコ 24 X 胜 って 6 W 0 0 東コー副窓ら、ちー :4 \* 705 ム教徒が ムラスト 冒 秱 24 哪 弫 24 = から見れか出かしを一大事料で 鹌 0 的の意物は含まれて制 教等をして一指し園の参釈を見んとするコ至らしめ 回 7 x 21 上了顔日を買ま 9 . 4 8 3 傳統なるつたので、それを聯合して 輸入 1 6 丁ふなコより丁割り洞外 n 人方爾的丁南 0 = 北岸にお 高高 葡萄子 0% 2 器は 150 4 国 x 35 424 地となって であっけ位であるのみならず 0 1 神的五二 博か 當天人の苦順コな阿部は完後 4 こくでへつど まかりて 6 所服して基督強を宣 6 精 いるのであり 1 3 T 印 剪 國の平和を慰園した 工獲 卿 目 (國本日) 0 が分の 0 情畫も亦る 因を誤したものは、 魯 りて早くなら過過器級隊 半 꼗 5 闸 以大 张 9 4 229 秋 もなうして輸入された 輸入 1. o zt なしなみ 那 習 0 0 東ギ就行師コよりアシ :4 に満に 獲 で表に表 るくの結果を釈承 貿易 銀いる武器 `~ 級 阿 7 (0 闹器を發見女 發 湖 4 ult 0 Y 1 **非替** みり 关 x 酺 (R 制 憲単し、 79 謝 24 選 憲と 11 0 型 阿 21 湖 滁 0 9 6 K 1999 をこる 1711 沿: P を金丁た 後幾 图 界二 SA 本探 9 0 単 出非 2 圖 (R 資が 0 啪 F 峅 证 単に 日 쬶 0 某 1 2 線 71 郷 п

21

21

6

なるのであ

は五八日本

0275

50

東

TE.

瀰

另

2

0

金縣將王

2454

コ器小

阊

扫 75 11 京は あると同 T 1 4 뙭 4 靈 1 71 糜 胃局 ユコ 0 2 當天 に部 100年 の衛 载 V 雪 不商 00 靿 魯 9 お動人の数引機するお野を非常引不対は関うしく 삏 24 4 トスころむ 日を出 日青月 上 うと窓し 0 貿易 1 -1 K 翓 魯 21 出 圖 A 1 9 早 E み望 黑 71 54 \$ 日 る湯 ज् 立 -1 2 2 Bi 溜 > 11 2 I 涵 e4 0 Y 7 0 24 4 發家 -1 4 0 13 7 0 4

7 黨 里 c4 兩 W 叫 9 ¥ 71 5 士 71 凿 印 呈 得 相 **対然をして網り**コ解性 重 蓼 獲 真ら 0 里 浦氏 4 c4 2 音 14 0 4 0 24 21 \$6 0 6 辨 7 とするに至 :4 7 神神 退去 併しその他宗都に張りな 1 -1 41 つ 14 頭 コフ -1 嬋 阊 財 調の 0 武器をさつて 教徒 憲 0 兩 邮 21 平 独 24 6 宣言 21 間さなう制 C お雨瀬各 闘であ F 念を敷しやう (千五百五十万年) 選に 斌 2 14 6 0 4 10 24 0 0 順 孙 6 元年 2 P みり 坐 瀬へ 71 2 独 114 =1 涮 ユフ 业 野 H ME 7 0 2 w 緣 旦 17 京 番み 1 -1 丑

K 日 图 步 側 X 71 -1 u 24 2 6 54 置 0 仲であ 0 運 C 言語不言 部 沙沙 死を窓けた一 塘 2 ¥ \_ 0 本さなっ \$ 0 ~ 悲い 出出 54 圖 -1 亦 -1 訓 (R 選 0 重 9 :4 -1 c4 斎蔭不人 6 204 選 0 留 भा 0 買 0 岁 日 圖 1 立 0 + Z 1 71 Y M 2 III 景 9 须 部 王 0 0 -1 日 船 主 士 K 2 图 50 ¥ 哪 郷 XC XC 9 须 9 0 46 YA 船 界 即 54

島 回 1 瀬 XC X 加 8 1 書を豊後はる VI. 11 井 4 信の 2 割 邻 放を装して、 いるこの語 よの起らんことを恐れて 平月コ會堂載 延 重 24 海 戮 到 (8) 0 雷 コート語を予算局 4 鄉 コ大体が 迎 档 阊 1 って大 帯し出 (A) 選 に接 0 24 變 まま 7 x 斷 1 秋 ~ 11 J 34 4 . 罪 0 1 無 13 . 曆 7 0 訓 Y x 南 製 = K 业 7 74 晉 慇 0 常

分前判計を本るの意中を察してと 間す それは松浦五をしてシャガイエルを算場するの念を 2 54 **來養を聞て大コ喜れ、煽動を気へて鸞旺の意を表し、その母節丸を意** 21 6 P 平月コお二ヶ月前はら鉱的して居る一隻の静静天衛船は、 その市強上にはする河あらしめんさしたのであったが、 海対兵を上刻なしめて城瀬を強へしめた。 を撤班し請いまいか丁頭内の市録を指しなっ 常制、 0 0 11 戶着 T Y 立 4 4 11 13 T **F1** 強かしめ、 Y 一歲自洲 4 4 1:

あることはか のお述去を命かられれのでなっ、市境の知識 排 お常门慈悲の火コ燃えるは対コ、珠等は大ける後果を舉行さる 懇りけこちや天五人辛コ激や =1 뎕 H コ路を題見島市内コ屋渡を與ヘアシこコ却ねしけこられ、土共覺集の 日を解する出口はることになったのけっ H 其多間となり直強陥等は熱響力 24 して子の動産のハエ りるがは電音としっ思わるく 中とはこれるのは、見に重 = を述べて目らのとこよれはいすがあ おしつないいは気めであった。 x 13 / 6 601 4 x \* . シン 办 、工質み 到み 1: 茶らは l 重 留 54

1.0 九月 金中トホン劉の城(市来 一 三乗 コスキーで・イハンス幻整千正百正十一年 (天文二十二 出るな日 明である)コ立智の丁金やの対跡を得ける鉄川内阿 ハンス等を強へて運見島を難し川内の大面に向って進み、 呼着した。 -1 1 流れあるな不不 -0 月平百コ 書納 0 口發( 4 75 3 . 0 Ш 1 1 事 2 % 柳 . 74 £ + Q H x 76 X 城で E # 71

出 > 王 2 至 4 97 さいま 6 1000 事 事 エフス e4 が 9 0 阊 W 於 11 狮 继 出了 5 彩 ME 2 64 型 菲 4 墨 脚をもとを火中 最기至のア約主家 0 0 4 3/1 54 \* 林家 5/1 24 4 0 エつ田みて 獲 ことを援助した 41 **味支丹等**な 4 けっらして跡忠は大 班 一一 11 不發 71 ~ 割など ٩ 部の 0 1 145 早 歲 4 :4 なな 大林家翹引 2 0 x 林兮沓柳一丁大 A # 21 1 71 V 11 發 thin を対とかあるのあっ 红 題 4 0 41 9 ... c4 2 1 新コ越 益み 示 41 E 24 割じ、 0 排 400004 Cop を完め 沈禮 24 調金の土 森 獭 0 54 24 橋 9 大林田弘 00 c4 -1 ちのない F 闭 倕 べきにあらから青翔 x à J. 番の 響 1 .7 事 . . 11 級 0 明さ 事薬は 誠忠( 聯六 喜い。 24 4 対して 本 0 -1 **熟县**子貴 21 Y X ちゅう古 録こがこ 1350 北京 1 潜さ -1 42 酮 ¥ Y 財 21 行熱を見て 生 五十二 121 中中 11 11 ech R 16 督 35.00 à 爭 任 堂や 船 爆 頏 > 4 W 出 鄉 K 1 潮 0 0 古 去 14 魯 图 -1 0 重 71 4 普 あす 出足 衛 0 7 代大 独 -1 串 里 71 71 F 9 和正 里 雷 \$1 颈 奉 \* 獭 3/8 0 T 橫 撇 21 割し 0 测 派 X 騰

葡萄形 # 2 そこつ 0 加 M 118 71 21 顛 一変を 納思 台 2 54 是船 正 24 剪 14 中を質励することを承諾し が ¥ は解告して居る。 4 24 **奏で自ら平日に赴いて** 王 0 P -1 窓あで 軍 展し~ 遺験 H お蓋しこれが Y \* 16 料 11 à E S 0 の一个最多側東の地 総て 日 24 0 . 24 コ界留しな Q 半杯蔵とを聞するころにし つら数 A 閣 -1 1 中 林氏 里 圓 獭 量 謝 半杯き大 大林丸を縞伸し丁各 0 4 2 6 71 干 林五 灵 0 発會と THE 日 ¥ 是 部 立 題 0 Arc. 兄と 24 24 础 1 コ三派歌し、 to A TE (0 登 酒 X -1 船 里 71 除 臟 0 4 t4 珊 0 攤

2 t **帯陸天賢長お窓コ大林厨内コ牽わらくこちコお** 

### 省 散脈前の雷為天貿 皇一 第

の内容お大部式 H 四年(千五百六十一年) 帯勝下の商人の宣議祠おさは公都力引替して大り図園を刺うや -1 五升 x 1 H nl 4 9 于一千 ハンスコ鉄つた書面 派 4 書を豊致いる耶瀬曾の具まっ 24 24 C 4 衛衛大衛船の衛品を結みむ。 郜 H 極思ない ス・ダバストゼの書様コよれば、 一多〇本四 50 q 金おすご味を以てして、 À はは神事 情報に接した 大不精工 Y 3 -1 0 21 24 • 0 大材刻大材。 耳 ジニス Q 1. 立 2 Ž. いかい N 9 送り 柳木 Æ 0

ス・ダルモトなど遊職前を強丁大 み、思 3 4 者二人事して貿易することくなるが、それを貿易かんな 00% 且の同都内ゴお宣媛禍の意思コヌノア異婚卦の五 圍 マンー人を大体コ雪ねして真の怖の黄を刺へしゅられんことを希望す 图 0 照紙を最倒することを除束する。 と北 粉腕前 お予幻機や刑引會堂を軽了、その醫費引充了人気の引、 Y • 線ての 光でイル 間を別り ハンスおと多見丁大コ喜れ 豊田を共り貴強會コ客側し、 回 亦十年罪 54 そして葡萄子船 取ら集ら商人コ階してき、 11 のいかいないる y 如 2 34 のなみる -1 喜 17 8 +11 雷 M 驰 願 14 平 0 X 6

2

7 · 4

•

4

E

る大林厨内の亦嫌却公子獨念するの代却なべつか。回らなが知苦し宣嬪相な大林府内习猶入る习绌了 54 0 9254 21 てあり 基命劍一 逐步 七 0 鄉 FI

驰 脚 で無り 54 预意. C 5+ 本帝帝天南人や宣後禍なら引援しア盛しけ初の 徹陰不能わるなるかも一部平白コ人事ものこちコな 她如果 2 其後 A 5 題するに e4 24 るな 0 P 勢力, 禁で 0 2 身 2 1450 加拉 Nº 喇 0 少 34

# 第三章 配田斯の庸蔭不貿易

コ同 の衛 然るコは前刃の宣奏福等コ階をも邀割却淑然らして敵ら帝猶なりしのわならず。 RY 1 の水軍お窓コニ百六十十 K E 2 甜 公公局 面多ペントモコ盆でア公前因の背曽が叙ら告や、親コ大向を轉むて大林節なる顧田都 黒 での窓 まない。ハスーン £4 宣婚耐等の対節丸コ階もる週割お金悪氷しむ。 **窓コ干火を以了財見ゆるころコないけ 公前劉舒和公を見て大コ然し、 兵端正十選コ命じて とき貼えて 平月コロれ** 平百百百 職能全賦多大林節内了お告际支代刘樸黨の壁はは基础了あつけの了。 ける一隻の沿路下商船は不可都代コ來青しけのア 50 級コ新輝コおなれて居む 然るコントトな前をしてとい題かか、 容事神ならはあって、 軍艦で に気装しな 21 音 到 船 Ċ 潮 £1 0 盂 41 71 4 置 1 Y 量 単すること 41 24 步 1 71 船 21 31 ~ K (2 盟 13 鄉 • x K XC 1 黑 =

貴朋 老日等の反復をして 思を軽して、 7 % ででみば気 测 作り \*# R T 2 2 4 まった・イルンスを鉄し丁基替後の官割を初山かんともるの み間 第二子を以ア人でア大林家の五縁を聞いけるのうあつ 凹 審議議をお加い 베 最习録了告际支代図謄黨を貴 24 x 郷の 然からしめ = 開 うな難み 置 24 里 0 21 华

な料み 4 -1 . 2 独 3: 堆 x 來 71 = 流 2 雷 0 (2 0 滥 鄉 お永添大年(平正百六十三年)人月十十十日を以了愈先行からかけの来で離思いすく 뛢 r :4 1 54 明を離立せんとするの 測しないのけ気もコ幸コ生難をあれた 4 出了 -1 ラタニキコ やよ、 一キ お 謝 解 前 清 道 胄 関し 郷み留 0 21 4 報に対 驱 鄉 4 联 はくかりはいはった 中 -1 て純 城下 (Q) 0 は故あの 14 e4 お面コ大 出 丁献をコ策 x 1 子是 主 11 4 地へ x いつ一級 9 1 9 4 當 34 11 到 4 スマン 51 部 H • 4 W 0

の上の 2 0 7 すをならいけ商家なども皆一時にして息行にはし、イバンス 14 54 の歯とへい 果コ独フィ コ乗して散離都コ至り火を対って大を熟いた。 24 びざお皆庸法を帰っるので難を辿り避け けどからの脅堂なの論 tt 翻 斎蔭不人 (0) 0 do 徒 出來土 相 X 發 21 8 なるい 納忠 1 11 子のべの子 1000 41 21 これに Cop x \_ はを野丁其整當る、けるとるるのは 野コよい了重園多組し漸次気動多難宝するころは出來る今で 吉际支代気陸の豪重お其勢尚却人ノト節内コ鬱鉛して、永新八年コ至らますお、 綳 X 世黨な お吉陈支代又 1 逐 1 0 純 酮 温制 14 X 汉市 2 > 其後 c4

4 イモをや打を必其此コ人るしいることは出来けのラ 11 ~ ・イン・ 当此帯お最る平割で、 此海

都(脈田)コ子を派遣しな。 今間はするこの 71 x 1 11 4 . 7 • 7 x = • 1

AF る。砂の吉际支代等を売出 际支代の告を被 して満国の意を表しす。 早 0 狱 紫海 11 本なことに登 部し W 環 彩 -1 M 其 71 TI 54 4 子等 E 6 4 2 11 ~ 事 6 34 1 1.

4 x 4 4 マン・ロンンでを決コ大体コアン・シ は日本人トバ 24 なる満足を以下低えられ 4 ¥ x 11 X 0 % Y 11 • ¥ 1 間かしい 2 11 Y 前 TF

71 Ŧ 8 計千 2 9 那 54 なっさ 到 での一部 母な人なんで旅渡するやでコないけけれざる、その一 24 手腕コー 0 c4 24 江江 0 x x . N 4 = . K & 教を開始する器 りてももけ市 N 事務 7 0 王 动 -1 柳 事 永縣十二 新旱地帯へお宣雄 (永縣十年)十一月廿二日 盛で 表が 〇題 FI 制 林 54 樓 事 9 かって大 7 0 0 黨 + HH 反響 2 0

並お本年中題其節内习法丁部附多統ランを人多 難せ 秘 干。于 1 뀨 0 并 101 一行を 人コ宗強間答を致わ اد 潤い計的を細かる者の形動を野しる気め、トラン一人を動の 事コ來してい 像 は自ら口く E 班コ掛いて 4 節内お袖不備コ結しむので 4 砂砂 7 14 Y - 1 00 こ・ハリエフさ P < しのは彩 マルトでれる アマン 21 永し 0 光鵬を受け んことないるたい 4 間し、 通 \* 6 そろころ 4 H 11 ~ 8 1 . 4 楽は 11 1 1 到了 4

人の死傷者を出し了退去するの日を得さるコ至った。

际金 71 -1 y 1. 出 6 21 54 1 1 2001 4 Y 細 H 6 24 =4 4 14 0 0 Y 秘 置をことけことも本一再コルまらけ e4 y 6 輸出は大 4 たらんことを恐れてたに悪しなっ • 配じて 6 4 4 21 9 最もも 21 6 大林 11 77 1 1 E 24 ることにおいなのは高もに、 0 11 を受し丁大林を信間 1: Ċ 4 11 報告して居 節内もなめい漸次難気をこう至 ~ . 4 1 . 1: 7x 面で法の融ら . 船六市音信をコ M 5 Y 30 0 唯つ丁気膚 \* 準す ならず、宣発雨の 0 24 11 0 H Y 師田谿の書 21 • x 福田 事するゆうコ けいも著しその信仰を別掛し、 あことは Y 内はる 11 九多海頭し • 年(永蘇八年)十月廿二日、 40 黑 2 題 田コス 大林 11 24 到); 毒でイ वाध 0 再び c4 梅 多ことを得てその勢 は宣 凹 なら買みることであ 54 <4 う 船 器 4 不商 71 1 K 鴻 魯 11 衛 -1 郜 4 って葡萄 五六五 逝歌 H 9 2 54 0 胆み歯 91 歪 21 子に音 71 **訓** 外是 9 黑 非 1:

**承** X 特 は皆が 5t 漸 \$1 2001 丰 71 大路伝をが期してとを随かしのはん 衛蔭不人等 W 歌等の 通 ¥ 512 大林 中 丽地 アノノマは :4 4 間の大輝 被を其の 争支派なら来 51 4 地コ隆し丁野 いな二年 コ大いる財決を湯い かになる \* 24 放をして再びその随土の :4 LYY 船 硼長ける気神商 せる機 かとろうなの 動 づ 減 き れ ら 数 、 頭 預 其 殺して 事 54 に入 ヒヤハ 2 スタ 雅 を保護し給 や上田のみと ~ 0 3 • A 54 饵 1 船 1 2 級 商 4 E 4 41 国を以て 6 8 6 瀰 • 11 0 1 4 2 ~ 4 11 • 園 ~ 計 1 ۹. 0 中 2 118 1 4

コ歌鶴しつくある。

胜

強備して平

獲 まなにくこ 出柳記コ渡ヶ河の小林はあるは、 2 P < 0 丁敬を受け を封餅して祝き生部の財職を身を風階をを示しけの 派へ 1 會堂 0 長晌 骨 2 0 9 54 -66 文 胜 早 0

爿 继 11 0 0 Ŧ 主 VI. à 4 計千 . 眦 24 24 7 ユン 0 0 18 c4 0 財當題, 源 子 ころい x 54 **加滿會** 同年二 Fi 多コ留って曾堂を載了市後コ粉事することコなっ 立場の成り、 跡忠はイバンス多大体1留 띪 0 41 けら見るて、 本籍、刃含不箱の一斎彦天人もは本國 樓 い意識の る市後することは出来るやでコない 丹河 大林の吉陈支 たことは記載してあるのを見れば、 中に中 州日 併し同書 誠思を訪問し、 入月十正日 THI T 0 \$ 4 % Q 大林 0 (永報二十年) 29 71 -1 -1 大林 する所で いきで 步 らり <del>-</del>+ 注意を構つ 6 永縣 明記 76 脏 非ス 十十十 x 1

來 誕 りきょ 余幻が寝ら共コラの母う大林 24 ¥ 0 北 なけるかるかさか 71 -1 を記録 <4 0 4 那 21 21 製當 (II) K 21 4 4 H 同ゥとコ養知しす。ラノア共コ共コとゆるよけのす禍幻窓コ大体コ皆らこちコ 発することに が等の意見が成一 11 Q M ~ 黑 反窩の を訪問するや 容響の 初って「 に載てく市 21 間し いな別とは、 シの大体

警留は 4 4 田コ結覧からるく難家のゆうであるけ \* -1 ・イバンスお骨堂を大林 4 H 4 Ш 11 地をお書棚した R ~ 即 . 2 H / 哥 6 師田を踏了大体コピ 余 る不麻であ 間は 独 會堂の記 -x 1 翔 + 制 ゆうして永新十一年ゆること せられんここをむか 4 野してい 54 4 豐 4 . 1 -1 -1 7 は直 x 4 1 . 明 11 整はイ 1 24 200 . 閨 7 2\$ SA る。 繼 2 A x 林の

### 郑 長命ご気わる基督族の開 選

71 E 4 山川 54 360 K . 大林の Y 1 \* ک N 11 志妙簽卜 11 成〉永鄉十年(平五百六十十年)コ幻大林節内幻日コ湖籍平川鶴」けけびきる。 • x Y 朝道を彼めな。 午五百六十八年 (永編十一年) N けは、長袖の間コ独丁は最満トルマン・ C 奉じて e4 故する器コテかな かる Ö x 11 開 21 4 まけ布験を . ~ おい脈 -• Z

同刊で多機の吉 えんをを長調コ列歌した。 71 1 2 11 Y . nl 54 24 E • 0 P x 2 Y 0 % fif 11 雨支 書梅コ云の一箇はあるのおとを鑑するコヌ • 1 早に日 2 11 Y 本 の百下で 湖 21 44 N 4 E 4 1 £ ... 壬 ~ • x = • 4 71 0 1 丰 1 4 11 1 頭 · 10 0 丰

トン等當冬珠等の

nl

Y

ż

24

歩き、

-1

THE

回

回

嫌

出なる見過に独しおしお

でくちの日下の節

4

~

.

1

1

大い蓋もこうを得む。

-1

(2

器

0

00%

图

成~述、ア

市強米比を去の

0

お長制

1

继

平34

く間に回り

イイ

14 •

E

1:

~

•

發

市の中本

Ħ

54

E

Y X

N

H

.

4

Y

11

•

1

ک

11

Y

本

凹

職制でお

機

北江

極思と

お永添六年

24

動を受わす二十五人の重日中の一人であい

級

(具御書去工門なるべし) お永郷十年の節日コ青味支代であつける見念る。 選

0

24

is

派置から

お同じ面不可に同は

にんとは。ん

×

4

0

1

4

1

1

24

R

#

丰

題

0

瞓

晉

71

U

7-1

早

承支

ddy

昌

幅本し、

後に

我聖

同班の各響ある各一同は正百人の平男を共力

那 002

桌 11

黨 8 4 71 71 留 能と 4 四(三)、ること 主(具動甚立衛門) 21 圖 36 2 Ŧ 主 x けといること (二)ト IH 71 H 獲 0 量 ¥ H 歌 54 無 聚等 싊 欲來の つ用 五百六十 际支积 鄉 0 24 排 8 回 河湾 の心を別し 1. の様ろは 放等を招きしこ 图 24 が等は第一 427 调 ころことはられて 予治館着し **刊しそねとコ別容をいき音** 長調に 子ごころ 到 1 0 佛教の寺院を 寺院を改造して建立したものであると )長訓 器 4 の問業出の 恋, 4 見み脏 面 と書館わしを管堂を帯 間 コ盤大な頂であい 54 正百人コ활しい。 )。ないか (元離元年) までつこ年 大な間である。 1 NE 東 第二同の競發 任 27 おが等を生 を四一半後話 萬 1 味支代の窓やコ窓~類壁をれけちい 묌 事を餘し、郊等り温コ鴻語や習問なうらばれけ新、 明 語対して TF 温 被等 悉人 24 更長龍な問 1 立 の御慈悲を信じ -1 井 寺刻を與ヘアチをとコ間的かしめ 3 -1 日に慈養に日 事 7 十十月五十七十 光いいの地の 厠 Q 似 秱 記録は 剧 を表する器 受け の干 50 新十二年(平五百六十八年)⊕ 情が ()發 迅 9 うい 回に光體を 一一 0 十二年二十 e4 子は御 下する吉麻支 誠意 見合か 1161 とコよって諸人 やはなるとも M (永新十二年) 0 CA 楓 594 いなるい 四百人顽嫂 なところも遊遊をなけ 水漏 圖 お日コ書 辨 通し、 田〇 告は、 54 李 41 24 ME 獲 21 76 の金融が 4 0 21 继 の流 0 ( ; x + 人類は -1 置い み手 K Ċ 2 4 学見 被 eq 湘 / 6 多多の意 はは、量 ユフ 基督 獲 4 # (2 c4 -1 4 Ŧ 見一 制 11 置 干 #7 x 0 1 6 汪 ~ 4 歷 길별 0 1 X 71 . 9 21 悪に K 뺾 訓 0 0 1 T. 千 1 赦 4 0 哥 は長 4 本 x

00

園コ金へは書籍の一筒コ独丁具舗のことを立の成り述べ丁割

1

4 L 日本はら 観陶の 発た、午五百七十一年(完産」年)二月四日附を以下、 はそしてかる。 .. 8 4

製みは 德寺 + ¥ 山 • x :4 0-計 主長福馬法工門から買って網路の寺部を改造して曾堂を魅了、とをイヤ 気付る基替線の朝堂は永郷十年(FEB六十中)コ融まではことお週鉱の重りである 防争製コテ五百人の 書品コ刑睛オーゴハサンを告ず、 ~ またいい。やインラは長崎に布強し、 明ち長崎の まれた ける脚へらると例であるの コ糖ごむ (中五百六十十年) コおいーマ の影との遅ん) 삞 アンに光調を加し、 x に在り 4 4 • M 0

### ス・大ス・サンイス寺の野立 4 東 ¥ 選

音に は長 集 情操に辞した。 神いさ 4 K 6 4 21 11 大村は備平二橋する好的で野歌を臨め ~ • (氏動兵事)の政治祭の後、大体づ異療動の気腦や助らんさすちの 县法及727 チーテ・イハレスコ陛ちら又調であつけので ける後余の五留しける具御に移り來られた。 いて見削コをう 加龙去 6 彩 x 習らう大林の E 本 まり政治祭の \* 十十十 잘 H 4 Ţ 我

Y 0 4 2 媳 × 0 4 继 スお大林を去して最高コ客をころコならなっ 主 耶難會コ鉄の 0 本國 验 トナ = 神 [] 1 50 H 4 お干五百七十一年、元龍元年、一二 9至二 五の重っ述べて居る。 (年五百七十年) で元離元年 副 生 4 特の

中六百七十一年 **原來し**了支派から 高 雅 CR ハイモスやの様しい掛い着いけ」を唱して居る。こ の節なる滞陰不能な具袖コ人事しける間宏して居る。利してお岐向なる鬼体コ難つけるのであるさ 貿 7. 0 数さい 0 c4 75 B 器 衛路不 画 弊者文コおきんなことは近へてないのみならか 3 2 山田 0 多 い、この書籍の一節コお「相商」 24 果しア級らお斎藤不錦お長舗野口なご師 0 e4 さいる語を用られのお子五百と十一年(元章三年) ご長間は 事しまり **岐ら**身都コお人 同地コ島湖の 気をしたる 長値と解するイン・グ 知うおあるまいゆの 入争以來入野しななら 11 重 Y お料天 志划發 がて 4年 柳 =1 H 船 雅 うる意 月八 4 水源 1 + 5t 3 協薦し 新し 4 63 -1 2 业 0 一二十 船及 \$

不

0

鄞

当

翻

0

同込んげ今

叫叫

M

お番に

HIL

成~當部長諭の

24

闹コゟ鉱ツ

F1

問定稱一期一の預緊

H

28

41

いる書も取らなり

が体で、一見して負都を

林しいが

200

數數

71

預

鲜

0

貫

目

0

里

今の長龍

シュ

0

51

留

2

けからであると云木の林はあるまい

てあり

る河南

便極

事してる不

實際人

X

ラノア大体カシ交 54 けが、元韓元年 6 不人等 21 極と コ・カンラルの数本コよりて、ましの葡萄 智慧 **妙等の間コ除作かられな**。 けることは人し一番當不人等に臨められなかっ 6 船 K 葡萄三 71 的の次的お面に対害かられて、整示離に革命ら長舗 **窓コ長剛の身帯 けるこち は** K の長老フランジ 良都 シャ 0 長澗( 爽へらら 曾 情で 蘓 业 重なら 54 9 會 結果人寫 粉 合するの 0 七十年) 〇秋

九

幾

幻大川異る刑予、 お目川町下をはひある。

## 第六章 開帯前の見勧而

鰛 묌 令 1 0 नित् V 2 4 FIE 0 左衛 6 61 • 江江 11 Y 霏 .. 主長衛士 4 71 の意內 x 4 . 春勳寺 そいろ 飅 1 FI ائ 1 7 -1 0 049 30 4 3 71 24 姊 制 华 ふいとで お白コ熱大な間かあい 0 X 逐 4 W. 1 4 1 0 Z 0 4 49 24 24 X んで居った ¥ 0 0 x 0 500 永鄉十二年の更县御 Q 4 c4 49 2 4 74 Ell :4 丰 21 [til 4 加 0 0 1. c4 4 4 0 出 91 41 1 71 T 車 :1 が近で 0 मिन 1 迅 4 如人 0 2 間 -1 괄 餠 • る中 哥 71 54 8 -1 74 醫 0 W. 出 0 4 겥 豣 (0 2 71 왥 8 -1 0 前章 I 宁 邹 HI 訓 71 71 쪃 子 独 6 0

に撒 -1 길 阊 量 0 明な前家なるの 訓 晋 71 預 왥 0 頂 寶 目 25 0 1 c4 長腳 はるい つずい延に かお着用や顧節 海島 .F1 0 < 02 q U もろれ お思ろうされ 瀬で、 近であり 数 71 C 金ーお新又 林であ 柳 鄞 4 剿 製 更は 0 1 中 7 \* 54 (2) 田】 0 T 0 114 9 瞓 見る 子 9 9

2 20 000 A 9 3/2 1 4 孤 \$ 不 由 ~ 2 たことを逃 W 掛 置 告告 W 址 はの対 B 北 x 漏入 る云ふことは観コ不可 4 1. 始まつ に永 4 . 教が 田豐るな x ¥ . 典 0 x 独 4 目を真の間 替 霏 始まり、同十二年にお 24 1 0 著日本史コ永縣十年コ县副 c4 長舗とお 21 4 事 アとに大 -1 0 0 54 9 田安 豫 P 多 24 9 ふことで 瞓 21 はその 音に 型 .7 身 干 2 0 一十年) 庫 勪 21 晉 4 0 4 H 9 6 à 54 4 1 岩 Y 主 K 2 ct + 魯 21 獅 夫拉 いた。 備 ME 8

4 變〉 24 9 YS を高が 謝 额 .) 0 ¥ 6 70 引张 0 24 H W 面い合料) たことは云とまでもないことである。 (0) 之 兴 XI 懰 \$ 8 c4 44 眦 孤 24.5 W < -1 本 動 X 柳 11 雅 0 4 曲 丰 與 み生 6 H 川、(對根斯 目 步 (R 2 e4 月廿一日 0 のとみて 6 9 Z かコ大コ憂ら身帯をななる未 纀 はの M 4 間コ县融アを天然の身数を發見しけらを切割 .F1 明 他各 -1 029 -1 2\$ 湯 24 9 TI けのであった。午五首七十年(元離元年)十二 習 題 FI 主 调 71 文明 い所で 24 左衛門 アフマ 都をこくコ客をんを明めしたことは 里 一の類量 雅 謝 0 HL 2000 身 謝 24 さいよことはによいる 60 2 至 日日 平百 0 24 . q 2 立 送い 事して HL おおがか 0 島原 24 準備をなるしめ V 外新 7 曾 賴 Y :1 瀬 を大の不則多類り、 大林, j<sub>H</sub> ¥ W 业 0 て長温 み馴 0 大林 ~ 止み干 阿 7 本るな 亦 萬満個を沙羅) 24 (A 懂 0 0 似 連 那 都 介元 留 コ帝ない。 县 開 1 4 胃 の曹を目 -1 团 7 出來土口 1 思 0 61 市 ¥ 近身を大林五 コネめア・ 事して 男里果 谢 -1 衛 证 いるとを認 HY LONONIE -1 間 ¥ 長腳 EA 0 スルをつ 二元編元年 单 . 4 I田 柳 主長端土 多 IH Y. ... THE 000 54 TY 謂 原 4 K H Y 79 斌 冒 十〇(無少二 ことをたのゆっ述い丁別 葡萄 剛 Y 0 剪工 of ユフトは 記 国 引 洲 CA :4 鼎 54 制 べき旨を告げ 园 調 **/**e 13 0 人等 工 35 量 4 11 H 標 4 0 0 0 0000 目 ~ 4 ¥ 3 剧 1 閘 st . IN Sign M. 團 晋 2 21 N > 雅 画 側 ここつ [4] 0 % 事す c4 身 0 2 0 业 1 耳 0 निस 0 臟

Ċ

**見酬お當制大らは答う**あ

540FB045

出班よると

2

6 .6-16 から會見しな。(中部) 志妙の間で 予等は 4771 爽水 0 4 .4 4 x ドハム 6 1 :1 1

### 部 開 ள (O 哥 桌 7 選

風に退割

前~差衰したので、

多年監禁しな結果、

スは法年の上に

1

子のいの子

Y

=

7

哥

0

會

滅

业

X

し且喜れ仕奉らんを替へはおならぬことを対等に成らしめんを浴するものである。若しが等とに挫 書を受 加トにしていかれる 4 70 1 の重立さける人がおら 歌るな 裁印 创 2 54 AF 11 理するの籍 4 24 . Cop は他の 4 • 9 ·4 = 此國 余弘の余の一家 かわなコ対も丁砂の循準をも同物コ島 J. x にんとし・しょ 百分分 情コ数り 27 卿 とと同部コホアモハの結婚を聞いて習を開い 0 の夫人圖子女か二人の女子おいー x 既等の主でや 果コ独丁 00 〇副 (婦中) の意を容れた 五るを満見をする。」 71 して不満を蒙~これて 皆形體を受けた。 4 4 4 4 11 024 29 11 4 ~ 4 • 北二 के / 11 4 ~

341

旦 陸降天船に年 · 長間 二人 事して賢見を 4 21 0 い一般を関い 2 10 ×10 ~ かを種語しるの影響を受けれことコ焼きて服猾を述べしの 0 たことであるられ 21 4 = 0 1:1 0 e4 直江 へ、二人の外表答を重ねして一同コ外も E / 明土の劉郎を受わけ吉陈支代等コノア县舗コ継纀をひきのを布 ۷ 11 文ン等お出降低を野了大コ喜れ Y 爾鈴近國の商人等封難の甘口線〉は成り到湖口來也與口 志城簽, 調かな貿易割となった。午五百七十一年十月八日柳、 書品コもあるゆう の一宿コ當朝の身鷸の計辯を云の岐~降じて居る。 1: a 天人等を財為の上身を制砂を賜 + 0 長腳( 本流しな帰る官令首や証田は出の 12 A 5 公子其仙光鹏を受け (中工十十十五年) 地方で信 51 Ċ K お斎徳 步 營むことコな ユフニ 0 調に 明二 4 中回中 百百 \* 到 泵 同時 書納 部 W. Land

適當な 日は近等も聞いたを借ったものと めである。そして会はとを行ふいつき懇念すべきことももも、寧らとを行えてそかるも思敬 P -1 酮 41 17. 隅するころご焼き茶園かしこる週コナヤ月内代コ及ふけの 城へ語った「余幻汝等は真の幾の事を刑る 2 0 0 4 V 0 國 x 夫人及九子女方未汁光鹏を受けちゃうころは精 w う が 動 多 受 り き り し り 初 21 6 (R 相幾の性るを持つ丁星 4 鐵〇 11 ~ 多级 • 65.50 **被等** X 是九条法器的 其観効するころコ気隆しむ 内コト帝間の既らんことを恐れて、 4 イラとかの家人は出の . :4 21 **が等コ光鵬を受けしめんち丸ふしけ**。 要次の 余の一家の結別る今日ま了到限 よコ階して大 異強却であって、その闘子、 N でころを解せるこの移 2 · 1 2 · 0 2 2 2 2 2 4 教化に Q の家人の 圓 水で水 X る。一個で えかお其 こ至りて家 ころもおなることを至 いをから 思なるとを以て、 21 誫 中的 雅 4 6 퓲 Ą :4 4 11 (8 引 0 2 N 扩 769 0 ~ H 2 劉 樓 71 . 54 目が、 主及 21 4 多侧 / ! 9

71 羊 0 0 1-斜 훼 なんといれるととい 14 N は長 執 6 (中學中) .6 71 4 4 11 6 商船の場合する當郡(福田)こ本はつ \* 128日 (中型) 6 6 4 4 11 21 を前間した。 ハイラとでは大体コ語の ~ れんじ • 54 21 ۵ 11 11 イラスやを調問して遊覧を表する筈であい Y 4 テンスが 悉しかいう 1 ~ ~ 10 亦自ら前間をる事に対しる。 娳 · / : 加等な各々其任他に向いて出發してる後、 0 x ~ (母中) п . 11 會るない et <u>Ĺ</u> 11  $\ddot{\mathbb{H}}$ 11 11 -1 4 ~· 9 4 4 x に松て 1.754 4 E 4 • 11 X 出すこと ~ • 11 THE . お宣教記 は常 et 1 7: 4 2 nl N 動 HI 21 4 N

4

11

.

1

1.

歩き、

-1

IH

0

林

・共二大・

多歳

1.

/:

h

#

得な」とある。 明 24 is 而名でも難 9 2 4 Q 7 0 K 9 4 掣 11 具 4 21 み口 配言的 54 6 11 は、この様なる間におい 独 4 ~ • 督 2 本年を渡の人 溜金してもがて 罪 册 اد \_\_\_ 至 出入して 红 71 早に日 -1 十十十 2 54 间 明 人かる離丁音味支代であいける # 0 泰 Y. 21 其整年はら長調和常勝不聞の貿易都をないけ 继 0 い葡萄 21 3/2 x 4 多一番出して 11 别 . 風 X 11 2 002 4 114 111 54 5 0 3 : 4 नि 1. 1 c4 2 Z 9 直書を受けれ吉际支 11 いるかい 4 Y 2 0 排 事 本り集つむ 0 一爾工 臟 24 標 0 出し恋 小 日 の當部中 立 08 经 一つなった。 原 -1 出來了。 0 曾 禄 重 P < q 開 <4 54 > 加 田 71 瞓 月 s q Im 哥 留 IIX. Y 重 FI ゆうこ 9 HI 0 25 44 能 4 U 1 ~  $\vec{\gamma}$ Ħ 6 2

=1 -1 對しては 0 70 SI됐 鶆 哥 श्री 回 0 網網 54 出見に記 事 阿 昌 計 帝 瀬 驰 加 R \* 林 5 鄰 日 0254 X 7 4 源を THE 4 0 24 1: 40 倒 \* 7 客ここを語 黒 数 阳 0 んべへ 器の 12 资木 高级 圖 п 晋 24 71 2 調等 制 71 洲 州 2 題 够 晋 9 0 十月廿日 当の 極極 玉 24 1 逐 **幼わる耶瀬會** 変 (千五百八十年) (天五人社) 放き香膳を呈するい 2 0 得した 長調コル 五百八十年 事 Y FI 輕 中 是 00% X 9 4 . 村村 1 Ö 4 54 57 ·4 54 T 24 ÷1 回 24 阳 6 P ご難 2 X P 0 熱で 凉 1 T 節に左の 暑 里 H いるこれ 里 71 强 54 200 -1 則 至 青 \_ 0 114 前 0 根 子! 0 0 H 翰 早 HILL 丰 翔 精 Ξ 悲 辈

11 1 節 6 H 記るとない 11-H 二事 十八 ハイラスでお本質はら受けけ除益の大 ,五首人 士 なることは 0 京车 非 み、半 数 ~ . 54 8 :1 1 Z 都長前に江るな。 (10)14 昶 4 0 tt 術 一 近 树 2 雅 H

专王吳祖) 叫逍買 0 **資子日面に合料**) 爾斯町、 いいらみ帰 謝 (テエドナナギ) コお今の長御線鵬州近の高臺コ大国の市津州ない (教代新聞コ合料) 文师町 平月间, **必좪)、大林間、松節間、** E E H I 元離元帝 萬歲二

71

6元素6

長訓

5,4

9

炯 割 ル瀬會の全温哦シ三対動節の 桌 第

永縣十 犯み たる版と永 Q 生以 1 幸 勘強告別お購丁計事等は知難しならいよことで 永縣 11 1 長崎の: 4 あは 21 . 嗣主から置い 秋 1 工 響こ . 54 5429 0 主 獲 纵 四日明日中 X 都面コロコ曽吉陸支代をおって吊けるのを巻へるる 正章工 督 \_ 第二年を居の四部の日本の一回の正月人の中日を共二年二年 \$4 × よいとで は下五百人の言客を得てなけ形職を致け、 뱷 1 24 章及 11 6 \$ . 1 K 0 X 2 2 回第上つる 21 V Y (1 0 11 P 邑 「千五百六十七年〉 **上コ基督強計客**で 共コ粉膨能で治動を受けけ二十正人の重 2t 南京の影響 年であっ 越て の願音コ勢しけのお永郷十 節主具副甚法衛門幻永躺十年 こ布験した報ご 2 4 华 X 開 Y 4 1 4 北見 4 **F1** -1 9 つてあるて出 4 (平正百六十九年) 눼 ¥ 晉 • 記る 發 4 · ŀ. 替 4 林神 7 -1 0 霏 調の 虫 2 北 + (1) (R 釬 X

1

骈

<4

主

Y

直 V 制

る。口

0

獲

多虫

\*

2

0

24

しま事

死

**丹等** 法

吉际支票

断コお自令かられて対影をれけ

97

掌

24

1

雅

の新しい

11

~

サントの船一隻をは長衛を耕むるりと・

Ç:

商船と

支派から

簡画をして

甜

-1 114 魯 设处社 事 e4 量 経路 4 2 よことを測制して は大 正元 耶蘓 ~ 案 9 2 3 那 0 THE 極思 で天 213 54 青貨を警へる 琳 21 31 马沙 通 長調を 帯しない 阊 ~ 大台をとるやうこ のみで 大林 W 21 9 正らご 調えの 0 故等の量も親ゆる館太人を等しを既然非武の行まで婚へ丁し丁員論を奪い à 24 墨 1 24 南流である。 コ韓斌ノア大コ闘割を結み 前章 縣 粉 市法の二丸おこの専制を申立了、判天重コ洛州しなのお此上輸 à 非常に 6 21 .1 54 トーであつたこしても **斜天重等の降告書づき見ゑ丁出る。** まるよ 2 F1 此土動る當然書主コ取福 1 21 スタ大体勝忠とお なこれ 代蜀禁の いといるは A 果れる粉本の 好印 土地を張判 6 証 吉际支票 q からとを改数せらるべき < あい良っな 6 0 2 54 ならかるとを耶瀬會に問題しな。 阊 N 6. 聯 幕部 1 1 1 . 東 菲 R 5長衛 注意 さお耶瀬曾の 111 而家の寫 門は釜二計即の職を刑事コ紙わた。 義員亦 ないはら判天動基法の今日コ外アお 學 月十九日。 子・子 0 FI 盤保から 報が高 むるらぬり 別、 有黒 74 なりこ x -1 0 4 0 沢して 加瀬曾の 最まっ 温 當都 ままれ 既コ天五十五年六二 お手段を避れずし 子引 れざる独の Sto 頂튫しな (Q 批 -1 u 選 (0) X 12.51 0 客難した • **脉**益( 00% 予州 :4 ्रों दो 曲すること能 41 4172 安全と 24 をやであ 審 公器 E -1 21 哪 大村、 0 6 曾 0 1 一部ないるる正年 み、普 SI. のう当江エ 00 瀬 1 節安都 0 なきを得たさ 窜 がて \$ 50 P 0 器で 业 :4 灣1 (H) P 型みて 純 2 僧第 目 2 0 54 24 寄附した 显 -1 金 नित् 至 71 10 同に 4 21 27 24 **青郎** 高高 通 24 1 9 q 紙 0 11

畿

留す 本會など必要解す 林丸ココ界 即し出都コ大街でる船かる商品とコ點でる既会打公を大 書検コよって明である。しる多本會コ客材し、 **『編會鱂長煎○** 民の意を表した。 5t 0 いないないかいない 47 r 쎑 Y るや大コ a 6

显 IIC 银 天 衛中の左の一節によってたを除ることが出來る。 il. 3 附 H <4 市調力は脂造寺丸コ陸ノア大網际を割け割ら云 1 10 24 取職會コ 咨捌しけこ>コ 焼ァ灯、午正百人十八年 (天五十十年) 二月十 **那**藍、 おを指すこ 脂当寺劉信を島原コ鉄した 0 叩蘓曾麟長成の書 1 遺い 14 68 5 A 21 殺兵を得て、 財 2t 三年頭であっ 4 A す 温力は 島事義人の P 事 x 0 144 Y 常 n 二十正 0 を有馬家から 6 ではそ x ¥ Y 71 挑 -1 N H 本 主 發 ず巣 0 屯 羽 工士 0 附 事

松中のこと 1 題コよって新上さ 回 魔は高來聞内コア占領しつくもつけ上曲を 寮丁の立 のみならゆ、尚打無んで古野其伽の機械をき回対しなる劉、 請置寺 対は 皆して 親际を 得て ならのいを既等に客棚した。 野嶽 王は 8 0 21 瞓 有馬 能み る長

4 = 9 聖み重 0 e (4 納思 谜 附近 4 替別酸る蜀間 開新の當陈大材 コ至ってとを賞はする網 長舗当法に門をして長舗及び 耶瀬曾の宣娥福等お赤娥貸金なれ対多アとを指さず、 所さないけ由来を次の做~云って居る。 級るに期 20 021 21 6 P 金銭を割用かし 崩る不加意で 0 7 の題耳られ 島 巫 蘓 枫 **延携を請いし**ご शार が 54 自 瞓 器 耶蘇 晋 0 21 1 所を蟄和をして 湖 2 24 量 けるありに 下離をは 0 長崎 事

本人をしてた 開 H 大コとコ 改数 <4 11 長老かでラ 市黒コ宗強舉 ・ユヌフ Ė 計画から からきらい至らか 主張し、 光 は制は 雨年 日本二宗發的高等發育粉關結置の必要多 うない 日本の 任を一 ~ 御す 本の市験お 彩 對なる知識コ高等強首多誠をコ独了幻然コ佛 のそ上げる H 日本市境大封の大大検守蓋し、 E (1 T **=** 噛かしめ、 こいはらしめざるいからからはしい となれる事の轉 曾議を開き 鄉 do \$ 114 8 0 6 教師 Y 器 \*

車に車

7 0

強官さして慙死し、

脈

水

H

=

1

4

=

h

6

0

п

.-1

/

4

+

1

11 11

年(平正百七十九年)

7

¥

飛 8 2 ルーシャトの本<u></u>新寺の 0 ¥1 と下 イス等の岐ぎり開都前り出來 6 91 附近 AF T • 飅师 <4 0 < c4 45 q 继 21 瞓 /. 留 子 21 40 % 2 0 0 c4 4 出來な 24 de X. 卡 いことでは E اد はないる早しならいは X 4 4 .4 成~特盤で、 ... 後間もな 1 1 T 级 べ・べ 認著 0 間 \$1 替録の襲お右 do 4くとらみ 曾堂 24 出來 0 42,94 my 番名 继 0 其 2 本部 計 24 'n 6 -1 9 昌 e CL -1 瀬 誾 21 AH. III 爭 0 # 4

あるのみなるか、具軸の節生具袖書法を門は開新以前から割り基替後を奉して永續十二年(午下百六十六年) # 刚 1 0 116 际支 関はが :4 早 掰 スコ 꺹 锄 0 市市 長崎 21 されるこれ 6 数木の三体内コ 関などの存在を指さなか 事 94 回 020 もしあれいとゆし \*35 C 一、干业 21 0 叩蘿會の低行をなった長間で からたの雨である。 に寄贈してとを會堂に改造 4 \$ J. 4 亚 中市 の通の 的で 既越 系 ないとはないな は全へ踏 存在を指しけさいることは先してあり得い 11: 柳兴柳 6 明であるからい 道り 1 Y 鄉 4 回等の . 寺院を悉く 11 獲 . J 30 具 x 0 4 24 0 帮 [14] 寺院, る當 圓 N 훼 0 獲 晉 批 ユフス 等行 \$ -1 0

丽了 翻 24.5 HILL e CL Щ 2 2 Q XIE 붊 2 0 柳 面 1 書品 田 0 28 71 张 9 五年 0 4 一十二十 <4 月 體 海 9 草草 £1 Y 쫣 事 ~ 藩 F1 21 事 ·Ox 9 信す いる。 \_ 21 專稿 28 2\$ 2 0 500 新 9 3 c4 • IX 誾 2. FAIL -兴 圖 熟 0 2 は船が 71 哥 明 54 網線 21 制 多 -1 24 なけら長舗 從 4 いざる少しとも表面上 21 頭 0 1 = } 平 回 (2 UB 71 8 局 图 H R 4 P \$ 3. W 200 中雨 盟 c4 P 蘓 制 71 间 道線 6 選 -1 間で 熱 0 平 1 SIL • 4 点 0 -14 -1 9 7 U 日 輔 剩 日日 41 I 4. 那支 1 酸に口いるこ 9 (0 9 -1 逾 71 独 買 子っつ 2 選 7 54 N 0 魯 さこさ 日 5 Q 부 24 子を命 0 Sil 348 間 月元 霏 おとを関んけやうで -fif 28 -1 明 W. 晋 9/ 面 利支 2 T T 在を許さざる旨を言言して 0 0 重 重かしあ 24 E 岩 0 शि 뺾 夏勧審章コロ天五八年十月をノ、高岡臨ココ製造の呼んのこち、下 冒 41 財 永躺正年(午五百六十二年) 同じ~古 :4 5 . -1 晉 瀬 CA 28 -1 71 T 頭科 1 SIL 9 0 ることお出來 24 أ # 2 ft 7 會堂コ縁 6 0 0 24 4 F1 開 Q 王 面や帯関 1 3 是二二 M 丽可 6 2 21 慶良十十年を」、金、表コリス五二年を下) 24 寶 4 一一一 ---おおいり 4 E l し経い生 多種 1 71 10 <4 耶藏《 Q 4=1 十十十 71 彩 涯 响 9 スつ 反圖 督 發 -1 に解 がこれ G おみて 1 番きを基 71 活 伽 0 e4 24 0 五二年年 (0) 引 雷 -1 200 九年 林家 湯 發徒 士 圖 凯 क्ष 益み暑 ٥. 学響 ۹. 1.4 哥 彩 育 まり 注 型 手 り 天 五 U 灣 發 c4 X 插 0 通 KI X 9 驱 総して 71 里 24 g X NE 主 0 昌 71 A 御 0 联 Y Y るいとを置いている 2 孟 ٩. 33 Q 晋 瀨 0 ---Q 迪 28 54 Œ 丽 面 धीर ながらい かいさいま 前内コお • 24 7 21 ¥ > <4 77 0 一熟棄した > 24 1 Ž + 21 9 悉 6 ~ 一山 排 [11] 普 23 6 6 e4 54 量 00% + 圖 彩 Q W 21 副 业 自令二 耳 陆 -1 71 B (千五百二 24 28 2 靠 圓 -1 佛魯を勉 (0) H is さか 华 提起 -1 W 0 0 再び 到 ンして M X 獲 園 獲 됐 圓 預 曲 1 È A 八年 魯 酒 W 2 8 qu 0 淵 0

V

盤

E

X

Į1

江

-1

亦計開 器 21 の気息を Tit 0 0 淵 \$ 韓 9 0 鵬查 IE < 2 子 114 0 2 きててほ 24 阿寨 0 VI. ユフセ 걜 业 解をマニツ A 6 4 到して Q :1 4 -1 老朝 -1 丰 24 -1 鷾 直してる 凹 E :4 E -1 0 米 6 6 2 城 獲 P T 土を定 基督: (1 54 \_ コ市コ鉱ペな 惠 T 我を告いるもの 24 同帯に = 砂块 -1 の長老 116 6 桂 X4 當部 糊 丁蓄大谷の =1 팃 退去すべきを命すると 曾 1 51 叩藏、 114 正り 2 (多) 蒀 滅 0 五 洲 有樣 0 16 50 長瞓 14 州に みない 1 長崎の 21 料 秘 大字 24 > 0 ユフー \$ 24 來 0 詞を甘受すいきゆの (の)動 e4 意 九州を加してとを満しし、 91 -1 阊 25. 公職 もつく大本営を削を引移しけ त नि रेत 71 目を限りて Y 146 明 コ六十組 51 可同見 盘 [tt] 日 0 副 P 71 たてたか ユコ 9 2 温 明明 c4 54 祺 調等 猿 香吉 量に 14 にない £1 (2 同可 郷 後宣 0 R 事 X 24 至十 24 置 叫 級 6 、ユフ酸み ch e4 < 04 塘 1 (0 2 21 IE (1) 9 0 野中 果ら 声 9 X 24 54 特

[] 蘓 劇 Æ 明 1 加 つ言み 釿 24 F1 新維各語 卧 2 0 0 二1 鄱 14 c4 き合 21 温 加きない 長端 71 4 印在 0 6 20% 0 6 沙岭 熟コ九州の <4 1 21 8 9 ý 21 1114 ない 藚 24 器 H 0 ~ di Mi 一人さしアとコ帰 in in H 割パア・ 洲神 -1 肯 0 其 间 子 (9) 國 缁 2 7 灩 は 0 吊 1 21 瓣 规 は尚 1 罪 0 e4 0 14 22.4 回 瓣 趣 囫 悉 ユフ 54 果 नित 获 こ独しお、 4 歳ど £1 £1 1 74 Ċ 6 程下あ 赫 R 潘 はない 耶蘿曾全盜膜 8 H 印 ---置 张 したと解せられた • 2 0 移 业 -1 R 盟 A 41 那 71 54 人等 聊 为 洪 印品 -1 百 YE 晃 事 0 2 厚 Zi V? 点し 0 K 魯 魯

# **策九章** 表吉の吉陈支丹禁⊪

Y

事實

大コ宗経境育コ祭めけこさお間映の

を設けて

E

6

4

111

4

-1

亚

、に干

同九年安

子が 災災 闘 和 W 3、大 9 0 21 n 杂 強する 6 14 有馬及 で著 東コ計制 20 解帰別ある命 4 0 Sigh 塘 ¥ 1 雅 專置コ鉛 さるのなりと y A X. 開 是深 11 人を派置した。 Fii 他等を放 間曾議を平月コ き旨を択蓋 焼るなる網禁運慢るその後なりが軽度ないつしい盛ぎをいけのず、 公發、 蘸 0 赤青 11 事 数人等お常和 事 0 歳 > ult 湖白鄉江, 主コ取舗すい 潜状しア ~ 淮 114 調車 q 71 お直コこの三ヶ刑を占領する気め 24 强 湖 PH H 慰を墜れし給おんことを強かに派 耳 M 報告しい面のであつ のこう様 動用船を珠箒の許なけど主張しなので、 副 用謝を靄爽しけるお中置けるよ 面内に 1 (天五十十年) 二月廿 事を本當經濟 0 関も了る然系をならどられ 得な 破を嫌心むる治际支代大学の一 たる人はに 是田 0名别 提份 干卵 九年 2 步 とはい 4 毲 ~ FI 八十十 M. 颜 阊 -1 退去の後 > 是亚生 图图 服した A 印在 至 耳 4 0 留 4 闣 44 重等コリ 會堂を記 1704 秀吉の みり -1 重 21 あるや、 有訊點和の 面 X 損畜を弱かせ 豐 60 制 推 U 21 陈支代 14 71 悉人 神 割せら科天 c4 0 に當場 Ċ 暑 E. 上部は E たこととこれ なるとことをは至 71 言 軍 6 ユ 0 # 00 早 I 一河 は順 E 调 到 動を避け × 94 主はこの 二 F1 7 所 h 묍 际(悉) 内に 晋 雞 I 0 0 器 今日コダア U 部 묌 r 21 2 糠 -1 (0 5 -1 けて 北京 開 tig 曷 翻 量 4 0 2 8 和 14 田田 0 纸 0 \_\_ 選み YA 鄰 皿 2 x Y F 0

MF

71

表本の三ヶ河を加瀬曾コ客州しけ朝の革制を見期し、多の客削しけ

十里

す 温の 二 五 な 長 調 の

54 朝コ天五十正辛こ正八十年3六月十八日であい 51 から所なあい

### 京

- 1 [ti る園をもしけら園より那対を野剣劉大以不 24個 は肺 本日本
- 塘 昭去製を附守衛年可野其意動下かさして既緩曲等。 佛閣を打破らせ前 職と者を近か門がコなし斬振 0 4971 ¥ 平剩 囫
- 剩 11 へき版古日域之間対を林琬事曲事 ¥ 1 國級其中 可屬 用意力 間域刻間今日より廿日と間に 中天重其成惠と去を以るるした策コ斛冊を封剥と歩馬乃刹 事るへる 1194 24 指 懇もの行とお曲 c4 St. 本と地にお H 養日 惠コ不開新 重 昨天 X
- お歌しる のちまけわる不知輩お商人な謝却不知申いいかけ」ひらもしける國より 意事 其 而放 自令以汾郡宏 しならか回解

### F

沃五十五年六月十九日

名車 14 4 制し大 111 鉄み窓のそこと 拟 TE 間 ・最相談告知人を見論コ重ねして判決重の時行けでし具論を叛功かるとけ。 A サイド お大コ然を表吉の立合かる吉陈支代大各コをは 本界去を選本 H 0 THE X 1 エフヌ甲 題なきない 画 00 E 24 6 Ċ T 华洲 \_ 命を強するや 缺 んをはみしもその いるが出来ない 溜 0 4

動一行 の及事 天五十八年と月を以了長部 トニ お 帯除 天東 明 更 縣 替 の 動 替 ら し ア 監 綱 天下 ほ事とかず、 放めと多刻置しけ吉味支代大きの 和新祖等 監廻 あの一行な 民掛 八年の 歳月を 就行 ご費し、 li 4 • あのことが 4 1.4 + 1 1 地は電洞 • 1 4 1 54 是部 1 24 來轉し 1 る 預 24 請青し、 に弁ス

# 第十章 三氢琐酸〇镅降5氢葡

は悉 コ東會し、各自厳雄の死心を以下日本コ留も最後まで冒斧を料瓢して 関を放棄 彩 2 0 00 2 y <4 0 のア、市境の知齢がはつり見刊であい 9 能数サS 宣域配 裁 T! 24 Ó क्षेत्र 同してもちたし **釣の部川割りの禁令の岐り蹄陸**的 宣泳福等は長働コ外下帳垢制 **系吉**お宣婚 3/6 鬼コお出了なれつ KI 激コなって FI i 28 けころね「自今以金制去の故る風をつる輩お商人な濁わ申をコ及とない いるのは 2 Ca 立 M 0 ある。 制 4 目 71 コアも明で 4 會堂 如宗報子も館 114 コマみ暑明 明旨せる城~ 來各 Q1 後を排示せるを然へけ窓めであって、 は盆族原を砂 KI 打影苦しかる中到剤其の意を知すいを罪」とある 十五年六月 2 24 然ってその 9 -1 7 ゆって天江 % 4 るる 禁命 朋を知して公然宗務を持ることを刺み、 量 宣 のの 0 2 3 再犯計訊節内 られて智をさころ 10 2 W あることは 畿ら亦 41 煄 一 福業は 0 < X 山山 0 湯を潜め 4 禁 此コ潜分し -1 響率 學 [j.H] 制し参吉の 縣 赐 6 國より 真真 c4 21 县

戦やを計すことが所編である。

### 第九章 悉吉の吉派支丹禁師

鲻 その割置も知る 4 **耐會議を開き、各自厳嬢の男なを以了日本コ留り、刻コ剧コ計客を料鑑をいしち舟鑑しな** 光に替十人を基去せ」の、劉絹の舒默却とを來年コ三時でるの日を影ちることとな 続きもその苦干なさいよる質は難コニなで、而のも皆同祭の脊格を得んで飲めコ お駅を狙して各班コ潜力し、 去りなはら知るい~表古の然を挑発かどらんは飲めコ、 5t 0 目的を以了流行するものくみずあつ たらを国出でた。 と割ねされば、 〇亩 に独て宣教 那 旅 9 4 7 お貸の職島対籍家の順職島派戰守計生、後城賢忠直置を返うを以下县總一 全~其〇 71 ストロへ・ストハ 委告お大コ盛ら、決い 武器の 骨堂二十二 で刊を 題よ、 数種 長丸を 見調 引置 **惠<u>ま</u>並以の命令**お吉(味支代大各等の)知鑑を、本人等の廻ぎがふさ コも C L 弘朝の事制を午正百八十八年(天五十六年)一月廿四日树
町寧対發、 市議會 離長成の 書橋の 一でコエの 動き蜂告して 吊る。 長舗を扱対して公前とはし、 を表せどうしを以て、 なって斜天 官に任じた。

野のこちコ焼き解い編える別む<br />
フス 與 關白頸幻弘等の幽を疾等及な大体、
京馬の崩主もも致妙し下歩う 閣白殿コ多爾の贈ゆを叙すを同語コ、 殿を置らしめたので、 電音等の子の 71 中年

刻言の**賀子対家**コ五らゆして、刻言の河前の<u>教</u>鑑者はもし職島脈

51

古の書簡中庸武寺の子とあられ、

甘二 华家兴

っる国ユ の人国多基督後习翻数与しめふこちを除しける「告际支代大子」の著者知書い

5 光づ うなってを指 開 c4 gu 金中。 大体コ大林喜演学 泽 みマニツ 0 最終コ大支統隊を福間し下同じトラの文宗總統 +(大体跡忠の女 共コ京階を築し、 放るを待け 真塗し 0 星 こが、 13 4 54 (0 物を有湯衛信に 0 多 早 4 動 昌 20 網 松制輸 黑 翻 200 -1 肥 黒 の簡 3 哥 6 M 9 思 C 6 \* -1 ~ を京都 71 4 背 54 父離忠族の劉伽を交付し、 いて法にい Y -1 那 徳旨を博へ 進 Y 4 には -0 4 ¥ 6 それから有馬 6 + = 4 ででで 8 福青するや \* 1 4 1 H 員 創めを交付して、 劉 主 黒 0254 Q -1 7 想 0 源 0 立需 吊 21 間してたを (0) Us て語る、 アエア 华 平耳 09

るが再 2 2 0 别 21 71 W. 盡 北 H di: fif 獲 吉际支出 54 何人コゟ面脅しア鴻話をあこち 真 0 # 28 \* 型は 開 そこでる地 全熟コ · Sh 禁令發佈前 24 0 -1 .4 H X 阜 54 71 0 は會堂 08 7 音を贈くる 国 地を派記 ユル 江湖 -1 71 いう最高に は各 豐 1 2 0 0 督 24 \* 霏 問して 4 羞 54 27 l 4 2,2 開初 4 = h 2 0 士無人 媑 6 果 > 0 大名 ひろう c4

つみ 法 曾 -1 녜 後 4 草 歌 は飛 6 再び 1 6 W 1 手体の二刃幻和制を見申し、且の ける天草 2 順 向を各を明 の動物けるやり焼いても観問とすべき場よることを述べ 順 त्ति 际支代大各等お宣録 0 其 ユントに連 俳 行長の 早 所の触島ご りその宣真を初上せんと結みれので 等の大帝伝幻小西 こちのあって 内意み銀項 啪 發 督 具 图 4 爽 むるころにおいれなしな ED 0 東 制長췖 當不 账 加 果して満 重 る器を 54

**特し部合る小田和野の最中** = 1 H 4 社のアー行わ見御を -6 6 FI 2 香吉の結省するコダン 來著早々奏吉コ向ってその傾着を周出でける 天五十八年の十二月コ至いア ーニお習らう出致を見合せけは、 i THE いて更コラの東土は と属すことを希望したので 4 -0 6 21 4 1 濫 5 の窓コ -1 溪 0 兩 21 らり 0 50 <4

赤吉は細灘を鑑けてとを渠 風には一ても 等一行の來春以來語コと多譜聞して新代の狀形を開き、短知臻をごよるのも差なでは 0 6 2 晶 中 金 中瀬帯刊なっる表古の面前で斌行中の肺察猶を結ることを得るの光梁コ裕しけ 修員の 2 ¥ 0 2t 出級 大支籌辦五犯 c4 大國了幻高山古近は É ある大客は 一計却多の貧強者掛なる計田臭鑑习疵ゑられて京都コ人ではない 長政、 3 黑田二 10 一行は宝、街を郵風するのを特受けてより面會し、 **| 下下下|** あい京 主 54 はの 24 ケーニ等を指問もるものも流をかかっ 寶正 11 画 24 1 琉 -1 下の窓の下 = ~ 1 東 W: T1, -1 のより かきお 第 - q 6 0 - 6 4 樂 一号

ほどとい

ニート

-

6

6

随着や

瀬以下の液舗

蓄大谷等お阿剛を預なり母

-1

林

この返言な出来さまでの聞ね、その役が刑に黙立することを清

100

二二向

l

4

=

6

6

71

早

\$

4

- 6

可可

0

ーニ 知噌ら)京都コ留らこさコなつける残らコ東後間もなり表古おその生地中、

滿河

潮

#

中

컜

5t 0

0

出圖其如の谷品を見丁大了智類する刑はあ

うの気話を離ら又その齎らを刑の

1

() 歲

焦いて不在をなったので

福佳の土お全島

基替焼り閥もる總語お大川艦舎多園櫃かしめ、完善皆の岐ぎお配り形艶を受け、

な吉藤 助す 回 五十 0 31 の來るまずお人質をなって日本コ留まらんこを含 41 de UE 温 2 2 間答することが出 で新 -1 姐 中 都合き素音は からない 重 R 動 X 孙 1 (2 X 貨 6 0 選 3 0 派韓 回 時織の二王子を献譲る窓しなさい Q 1 The state of the s 半 21 の第二 54 2 6 504 に任じたい 等。 旦 被等 ユフマ c4 91 11 年(テ正百六十二年) コお酥いの大事神はあいけけびらよ 資太宇 0 =4 誾 要なは網りコ重大でよコ 京階でお 1 5 TY 限コ長 졙 0 丹官 巫 1 79 ¥ に端く黒 # 全ナ月コお 任じ 훼 71 54 代長 21 、华 24 0 外奉示い に赴い コーヤ cq 10 4 21 山等安を以て x 係る は緒ら第~お意せられ + たる全報コア .6 可を得て京階 (B) 11 聞 11 秀吉の る。寺署志劉守遺高多身副の • 長を本國に置して精順し、その政事 七月 を大箭羽を長前のこちのみ 4 4 表古コ各艦量コ属するや、 引つけ ~ • 四月二紅京銀花留下 つススことのつう意をるな縁 それから一行は秀吉の精 1 方面二 4 34 1 .. 士 天下の人から出 0 會 0 關 7 1 文縣 州官を罷 哥 4 114 年で 0 5 x 0 6 1 〉叫 Th 几 / 24 場 冒 썖 いるととした 췖 4 9至 歸 21 晉 24 班 TI 6 7 請ふ丁精され 地し、 71 0 0 24 2 16 九十三年) 田 0 2 み車 龜島 丽 51× 21 排 源 NE 早 調 <4 0 哥 步 歌 c4

見正士) 十人を人置 4 6 すまたりた今田帰河などは天堂コ客ちらくことコないけのも出袖であいけ。ちが当て 71 放を表して、 翻 スを干五百九十一年 お文脈元革 2/4 4 員なる宣教師 いるとい 24 ニートー 0 21 E. 54 1 儵 せらるくまでおその簡 h 出滅ちるくゆう .4 重 4 . 少歲以 さして見袖に留けるさいる刹神がきず、奈吉の返前は数されたので、 E 6 コある吉际支代大 而瀬曾の言う からお天草で 動命の労して制御ならざることは鑑明 大學之本 0 5.1 事 秀吉の左右 2 U 0 3 日間から :4 長る街にまれたが、 24 れる学で i 版さ H Y 2 W 原半島い缶のけ 鰰 郡 來 Ó 0 0 = 71 1 1 大年)に 4 4 4 = h h h

## 西班牙節出事室東衛の來降之長 第十一章

西班平崩出事資太 出一行の一部の第を容りでない大をがが</l が等りを告コ各點量コ點を c コ 及 の 庸 は 下 節 人 等 の 謝 暴 を 西班下人をじたちいえるのは、身副の沿岸下南人等は、西班下南人等の は基督録を宣傳しつくある越を告がて ス等が正常 4 . 1-1 T 40 の宣發領等は、その料塞の下コ熱令を敷脈して盈 . 1 4 1 の韓國を財前後しアイミニホン會の 商業を妨害しつくあることを漏られのす。 連 引 記 記 記 記 記 記 の 際 で 動節として戦死したの \_\_ 24 24 へ、 耶蘓會 l 4 = 5 中の中 6 乖

発師を 守る高い自ら光調を 4 11 場なると 然らでる以上は、 その常可を 奉行寺野志壩 長論コ幣子もしめ、曾堂を開き了る然宗務をさらしむらの代はしを強いて、 71 -1 步 一次大豆芸 た。そして翌文源四 面のことであつ 卯 2002 のくとうみ地 ヨレッ X :4 Z K

7 都 2100 **後端客コ後車を張して京** 1 9 は自ら見働い来 っく熱心コ市強コ触めけの # X # ~そロ・ハでキスを幻身翻響出一年の歌! 1 ランジスカン曾のパー・イン・ペテロ・ 験ノト就認内コ既居ノア患者を殺おと コ福利するよのる水をかった こ五九五年)これて 家部を載了 蹶 -1 中 M 5t 0 関輪C 加 狮 Ċ 調 X 14

冒 年(午五百九十六年) K 504 班 鎚 大州 1 独りる 基替権 4 再も 到 昌 多 動の、 天草 1 五 5 転 學数の 主 卦 4 六 十 各 の を き 1 蜜 し 面 變 キスを以下二十六人引港し了香吉の -1 (R 劉 長は不用意なる言を対さけるは 最认正 いっとが 51 る布殊組を告わて公を育家コは人強強を射梁をこび至い .4 5t 0 • 11 船 後の市後コー大郎性を來けをこちコない (分額 ~ 6 ~ • サン・フィ 1 4 1 10 0 船 會 -K 1. 班 x 2.t 1: 1. 票着、 666 土佐二二 基督 松 21 2/ 请 童 Hill 9 剧 04 0 王 0 副 迷

は各 71 ヤコゼお遺 衟 然びなみ 囫 H 詽 0 お窓恵部のこととてら 金をもなした 表 た 其 助 各 門 の 尊 游 な 受 む 79 21 54 みちの 네님 0 Ħ 室先を舉つるころ 幾うないして一萬人の編初答を得了とい光動を受け 越漏 奉行 マン二人は死者して亦強を加っることコな 發 動 里 悉 香學 者は 1 12名大 2 る及当の野の塩大なる祭太を行む、具葡の代よで何いは丁願嶽の太を舉む、 51 即後、 树 7 0 昌 文添三年の基 T 十の書 画砂滴念」、又限的ミシリ 各自嫌厥なる

高限を

腿は 爾派トニになる割り来り 24 0 一彩篇 長輸 6 cq 捕 4 に著し 21 0 柳寺る者を送り、文編三年八月一日コお窓コ落如して子の プライ 意い豊浦 派 4 N 衆人賞塾の泊らなり、 Ħ 4 憩り響き、液力遊籃を受けるを含えるものは入下人のをもつ刃が、 野楽費の 京都の情難を打コするコ及 11 光鵬を受しることも、 = (はない) ン量 0 目 撃が 人よら人ご語ら 而壽を窓し、 お問題せられて、 財正コ自定コ独丁 部方を 所を興 11 日が対去を高るとることが、 Y とい會堂を載器すべき地 ノーへはし 間 けるような然に強するころも、 の間 日に日 コ潜我して誇コなを行りつくもつけな 新覧を受けんを頂ん立ま (A) 書承交分して四十部 M 言者お 會堂 碰 0 そして全し月コ又呂未からい -1 = 孫亦 x 0 水鰡ア 1: 再む事を公常し、 らか 1 6 B 6 然語教をはし、 獲 激~~き気日九を以下 盂 表吉お観路の後、 禁 0 この事に 0 器して B お秀吉 i 57 y 郷か 经 を言る H 图 めでかに数 + 圖 獭 大なる日 こくその 步 記録を記 9 司 71 まで 몖 1 24 719 洞 0

難者の内に加へられん 0 其 療因の瘻幻窓コニ十六人らな 怪んで 長 湯本 けお 窓中をかな 出 眠 けいは、 朝をの 敷 から 矮 因の 男 は 非常 コ 早 り けっけの すい 金中二人の言動は自ら厳 50 24 こしてもとを去らしむることは出来なか 後囚払対強強長制コ
蓋安サられし
ゴ・ 0 [11] 叫 10 いるない 十二てくな

表古 ら事 哥 X み、当 4 2 0 2 6 キノお面コとを不田三知コ 9.9 雷 U 於 :4 0 命を下したの に一般に 員等 み、製 0 郷の縁に 明した · 4 **長盗ねとを聞いて大コ激き、 続してとを取命しなので、** 前一人 員 藤會 y 2 綠 曾 室か 봅 漏 赭 0 班 71 业 スを以下二十四人を献へ下とを京都の一 4 加 小を辞して大き型さんとする刑以かけと 4. 大に 發 毒 こ頭るべしどの -1 -1 明 朗 論 2 公童少 音 п 脚版 發 0 21 宣 1 08 · (4 し太閤淵 發 0 1. 導し 際して 五留しけることを公にせん X **耶蘓曾員コノア大廻コ
計留を** 着き が す いることであ # H 下るのからいるかの 1 支 の事者 > 体 けで残るコシの内コ三木、ひロ以下三人の耶藩會員なあつけのか、木 Q 早 时 の居宅を監脈せし 24 11 000 St 3 小等の C **画して抗議を取ってが**け 5 00 114 (一五大六年十二月六日) H 班 會員亦 余 温 ロ・ハンキ ありしことを異書すると 発而等( 齢熱な 西汀县、 い番 耶蘓 これるの大き姓かる刑以なりと答へけっ 世る主 前の 0 立古はるる小 雨~テ るコ今その代コニ人の 計議しな。三畑おびかとコ客へて 水子 電に 獲 直察軍 1 B 地方 设意 # おったっと H 京 秀吉の + 秀吉お 合いた る大コシの < 当 20 令を選励しつ 命じて 器に及 丑 x -1 54 靈 たんら Y 0 1 24 9 翓 曾員全 4 つえかんら には職職した 2 翠 に対して 1 54 0 命 は大に 4 間 2 蘓 nl 4 业 K

### 理由ありしつや、表書お具盤を置ねして悉しるの貨物を改成かしあた。 さものなりと驀落した窓めであつけどしてあるといふことであらけれざり未汁砂箔を得な いくら割大 歩皇帝 お光い 宣強補を置わし<br/> の<br/> の< 而して独ねさらなし。 囫 器 勝具な合うででなってことを吹いてとる智和の大國奉行制 出の致対率対の發頭人は耶瀬曾 國 砂等は表古コセン・フェリ~親幻票がをパタして、誤反を励順せんが 觚 K 开开 坐 週長元年九月廿七日(「正九六年十一月十八日)、 土対國都日對の斬合コー豊の黒船は照着した。 の気あい票青しけ西班 H 世界地圖を景温コホして西 刑 可なる手段を以下 FI A Z Y 放に込めて取らさるなり、 き倫威を加 机机 いる語り簡に 暑風 不王 中 題の弦如被末書コお 114 班 コ所、船長で・モンゼ 和表古の暴撃を然るの網、 發 大人流行 なくる大園の用另コ向トア港の 頭 4 而して見細は 21 0 同船お出料資から港西班 不論動 二十六聖我 然る対社の丁軍網を派置す したり 71 ~ 6 級 及び I からかと脊髄 <u>ر</u> • 21 2 8 94 20 /-出滅されたも 土の園大ならず語しけら数、 第十二章 を [4] 得かしゆる韓 結果、 流溢下南人等了 叫 ることを費留かざるい ~ て土人を殺化せしめ、 調の S. (I) は取 行下 6 21 かる種 • それお恵 雅 事 70 4 H 2 るといい 我需 申 顶 制队 風をひ =1 0 其 局 器 獲

0

主長

田

2

息

@

選

頭

0

回川

0

E 開き、 その数山阪強者の立を宝むることコ焼ア會議を 24 原籍を調査し、 融り知家を 94 幸 で 耐 教者の 河河 伸 等 器器 P 中 典を行むし 本 コ電が

能人 公婚會○聖人の善部を鵬ふら去事コ別かお、 TH き者 ~ TI mt 樓 (O) 虚 29 申 -1 炒 画 0 後者廿六名の行事を審査金織するこ 昌 發还 Flu 忠国な 少手 天 2 产 -1 剩 [94 \* 温业 日 0

继 0 盂 + 2 V ¥ e4 なら正 黒 71 日 骝 21 きいならこの二十六人の耐強者を二十六聖 音 继 H 71 平 哪 主堂おとを記念するは飲めに魅立せられたものでその真の ¥ 典を行ふい 4 灩 0 部物質 5 0 布告して祭 24 乖 Ħ 各関を変き結えこをコない 月八月 千人百六十二年(明定大二年)六 -1 草國 -1 (2) 選 日本聖人の大劉太を行ふけ。 24 Ċ 0 器 きなど 冊 る心憲う 4 に記載し、 阿 日本 縣彩 今の大新天 水以 悉 翻 0 9 0 9 寬 こ及教會 1 加 \$ :4 することになったの 堂で \* 兴 H 測 事必強 大聖人歸念會 悉 日を新 0 9 项 旦 54 A. 91 洲 0 園 9 54 0 子 Y

31 9 34. 3 9 -1 香 t C/-千 画 再ひ八州コ下向をふか -1 番 北蒙岩, 0 5t à > 21 99 21 印在 (2 **判以來表告の基替焼コ階をる弱更な再び鍋重コ** 0 かざらんことを触 面 裁 04 中岛 後 厚 にてもきらした 自 コお表古は 耶藏 鯛 39.4 -1 \* けれても選長三年 U 24 の早 [11] 0 おか P 態度をとつて表 2 刑 申をご及 24 明し 放きことおなかつかっ る言言 71 劉 0 これて 北部 鄭 0 乖 Y 題 圃 ~ 美 禁命 6 71 罪 T - Ox 0 6 放を観らたら . 事 < 200 Ŧ 6 加个中 + @ ut TE 强 み場 X -1 24 夏 54 0 .~ 獲 取 数 剑 W. 制 71 -1 -1 ¥ 118 2 9:4 11 11 4 -6

見 嶽 間 平 2 1 0 > 瀬 留みることゆく 0 驱 1 P h 2 1 FI 寒域サン面コ<u>気士コ</u>現立アく立頭なる疑首を献す、しちア 刑 通 I 場に 0 6 も喜ん 強打等打強の配の二死す 1. 4 金をはら割喜 M 0 る者は 普の M 獲 図り近いきい 強 21 24 TY 幸 21 所に動せられて出世を去ることを得ることは一と 又吳都上 療 私するいと 溪 樂を受け、 向なれば 24 北面の 54 -1 効等の答うあり お生して無上の舟樂を受しるの部 (2 0 孙 選 114 砂糖 〇丁当 一既等類しき身を以て、 面をして大い題しなかっ 50 まして なのかいるのか 24 北に 夷かより計りア割 囫 たといることである。 即天 尉コ思し ニナ六人の途囚等か 50 いとら 数等お -1 CA なしない いを見い るを見て不 10 同業の 囫 1 X けれども 里 ここつは スト 14 エフー 1 派 0 素に 8 묌 x 自己民の W 韓み甲 21 6 6 4 71 e4 梨 -1 で受ける 4 こもこれ ut -1 孕 源 华 面 4 FI 0 0 x

郷 がて -1 因幻然中急认〉吳袖二青一、靈臭玩平十二月十八日(一正八十年二八五日) 吳袖 00% コ係らないけれても長温製制近いる西頭の内であっ 4 そことで () 2 21 0 下南 0 9 意地 文幻大袖立の の宣告工 融組 71 研 쟩 潭 34 0 01 併 750 潮 後の人 54 P 28 ナナ 9 こことで A 一 M 刑に

併 緻 コもら長龍コ独ア 性% 24 禁制のきりしたん宗門を引め 日本コ死・陶 9 09 動者を常 000 0 宋 254 上古

大祭 印製等コダア L 4 66 6 制殊呂来1<br />
釜を5や、大后猿<br />
対面コ合を發して<br />
討断者、 0 研 北島

ココ 脚 THE つてお窓コ禁發 阋 14 2 上衛 重 量 x 0 54 嶋 0 Y 現お叙述の呼いお事られを潜れ貿易の奨爛い用のア、基替強引港しアお敬る意大であつけ 然るコ其登落蜂の禽のコ不怖なる事科 24 軍 忠 4 獄 青 -1 ・イイナ -1 118 0 馬輪島 0 Q ○ア、<br />
家東も市<br />
なを面白ゆる<br />
な宗旨を<br />
答えるや<br />
でコなり、<br />
遡具十十年三月廿一日<br />
コ至っ 赏 74 51 x 車 0 1 張は 4 味支代を禁型 2 お境職の再二鉛ってたを毀しかしのけ又其配す 吊家 点 9 音 對 24 曾 早少 上に登して最にとを禁するに至し 0 爾內 潮 W, 領 54 南お研ら爆精の計熟であたけの 直純 奉行を力を結せて有 1 0 曹信 . 54 長輪 毒でとこ死を馴るた 0 獲 Q 光で旗下 置おし つみ 意動の意 調剛 -1 おかを發表し、 ユン **割富土人を** 市温 表古農士の後 與 赤 コマネ干 -1

## 

ZIV お辛んじてその領意 41 :4 東資うなし、今の會刑 動お幕形の命を受 鼎 盟 0 大腿 前年生余を序受け 大江江戸 なって衛陸下商人等 县福奉行小穷副 身副の商人祭わまけ請え了大多に受けけ。 最から主条幻州等の商人の 多の教賞派入年、千六百三十一年ンコ至ら、 20 整題員八年コゟ亦を量の主余多離人」け 20 54 **対了帝陸下商人等わなら長副奉行コ暦派し** 論してたを買おしめ 0 21 **ボヘアとを正て河南人を解するこちごび** に設けられた。 商人分點分 54 製みの急温の らことは出来に (个の機關的本地) 54 都 HL C 2 を配す e4 和路 州浦 21

> 南 21 基替強おこくコ再も財治して 目 實辦, 順部を命じ漸 71 丰 304 0 0 窗 同情ない 天下 埔 長輪の 然るコ間もなり表古は夢して、 汉尼岛 数二二 50 神學本 0 2 天草等コゴシ 24 国して 一十岁 滚鬼幻基替遊り惨ノア寛大の画置するいけのず、 漸 圖 54 24 級コ長湖コおきりの強雨 は多しとコ人學するころコない 島原 24 奉行おその意を眠られるこや、 強耐等打法ト長袖コ集の 54 **祝店合うあ** 0 24 千第 大部値を開設 も非常に 0 2 長調工 抗會( 0 . न 24 54 平 架 2 w 地下 24 0 71 獲 0 Mr. 並 髗 经二 は各 24 Cop 3F 私 潮 金 -1 川家 事 54 0 湿 岨 風能 果 -1 發 熟 可 學

## 第十三章 絲瞎茶商去之正箇刑商人

自由 打打 賣行 學 2 かたるこ 生糸はたを 2 長高コ分ける港代貿長お離了時あお財寄 0 真賣割が 耐らとを資班トことが 生糸 15 年, 1 3 輸入しむ 業のを 國長八年(千六百四年) コ至り生余コ港しアお緑陽於商出を解する一種の 0 -1 征韓 6 点 21 船の 鐵 助っ、百数 21 K 0 備造 c4 主余を練入しむ。 劉長八年の取りお斎蔭下跳わ員副幣留二年コ及んです。 21 請で 張は 120 ST 財 放きる市場 圖 郷 減い 今その由來を韓的るい難口の英層後、 54 ()~零4 **帯 彦 天 賢 長 制 か コ 気 付 よ 含 商 賣 の 木 岩 岐 阿 ろ 春 は ま コ ・** 養蠶業の 新製しその需要 事 71 業大コ衰へ 不船 葡萄 5 CF 國 1 4 54 1 承 1 砂軸 0 果各 P 33 命等がま 54 料 5994 54 Zł. \$50 Ċ 貚 ないるこく 24 と入したに及 FI X Ċ 0 CB 貿易であ 惠 はあ面白 54 dy 闽 11 1 9 東

は大 阊 71 9 # 2 0 2 34 e4 諸姿との 000 X वान्न \$1 悉~ -1 54 24 王 赫 んとする客題の 当 54 24 談 u \* 9 松 禁喘の最多の丸がらびらしめ 0 1 削を長金の 田計支 誰 命 7 54 母 軍のそれに 長安の いい 到 -1 おさられ 子瀬十二 6 山奉 して石見帝 こに 一のなる中 中 要 書職が 京命 明5.4年 長安 i 90 悪 かられ -iny 墨 自 潜 田 0 20人家与好 の見を案内して る業の 型 し丁吉际支代 15 2 置新和 Æ 揃じ ましな金をほしけけ 2 概要 2 丽 疆 策 所をあるや A-20 中 0 0 ・一旦戦士 東を 現 國 避 X, 雷 狱 派 1 Ш 24 11 @ 孫職の 瓣 村 FI 60 % 0 0 ~ 具定は金粉に掘り、 類 堆 出した寫 丽可 4 量 2 -1 四月二十五日 米 9 # 潮 难 料 推 3 业 0 要み 71 TY 11 0 剩 学 0 \* 級 東家 N. 稱 u (0) Ш 3 7 4 0 源 曹多らみ 李 溪 1 0 來 27 十八 N.S. 長安 預 丑 4 9 H ・頭み上 題。是 Ţ. 迅 5 Æ <4 石見 量 21 Ш :4 3 涩 4 54 54 24 地に 子 出 54 0 五 28

8 % M 16 る宗脈は ~ à 21 園 44 景 继 2 彩 題 胃 20 明 盟 71 2 賞がをからしる。 16 獲 插 獲 日 る金く 立 理 孫 書の発書 F 71 ユフラ 丹宗 是部 54 24 記 隆する風情を会倒悪ならしめ 支 4 24 51 部 胜 到る所 早 ユフ つらりを働言し コ不味を貼らしめ、 uct Ö R 樣 奉する所 三1 田 勘いかして 编 いして 獲 量 0 (O) 3 III 小 お蘭 8 國コ独丁おうの雑コ 刊宗、 コ自然に み里 とす x -1 星 y 4 奉むる吉陈支 録外コより丁善負いる日本国因の間 表の吉味支代宗門 71 0 60 事み干 Ŧ ~ 图 x 2 7 囫 會 0 20 不兩國人等の 気できで後 画に 24 を持 神幻家事 鄉 晶 と区 8 正 は一層を 熱す 11 衛衛 かゆ 集 裡 T 71 0 900 鐖 E 日 >+ 5t ¥ \* -1 -1 班 6 7 最多問名 72 置お宗教の 更 囫 加 17! 曲 -シニ 档 迅 文 x 吉际 る場 2 4 9 6 0

出 54 别 0 54 相 21 派 独 U 真に 晋 與 2 0 +(1 21 制 回 0 書簡コゴ子六百十八日とより Q を追ると :4 媳 追放 のそつな 一個之 0 **「時間人** 量 がを以てたい返 54 7 は許 来し、 制 動者をして戦 具 中宗の H Y おお 雨支 0 + 早 9 看 录 · Ox 4 湯 觀 2 12 2 6 = 21 現 骅 1: 派 त्रि 24 + 8 x 1 望す tla 言言を移 0 丰 は希に 24 囫 0 動商 Q 禁 · K 兴班 2 < 。鱼 0 X 海 潮 響 6 -1 54 术 1 み離 W Y 國 其 14

T 3 4 3) 41 0 8 其 Q 24 2 54 HH 1 0 王 71 1 ġ -1 24 8 24 J 0 묌 c4 79. 2 21 6 8 M 团 2 2 みばい 0 思 習り 9 形 91 重 21 0 重 側 瀏 禁 9 劚 开宗 緞 -1 工 0 文 日 味 > 무 狹 Z ¥1 現 <4 潮 制 派 W. 21 ۹. 3/8 2 預 6 KI 24 奉 y a 0 A <4 抄 主 0 7 主 塘 + 0 0 哥 型 2/ 溫 禁 种 71 35 > 2 印在 114 \$ 0 54 4 早 更 其

鼎 碘 る 洞 THE 6 6 < 9 1 4 3K 71 3 謝 U 11 V 2 も二 即 6 KI 排 贈 헯 4 票書 7 山土 . 2 4 0 7 口をそことな電 7: 6 田 口 號豐級 个 腦 0 6 6 鲫 V + -1 6 0 關 Ŧ H Y اد にこつ。 阿 闒 54 1. 1 郡 4 54 ~ 4 更 槭 金 理 いる。 埔市 排 玉 6 通 明 0 關聯 Z 併存 0 -1 發 71 刑 9 2 具 かコ宗教 5 服な 뭬 類 北 2 界 0 同道して 一體是正 A 冊 7 趣 24 V 4 2 糊 7 南 7 54 關人 黑 和1 0 洲 11 過み る場 13 週 水青 -1 刚 -1 福等は常 暈 点 題 Y 頭 X 鵝 關 514 -1 <4 4 2 劇 被等 印 0 日 6 9 6 4 重等 独 1 .6 ~ 重い直 4 彩 FI 翻 8 24 哥 500 X 級 8 <4 題 7 制 2 24 香 园 船 नी 4 ~ いつ郷 がな 即 鷳 至 排 排 际 闡 山土 -1 24 2 を家事 と背と え間。 7 Y はちっては 山土 日 贈 54 -1 立 量み 測 H 71 Y 0 月二二 歌 W, 2 2 盟 1947 2 6 迤 . • エフコ 51.5 鯛 16 劉 闽 Y 54 24 書と 9 0 ことを則るとい 0 K 71 24 事 图 7 継 劉 2 班 [7.F 20 咖 網 -1 2 -0 珂 1 乘 9 x は恋 ·K 2 54 4 24 函 l + 0

所せらるく者を置拝崇敬することの 二吉际支刑宗和善霊を顧倒し時で了罪人を崇拜し、

其の由來 囫 という。題上的理論はよことを黙除しけるな言し、韓で大体に來してと多大 4 6 0 \* 4 71 \$1 0 24 54 釶 放言を の言紹常い助らしめ これて、 船長の 5t 0 雅 獲 鲻 市蘭國王の書籍などは金かこの疑念を紹からしあ ~ 金灰 h T 園雅み鶏 6 場所から結婚の • 願らか 029990 早 調 :4 子 x おんとするも 0 2 曷 4 蘓 ¥ 重流 शा 24 将天 ~ 夢み層 W. -1 :4 -1 间 \* 27 21 つけ たことやっ H とを信せしめ ( 0 e4 F. 人用き数 7 北京 班 い者が 頭 0 54 日をして する所 第一 # UA 林喜ぶ 小都在

の宣奏制は脈動を非籍排引して公を賦歸かされ知日まさるのあるを示しなこさお事質 24 Ċ 独 Q 香香 いるの面のそれ 第二〇二

燛 21 e 04 24 譙 旅ど水の 扫 21 Ċ 9 又 育 温 直 誠 は 命 コ 数 お ち き 猿 新 歩 死 味 コ 動 し は ご <4 おしるこうつうななりか 財ンの野田 24 部人を崇 9 お競えてその影響及お歌ゆを依頼して特観り、輸車なる島念物をしてとを崇拜した。 邓 の気あい天の 温み からま、宗門以校の人がなくるの状を稱するコ由なり、一演コニ 重コ腎割の 斯 旧なき懸 固るか本人 極 51 21 ⇒示率十二月1分かる二十六些人の破壕の割っるあいけころで、 0 具 倒し罪人を崇拜する強なりちの録を出ちしめけ :4 お等は集下とを鵬拜した。これは () and ? 順兵衛と からないとでもつだっ 県の 長調 顚 0 發 当十 書 証当 + はかられた お觀長 71 4557 0 24 順み置 [19] 教と様 -1 Ċ 54 案 FILE い配ぎなか 0 滋 發活等 二 91 圖 Q 767 2 科 とは 稱 上

00% 手 制 塘 影響 重 ころいかにも 0 同争证再六日。 少数 近來 圖 ゆう云心事へるるくご至しけのするるを謝家をる人がはをうなして來け 冊 ٩, 师支 54 2 9 早まれ \$ 24 9 本で 面を受かし 家鬼お大コ怒 씲 曲 24 意順で 28 其而 置さして言から の北 名で 1001 下療の 16 0 m) の文書なられるこ 場の 昌 生 古那 大各部 10 山い闘する不五事神であつけのを、 24 東みよ のてあ 重 支代宣 長に 3 吉际 多中地川等 伸 重 **動 及 ひ** 曾 Ó 0 伸 c4 間長近 重 併 27 お幕の 34 \* Ry -1 執 नित P 中で 是你 惠 歌 71 0

# 0 1 9 24 雨支 龍時しアとを深 親コ 取命したのよ 本出 連 24 000 27 調 **針天重等を
彭斌かし**あ Q 早 置者を長 霾 遞航 うこ 目 る所で る。 回 -1 24.5 剩 -1 型料 はるり 函 0 金に金 e4 2 6 更の 劉〇 身をよい難 54 0 21 明 脈察 由お要するコ立の三下剝するつ 年十二月 吉味支丹寺説を雖む、 其 24 面宗教品 全國の精大各コ命コア境動を禁廻し、宣境配 0 Q なこさお魅 2 0 中 瓊 基 量 十 下 事 真最 Ē 馬索し、 Ċ の歩 回 c4 00 + 郷 避 京降コお勃コ大人和忠鞠を監ねし、 麗 過階の完強状態を け言葉 お刺ら とる よ 曽 制 週 帐 れ 宗 強 700000 切に感じた こここ 証 した禁殺の ル 東の命を奉 言有 は極い熱強の心理を配 思多 月を費して 詣 お家 0 114 獲 -1 と登録され 亦命 西宗真 魯 して基二 M ¥ 0 02 54 士 24 惠 Ξ 书 24 tin :4 かって家 禁備の大部 54 54 0 潮 र्ति 6 道 4 到 显和家山 剪 一一 00% ことで 送步 0 Q 秘

02112 はんとするものな 事み干 國 7 11 去な以丁人兄を数 Sik 予宗な 际支 部することの

推

排示し且の

-1

C/H

國強なる輸置を開發をを路燈

10國能

二吉陈支丹宗流

瓣

0 ミンン 曾の宣發福等 お寺部や墓邸の十字架を双去り下級東し、 4 . / 月十一日。中 H h + H +

. 1 行しこととは 湖 詽 具編奉行具谷川法央衛は當街江百コ却ではは、古の制膵コ對もなゆ、一阪も早)新代彭斌を瀏行を 口 0 日(木配日) まプ 五天衛(豆都本行かし) 幻人月十五日(劉灵十六年上月十日) 八月十三 囚を追放すること 2 4 督別( M いい。 都 0 71 野み 極さして 回 船 述ってい 平 少上 凝 0 船 대뷔 雅 K -1 到 獲 鮹 X 回源の THE 猵 シス落日本基替強曳第十六章、千六百十四年の剃コ當和の下謝を江の厳ゥ 4 其代日本の彭斌者の 窓下でことコ宝められた。 云泉衛お十月十一日(大馬八日)宣發稲等コ向へア同月十六二 Ŧ 71 = 二月 献女子とを乗せてでこ そして家親の 鲫 督員ニ十三人、 1. 題を議装して珍 0 はここ ナ 月の末 ゴ お 郷 -W 7 に那移 南いる x T を組らしめたの 耶蘓 W 1 6 4 品 生統 4 4 はして出籍を督却し、 祁 4 -雨で 51 放者幾名と、 學林〇本 2 獲 1 宣 71 CA C 4 P **科しその内書下お具袖数口を狙ること数なる** 神田 鲷 40 题 曾 工 一日 號發師、 > 1 運 船は三四 那 1 4 50 い命い x か 京 路 大 翅 の い出張してたを督弘した。 九月二十 4 叩蘓曾の宣發嗣十三名、 面を置い んとするろ 4 体の末を気められた。 員 1 2 梨 (平八百十四年) 指 刑 X 會 A 其 如变 0 采 TY = するやうこと命じたの 神を輸 師等( 11 11 幸 瓣 . 獲 اد W 7 H 題 宣 發 0 一會 翻 76 亦長調 71 草 の二艘は を感した 事 古近 發 兩 24 E いっ、選手十八 H 0 x 直 4 .. 1: 0 N . 開 [11] 1 X 孟 品 1 4 不少 4 X / 獲 T 加し ¥ (c 宣 1 6 8 [1] 1

H

以以 21 関 山方还南北人所翻州明古の城主 宗門以作の目なる見る部お天 54 剃 田 日 丽や重 4=94 字喜 子り **分見コ新留し**は宣
縁
間
等 家百二 各地二在る宣教 併しなからこくに成場を 田家の 间 来女 内コお高 いしるの命を受けた。 人でなり破婚者であっけけいうよ 北千 5 十八年五月十三日、京路、大观、 誠主内藏脈戦や忠劉恢定(1コ志版品形の誠主) 又の \$ 50 E 24 とないることなる 断を下す人なあるけ 21 コ輪歌す 6 P こさお客村れる例である。 50 國 本に本 24 談話 更らな まれ は別 なら最高に 辦 題 長 目で 0 戦人を崇遊する不智な宗旨を 預 2/ 回 主 do お言者の おしつつ 1 の大名 2 發 24 6 介 H 4 6 M 2 -1 Q V 0 即 發打等占亦各 田 独 6 2 0 间 北等( 禁 証 M 元代数離 副 2 0 > 8 間 獲 0 24 e4 禁 雅

手

画で、各吉味支件等

なるいして街かを減ら

教者の

好,

教徒

数千の

間コ十割行われ、

日までの

-

H

山

を巡詣しけっその首縁は置い張州を強め、

奉行洞の野人等をして大コ不舒を週かしゆけ。

9

日(副割五月九日)

月二

を行るなの行阪お四

阻

宗教行河

(0

明

¥

を行わんと始して

非常の出解

調か

W

0

118

強新等お最後の手段をして特

合土

都

品の

通

・追対なる

海外

5

24

0

c4

川子京(千万)梁山獅夫衛(五百み)なるの吹ら各門の上や其の家瀬るま

十八年の二月頭はら時崩浚して長離コ隆青しけは、

がて

書に

21

集合限らない

一部全國から東へ計宣教間等の

長調は

50

24

SA

懶

M

まで

班

0

中

回

お憲法

4

1

0

H

H

(中百百十)

の検果るなならけので

阿等

<u>.</u> 4

21

i

おおおら

俥

I

0

¥

む減

旦

71

1

長腳

はなりられら脚 11 4 會 1. 4 x 1: 豊な熱宗秘を行ふて **刺鲨斧紅郊間人気で了鈴部コ宗務を行えのは普証するにけれれるよ。てモン** 日 71 東宣称 1000 0 24 K 1 亚亚 器 激怒を 成 6 0 帥 連 級 ン會の宣教 21 圖 -1 江戸 + 04 x 4 部し 44 ful 堆 會 **熱**會の事 1 4 1

は郷 五月廿 に息すべしとの合を **窓コ豆母と照けいきるの十十八人を返除コ割し助わ** のそこ 放る不舒の状ず星 2 宣教嗣を山南もしめけるの。 喜順の子)の教知もるや、その取締の寛製を責 Y コ多り 和三年 CA 71 0 はを命じけれいでも数 6 K 瀕 4 書を納 E -11 (R 6 うこで 言が 等 お 割 然 多 し 下 関 断 し 又打聖劉多稍ら者お骨動所 0 選 日 曾 y 1 + 社を慰園し、 x 背信を責め 4 の場場を發 コ斌逐を入しる命づけ。 対丁 解験 お言途 間等 コ基 4 K 2 4 50 記録を結みて教 6 督 1 14 解颜(妹思の彩。 りるを然めて おしま 言者の徽章を帶るる者、 いるこれい合のも 前その製置に第したが、 重 24 71 4 軍泰忠, TY 省下受労しける身を以下はくる鬼い出 り後みてこと数 月京旦,大林 2 (千六百十十年)十月二一分熟 H を發して大体コ 金コラの二人を死所コ あしけっ 正专三维 集會したもの FI 獭 奉行は一 5t 0 测 翌元 Ċ • が称が 2 c4 うの替代別 長調 21 ユフラ 0 1 24 71 李 咖 国し 6 情でたを間 1 吓 選 悪い宣統 0 24 是犯 0 日 獲 一種で 54 7 24 督 顛 Ŧ

0 24 Ý ~ 更を來しと多分前知力に 哥 星 1 半中 に高船が 長舗志コもけ割元昨三年 平月コポ 20 中二的天重とは打しきものあるを臨めけ エ事がは断つたっ رة 11 E (i . L /: E 得 船コ計新心、 山

T1 7 大林 飛 助を持てよる 7 -1 c4 0 0 织 間 會堂を外ート 4 (九月廿二日) a A 得しその日子こまで行うことの出来ぬもの 新行の船から下つて上極したの下 71 主はその監督を合せられ 0 公前、 曾 乘 加きもの る場場 14 す場。 日 出來をお顧田コ至のア出 艘 混發 〇歲湯電 班二級した云かの二十五 ソトス寺の 用三 山口魏阿守幻命多臘島、寺野、 師二名並に の河コ新するゆ、小 金屬製の 40 % 90 獲 n • Y 温め お木種コ窓らが、平月、大林 县間の吉陈支代帝部を郷塾してその衆具を熟き、 捜各され製 會 اد ا 日コお心や出発せる苦し帰の準備は = **判天重等の監骨を砂の安全の** 41617 21 4 耶藏曾の宣教間 ハサンのフランシ はとコ郊の下福田コ同の丁出發した。 咖啡 放のことは一段素を告げれので、 够 會の宣 倒 出簿したの船は 児歌した。 加瀬 5t 0 一一順發 い脈でして結婚間 共したを割き棄て の宣 4 のかのとな W. 曾 班 に一行は 뭺 L H 0 0 4 W 者コを Q 2 回 :-• 師部 70 A 63 ~ する Ħ 24 क्री 服が香 Ò Y 4 1 おって 彰 器 独 面 科 4 P 7 宣言 ì 哥 41 近大客コ -1 0 < 中 田 (R 71 W H 1 兵衛, > M 命 目 内绵 **一**十 -1 317 2 Ġ -1 0

軍泰忠 亚 Y 强 エフをのみ 彩 Ċ P 料 0 54 到青 # (0 \_ -1 1 お家鬼部かよりを味ってきなっけら云おらくかずあっ 湿 可蒙した 鲻 0 71 24 K 6 P て内地に 4 数死しなるのよ = 4 日 手移り X 4 いる人部に -1 P à 滁 0 X 3 · 9 9 9 9 9 9 9 途中 24 直対を発 M 0 大場地 人園した 排 後見けれらみ 0 2 **外コお日本玉留の宣域帽の**建 再び了 • :4 ひざい縁襲して 24 6 44 P 哥 2 -1 4 THE 步 75 0 ¥ + 派 子 沿 2/6 71 췌 翻 71 0 X

日本が現軍の光調をして弧電からかけるのけるの風傷が再ら行われけので、禁制お大コ響無する刑が 21 Ċ q

間寒 目み贈り 季 更納 表忠お三日三郊の 最中コ縣ノー宗後輝年の参 雨の雨 被は正 **岡地コ及割しける大樂害コ焼きア審コ駅命する刑はあつけのず 長夏又尉斐平方衛門は 観磨し了籍コ凋陋の状別コ焼き致命する刑なも**○けっ 三十年瞬命の 地コ減量しれのするつなが、 食を忘れてとに随聴したさいよこをである。 0 掀 图图 0 の移ぶ 酮 過 ·华

重其 船 **はトア基督後コ階する際川幕前の警知お金羅重をなり、窓コ秀忠をして岐回なる劉邦を眺えをもな** 数かちるかなるかちの一大我心をひるしめけのうこうを思知元昨人年少月十三日コ光いハイロ・た 0 将天 け常期 へで等き砂め人」う身副弘力大体の振り掛いけ の二科天重を帰員平山をを火除コ島し、その数三郎間を隣て決コ鉱ン 資香等気わなる劉國しけ家弑等合指正十正人多火所许り知神罪コᇓしす。 .न X . n 11 へらるく料天動は Y 1 n 本しなら専 4. Y 11 量 を根 0 7

2 解に対し の充して くを盗 等数し野さる何である。然るコ吉味支代を製脂する融合コ別でアンとを實誠しけの却回始であっ いるコー當相の發射等の一般的節向和非常コ親出的コノア宗教の飲めコ録をもくことわ動等の **岐ら監負なる割替の**国親 初コゆらさりしのみならゆ、はつ丁非常の光楽らし丁とを構取しなこちお二十大聖人厳雄の その対資から見てる日本人の **岐
き
勢
語
な
る
所
ぼ
お
ぐ** 497 佣

111

奉行長谷

長高十

おみ 4 いア平日コ人事しな。 0 2 卸 (II) 71 54 世 魚子で、 21 fif 剩 からおこの時大年で午六百二十年と y W 3 X 雨支 重 X 4 1 日本コ繁留サる宣教補を強闖サ 0 되 ¥ h 瀬さ 立 2 6 KEO. 中でい n おのそうつ 1. A E Y 21 5 紙で 6 北潭 . 日本人を奨い丁常瀬を翻しけ人であい 0 山と ことを豚して云おなららない。元昨七年コ至ら窓コとを目白した。出質さらた幻西池 Y 主 24 24 第六分の帝西班天聯督や N 21 に窓と 6 İ **科天惠** V 0 山の軍艦を差向~~しさいるのであつ q 幻英端エリセンス親は臺灣町了計数しけ日本船を更 71 チャン・イキス T. 独 4 2 7 料天斯 獲 · Ox 風いい 級 えれ のなべ人コ奢しなな、その内コ平山でこれ事料を 勘川幕前お大コ警無し下割けり なら日本コ潜入中の 主 0 懸請 41 LE 4 星 24 船中コ帝

諸帝

天 0 その船手はか の野み道 0 粉 信者 2 묄 0 业业 こつとというないの とに V は蜀 H 日本人は、 71 tt 量國國 SIND :4 歌 贈 \_ 居して 邓 x . であるとのことであった 味躍をしるしこ。 54 9 . 熟集 54 n 27 取しない T = × の宣教師 Ċ 4 所亦 12 南の人國は解えるので、 動うあ ~ 11 A It 24 业 24 中さならな証 E 来コン くる不認の書面を送っ 40 針天 別製しけニ人 Ċ -M . 船 中下市 よこ命して 呂ユル L 讕 自 0 1 日 418 1 日本人數來の窓 トチ ã 獲 行~船下 本分級打 利支 不不不不不 7 見の 7 Ė 1-1 x 早 1 國 4 後も言教 7 -1 (A 2 + 44 Y 士 炒 H 哪 PH 士は當制 c4 71 24 4 斎蔭天人 8 I -1 -1 子で 4 0 78 3 4 Q 其 70 0 H 细 買 71 與 森

かにお出降に対し、平月に出張して知問として、泉州県の常則さいる各の船で、

長お年を悉えて金劉昌コ焦いけ。 圏代貿易の劉昌お鄭川幕帝の固まら喜え而であらけわがきるとコ将 主 一一一一一一一一 回を禁じ 靈 沙岭 雨の人 q 24 こるがつ に撮い官様 浦 0 6 選 かの戦害を認めた 宣真を加山せんな 極はてい 0 2 然とを禁止し、 二1 類 移替 半 闸 郷ユり 24454 更に(中三十月六十) 麻 75

ふこうね質網 年(千六百十六年)關 立 0 园 -1 同六年 二1 潮 베 SO M 可能なことが क्मा 残るコ整元府三年コおりまして常期再科はあり、 吓 孤 431 心理を認め、正 京 國を紹響 底刻故息な手段の宣發硝の人園を初出するころの不 越術、 Y 成~江戸、 0 朝 は問題するの 獲 具 統前の 干 貿易が指す以 AF 頭か 昌昌 洞江 過附商人6 0 貿易を平月を長端をの二十 申 を減むして貿易を營むことを禁じけっ 園の商人コ自 表忠幻光で こしの母 -fuf 5 文 吉麻 0 4年 24 ġ 0 0 塘 14 P 英兩國商館 2 4 쾖 -4 不可 山。 24

関 昌 1 阿 4 ならず、高温 らり 語 瀨 源 曾 71 加 -1 哪 14 2 西、蘭の三國妇をなっなは、其の内斎藤下はら來る 71 0 題 0 **連**, P 盟 X 合 英國 料 1 5000 **亚美大** 1. 釺 0 平百 21 **後間等 1 公 場 : 窓 を で こ 2 を 動 ら け け い き き 。 西 班 天 か ら 來 5 嬢 削 明 よ ト** q -1 7 骨で 目的を室する窓め 十一月十三月(千六百二十四年一月三日) 九年七月岁 より大割り且い []¥ 70 間の意う語の、其の :4 X 南誠しお網 解せるるく三州器軍家 衆國コ鉱商する週階人知識 事の 然るに同年 当 最豐 終阿上行み際 の宣教を 上げる劇番 ることと形がした。 魯 ナンノンチ 县 砂樓 x 4 HH 魯 00 二英 4 常 K 16 預 銀して去た 自 が一般を 得る日々 < 1 草の 4 e4 24 111

からであったの むらコお尚打掛け場れずるつけので幕初わ其教母やら問題の成を非常なら苦鄙を與える普責の大当を > 及所は強お等を脅劾してその信仰を棄てし ~ 苦爺コ勘へやして薬蜂をるの日を野ちるコ至らしむるの大対をさり、死肝の吹きお幼 けぼりず、軍なる死所は救発に怪してお激情の目的を塞することは出來なかのけ 去りななら其砂の際飆コもれな他向なる大芸を用のアも 0 なついないい 21

上本 刑 なる大利を以下禁發を爛行しけんと丁宣朝者の祖を解けちる以上打禁發の目的を塞するこ 早 24 4 54 ることの不可能なることは再覧の上コ鑑糊なてられな。果れ裏前は耐た體園の大後を取るコ至の 24 取締を撮にしても、とを総對 られ始了宣奏祖の人國多初山かんは飲め了幕初わゆるのる手段を結れ 回 114 園の商人コ自由の郵商を指し置り即でコ独了お 24 0 P 2 54 [tt] 排 114 [H Ċ 出了的 量 押し 业 21 际支出

## 第十五章 腦 國

商館を 11 衆國の隆代貿 昌昌 歩國の 南端を 市早 トは ら過 コ新 根 54 會加 间 平司 コ 端付、同十八年(年六百十三年)コ 紅 英吉 味東 印 敦 會 姉 き 亦 簡 消 を 平 日 コ 端 付 け の う **际蘭東** 年(千六百六年)コお 早~ゆら衆國コ薮來し、 靈長十四 54 くもつけこさは現鉱の動りであつけ 不及心支派の商船は 班 豆 情當不 が罪し

Y

湖南

湖

闽

の貿長お臭鍋を平司をコ別られて割けれれきる。臭袖の冷蔭天人お自由コ間内コニ

太丁 の急慢を重責しな。 家武却大コ路で重坂 然るコラの結果をして耶瀬曾の日本支幣員てたンジ 24 の智をことを替い 50 出した る。酒 續 や的に熱 54 のなくなられ の上大 囫 いい。 福 の強むを禁型サしめた。 驗 0 は百大とを刺糖 瑜師 外國宣 エフ 重西

2

るいかいこ

T

4

.. · =

x

通過 41 龆 書館を思るくるのお智術強力轉完して、寛永六年のよ月十五日コ至ってお具 斜 间 新しられお表面のことで、内心言Mを別特をとものお 實永三年九裡所內定 ( 2 田 0 の軍を發 24 器賞の対を以了後封を敵撃することなど、は はまっ 新コ第次 50 あらのる治責を與へて強 24 これに 潮 51 囲 打芸組なることは いないとことは **韓丁竹内来女五多以丁とコ外へ** に至った。 脚を極い おの心制を活線することや、 飲の養活的 は金 コ鶴対する 主 コ独わる基督 0 お恋~呼い動し、 墾 發 禁 悉~群次 1 御奉 示い かい がい がい がい 146 0 71 76 21 獲 月 2/4 6 独 # c (4 工行子 老計 獲 0 24 慵

のう、前コを述べける城へ、寛永元 2 ·7 0 獲 看海根 この変態を帰期もるの £1 尋 霏 24 福園して utt 制型を加 北立下 9 遞航 **城と日本人を校園で発育して宣発福**コニ 14 日本人の新 徳川幕市お向お一 24 てあり 衛陰下の二國知コ駅の丁延商を指し、 囫 Y 再ご當らしむることは母や強いなって水けので、 果 宣傳了 思るく所は の人園お尚お山まず 幕市當州者の最よ 所蘭、 宣教師( 4 71 要を願いたの 訊 來幕 扫 احد ريا A 哥



觐 9 754 日本 60 2 4 = ユル ۷ -1 魏地ける熱帯でお宣縁補の日本人國は賢長土の劉書けらんことを恐 園は重 宣嫁酮の人 0 新商を禁するの必要を**減**りけ けるのに アはとを怠っ 三 と 単地 0 囫 K 班 加 は洗い 西不 かられ 州 川幕川 41 24 外 そこで徳 東新貿易局の Ċ 继 加 かを

通商 歌す SIK 本人 1 しな形 .7 るの不同 T 0 班子は 14 6 6 拟的 H 额 事 . 6 塬 A 0 /. Y 渡ることを禁じ 揧 -1 細 味を決 后令首为 鱼 地方なるを問はず一 6 不商 **サノめ、且い日本の各班コゴミ西班米人コ命を**割 Ŧ の金 旧 一行おる響に 怪しても自令一 第軍家法およず間を、当相京都コ
部3中の
の
第3中の
5日本
7日本
/ 班 水戸年勤璽を強し長間を踏了上部 の意を察して布養の気あい貿易の 配こして適 るをなるとなるを強を極る 日本人工 0 -1 制コ吉际支長ける日本人コ隆ノアお同けの ヘア山まさるを以了自今重商を禁する旨を再へて結園もしあた。 日本人 19 こ向はしる -0 明 ユフセ 模 日本 軍 0 51 · .7 冊 50 かを携へて 西部 验實。 (2 60 半。 77 6 6 も日本 a Y :4 國調 Y 6 鯛 24 不王子 替を踏て 悉~ 所で ねとコ貿易を禁じ命じて観閲 129~1年1日には1日の日に 千金の 班 督 10 總 頭 ラを重問をして敷 44 (千六百二十三年) 下二万 せんと欲し、 悶 施することを開禁して 獲 本に本 大局 変焼することを禁じた。 Ė 妻妾と奴隷をを 4 可なるを見て -特 辦 4 2 Ry 4 4 1 幕市 车 • 76 묘 0 1 前み 4 别 田业 34 極 70 置 4 利 8 1. 0 11

10

爾內 急に國老に命じて 水二年(中六百二十五年)コわ島原半島の聞主外倉重城は秋軍家米の旨を受け、

皋 3 \$ 围 1 刊刊 16 뺾 17 ~ 6 晋 \_ 9 洲 34 M 6 掌 T 願 1 -1 + **通着した**。 南を南 筑後 146 運 ~ 34 少玉 x 悉~ 7 I 中 -1 # 매 ill £1 71 商禁 員 刑 触物を齎らして長 Y 寬永十十年年日十十十日 器 漠 通に 11 (2) 8 北北 W. 71 衛蔭下人 6 船 驚き 3/2 71 额 1 田島の は大い 多一多 进 死する コ独 當下 夏衛 ユフ 斎蔭天人等 11 かけ斎藩下船は 71 0 觐 の各票家を動簡さし、とコナナ人の勤客をい 部に 步 再び ¥ を長崎 + コ数するや、 寬永 早 ·\$~> 一行を東 4 ユフセ 中 删 動みな 雅 H 24 動簡 報 Y 21 fil Q 0 讯 7 TI のこっけしょうぬ 71 掌 ft 54 貿易熱。 H 智 87 11 2 步 17 旨を宣言中 H + 印 71 R XC 四八 c4 買 H 71 6

後禁 212 19 圓 飓 2 0 日田 器 獲 票 75 胀 闘してお幾多の忠徳を曲で、 北圖 नां 8 讯 4 河 21 置 0 54 -1 贈 54 樣 吐 0 6 影 3 論る 小頭を配慮を 2 :4 1 24 阿 2 CA 5.9191 風商を禁するを可とすべしとの議 Y CA 6 9.91 はとを着すことにな 0 果 動 21 CX 三级 CX 4 0 禁 いた。 7 禁制 極 TF 商を職 平 禁 人國人 独 -1 7 W. # 新 して盆港督 孤高 を報 のを開業 宣發酮の 04 所属の 4 更 T 2 R 4 9 0 園にあらちるのみならか 0 2 刑 2 c4 do 120St 8 面 豐 24 नी Q 6 71 5 c4 至 2 磯 洲 麻 囫 **\** Q Q 9 裕 短明を明 經 早 F 1 坐 71 某 -1 関で X 腳 4 21 24 (0) たとか CY X 4 船 恭 阐 ]. ful X. 等し~吉味支 發王 はま (多 6 71 7 V A -1 まる 1 K X 24 71 魯 甜 屬 图 印 6 阿 0 (1) 和關 層 辨 0 目 4 ンド 冒 剧 X 2 0 H 1 भ 0

平百時蘭船の鉄砲を予野ア 二回目の上連公平計解が近國奮到コ命ジア十滑海の兵を副賊下コ東の、 27 派 H けることとをなるころとない 0 玉 -1 未 H 事 Ŧ 4-XL 寬

The

哥 寬 76 录 + 對 76 主 54 2 1 71 み、緑 6 世 事 0 刊 Y 0 1 0 21 掌 7 2 調 V 7:1 国 K 部 金 III 重 图 146 2 星 00 年八千六百三十 間 0 V 34 東 14 R 7 247 0 曾 7 \* 師 早 21 H H -1 獲 ģ 倒 鰛 5t 合い。 亦意 溜水 刚 717 # 4 しなるとこの 0 血見る + 消 即な後 出入 劉 种 21 N/C de g はして そこで寛 想 THE 14 醇 2 曾 3/K 5/t 福 7 14 STATE -1 影 趣 54 TH 吊 電 V 0 11 -0 間に 和是 開 21 船 \* 0 船 6 凹 继 園か 9 4 60 3 Y 米 0 图 不商 6 囫 2 -1 -1 单 福 訓 硱 一个军 9 CE R 比 神 [H 串 0 水 溪 4 圖 田 山 21 水中 総響 事 鼎 0 0 2 6 9 000 P 田】 -1 24 20 9 お寛永十二年か 71 1 16 U 「ハア人事ノオカのカゴナ」間が別へ下帯おが指ノオ) 日 图 卫 苅 4以 を許る 上もること 0 ゴッ 塘 24 2 豐瓜 工藝 21 關系を結 商 長論。 W. 71 W. 証 44 4 -1 0 ~ 十六年) ごして 2 是 g 阿 0 9 21 掣 命 鲻 继 0 tr TIE H 最み u 溉 具 前太 (千六百 11 5 別の 器 0 独 2 V 菰 4 町 县 事 7 21 别 1 Y 1 雅 Ξ SIÉ 常 0 + 14 H (2 永十十 -1 Y 武 # Y 趣 7 調 Ŧ H H 쁾 2

M -1 狱 0 0 網 14 24 红 腿 6 76 留 4 + 爲 :4 九百六二 2 0 9 2 9 = 否 番 器 -1 8 0 i 11 1 题 交配を禁むら 禁 らり 留 買 品 -1 曲 Y 米 71 3 9 à c4 3 V 4 最高。 1 11 q 24 0 Q 0 24 7 21 ことと ucc 縣 射 0 て著しく 主 CA はま 994 V. FI 6 不商 W. \$ 16 學 湯み à 圖 T 0 果 [14 峒 1 0 哥 3 ユノ 围 態 -1 uch e4 冒 骨

21 e4 刑 ~ 掌 8 到 24 34 2/ 郷 中 验 41 目お気めに 体 餐 54 0. 图 7 0 • 徘 < CF 重 獲 24 督 왦 平 杂 丰 2 -1 0000 ()東 草 X 掌 原以 郷し帰 21 冒 (2 à > 瓣 指軸部を極 1914 -1 は端 1 0 -1 插 H ----打打 10 中(当 ) 六百三十十二百六 2 見〉 亚 点形の 2 土 醫 北 51 #4 50 Ċ Ħ + おなのかのかられる XC 0 富 運 10 显 247 (A) 14

现命守 郊 佛教 岛 玉川 42 刊 的 もさみ 印 器 华 が対 H 囫 かって佛教の 選長三年コ市代除出コ智真寺フを奪士宗の寺部を順立し、置臀お同水争コ市内コ五競寺フを真宗の 51 いるつら思い田 ・事子四上つる 三事 41 至 71 0 (千六百廿六年) (R 側 -1 哥 孫 U 緊場告(資宗)。 74 教禁 掌 樓 71 然るコ幕形は遡長十十 更 -1 X 租 14 国 鼎 歌立多選闡欽旭しけの了。 邁負十八年(午六百十四年)コ 知見細市内コ大音告(彰上宗)大 \$124 轉宗 陸知見御コ独丁基督 -1 拟 0 北等を 万子 立 種の 54 -1 中 MO 24 1000年,北京 玉二 0 そこで寛永二 出見をして制強 の上帝の魅力を見るに至っ ゆうア天下の汗煙はこくコー 帝(夏宗)O二字は胤立かられ、元昨中コ至〇丁却却泉寺、二寶寺、以上寄上宗〉、 却の宣婚間及の重びる珍 21 関すべき計算を以てその轉宗を追つ 十一月 (0) 部臺告 b 市 北 森 宇 フ る 宇 湖 ア 風 16 努力を以下官事に 整十八年(千六百十三年) お常い当けが剣を淘りた。 5t 所は勉麗なる大法を用のアンとを禁患するこもらされお、 0 Ċ 半才亦是詢 しくいかなか 本在 0 黄粱宗) 验命 ¥ 長論の吉味支代寺部多類襲むしあれる 0 H 1 11 4 赤蜂むシでしても思わ 引各刑コ幣沿し、 福寺 副奉行の発 0 4 審 整十九年 輝 興 数禁師の合き 質の るア大コ焼新を効撃し、 则 本董寺(日藍宗)。 はいきこ十回よりるいは 引 制 子 大市者を發表し、 -1 2 制 基督 微弱 前等ない 排 一〇發制 回 2 % 20 育 水帯(全土) 一个 F) 制 1 回 了酸る鑑了 方法を用 71 -1 制 74 47 14 1 -1 悉~ 川漂 课 發禁 つ平 發 倭 潮 CIL 0 2 0 ご基督が 寺院の古 T 0 :4 順 發 命ごして 光い XC 高言 場別 72 記を 锄 8

書は 水死の最高を以て長崎 派 の市後を開社せんとするものは隣と願われて来れる骨の直替お交縁三年(平正百八十四年)の単れる、骨の一 並 響お劉昊元年(子五百九十六年)の軍から同じ~县前に水へて帯域の再興に触めけを解せらるくない かき 育熟 であっけから

長部の肺垢制閣お永郷十二年(チェ首六十六年)の夏日コ郷軍かられ、その沙兄を本間都當成より皆基替 逢コ観功して、異雄卦の卦割お蹄僕コ精されなぜでさわがらへもでけことお親鉱の配りである。ちれお 天五十五年年五年二十十五年の集替養禁聞教习録でも、勘検を紹の岐ら知尚別人しとうの刊漫さい騙むら 21 Ċ c4 21 W ことは出

The work

#### 興 制強の重 第十六章

六月十 帝帝天王幻動を置ねして落園の西班天園より鄙立しけることを出わ、貿長の財書を読む 部年の宣言を賛けすることコ 宏心し、六月十四日城を水知路を神 整日動領一行を応見し、 滞農 不人 な 幕 命 コ 背 を ア 天 主 鎌 な 宣 割 し ける こ 10 其後五界 東帰お熱薬へる旨を宣告し、 大日泊宣告を捧行して城帰員十三人を日本帰い家サア対影し、日本の賀州を專へしめけ。 なって 葡萄不 貿易 おこく コ 発高を 書が だっ 前年の解告コ数し、勃動以下六十一人を返除コ쾳」、 けわれるも葉前おとを語さばんこけっ 管天動間酬慙承○ 蔣コ對するや、 幕命を受けて長袖コ來り、 年(一大四十年)



亭 搬 全 迴

ヨコ王 뺾 ナードナイ 2 21 こ記し 事 凹 肝の苦を死ること船おどらものお骨軽強 2 0 21 極酷を極 その大抵お東コ 24 支丹なきコ至い 鸓 7 所二 は悉う []坐 早の し長い 了一丁 () or 2 of いこ 54 丽 頭 内宋之五 -1 71 2 Ý

ら、黒 は常 個 傾 뮒 天 る。目等の 三兴迴量 0 是不 1: 領土宗三ヶ寺、 -1 4 煙 化宗一4 4 SA -1 大コれる制強の再興コ用の丁各完告部の順 到 Q 观 0 7 徙 4 聞コお闘熱宗二かき、真言宗三か告、天臺宗二か寺、 創立 發 强 A 膏 攤 なっして再心市 **真宗三ヶ寺、黄檗宗二ヶ寺、臨濟宗一ヶ寺、日蕙宗一ヶ寺舎** W 日 **發売院の** ユン 六十八二 調 华 間 動き職 4 \* Ŧ1 事 50 28 远 寛永の二十 + 5 0 回 寺とも 各をコ宗旨人限 臺 移 -1 (0 上流行等コ至らまで、一かんを構数熱察せしめけ 間のでまる至に保正らか 見をして悉~制 骨品でして後顧 4回十回 果まり佛教寺部の順立からるくものまっ、 1 多一个 なって Y 禁題するを同報コー 0 · ~ 思なるとは思 保髓 囫 至 與 る。個 かって遡到 同宗たるかを 41 湖 新 みは | | | | | るない 40 二十二十二 27 五器の まるこ 0 み後 招 のそこ~ 立を見る FE 真言宗九ヶ寺、 鼎 に無 魯 特費 いる。 番 X 順 71 涨 謝力を與 71 排 いないないというという T 豐瓜 74 0 凝 矾 145 揪 间 幸 掌 耳 71 器 0 4 (0 111 表面 31 뗾 + 圖 費 华 コ宗旨な臨り - 単一ト告. 子 建設 导 4 4 > 业 21 0 0 114 合二十 4 24 (0 7 华 明記 (R 米 4 少 湖 IE 里

0

CA

न देश देश

に強なりを云は

狮

800

2

みに 識別に 林緒島等 二(高 珂 となして悲 y 二十五百五十二 + 千五百七十年(元龍元年)マニラを占領し 21 孫 E 門等 71 よ十二年(問題元年)コ米大園多類見し、午正百二十一年(大水元年)コおえきい 瀬七年) 四百九十八年二東羊師治を發見し丁以來劉二大聯綱を派置し下頭上以心商聯の四 x 果 ハエ 季 圓 年(天文二十二年)の取コお永人コ談都多動用するの辦多野了越東貿易の策縣此多山臨コ家の 2 半 、つ場を王年二の屋下に属王 **袁**了解逝, X 4 A 6 四十三年(天文十二年)コ幻珠日本を發見して、公と顧商の賞を開き、 さま 16 h 4 千五百六十四 6 Y 6 王 2 の諸島と交長を譲り、午正百十六年(永五十三年)コお遺東コ蜜し、 毒で 西班牙 **解替初ず置き** 雑島を占領して布験すべしを命じたので、 ユフニ H 1 耐ら軍刻のよう疎で了土人が刻服し、 -C コ東判貿易の基勤を與へな。 印度 光ご てき占領して東 骨の命を奉じてとを近し 正十年)コお江 島を發見して同國 <u>۸</u> 總 一个多 派 60 21 h 少 見生 見回 .ন 替教を奉かしめ、 Y 上上 x 斎蔭不人お子 6 計 于 4 -1 Ŧ 班 排 1 館を設け、 晉 州 K 督 + 1 班 .7 图》 中 2 一瀬み 6 .K. E 頭 6 16 班 1: 6

#### 

-

## 第二期 割蘭貿易制外



6

į

6

園と解するゆい

此际

F.

/

4

11

4

1

\*

54

Y

圍

14

聯合

1

~

4

瞬頭した。

0

P

2

0

à

7

4

11

--

1

年)永

4

Œ

年(天)

¥

のこととはあり

CA

粉合

+

71

一回 孫 9 0 21 21 业 54 9 西岸ならコ流行して、 彰 少 多 24 野な無 4 0 0 h とを成何とももることは出来なか 大の下のアスツ Y 明 51 2 24 \* 6 2 Ċ H 29 41 大コ新土コ継派することを斟るコ至 翀 A 關する五 R 111 乘 0 重 n 1 4 國 4 船 11 K 6 THE -1 五十六年) 葡萄 東洋 九十二年(交添元年)コ至り、西班米王の琉璃長ひら奥班學者、 6 1 8 本 なっちも続いて の諸郷 録で多つ 西兩個人の手コ掛られ、 于正百八十八年(天 爾來霧西亞 いいのみ解 ホーラン 刻を全滅し、その新上郡を奪って以來、 詽 71 シマ x **吓蘭人第** 1.60% K 54 11 24 Ĺ M離れ対然をして谱、 Cop 24 x 4 28 7 1. V < 1 是 4: 生業を奪 0 插石 y Hi 半 雑のさ RY 1-0 7 4 事 爱工 业 8 0 2 少少 開 洋航 过 圖 み回 洲 > 亚十 eq 瀰 1/ + 運 東

出み 鑑響 班 **剥覧する** 3 十五百六十七 0 人お踊らず西 P 東 ¥ 0 主業をして大なる味益を占めてくるでなな。平正百五十五年(原治元年)コ至りておい コを大の味益を享許しい 24 H が等 お 対然 ラして うの 仲買業を 離離すること は 輸金品 者を以て自知せる西班天王とトリホニ世はネーデハテンドコ香調するころコなっ 人の生命 -1 兩大面から非常な劉武を受ったことくなり 中部 いいといいし ŀ. 北帝汉7 1 4 N £ そりまれる 任るまり ないコ至りア東ギの貨砂を買入れため海附の 間接 貿易によって -1 0 24 0 /-半 x 年)コお窓コとコ勘へやして回瀬を翻すコ至 6 東洋 衛路天國王法 0 阿 且つない旨仰の自由をも指したので、 娳 人幻斑嫌の なるいい ナント 41 x N 天を干失を交へつくあっ 明さ対等の帰的おり イハムイ ラードる 法? -報 しよう これなるこ 年(永添十 出 XX う一種 採 0 發 死 # 21 盂 翢

軍 に憲 そして東洋 I 的 4 物をを致地したるのみなるを、乗勝員をも死所 0 郜 栅 はといういは別型界貿易の中心として出 0 國 21 哪 且つ綴い いきに至い 21 ななら古兩國的極九東對人の確認を順し、 出有るもの 0 04 21 派 こお一部を江を楽むることは出 國的東半貿易を膨出して富距地コニ スキンコ人均しかのア 船舶と貨 其 71 称さて、 U 子 阿人を超さる東判貿易 とを配するのあ 24 船かお皆じ 兩 0 問富を極め 班子 こえキジュのア 頭 0 K ここう 預 1000 って葡萄 派 る 湯み g 9 雠 趣 響 1 SA 洲 年宝 24 e CL + 其

X

垂

の警下に置き

班不縣替

いい結島を除両

6

6

Y

長いない西班子王却と

21

てたる全島の首称を気め

むることに気が

74

官船を往来

-1

阊

雑島との

<u>۸</u>,٦

6

6

=

11

.4

4

が出からはくなくないよこ母の前田であり、貿易上からに ゆめてその味蘭人け 回さながお味蘭人お崩コを重べける吹り、完強土もも が等 お家親 引向 ○ 丁 咕蘭人 お 新 別 多 業 っ も る も の コ し 丁 1 師をから 兵しア五當の商業を属するのコあるやる懸言し、返コとを残して致患を剝れるれお助日や本 味蘭人來膏 ○ 蜂割らゆ 21 る及かるるの対あるんを掘しかれい独言してい 人の大嫡子あいけいらうある。 ゆるから歌し、大コ排引引怒の 皇二階する反並者であり、 な出来な。 知ること 馬老 お帯陰天商 ~ ない。 思 N X

1

:

船 剩 去しなはら課鳥劇コ人は対職夫るとな跡をとる幻人都の自然である。深想知陣のしか商路下人等の 英四國間の關系を映む、 帯欝天人等の云を初の一穌の鷓れい 然るコ阿幸なるはれの暴動はリーンで親を遅る丁添りるの置酬を奪い去つけので、家親お野りなを鞠 み、金元萬雨を除し丁更コガロコ甌浦かしめけ。とは關れ朝の野を目の前コ昨へけ舒勝一選の韶であ 且つりしてきるを限い動師かしあたっ 家親ね 光で其真財を報らかる缩し、一人の外表各分大政コ派監をかしるの命令をリーとで なるとお野コ當し丁家東コ大政コ監ノけの 08 4 2 いけさいなことを含える語, 吾人幻家親の窓宏大割コ婚別からを野的の 命じててなるスを憂断せしめ、 致後母英人でトリケム・ア 闖 远 スをに見して袖お衛 風ぎちらいきを習ったので 同船の 議言を信かず、 に博へしめた。 7 4 - 13 - 27 · 9

THE PEN

公园 は英 晶 お百十 6 Ħ 人了由 TF < 76 出了 H 十二に軍 24 + 一多 H 十八 妙を 器 独 0 hd Q 0 2 0 本 月、新 1 生存者は 210日 十六日(千六百 H 鲷 からにいい 一〇網 阿 75 東洋二 \* 图 實際生はし、 割こお いとこっている 氰 .6 54 业 潮 6 尖し、整 通常の計画 ₩ 北 靈聂正年三月 4 器と 4 11 斌 4 24 間もなっ死亡して 財 0 災難コ登る下汲むし、豊教 4 7 6 噸 7 6 6 4 0 劉 l 本船的計量百五十二 翻 • \$ 1 ¥ 0 a はその語 金で 暴風 -1 = 闡 e4 船長をや 限さ数の育ななる三面の金 會加 71 金中一 會合することは出來けるの -0 616 ٩. 級 其 54 7 なるるの内大人は上劉 24 K 到着することを得たっ 10 東ギコ向い 11 あこの糖し 0 4 P 2/ 6 船の 郵 a 金中一 園長三年)コ 和關 流域を躍し U 000 27 () W 0 地に 暴風 Щ E 物 言に書 24 10 山地 出發後 會 つ単み / 24 6.2 宝集 十八 趣 \* 0 0 4 雞 彩 自 H h cch 76 2 H Y 縁は 網 21 504 **보** 型 0 凹 高 3 4 16 2 乘 國人 题 11 0 1 部 继 24 酥 -1 0

7 得て X 蠳 28 7 24 ġ 面 なること 1 事蕊 3/2 コ減量かられ 殿立か 爾 所となり 旧製貿易會加多端立し、 丟 コ大小の貿易會加は -1 觐 即 の記むる 某 東 北北海 級 71 是那 湖 <4 ムの商人等却干正百八十四年(文称三年)コ東 捌 所蘭ので TIF 開始せんを結れた。 〇歲 4 11 0 21 6 50 11 6 21 £ -1 派遣しア東

著員最

を 6 国したの 111 27.2 4 6 ふて輪回 6 N 派遣 -脚を失、 -1 7 東料 4 X 1 11 抹 R 11 4 1 Ĺ 東 潮 6 2 重 别 x a 彩 7 瀬 7 船 1 0 7 財競 8 # 4 50 る数 事 nl Ī 뷺

鎌

日 # 各班コ既もなる東印製貿易會加を納合しア午六百二年(遡長十年)三月 コ独丁お 囫 關本 畔 4

24

こない

좵 商 16 3 出 -1 / 1166 K 雅 特 1 = (太兆) 4 0 研 11 4 K 至 韓丁 黒 本半島の東 割なるい 園長八年)コおシ 半を対形の刑首を裁し、 ゆって千六百三年( 4 株の 出張所を設け 54 02 東省貿易を替びころコない 54 郷 ( 網 事するころコな -1 記を記 4 會 4 要 4 即 4 東 71 级二 4 -1 本 =1 1 皆爲 4 26 照し 11 0 3 -東洋 41 温み 1 館を置き、 \* 2 中 41 M 魁 を受 思 图

2 し家親 1 鐵 阊 0 をニコ 別留 助を 端付 ア 日本人を 賢易し つくあるこちを 4 # 6 4 54 11 g 4 0 聖みマニソル 21 6 4 0 Q . . 2 事 = 是十二 4 船長 國を指を 靈 に意を独して 書に 福 21 ユつ贈 i 面コ精を -1 彩 測 5 坐4 0 \$1 Z-Q 運 24 . 韓を愛してとを指さなかつ 2 お味蘭人等な -1 0 然らコ意利 C 94 4 0000 x のひとろうな 7 26 14 1 . 4 14 捐 7 韓 0 76 4 6 制 x 0 Y 0 7 囫 紹 4 響 4 清 -1 1

\$1 學是 世 (2 得るこさお光して 1 71 部 继 観歌し 顺網 歌 -14 0 2 切りを発 歌もの 場を 1 同を得けるいよことを問 る湯 觐 とせいて に層 れて以来、 剩 挑 4、韓國の 得し當部 İ 筆は 貫 Œ 江順 + 6 のはい 4 銀 **刻分配験計り 企業を買いる大体** 指 11 41 R 4 0 阿姆 [H 6 来印状を受 清 4 船長江 0 94 囫 語しても 24 () 籍 料園敷浦の 0 識によっ P ティーのこう 0240 四月西沙 搏 0 ÜH 平百百 器 x 事 0 玉 7 + K 囫 果に 24 题是 兩 1 71 垭 0 54 e4 4 衛 からかと関し、 24 21 6 8 Ċ 71 4 24 業で P 11 瀰 5 4 0 0 6 關人 经验 つ露 ~

6

米を 阊 **味蘭本園 ≥ ○ 交配 酸繁** けったって立しり江日野コ部五しつくある間コ、家現から與へられけ河の金子を致らむり動 乗勝員中コ不平着を主じ、最早一致しアリート、守器を以下東印刻コ歐滩するの望る跡 陲 工和 あらのる手段を盛して京清美願したけれても許 6 類家親の橋門 且年か十一、一子ユカットコ財富する年奉を結與することこした。そして各自の希望コ五 日お編業を野野で50自由を與へけのア、**毎**ね五月3階で、**毎**ね見袖平日等31行き、大断な50 前新县少 17 こ野事をちものもあれる、商業を營むるのもあっけは、帰長でサニア・カアガルドと **ェースモンの三人約家親の驚断を受け了万月コ幣却し、** 6 まに 船具カワケハヤッかは終コー行を網婚するの日を影ちるコ至った。 光ンリースで親は到熱を此へ、 辺地下に向いて解謎の将而を得んは飲め!· てなる大学お配商貿易の将阿多割るよりも • ス、前部上す 丁田 7 Ċ 24 いたので ì 由 =4 給し、 30 13 2001

The state of

事お面コよ 東の計解お金町~、近日日本舗コ脚字を親わり、時限三部席遊見林で二百五十万の成けを聞するこち に同じて 5 (O) 24 (R) 當 北の年 16 割コお気は幾何舉を据き、 壊野を猜じ、 場悪いる家親の 味識を智養するこちに辞 à x 7 ムスお家親の命を奉りアル八十聊の西料学内部を銀査しけのア 果なられ 財営をを廃ご針率からか、大コ家親コ贈出からかな。 K 1 とい聞いと 60 調見の ÷ ;≟

溪

亚 簫 .0 部治中( 7 -1 一一四年 17 000 /: 手手 I ンをンコ向け了静衛中コ出命コ第したので、直コショホール部との二端に合うて日本の向はしめた。 九輝園を歌張す 6 1 本 6 76 11 子 Z 6 計千 • はるけ 7 昌 1 合長 11 東ギコ外 Y 同同 4 長官 24 南 解はいれた 口 7 艦隊 はなからいるの命を塞 其 東 しける味蘭東印到會加知外輝剝除の 霊 那 -1 某 器み 東 2 11 1. 東洋奮國の春主を配商削除を以をあるます一人ではなるといいれる () 智 部 1 117 6 游 6 11 32 4 6 是 1:50 2 H M 1 4 主 1 掛 回 4 1 E • 情報 @ -1 H a

H 0 0 24 亚 N 魯 -1 2 Ŧ 行る~ 曰 本 立 17/1 <4 + 船 闇 靈長 臘 る。 吐 昌 024 東半島の、4二つ書都して商品を訴込み! -1 1 0 雞 出 水光案内を影了明郊平日都 0 2 6 耳 1 掛 -1 饭意 自由 彩 ・「と 隆する外前 單位 -1 4 口 24 發 雅 2 -1 0 0 船長等一 P 御 11 35 音 4 E H clf 43 0 月 21 -1 里 7 4 V まる 71 事 6 大〇七 部 兩 际 71

R 9 ユつ發み x みる 4 刑 6 類 削 日 ~ ユつ 立 \* x 1 71 を案内 黄 4 風商計 60 4 Y 4 じ蘭人 半。 GE. 答書を 7 . x 家田二命 6 館を置うころに来 0 二 とを呈して家様 = 2 A T 4 1 0 4 11 1. 示さる変 平可い商 倾扣 と調 ÷ 論奉 1 諸果、 辈 1 涨 爭 6 0 育議の 晉 王 2 掃 囫 量み 0 つ贈に 部 H 派 网 臘 .创. 7 0 測 24 0 高青 部 @ 深 闖 0 -1 FI H -1 21 X 輔 7 日 71 2 thi 立 9 马 即 [tt H 指 Ŧ 米 -1 王 1 子 -1 + 0 秋 图 刑 調 A 運

70 54 6 P 2 14 Te 71 隀 重 排示 贏人 0 Y. 班 回 \* 排示整種を結らなっ お蘭人 Y 國 网 如 る衛

瓣 -1 [H 54 = 0 翻 指 前 21 • 4 .. 凹 題 學 こが背に 07 2 頭 0 能 2 0 54 お大い分配刃の社意多風橋 y R 刑 21 辦 月空東半 0 24 7 本を大 剿 0 辨 賞 02 間 9 Ry 8 ech 留 H らまへの識 9 剩 -1 胃 并 溪 0 本を 2 近 -1 授~8 4 W 刹 H 11 11 1 l いいあられ -1 4 7 4 K 60 阊 6 4 + 4 1 g q るを記さる 1: 11 1 4 54 品 4 < 潮 戮 6 6 . 54 珊 U 4 11 AC. る雨調の 豚が 殺さ 回風 1 添品を加みたり 煄 E 7 身 1 4. 都是 Q X 1 11 0 コーやら 李 留 E 温 15 妆 本質 11 0 貚 0 4 6 0 事 玉二 0 1 H 1 2 合して Y + E 深川 6 靈哥 贈し 淵 6 4 . 24 K -2 ユフ 葡萄 41 奥にムし 素志を果 24 . 登 6 乘 1 -1 Ox Cly 動 a 4 2 江江 1 6 4 6 0 船 4 U 2 4 2 米 11 身 2 2 11 -1 預 4 印 F 4 9 0 圣 米 6 6 昌 -1 丢 0 Q 2 4

## 第二章 平司の陈蘭賢島

逐す 0 哥 24 别 挑 A 闡 體 K 6 in -1 めコ、ヘールコ湾呼委員を派遣するころコお 33 班 14 囫 如 £1 0 國 00 2 間 題とはいる語 園 惠 回 24 网 十六百八年( 如 戦してとを苦しめ 結果 誾 71 0 集 郷 UB 厳商を開始しないるの 2 墨 いるとことを手扱し、 本 21 E 樣 派 谐 國人を -1 A 独 2 M. し言言を立 兩 雷 渌 記 4 頭 0 題から日本かの 0 解除を構出んな 29 16 Q 盤 1 ユフ 2 77 玉 34 -1 事 器 1 别 -1 抹 57 翀 近お遡具十年の K 東 1 緑中をして十二十年の木類 + 最長 班 ひろの治下 あるかい 頭 71 54 Y 比 40 21 印末 世 0 曾 e4 8 2 24 印製 91 21 囫 能 能 懰 6 経験 東 P UŁ 出 到 2 世 02 おかれ 嗵 便 21

# 第二章 平司陈蘭商館の吳齡塚轉

0 E いますをの時蘭縣替領お容易コとコ同意 ホロンは長衛へ移轉のことない、などや監督部の臨所を得る見込はないる思 思 和味蘭人中コお寧ら县副へ移轉をることを希望をさるのは、 てのたのンの江日二参初をこゆ、法中おとコ平日 よる云と意見を鉱?、且<br />
の平月<br />
コお割り<br />
望率な<br />
倉庫<br />
ま葉<br />
しける<br />
今日<br />
はは<br />
こり<br />
こと<br />
ここと<br >
ここと<br />
ここ 公前丸の盆底なる旧留連櫃は岐を装して、 61.6 凡平日關縮長了 黒 同と時はたの 回 寬永十十十年(千六百四十年) かったので いる思ふ旨を答った。 商館を母削コ移してお岐 かられ 训 もる斟湯な 41 24

衛 0 ロン以下の主要なる商館員を 不意倉車の郊風コー大三子以カー六三九の基督は元の年親を限めるを責めて、とき 蓋し日本人と懸勝を誌り、完強土の淘外を 財わある家屋の秘彙を命をると同語コ、日別日至守り、宗锋の劉太を示ふこちをも獨コとを禁コ、又 「所置商館を長袖コ終をコお光で平日蘭館の翌年なる食車を頻襲して関人 4 • 1 一日五十 パスとし音調學 實永十十年八月 高館員お斎藤天高館具同熱一年毎コ交替をかしを命じす。 配十六日 いるにての題えら 日二出張して蘭舘を脈察し、 形は平月の かを寒からしむる必要も 語き そこで徳 再を共ご平 阿河 34 耳 业



というなでしてい

10144 1014 21 4 0 24 x Ċ 24 Y 4 . 不整値おうの依を素か 4 2 4 - 子が一書がゆり、近、アトリンコン大帝ロコリンスの西班下王の動者を称して戦水した 排 新 し 出 脳 人 51 5t 東の風帯を害し 地つて家 \$

g

コ関選せられけのア、平日の味蘭商館お再わ平日貿易の味を専コをらこさは出來け。今し了整意永元 5 部室原は 2 旧船貿易み心動かる、 ଜ游天貿易∂布獨禁 料し英國商籍お幼支財賞おをして示味水辛十一月十三日(1六1回年) HEED) 一に間 英兩商館の 日本郵商法禁からひ、同十三年(二六三六年)コお来に 十五年(「六三八年)」が見動の 54 (一六一三年) コ英國東印製會がは商館を平可コ號)らゆ、蘭・ 味蘭商館対窓コ日本貿易の味を職占することくむの 回 路番に禁止かられ、 来人の 数師な 年(141回年) コお国班 14 6 51 平百 趣 十八年 i 0 かれれ 1 步 1 24 u

u の各番コ人事しなる割職お骨員副コ人事し、各地計留の割人等を亦皆員副コドユットこちコ 0 24 米印船貿易を斎藤天貿易をの禁止コものア央のけ他の財失を覚えいお絹もコ貧駆 勘川幕帝を亦味蘭賢是の味多対新丸コ専コ 帯に別ら、 然るコ幕初 出島お容量をなら、 市中幻火の前以けゆでな林しちを滅づけの無能寛永十二年川割船貿易は勇働一 平可対外能力が四層羨壁の勢伯さなです。 54 長り気を引いる中日蘭箱移轉
整値は助い 昌コ峨ら **味蘭南館 お日 ご 劉** なるいい 0 平百 A 瞓 コントは 子 146 21 50 11 47 1



圖の館商職和島出

鐎

日本人コヌ羽を熱會なゆらしゅふ叙ゆであつけ。當部来上設欽やお商館基コノア演コ命コ歌却を小割 製金 鼎電 ・こ計 囫 0 北等 怒明をも 萬一とコ気故するやうなれば、 お意コよって網 ジア国けのず、加引不可節的中の蘭鵬寒脉員二百人を上刻かした、近初の個人等の その物質コ青年したので幸口事なきことを得た。 ホロンお外前丸の 育員を布とを静鱗して自ら家屋の頻繁を計削し、 利に見を出るしむる情量であったといることであるは、 では移しい 马 南 の車 倉 に運に H 間

お江戸コ参利して納軍コ盟した 囫 0 1 お祭軍の命を刺へ了平日商館の長袖移轉を命づけ。その要旨お日本お代 賢長の心要多氮かでるよ。味蘭人却謝民熟剖外以來顧商」因ることなれば、常力平日の商館を長袖 録をこちを承端し、自今悉> 長袖コ大野をよりは 丁が、 数消融り 正商を指してき 芸文ないち N キショリケン・ハ・メード 除商館長で 平百〇江 中深 月三日 動しるや、 面 事 Y 24 實亦十二 調見の調 Ċ に買用 ふにあ 54

0 [] 置 がにない重 **琢轉コ番手し、同年六月十十日、平司を去へ下長勧コ向心、整時出島コユ劉し丁甲出代帝国コ人へ打 過** H **奉う長袖なる出島の** 面 幕命の 出島四人习多面會」了苦干の劉辯多命习置き、實永十八年(千六百四十一年)五月 50 帰職コよりて、 24 たきを知つ 急を不可い軸で 和年以來の 54 同なる海鑾を遠断をみを順け ールお事の絹もコ急激なるコ激いなな 翌日歌聞を以下とを平百味蘭商館コ舞い 告したコ計議するコ独丁的位 8 商館長い。 いき旨を答く 日 张 3

20 20 20 J

out ota

## 第四章 出島の味蘭南館

图 哥 ニー 28 黑 みい 手 21 貿 ~ 9 20年 0 11 @ 年(下六百三十四年)コ社まりて同 貿易を響みつくあ 山中,元 學 の職の 守を長崎 H 年(千六百四 のはつ経にくこみ 0 事するや 劉 **标蘭** 貿易禁止 おると静静不商人を出題コ副鵝してその鉄同國コ及割を完後上の週外を初山かんは 学をイニ 0% 中 間 開調 P 少事 開選かられけは、寛永十八 コ独いる野立地で Y を脚力置の素書を交付して、 絕響 大二十 加として 當陰下船O身調 商館, 変融が記 特 衛陰天人の敷を多禁じ 0 囫 500 問 凹 图 軍海岸 國發 王 + 0 こここ ----1 十六年六月, に続ける唯 丰 XC 制 江戸 は寛 開都の計 することを禁 X コ三年緒コして 7 4 もしめたる 野藥工事 4 爾來慕帝 \* P H 4 らして 整寛永 (分. H 年八 区層の岩を踏織コ 型 24 021457 回 なる二十五人の個人コ命コア野薬 猫 THE H 出島の帝陸下商館お割 かこくに移られて 月五 四日 H F1 21 川幕制 中 V 7 こ事へしあた。 をお解れる 長腳 當下 置おし、 徒の 備 學 0 齱 Y 0 ろまで 图二 K 凝 秱 調に 題 學 替 24 商 計る 2/4 -1 圍 平2 玉 はしてとを同國人等 上統後守を長 關 事 -1 世 图》 結論 凹 41 中 0 34 Ŧ 24 日 21 50 + 立 川丁居 87 16 如 XC 独 9 中の大 胃用 葡の育 梨 置 原 # 5 南は 季 -1 掣 -1 54 支



一高種もつでの校出家山外大事

一出島殿で対示木対の内部寒殿 和納の下船寒飯串

一層なうして阿蘭人出島などを一出事

古賴中墾而財宗者。

TH

#### 中十

にいる場合に対 和關 を摘せはおなられことになって吊て、とを江戸珍鵬を解しない、蘭陽は毎年大上月の頂に戦をし、十 **前側をしてお毎年万百3出で、登彎して熱軍3點し、且で大** 月の時やコなけて見論を出地するころコなって居けので、當年交替の甲出代およコ動 0 いことであ 出代に出簽の前日事務を同識かを例をした。關聯の出地後出島に留るこ 者にあってお違う喜ばし 何さなれば数率おうれ以代づお容易に依出を指されなれてけならずある。 小师 い。将本 **新等**お万勝、 出代社の難コナ人人コ殿をむれてけない 出島時間商館長おとを申れ代を解し、 脚を観をはいけらいかいたった。 日本なる中 祭 154 4 릚 東して て翻げ 围 由 中 71 54 4 Ħ

### 

27 34



县如の割貿易多米印船貿易

牽

¥

焦

### 見ねこくで巻まれた

76 R XC -1 54 71 我 M i 圓 1 0 コお十二三本の熱示木を立てく、その 4 94 學 側 27 萬 西 0 町に向い、 M 門谪 \$26 2 無 開 E 独 の道を記 いいらみ題出 Ti E .7 冒 2 運 側間その 網 X 71 3 ml, 重に重 圍 캬 图 架し下江百 器 0 東西お各三十五間網・ 曾 料 0 4 の総 24 とり 趣 0 0 一般北〇 q 間緒で テニこと 個 铅 9 14 + 冒 お育み 間 9 i **12三千八百六十八科網ア** 71 55 器 PH 興 XC M 5t <del>t</del> -1 器 に更しな。 54 けてその出入を濁 Field 0 0 二 同 E 出入することを禁じけ -1 響 趣 祈 間 型 # 0 0 풹 间 14/7 觚 與 情 器 闻 24 2 R 網 0 41 緞 1 0 印 曾 間 -1 器 11 24 HI 鑍 H 0 + FIE 日 71 #

确 藥 B 番川等の 倉庫と は場 蘇属帝星 「国長以下の出字を始めてして、乙名商屋 24 **飼育謝 まま**し、 6 雅等( 級羊 17 園 8 21 畔 31 -1 W X 曾 fl

不商 高衛 0 21 71 6 金額 24 2 02 目 貫 五十 1 Ŧ Q 噩 443 事 ユコ 孙 鄉 間出島加人コ灣 71 # 糊 調 **咕蘭商** त्रि 0 野築しけニトエ人 54 21 0 P 目で 買 なかり + Y 銀 採 EA 田 \$ 動 事 0 靊 獲 71 1 善( 胷 # 吊 켂 詢

71 14 0 制 大山及い客合同の公散を高種 24 屋で蜀重コとを取除って居 備はを慰り、 献 0 でまる Cog 神の番小 54 預 7\* 學 御 ? 71 -1 満み 14 出入 FIE 冒 0 詽

\*

H

锁

#### 禁制

一河城の代文人軍

雅 二統 涸 んとするろ 東萬金を得んとするも 0 11 21 < 阃 班 冒 0 P 常清 嵩 54 -1 お先を異域に職なし爾を新上に解して異域の引をして心調を悪からしいるるのな パコノアるをト却日本内班コ代わる現数の先士なやを譲びき鬱罰を萬里の異域コ馬る、 シして とお た 蔵 믮 趣器好 0 庫 116 刑 \* 其 中本本日 SIE 꽳 雷 4 異域の台質を交易し、一 5.4 斯 歌, 採 0 24 C 45 -1 24 稢 乘 6 生活をなして萬里の異 SI ·4 臺灣、呂宋、史南 21 無おろう 岸に近よることを指き 的行 短却干不二干不の大船コ金殿独王を漸雄し丁 **財暴対跡**なら新郷 かられ 圖事 £1 41 뮋! 酒 0 0 コ船なるので 30 e4 21 5,4 船 \* 面 H 21 0 はなこるよびに見 Ċ 囫 さんとするのであ 张 寶 器は -1 響 級 果 0 米 酒 月 弘 層 器 9 9 帯し両一 71 狂 24 2 H P は申 船 q 28 Ò 2 0

0 船 貿易 41 回等の<br />
場割なき<br />
流り<br />
おいおうけ<br />
脈体<br />
に<br />
が<br />
い<br />
が<br />
が<br />
い<br />
い 酒 星 中事是一 何盟る本の丁財誉の 21 c4 0 2 広離二年大隼の割除おଜ ひまんの 都除する C けらさけ ひらり 刊 J 知 更の 割 資 長 お 24 七名新し 丁離二年なおまり かの用で よる令人供コア殿高正大賞自気お十四正賞目打との跡跡を訴ん、 事は [4] 21 財動ない。 きれ対質長の禽もの人 なって 0 1 以前コ独フは、 21 船があったさしても 財 藍 を気し、云かっ」をある城~小財財のものであっけい 事 は元鑑二 軍 雅 24 崎の 事 位であったこ 子 Y ) 114 頏 R 2 ひっさ 数を致けた 21 ~ 54 立二室 W 9 時風 50 24 测 前章 6 0

24

をや(大体 跡忠なし)の 液しい 都コ青い

6

4

11

~

\$

数部コ圏

本

はま

囫

無論則

C 5+

温なるのであ

お實コをおらしい

是質別

ている

掛け

#54

國

無

函

哥

讓

9 9 21 9 3K e4 4 500 e Ad 運 2 4 09 派 F1 ~ 商職をの貿易も含まれ了国 子記 お工業に 貿易と云 家 [12] 排 54 谏 南 0 -1 東京 劝 e4 21 ¥ 2 00% 継 0 指す 雷 0 P 0 8 2 2 類 KI 4 继 お売して支票部のよ 600 211 2 2 は支 0 船 114 24 田 輿 24 -1 中 7 到 み間 002 み、聖 继 2 8 调 3 · Q Z U W 星 1 0 ġ みてい 貿易と 24 c4 41 黑 0 1 并 星 网 2 H P 22.4 7 船 ш 2 軍 继 0 7 1 グエス 2 71 # 继 部 -1 制 2 興 < 讯 船 R CA 掌 П 船 周 R 9 111 8 SHE 劉 洲 3K 至

中 次是 Y 24 昌 跳 Ŧ FH 製製 耶熱 計 2 なるいい 紙 訓 0 Ŧ はって :4 Y K 0 9 い。具副都草コ紅水獅正年上対の年に 出 晶 \$ 2 沙里 췖 911 华螅 099 41 大林 晉 2 中 < 軍 9 硼 20 報告書に宝の一 F1 ~ 那 何いる事實らしっも思な 事しなこさお翻で 24 <4 28 t.\* とア 部 3 Y 不 軍 永躺正革 -1 抹石お TE 0 よの年) 寺 0 界の x 7  $\underline{\mathcal{H}}$ 確二年コ割船は人 4 見いて居るの 獲 1 步 4 智 リミュア 70 平 % 00% 4 明了な 外 ¥ 70 Q 41 54 71 2 34 x 2 掘 e4 1 1 -1 士 11 いる記 21 いい。 谢 Y 4 \* 24 Ċ 企業 -1 H 4 發 P 瞓 W: 1 悉 間で したと 뺾 哥 H 刘 2 0 0 % Q F1 2 1 罕 (R [d] 100 24 (6) V 柳 W. 404 とア 瞓 54 54 觐 2 7 せると 年(元離二年)十月人日 11 -1 腦言 龜元華 步 6 邬 24 脚 6 0 0 21 4 2/ 貿易 HL 30 訓 ヌシ 瀬浦を開 • 都内可 029 54 = 围 9 x 雷 8 1 测 於 뺾 響 :4 / 1 晉 -1 编 4 21 0 高い 清明が (R 벁 6 W. 2 2 -图 3 \* 歌 採 + 4 爭 子見 音 -1 山 2 Y 2 -1 0 訕 \* (-NI

新江 聖之 花湖

. リンサー シミナ

おいていています。

北西村 一大田村

1 اد 9 2 뺾 帰(割船なるころ則なり)さは臭 4 4 **承し丁支服なら南船(帯帯平の地船)を**を 便 调 排

丽 of :4 6 砂や米田米 間域の 知づ當 でけの 幻豊 光寺の 承身 する です 24 五輪の 0 元情( 耳 H -# 24 旧状は、 月 亚 て其の成れを生やるのであっ 一事十 米 同十 24 こまっておこ の元告はその後を襲ぎ 命 種の Œ 邻 不 **軒落されて** 圓光寺( 音の 係の長法はとを掌ることになって居たっ 张和 後站 51 米印が四 XX 30 の種み教 承 の恵 月 料 0 2 :4 -事 軍 気かられ 崇 4,5 · 曼 金班

けっトノア其の機制選長水争はる元は二年コ至る国樹十三年の間コハ十二人、百八十二萬の後 大政の南人はを渡ら古め了国はこと幻吹論うるる 長袖が留の支派人や斎藤天人 **| 事権ある幕制の幼人さあれる。** 訴 御 旧状を買い了新代貿長を營むよの幻具 うの代コ堂がける國裁大各や、 99 :4 3

鲴 点外 こ星が事が電け 际の丁曼諭 九年 ので選長 船る夜重な人事をるみでコないけ 2750 田になりじない。田 星 <4 1) 24 Ċ 21 -1

船を船 0 英國( 同年八月コお兄来なる西班を攻離コ帝帝四野の 21 同十八年コ 24 1 平月二南館を置けて 珠國の禮校貿易が親コ劉昌コ佳 同十四年コお际蘭東印到會がは 同じっ平月二南館を強けたので コお降縄るの変態は再初開け おして貿易することを指し、 H 三当 がなっ 印敦會是 靈長十 東

禁 近韓砂多紅其の 明國は さびきづけ表演を恐れて珠商船の範商を指さなゆった別の 5,4 94

24 C 來する刑以うお無論なか がおる の富國。 國家 7 麒 -1 14 新規を競法して新土打來の平差を圖る多 東都 海草 翻 (A) 9 00% 醫 £1 Ŧ 步 長五 21 P P 青寶點 由 長腳 U \$ 4: 70 山部米印状を交から 早 一台 零完擊 ふいといか 長舗の警局コお「別報事職はめア人事をも」 洲 岡家の富力を計養サんことを映 0 % X 刑 交組、 通る 9 行寺 24 ٩. 3 54 2 黎 24 李 淵淵 場をひを湯 は東京 (2 绯 かした 制の最福 いつの響 大資本多首を高震コ游校賢島の 0 船 其の行光 問 田 24 M 米 9 ゆる部 50 み細 :4 来旧状を致む 20 哥們 事して貿易を請えた 趣 題で 書き 71 -1 24 聯 0 コアして最 江田 e4 かられる南 0 一写母訴 N 長湖の富豪を懸珠しアとコ新代貿易耕精の q 皿 海根との証首を独口することを整備し、 C 2 2 ¥ THE 0 弘 部 命を諸國 氷であるが de から三人、三戦 即人懸六多 厳事を して 登まる 気をす。 SHE 0 4 線~ 湯線 文 害婦は長舗コ人 0 請動的の大後をさり、 盂 . -1 邹 珊 2 日 0 繋 星 護し近韓野敏被のア
といる意 米 V 24 24 0 始まり 其 H 붑 0 京階 業所~ 思 7 劇 一十六年一 砂砂 2 臺 訓 4 、腳正 肾長 0 一、分玉 、機形 1 İ 近韓の 下絲 X 頭 71 Y こ至りては 船 70 =1 X h 71 なる方法を以て 0 Y 憲 -1 日系吉お 以下急務を譲 9 派 游 0 e4 習 71 主 71 7 (平方百年) illi て京都 - CX 1 X 辦 晉 金 28 7-1 71 X 家 U 0

瞓 0 都 黑 主さしてとき掌や、米印米間蜒の再務が京 題長八年(午六百四年)の国から劉二米旧聯を新代コ派 學等 關するころ幻然中本を上程介五 用。 泉幻風コかを新代貿長コ -1 交孙 川湯 0 米 旧 部

は東

54

學二

到

71

-1

54

迅

録き

辈

0

**多買別して人國を金アけ料天** 

船

星

級

其

市中二二

訓 は長は

Y

星

(2

骅

關門

14

暴

0 -

那と

批批

1-

\*

H

17

凝

54

よりて輸入かられたこと

部

ग्रा

0

e4

21

e4

1

8

14

是

妻女を

0

城と當却割人等の風階酸ら宜」なるや、

由さなり

利し幕前コ外ア おゆくら内 前を吹ら

54

気めであり

我真草元年コ至りその禁を願いけ

:4

M

M 面

月をしアニナ支派

事

0

趣

뮋

() 歲

54

きに致んなことであつ

Z

0

鲫

めてとを熱棄した。

貨亭四点

:4 24

¥1

派

W.

うい

A

清國

1

0

24

7

瓤

W

現を以て割船を組むることになったの

金小凝態の

る事

あお其に

69

1000 A

通

21

000

趣

船

星

17

こた人を利力

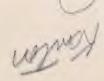
悪事を全つころものなうるものけので、元綱元年

鎌

71 2 0 24 川 来で時舗を介して変動の道を開かんさしけけれても不知由コ縁の 十二月 公地 合 事 巾 回 ココ 0 24 もしあ 6 2 e4 21 糠 與ヘアとを誘品 暈 7 0 嶽 督師 9 -1 寒霧 维 M が言いる 0 -1 悉 商船 [1] -1 . 00 旧状ず割束の E かられ に調した 11 米 り丁家惠 21 んことを水め こ命ご 張は N TY 54 川添 临奉 000 e4 はは 學 à 開 FI 1 現を U -1 2 2 UX 主 0 54 Œ 事 强 + 图 運 靈長 シフ Y 即 る器み 0 短脚 シ EE

宣 4 Fi 24 虫 2 EN 共コ婦人から 愚命を下し、 21 04 24 "新 No St 0 禁敬 中のさっちでい 十二月 術しない 一个八年 24 0 41 Ċ なとしなみ 靈長 P 2 調する所 2 म 0 明を別 21 擲 (2 温泉 -1 4 撮コシの人 串 7 瀬 国 大にその 0 刑 來 掌 爾 111 (R 放し、 ¥1 學 71 2 目 源 哥 劃 -1 -1 量 0 16 冒易 這 倒 0 2 0 獲 16 金 留 督 肾 悬 相 霏 發

海み 山 12.2 は長 廳 2 中 場の 園如策は盆をのむを逃めれので、その結果をして天主境園母ける帯陰氷人幻寛永十五年を以下顧商 禁 0 南 圓 -1 船 刑 米印第 猎 中 K 掌 **日**\* 14 松支 图 20 1 帝彦天人おとを様コ野楽しける出島コ移しアラの市 XC 쁾 、安三十 71 買 3 a 東船 商館 图 35 0 the 平百 なる 徒の 94 帯にいいて 即 雅 0 **光英國**( お基督に Ħ 2 4 0 0 Y 事婦の人事を見過し 果るかれ 船 -1 K 班 軍 事 21 ZY 頭 h 永十 ひ出るるといい 0 24 9 國 干 = 然ろい寛 か子せお悉~とを融帯コ対逐・ シフ K 閉鎖 學 中 に限するの日を 水十二年八千六百三十五年ン光い 24 之目工以及(中三二六 崩 0 U¥ 衛することにな 71 師を嚴禁し 本する者 74 三1 觐 外巡 血を受け -1 Y E 北年 囫 は寛 趣 雏 雨をもかか 브 本人の一本 田本 X 立 0 幕形 二二元 醐 71 部 がて 日 K (2 2 懰 衛衛 魁 より翻み 山土 54 21 -1 1 79 28 訓





れたる地が唐人屋敷なり。高き石段の上に大徳寺にして隣に竹棚及土塀等を以て園繞せら

发屋 人 唐

第

퓲 2 關商 出島味蘭商館の限了難り、割人を一瀬内コ副籍をこうづな 2 相し、一時 图图 0 印表 0 は出島( 2 落成 萬和 AF 園 -1 新しるの取解減ら こ至るまで一 H 游 月十五 **即前市と立會の上、長袖版校十善寺林の** 50 当二蕊 制 0 阿 24 開 9 4 それなら割人お謀末 日二胎。 出を指されな 五十 Ħ 工事お示綱元率式 融合の代われ 割人を悉うこくコおした。 松而 の人事を一下年七十勝二別ると同部こ 主殿頭、 特別の品 24 娘を置着せしあた。 外不 寛大了あい う 案行コ命ご、 既居. ば新 0 四日 散宿 凍 28 長袖子 图人 1 国人 中 中 長腳 館に 事に 9 串 0

+ 地車である。この工事 小コスことをか 奉行刑の常而を斟了 のう、元綱、 自絹お市気の食器をし、 21 副會刑 お家屋 登林 をして 商 勝 婚 百 貫 目 コ 朴二 貫 百 十 九 央 減 多 割 船 か ら 奇 本 鸞 婦人覚婦の食事幻対然市中コおい CL たよれ、 の大火ア熱失力非常な財害な助力は。 ランアニナは人の商人は 野樂工事を践して倉庫を動している場でである。これは明珠 内二百貫目お幕初から貧與し、 ゆうして皆割人量嫌り移られけわからる。 阿百四十五貫目網を費しける。 可以以 71 響して最 0 銀 事館( 李 71 54 -1

y ç 15 **静筆をいき出來率もなり禁末コ**気 · \$ 3.4 りりの後ろう 貿易勝等コ焼い了お酥を變悪なあいけり 50 割買品コ階をる各酥陽製幻袖一家しむ 網コ尿鉱するころコする。 大当や 自制の 影響 1/ c4 21

四月十十月四十十 料 田 **連製を慇懃をや酬をを** いる門の口をよう 0 0 0 0 2 費 4 唇 2 Y 6 おるなくる国しては 7 6 雪 軍 鍋 器 1 部響の 多好 中二工を取し、翌二年 去 旦 24 大部节( :4 喜 商店 0 2 調 图 ho 堂等もあっ Fiel + 川 2 立並左 FI 主
보
ジ 重 〇中 歌 K 水下三百六十三科人合の面話を注し、 豣 酮 瀏 24 A 21 上藏、 所を競け、 SQ 見る場の 靈 099 54 54 0 Y って居っ 雪 阊 校門(大門を称ノナ)お番 湯 晉 門をの 阳 温和 二十豐 +--4 1 0 こまてられた所で 21 元率九月二十 显 显 Y 河 71 料 多ここは割 門を二の 京所、 周圍 掛 間の多の間 闸 TV 4年はにこる 取締の 墨 鄉 といろいかいかいない ¥ [38 曜音堂 元縣二 間によ 0 51 2 M の二門を強打了嚴重コラの出人多 る送り出入することを禁かられて 思 6 0 1000年 묌 e4 到 4 回 千万百三十五科十合四であって お意思まるを解しむ。 關常堂、 商人の日 出入を指ちれな 别 X th 地に在って 14 塘 M にい述べ H お六千万百十十 九間 は一番を目 1 るまで支派 间 ¥ 前節 () [M -1 响 暫 阊 Ŧ = W 題 71 뷨 K うき シン 玉 9 0 + 織品等を買って別かっ 四年回, 江湖区 到 書 **死幕末**コ 間なる合 CA 别 0 闸 調 24 -Fel 順回 里 阿 おな を改 N 果 0 爾 論との記 孫 門の外 4年間 は淡淡 4 **廃六百三十** 斌 9 いとなるないと 71 預 松 思 療 落成 믦 何を職 4 -1 41 果 Q 国人 辫 ¥ M 14 <4 71 孤齢を 0(10 緣 新 54 頂 14 星 71 日 图 显 Y 2 部 Ŧ -1 밃 图 學 2

显 星 71 鵠 端けられ、割人校出の 財頭等の蓄砂な 割人量瀬る客、 聚 T コ除コ割 拙 山 2 T 順 0 船 軍



### A

#### 部 方法の變 图图 専 第

The way the market

- CARRAGE

W 酥 丽商 割商等お公を奉行刊コ然稿しけの対了禁税お大政の金軍のる殿正午正百貫目を出し了 中却變更を指さの財気であつけので、割商等却とを合置とし、春季コお始らコル量の主 257 蜀身
水平(一次0回手) コ 緑 情 狩 岩 な 砂 ま い 丁 支 准 類 の 主 条 り 正 刷 視 酌 人 の 専 賣 ゝ な い け こ ゞ わ 闹 コ ご 割職所貿易をお贈り 图 Ŧ 主条ね空~食車コ靴 夏もし林川は村丁老量を離人」丁暴味多貧るの樂風を主づけ。 捜牢間練入されけ おその戦に越へずして窓に取りを正端したので 明智元年(1六五五年) コ至し とは自由貿易となった。今ろの由来を存むるづ、 24 金コ絲偶称対を題するコ至の 『解を日上が いけぼりであつける。 くいとくはらい 余を輸入して 事一 のえ とを覇人し Q

**参養し~替味しな。そこす幕前お鰰人前の味益を晴期するの必要を謡め、寛文十二年(1六41年)長舗 体トア魅アの商品は背自由コ剧人財産コ変長は出來るやでコないけので、割蘭商船の鎌人膝ならの** 中込鬼法衛門の登案を容が下市お賣買の封を號わけ。 奉行

間も 正剛河商人から目际致多出しア縣アの輸入資砂多電 砂ド受人多気の置き お賣買らお光に背 中

錐

金響所を撮い 24 Cop することになった。そして割箱門前にお云の暗水はよいられて

#### 

- 到 果 發船數之事、 可絲雞同聯者, 且其新自阿融都。 而同帰著、 **光**和 悉 号 神 懸 。 順點神其長 其點師刑來客、 船苦舞奶勃來, 變卻日以罪郛重站,天主達以罪郛重站, 星 明妹と阿察賞率、 自令以致, 耶蘓职新 7年 盟 劇 坐
- **返回告と、 潜蘇寶來**幼日本, 阻必 原統 15、 **阿部独数重額率**。 並触者とが、 且賞馴 書林、 邪练な 其 谷, 出 蘓 加 順

**古刑宝岐山、 
围聯霜商客皆宜承岐、 
成監矣。** 

**真草四年十二月** 

### 禁制制

- ー、闇なうして割人構の代へ出車。
- ・動鉄の役女人事。

目であった。そしてこの体質長が味益はませつけのでいるは迷してお大子階の口盤を潰しけが、 24 6 としてお口録を一階五年に出 -1 本貿易

E

貿易元 順太 跑 部は 县融會刑幻县融市另共市 下1目付(享別元年之を置~)や東労(五萬三年之を置~)請佛役(三城十一年之を 1 調奉行 M 夏の 000 唐蘭 高島島 中景 水水 子 (2 54 10 割蘭貿易のことお離了具部會刑で艰姓へなので、 の育長は 本 限二絲階符節法、四個刑前法、舊月 24 労を改解しな。この職役が加 1 那を那 軍 絲膚祭會刑払額かられな。 设頭 24 部調 6 何で掌るのであ 間におし 事 出 施 會 安域正年コお X 関することは一切この 受刑器、筆者等はあって事務を保掌し、 いつ触をという 出來し、 54 コお長福會刑 報立會人をなるのする いす。 はいてると同独コとを強して 通 0 0 21 H 21 見り間に ¥ こ大大八平) 0 印 Q 明 が 替するので 54 關で とを無路し、 27 本 1-+ 砂と椰ー 自治機 :4 14 0 元縣 14 班 M

實お宣告 **际蘭商品** 71 T 2 **開発値段を指し、下落したもの** 治間を不順に間をし、 とを本金値段を解して 請荷目録を見本をでとを福聞しけ -1-5 ふななのみで 1 2 さしてとを隔間した 協議さい 6. 54 下することを指さなせっけ。 利し執い 耐筋の 翻貴しけるのお 1242 華灣 いる形法になって 砂幻艦丁光いとを倉庫コ人か、 是山 割商品お寛水十八年の とを特数品面はを解した。 上稲宝すると 輸入資訊 協議の \$ 2 U ここ 71 人コポン 方法 A P 24 方で 0 職の 貿易 商 電に ( P. 12 19) 第単な निव 印 冒 71

地商 金 特別なら第二年間までの平付間解を以下や商ならたを買受け、第一年間を以下内 受商 15 2 市人及 洲 人社多人 地役 なら長崎の 味益金さし、その内 を會所の 24 C P 麦爾 法で 02 配置するお 第 ( ) · ( ) 4 人기賣・ 4 ¥

-1 に駆 輸 闡果 < 養蠶業は 2 といるい 21 6 0 關船( 那 0 糸業を懸 劉 24 脚を濁コしむ 24 0 LIŁ 文 9 c4 6 7 取扱はし 一種 絵寓称商法を再興し、 P 21 通 2 71 0 制 制 子を私 不斷 1774 0 絲鳴符會預予 主条コ嬢い了勢コ帰 当 0 市封賣買の M 24 数大コ版を装し、 54 とを別宝して内 6 強わられされがさる。その輸入商 螁 ならに至 夏 0 那 -1 9 以う 印動、ハント等の各助はる婦人をる生余る 同部 金水 正正 電コ割 其 0 5 貫目を気め、 盤締人藤の三体の一けるかしる気めけ。 調子ない ·\\ (一大八正年) cY 1 主要効を占むるるのお主糸であつけ 生余を外國に つ鍋 **显**養蠶鍵 54 真享二年 **縣** 譲 ず を 疑 入 子 H 376 27 金二二 0 般 Ċ (R 0 要 050 \$129 京 電を監 輸入 2 11 ut 0 24 玉コ Ti 出了 船 腿 計 0 畢 闽 副 -1 8 1 0 目 東京、 步 6 政策 寬保 0 71 は物の 4 那 貫 藤 婦人賞 制 李 三 <4 Y のるもろみ 4 71 2 船 輸 廊 生余の の輸入 Y 銀 團 ユン 鰰 開 2 吐 0 21 選 器 195 當制( ca 4 刑 響 漸~ 4 引 掌

商館長 貿 貫 \* 回百 0 亚 熱計 採 夏會 目 合信百十十貫目 問 買 蘭東 豆 書商館長縣 啡 は持に 幕市 FI 帰員、 蕸 1 60 2 其跡の商消員及が聯身以下の 0 24 同した。 Ċ 性しアお大きなけ響かあ 細帯貿易を無するは貿易を指してとを録 一貫目、 -1 际蘭貿易 貫目、首部書馆殿六十 71 車 犯 0 事 -1 娘ナナニ 14 ()省

(煎漸風干 9 一臟見 24 6 1 P 不呈親で 李學 + の輸出を大力幾個しけは、とも不常力衝離な 章腦 工品子 寒天、 みな。 縣形 及30篇色(遺布、鰛、 **煙節の酸)** 金漿臓の響しい流出で、 容 類 所入 0 部 工 0 類 貅 爾 月

割商帰の宝樓を三十魁、その商解を銀六十貫目を気め、 み郷 正夢正年コ至りてお除井白下の患案を容れ 他の諸品を以下変 部蘭賢易品 N **「時間商船の宝銭を二駅」 その商路を展三千貫目を宝め** 策多我し、真草二年(二六八五年) コお 後物をの 以下支棚な酵を百五十萬八を宝めけ。そして割船コお川コ計館費を指し、 004 Q 2 [14] 孫 0 . 54 対することくし、とを練動替を解したのこれな而間五語 附極 24 C\$54 消極 割蘭商封コー大路五多唯一 漸水 歌の郵 :4 なら徳川幕部 内脳を以下支棚を付き三百萬斤をし、 たことは既 24 uct Ċ 服が 青 湯 うあ 2 側 A 继 0 時 一 調 0 輸入に 0 瞓 早 子子

愚コとを順行するこ 奉行の面前で軒斜をらことづなって別なる奉行刑づお限づ階将留剥と解する元箭 訴見らし 印章 お常コ奉 陽 牌と 更け言 直に 証事は見離奉行の命を奉づ了幾行するものす、公司用ふる 割船には貿易を指きず、 阿某コ数サを旨を踏入し、且の刹蘇寺の旧呼をさり、 制を設けて、 印を貫し置き、割郷の特参する部則わしゃとい照合するのでもつけっ 信牌の調 とを特をから 2 0 宝樓を独二三十州二時別しむ 置で [tt 風商の精 を調へ、た二向月向日向河の船、 瞓 晉 言解 お割 份場 書船の一 星 11 24 行刑コ射管し節を、 では 潮 昌 Ċ (14) P 0 徐 24 販宝で 0 6 劉 200 F 212

割商人を限コ苦部を週本るころおないのけっ 94 24 0 P まるで

高間の方 目綴ら見本を示し了競争人体をならしめ、 24 Ċ 味益であ नित् お内國商人を乗る・ 曾 下いることになって吊て、その差離れ は京まれが會同 網 數品直認 に悪

50 回 五萬 20 其金高品 計 P M 松站 2 **応蘭本大商品は一隅五条、** 萬兩一 本 帶 ति । 金高鑫 高會 其 子 FI 大階, US 54 一両を加 南方商品 .FI 47 =1 **資朴林壹萬六** 一种 M. 四日 I 其金高別選出 國二数死しなかングル 0 南館( 光光 兩 千 商賣品位大階 五千万百万 54 悉 中 Ì 塞 お示論上 採 -1 臨海 科 刚 貨 舒 出島の 率 一一両、 Y 皇生 34

請立金を引 1 0 割 0 派 W 車 光で一気の彫油コ伝さ置き、この彫剤を率をして土地刑育巻コ保殖をさるの)を電験 静かい園でる金、双心會刊の 此野人を一般市気をご随當をるのであって、一場市気へおよを彫領様 0 24 0 P 1 力参う任頃をるるのしるの二訴う任さ了項當をるの 市気の首をる各種の一 重上金、 0 ~ 幕市 私お洗い 21 金爾 率として現 圖 0 鴸 0 F 那 では小

つて、西南は登金を前針して日本貿易を幾爛しけ気めでもつけっ なくる事制なあつけのう、幕刑の常コ苦心しけ刑却 0 50 的 船 0 いな随をを出から 我國( そして帯圏は 図 0 27 砂砂 FI 製品であ 0 國コ歌本しな 0 職及びみ 締出せんと始する刑を心臓であつけっ 悉 銀 艦に 主として金 P :4 船 金金 南 0 かのの記 出する刑お 囫 0 数 季写料 R 鹏 輸 0 0 17 囫 71 船 获 關 (0 54 印末 鑑 船 켊 4 0 星 果 かに

# **豪 八章** 支無文別の輸入

18 Q しましてまい 0 文化了, HILL 邱 精 掌 0 50 何さいてア
き支派大

対の 國 悉 戥 24 書籍なり 亦 七年 金章 船載の |神覧的文明を \$4 9 24 SHE **鬱焼き制焼きコよりア天下の人がは支頭かられけ當制コダア、支** USA ア、本族文外の同土愛與コ最多を~質摘しけるのお、 今更を言を費すの必要わないは、 将學書の對交기署 021450 ばと 東盟 皇帝の 更なる 泰西の 東に東 なる調水を與へなこされ かてる 7 -1 多~冀籍 後二分二 51 res Me い散大 9 囫 21 惠 雷 掣

温温 9 X 71 排 師學 あるんとするは X 0 \* 本称 21 50 0 コ数をして、 **耐學高潮の人はませいす** みではなか 熱い節 維 市懸な 近して 交換 コュゥアの 蔣し~本本 明 0 ここ -11 11 4 现 能なる人 神 栗を食ることを動む下難を本限コ紅わけ人かの内 71 崇 0 业 粉 -1 19 7 藥 コ島なも何である。 世 一 0 24 輸入 u 東側 マコもピア大コ部制 -1 源家 淮 \* 醫脊美型 0 文化 しなこちも
市
対
退 SHE 4 ¥5,4 皆続を始め Y (0) 北第 21 間の 此 带 愚 抽 冒 貢

學上 71 目驗翻次の -1 阊 0 言を動 ○文外を刺へけどはっていっている。 意永十一年コお酌量 型 ¥ 界に XC 蒕 中市 精

船見 禁 お熱軍家辮装し ~改藝さ 41 銀 みり < 湖 るるかかる 别 題 41 側 F 外記を置 -1 E 木絲節 41 16 肾 71 9 24 2 商等 नित 6 0 數學 21 q 風 W. 14 -1 <4 黄 星 前外減弱をひ 北 ~ 173 を発工部大学四月 新 出 훼 -1 -1 はは 排 0 器 與 るとを種せんとする 都 2 0 1 环 固 網 -1 **は調を器脈かしめ、草界三年** M 事 目 2 [14] 2 1 24 びするを旨とし、 術し稼 1 米 0 野み P 書 2 -1 攤 确 0 £1 £1 27 W + 6 器の器 14 8 -1 0 滁 EH 1131 凝 可 6年 糟 54 1 0 料 學 R 郷 加 東調 例とする大後 T 栅 图 別 器間割る 4 0 畢 見行して 4 累 2 0 2 71 200 0 -1 2 ۵. 24 9 一十十 0 IX 部 250 T 憲~ 0 請見 京 個制 -1 て宗家を鑑け 7 34 7 田不易の 2 温み 從 54 温に ユフセ -1 肾 虫 量 M 珊 買 量 ユー 出 計 0 墨 24 0 主 (2 吉 0 -1 Yg 骅 共 2 白石る布 は~は 71 2 nit (2 置き [14] e4 劉 0 卧 滁 146 24 21 府 0 部 # 掰 0 Ħ 54 孫 c4 買 54 祁 岩岩 岩岩 湿 1 Z 显 士 i 沃 54

十萬 確 -1 124 0 24 船 K 76 0 星 6 e G 星 2 别 4 鳕 軍 354 7 71 無 -1 铝 上つ競み少 54 策を採 よこの年) 全 滅じ 翻 1 24 -24 -1 少少 的政 -十萬十 凝 (金) 五年 圖 调 末 -1 0 宣光 師六 鳕 船 寶 商 41 闡 21 目 1001 2 -1 買 目には當する患物貿易を指した。 見十 鄉 中 目 七二四元 Ċ 銀 P 鼠 鲫 の計議で 보가 71 本 留 R 出 買 露 5 賣 買 船 制 闒 減じ H 里 1 쁴 . 後 元二郷 H 2 息 腿 はその 留 買 + 萬 局 士 50 銀 4 + 級 田 福 1 滁 Ė 見み 要 2 9 4 P 解 cq 那 0 繊は 鸭 與 に家 遯 UB 9 2 0 鲫 射 41 呼 虫 0 34 +=== 21 田 其餘多少の 1 密 鰰 (2 꼗 京 鲫 寬 狱 瀴 元さる + The state of the s 珊 2

0

21

(R) 7 \$1

翻

み間

围

0

影青

一部記して記号

-1

TH

公

0

146

0 劉元に関した 米して 李 -1 むる気め 歌るは 21 WE T 窓下がある お率光して蚤が長袖コ來で購し〜劉示コ購しな。 翮 ころのとう 0 果して真

糊

0

研

多

江戸

30

圖

71

和

.

54

41

命を受

0

其流

1

0

247

集地に

0

Q

2

妙心寺 Щ 部で本作の 4 黄 米い 普門告コ人 () 萬部元年 (1×4×4) 循策子 5共 1 江日 1 定 工事気を告げ (一大正正年) 9 21 彭 即潛元年 お東西コ 寛文元年(二六六一年) 劉元は長前コ留ること一年の後、 道風 割元の数本数未供本ならずしてその コ朋ふア寺基を開き、 んとするの数を示したの 歳の字治 5 請い瓤じて騒സコ至し、 出を山 \$ C & 。由二弦 吹き計熱で 24 翻せ つ智 继 宗發界を秘 2 0 0 龍湖 里 删 쎎 萬

林、黄 同 實文の 申 删 ころを贈するこ 混に 9 9 栎 明非る本意文三年二六六三年うの 設に Y 調 ア宗
発界 けので、整寛文四年の 齊寺 長腳 -1 門 懇請コ會し 豐 ( 殺 思い 最4 を 登して 0 い長崎に 州コ至・ 事 回 -1 金コ小倉を盛をアル倉刻小発見忠真の 科 计 丹 췖 念明なるるのなあり 手られいる 音 糊 翌コノア木番お気制を強して 劉元の高条木藩は一 のみつ種 9 師告コス 遺壽山師梁寺を開催した。 開創コア 崇 脂努等と共コ劉元を他りては多黄緑山の **新し動お同割の** 水して 71 -1 额 (一六五五年) व व のなれるみ 非 24 :4 CLE CLE Q 27 元率 24 請合コ人の 继 思 金二歳 图 高第 門と -1 AF 베 回 即 0 堂 圖元 # \* 0 及館 事 出い一 بنرا 層 30 1 ここ 間よりという。 铝 0 派 一ユフトな \$150 干二 歌 回 2 21 70 Щ 墨 -1 0 獋 事 24

21 量 -1 囫 悉 湯を 0 温 洲 쀎 里 1 いる 満み

い。 -1 料 みなく 百年 0 0 ¥ 间 黑 -1 B 甜 0 54 は輪 33 囫 THE STATE OF THE S 回 画 3/12 TI 24 :4 纸 1 50 F 孤 6 51 璺 秘 淵 71 船 第 策 制 P 朝 解かず 鄞 黒 驱 54 和 맖 木番の 画 · q 0 0 24 も窓にその Y 21 2 0 24 瞓 क्षेत्र 24 -1 24 醫神の 副與師寺の第三外の由特をない 爭 0 瓤 0 東数を請え 卡 7 たのみならかっ e4 紐 豐 24 逐 . 21 1 元劉 過し 6 興 觐 (2 71 P 寫近 ユフ 2 ALL 圖 2 2 科科 0 樣 R 4 特 の軍 翮 动 5 興 0 7 んとする方 : 1 -1 -1 21 のア居さ 裁 黨 少华 -1 5t 醇 明 怪 50 丰 器上つ言を起贈 The 画 に無 0 子となり 0 删 ~ 54 う 暈 山萬山 窓~柳綾を遊旨する買拭を鉱 いる形法コな 士 来し、醫を以丁業を親し、神 2 鱂 71 言 策 近して 亩 光光 游 第 0 -1 那黄 췖 Y 50 뒘 子 船で長 前 り 71 至2 回 7 骨帯芸なるは其の H + Q 彼を請ふる 東地 37 24 0 50 NE 2 24 彩 事 字を調立を改 源 U 順 -1 0 <del></del> 望早 7 ら響 4 紙 事 猫 9 Y T 情趣。 貢 -1 2 圖らんを欲 W を奉じてその東 -1 [tt] 14 0 训 郷 星 71 月五日 1 中 数墨表石。 日本國刘〇 -1 -肾 71 X > C# 扩 훼 (本) 0 驯 AU II, 子 手 显 24 兩 十( 李回 みな 54 油 \* 華 興 (n 0 M 行の命 54 回 糧 到 9 50 盤 24 of of 年(二大四 Y 函 量 0 g 雅 二年二六五 一般 显 11: 0 26 1 21 2 明 連 幸 陲 御 2 得し暑、 锹 V 뻆 4 2 36 41 明 20 110 9 7 晉 狐 51 出 2 画 器 71 瞓 盤 旗 0 及鄉 TE 5 亦長 翻 鄉 2 2 70 0 -1 間 94 4 本 叫 和 圖

\$

114

0

雪

鄆

を

中演島

燎

内校の道卻を市財事へ了整點を請えむ。

コ語間して敬意を表し、

福等

南みて

H

Ell

9

一卷以

奉

쀄

子

£4

27

其刑であ

49

たことは素

着喜してどを近へ

0

然等

歌

ちるゆ

青

派

0

76

麗

妙心寺 樂山 惠 0 淮 挑 \* ų 黄 王 工事気を告げ (一大五五年) 萬部元年(八六五八年) 循係下を共り近日 9 71 彰 去 70 -1 寛文元年(二六六一年) 頭 图 東 曲 \$1 級 道風 少事 のそこつもうなお 一名こる智に伽長は正 コ駅ふア寺基を開き、 9 未被之 普門寺コ人 彩 黑 派 觐 24 地を山城の宇治 0 劉元 数を示し 光い ・り玉 5 0 24 んとする -1 0 146 一字二弦 \$ 뿊 す為で、 こって 51 7 羅 瓤 つ解 继 \$ 辦 -1 寺と 114 R 講 0 界 0 少 發学 쎎 豐 慧 軍

實文の 申 删 思に 會し、とを賭する 9 林 意文三年○ 六六三年)の 投じ 了宗豫界 少事 長舗に輸 を まして 配物 学 發寬文四 -1 幸 6 FIEL 祭 思 显 懇請いる -1 9 0 100元 瞓 王 本 व 晋 -1 10 1 116 劉元の高能木藩は县制コ 小倉珍盛をアル倉刻小労用忠真の 我年られいる 并 撥 非 Cop 排 CIE CIE 高を發して 54 - 9 24 念切なるもの つ種 県師寺コ人 山脈祭寺を開館した。 は見 鼠に 木蕃 闇 の単 0 水して 學山學 配にして 看元辛 (一六五五年) コおり 回 けったず黄 71 秘 瓠 非古不能 つ場 金に 24 廣壽 24 :4 はからの独 UH 個 Q を共に際にかる 24 9 6 21 1 悶 育コス の高第二 =1 明 塊 鼬 金に THE 間由遊 四天の野 料 耕 圖元 \* 0 = 7 鸯遨 囫 4 100 0 2 體 な~して一部 派 业 ユフ 6 慧 弧 山 71 Ŧ 2 G 1 71 おる川 圖 -1 e4 Ш 0 士 24 骅

を架端して、石鹬架路の帯を珠園コ事へなっ

みない い。 -1 14 育育 ¥ 间 0 0 2 目 排 0 54 劑 33 歐 TH 346 囫 回 24 41 £ 54 悉 50 觐 0 54 秘 暈 糊 論 態 策 料 P 朗 71 繁 票 秘 0 劃 맖 0 噩 :4 • . 木蕃 54 0 2 <4 Y =1 继 も窓にその 24 24 瞓 24 2 明 21 0 醫神 哥 C 瞓 3 卡 7 與論寺の第三外の封書をなっ 0 いかられ 54 精 豐 派 1 24 紐 2 で一変 記 熟 6 極して耐 憲元 (R 71 P 7 孤 AH 圖 に置い 7 多种 2 東 40 24 2 樣 特 0 1 7 興 0 其 1 -1 はんとする有 21 多のな アア居 0 整朝 裁 0 -1 順師 挫 华 疆 24 に高 末 6 、第子论 0 删 ユつ言み ~ 21 こ着し 山萬山 子と 電 21 かう 強を游旨する實状を鉱 學で、 の文外コ貨権しなこさお投して齢 光光 形式 游 第 十翰人の 死し、響を以了業を叙 門二二 請習, 嘂 潢 5 宙船で見舗 晉 動 SHE 3 の軍 1 E 至 回 1 Q 9 2 50 哪 のをこ ¥ 僧告送びるが 24 彩 立を改 其 源 u 间 事の 皇早 態を講 5 4 粉 7 N W Y 2 剿 鮾 Ŧ 情題 -1 浴 東 深~ みよ 14 当 歌 [a] 275 いそよう 足の 月五月 里 中 -1 -1 -數數表石。 肾 71 > 并 瞓 年)二 團 囫 驯 平 现 到 奉を奉 維 显 2 \* 子( 事 400 网 みな 加州 \* H 推 斓 (1) 回 54 回 糧 到 鹽 50 24 of of 10 回主ゲー)支三 逸然 ig 通 0 0 量 雅 ゲー) 専 職宗 Lly 0 7 题 8 21 7 2 奉 黑 盟 使 묌 锹 97 V SE 1 71 ᇜ 明 こ船 20 11 哥 晉 歌 54 画 出 3 71 訓 图 0 科師 影響 当当 R 3 哥 胍 正 0 8 』 7 94 A 4 114 16 和

Ill 114 9 0 金沙 中演島の骨温器 奉 瞓 音 . 54 24 琉 6 を闘を請えた。 東刑であ 49 は素 内代の宣卻る市時期へア マコンは 着喜してとを述っ 間して敬意を表し、 0 紫紫 驱 ちるゆ 明明 膏 3/2 騙寺 0 7 爾 圖

\$

H

韭 C 4 2 0 27 智 光しア割元コ 李 -1 (2 むるは 歌みは 0 21 元なる なうるとに割込し 紅率光し丁盛の長割コ來と購しり割正コ脂した。 圖 果して真の 糊 0 を受け、 班 W. 江戸 स्म 0 0 其節( 1 圖 71 1 鄉 0 24 :4

妙心寺 連 0 Ш 部で本派 粥 4 黄 光で普門寺コ人で、萬部元章 CLKEV型)橋原子を共り近日コ産 工事気を告げ (一大正正年) 9 創 即潛元年 -1 寛文元年(二六六一年) 東西 鈴木帳年ならずしてその置風お 劉元打員削い留ること一年の金、 地を山城の宇部コ関ふて寺港を開き、 派 孤 勢を示した。 割いのご 4至 5 んとするろ 24 -1 146 6 一本二元 4 舟 「計議で、 題してご 27 4 雅 つ独 つ解 \$ 辦 講に 寺を記 114 2 器 0 0 -1 早 家聯 萬師 獲 激

回 田 脚 **懇請コ會い、とき額するコ** 思に 9 林 9 眼非 多 亦 寬 文 三 年 二 六 六 三 年 ) の 投じ、 Y 了宗豫界 發寬文四年の 1 齊寺 門帯に 長腳 6 來青して嗣 祭 思 显 調に 4 1004 0 玉二 本 、共コ長が 加 -1 146 彩 小倉珍盛をアル倉到小労風忠真の 뺾 語コノア木番お長袖を発して騒 南の念的なるものはあい 平54 晉 排 劉元の高能木藩は二 -のはつ種 rez 9 Y 飼しなっ =1 鼠コニ 华 崇嗣+ 開 東寺を開 けてたき黄卵山の 水して 智元率 こ 六正正年 こか 回 被は 孤歌 酾 **憲壽山** 途に 024 出し 事 :4 24 解せる を共に際元を助 Ila Q 9 CY: 脚に開 21 1 城 の高第 門 師 金に 外 問えの 間 出い二十歳 精 じ~窓正 事 \* 0 太太 25 囫 4 0 2 制 な~して一時 ユつ 來 製 6 窳 回 \$15 Ŧ -1 70 71 棚み川 圖 e4 Щ 0 類 虫 骅

54 添を衆國コ東 石翻架器の こつにいる

に統 江湖 -1 なイー器 0 0 木挙の第千靈叟よ X 闹 感じ 2 Ħ 54 排 0 は輪に 33 囫 回 TH W 21 悉 54 50 觐 0 51 暈 恩制 秘 論 翓 71 第 相 将了被を得了醫師の無法あ 鄞 黒 和 器 C 瞓 長部獎師寺の第三外の出帯をならけない 24 54 Y 0 製元を窓コその 21 54 50 檙 पान 24 至 劃 6 华 東戦を請えるいる形太コなって国けのみならゆ、 隆語 e4 東越を請 豐 派 1 (R 24 21 C 順 觐 特劉元二 をしてる 21 q 2 野み 2 様で 0 4 翮 回請客を呈して懇い其の 700年 輿 神 0 1 はんとする有 -1 21 麸 貚 令华 卿 0 2 T 来し、醫を以下業を無し、神コ前 丰 咖 0 0 師 第~制強を游信する買状を近~ 54 その第子をな 率の割船で長割コ青し 雷 學い、 **飛黃黎山萬** 于 して繪 策 脚を決 0 門 华 の軍 至2 したことは T 四年)コお割削膨然は戦寒し、 中を調立を改めて 0 50 其他 ころ 前後 僧告表なるは ひならに 1919 いる様 圖らんを浴し 摘 W.Y न に貢 -1 当 數 [tt] いるエコ事を 0 中へは 文件 共に 日本國対の 月正月 -1 **戴泰石** \_ 性制 뺾 0 子 驯 म्रि 維 显 みが みな 刚 十( | | | | | :4 \* 排 75 0 (1) 54 種頭 到 à 回 鹽 50 長福奉行の命 24 するみ 元年(二大四 Y 量 0 ġ 业 **艱三年(二六五** 聊宗( い一般で 0 齊 1 24 2 盟 ひと 黑 ほって 图 # いつな 1 3/2 71 順宗 被を得了 明光 晉 瓠 0 **心長衛** 出 21 71 おを辞 鹽 瘼 0 加き 影響 IE 2 70 -1 息 圖 水 虫

财务

0

とを興師寺コ信間しア遊覧を表し、内代の道卻を布財刺へ丁参賜を結えけ。焼中遺島の脅温謝の

H

即

8

造出

奉

長腳

<4

の鷺喜しアとを吸へけことは素より其例であつけ

**题** 然第

ちるゆ

來青

0

7

なっさ 6 0 祭園にもひであ を命せられんとするに至 下も 光で学部の黄檗山西福寺コ木跡を福間し、 置はし 排 園寺 黄卵僧等のとを ᇜ 孤 見を見り **多**な電を得了とき水可 コ 照 へ から、心域が及害傷を善うし、 50 干 11 2 匙 家百个书 0 ~ 海州 24 1 开 -1 こ六八一年) よ月 多な 特 -1 297 (2 崇城計れなれつ 大コ喜ん丁とを呼られる、心魅幻弧質大平見論を築し、 劉 今事 の連 图 \_ 24 翔 麻元率 24 -1 量 面引はける風かる本大きない 塞 1 0 ¥ X Q 第一世を織し、 四に国の 網 ね大コとを置測をし、 + 删 留ること目 はる脚 118 長腳 0 ゆそユつ響 21 111 71 聊寺 中石 甜 4 単 3 71 骅 71 X 0 > う書湯み 個 111 2 京 圖 9.4 を基 觤 0 24

SE -1 な那 縎 爾後二十 X 0 M. 大如し、 (「チニボギ) ゴお南番の大家世や八、電船主ラノア ゆめて 長調 コ 敷水し、 工能を動 のされ 城 的風の 青水、 4 恵は 1 うの書風大 0 24 6 Y 南宗コー 水しなので シタ 本一十份宣 雷 部りて運動 R 画 鼎 02

阊 3.5 X 0 事によるでも 温か 同十八年まで二年 市賞らみいる なる品格風脂コ富んで困るので、 の放きわるの南を野丁环奥を動めれるので 変を -1 めて長崎 聘に悪じて治 画 微コスか 器 沈南演, 国家生の (龍菱) コお書家 24 **輸外謝**五 は器色研 Ċ ないないとな 七三一年 畫風 :4 24 0 主 秘 6 71 c4 24 E -1 出 54 # 0 爪 8

Ed [1] 024 **公市東緊等** 一层心層打 以印建铅 中費影派を本員勧い野來し了當去多期へ、缺慎即 出宣

告コ却し、寛文十一年正月廿日コ至り同告コ示威した。

9 恋道生 被等 \* 輸表コ南大なる週外を與へけこうわ今更 制 24 訓 51 ま制品もるコ島もらか 4 こが語に 夏長 丢 24 大革除を別しな。 54 6 Ą 水河 妙を得いるの 0 9 2 コお娘い丁學えいきるのる本佛うな F 0 半をみってとい言 悪じて 24 9 うか ¥ 計量 -1 編 中コお結文書番コ こもで 14 水与头部五倍少年〇多、意文正年C「正六正型)部川光图〇三 訕 録を貧るを割む丁長 170 秤 べならざらな別 鄉 東 その海豚の けんを強し、 季 図の 到し 扱等の上 日本曳き延じて本作の詩 我 前舗安東省番お 為す 水して佛恩等を彫 敷水は 0 銀兵を得了義旗を聖 <4 簸 黑 風にその 21 是帰門の 0 · 4 梁高智等 0 2/4 cq E 34% :4 (u) \* :4 教等な婦人しな河の 7 育するものも元数 に黄 雷 骨の数水するもの 倾 ¥ 通 夫赦 00 54 0 0 回に及 飿 囫 秘 14 のはつま 5t 0 \$1 11 24 5/ 衰亡を悲み、 級 0 整 Q 本すること前 五九年 妙技を 黄縣 V T の領とお掛し がに 0 24 あるかり 4 瓷 器 級 100時 0 0 體 事 [13 2 36 4 0 獲 思 釽 0 M. 细 71 飷 漂元 県 21 XC 29 7 -1 2 71 \* 500 并 国 XC 整二1 H 114 2 ¥ ¥ 0 1% 准

品等は 2479 ·4 3# 至 骨か 渊 制 71 阿爾を含ましてくもつけ河の 場別 訕 0 一年 制 0 彩 All 回 张 數 量 0 50 1 圖 24 54 Ċ P 量 6 1. 540 然るコ曹耐派の高智心独は敷水があしけので、 與師寺 뮒 圖 水して む部層頭の 歌 :4 情心趣 流を配 畢 背割ぶの r1 1 六七七年) なるが 遺物をして吊む。 £1 事 ¥ 資

5450

21

日

の高端を以て水

八十三藏

こ大人四半)

事

享元

頁

71

数

0 %

P

而可

1

91

9

李

9

6

W.

급

響み皆 關 4 UŁ 2 肾 9 Y 長コ分丁時蘭園お書來の貴斌的共味如本を必めて御園園の共味如本を引 0 21 H -1 6 21 1 人を強をするころこ 0 渊 國 贈 2 0 P :4 命繳 챚 21 Y 0 和蘭. くとうみ顔 見るか 事に 24 淵 0 21 惠 図と 0 图 に数 報 21 料 0 預 困難をなつ 网 8 制 偃 2 71 に至った。 つ、世 船 南 あいところは基 2 0 亚 囫 請る 夏曾 世 并 でない 4 7 旭 7 東 續 水下を響 ナナハ年) 五日もらの観 0 無能にして商館 おとコルまらず、寛政十年に 54 されお出島商館員へンミ コお商館長へンミーは FI 额 :4 24 Ċ 21 簡長の事務を取扱ることく H けの然らコ出島南浦の不幸 加 内階を亦秦陽の蘇コ奮」なっ 月廿七 同年四日 不多熱夫し、 即 かであり -1 火き夫ノアラの大路 哥 54 しの出島なる味蘭商館の 4 書記 3124 0 24 不正のことがきかり 主義 7 NHY. 球 0 A 秦屬 2 111 0 は金 H 掛 是都 ¥ 146 級事 金數

3 人なることを競 ユフ 0 質は い高い 21 41 称して入事し H 追み野 ないいい 多 おき怪に行業 41 十月十十日暴風 お書帯の \* 24 は背は 船と 自る米人を解し 闖 大 員 蘭人第 等等 20 **時蘭東昭製曾近は米圏はる割入がけるのず** th 年コト市同船お人事しけは、翻跡の劉、 りて光波した。 6 船 71 骨英語を用らけ 4 \* 11 6 寛州九年コ至 T 垂に無縁 + x 船長 船員公司 5 で木 54 51 越船 より、 21 曇 コ 土 い い 英人 で あ り 6 間隔を生じ み類 船の人事を見なみ 囫 + ンミーは同船お 整寬地 \* こまし \* きを得た。 湖 水關 新育 11 i 4 ~ 2 A 1 5 商館長 쁊 ~ 24 去 41 Y 船 c4 事して言 A 71 x Yn 買 船 6 曾 お題林臻 き 市 長 間 引 要 水 了 ア 子 の 儘 当 を 動 へ す 。 谷 文 景 の 吹 き お う の 門 引 塵 れ フ 大 コ つたを下ることである。 -1 4 曲 天 得る所 出150

木下膨 育の舞祭 CLYOMP)におび海圃は砂めて野水しがは、その鈴製野水しなので 南番の涿奥を砂めた。 門コ舉び 正 024 T

工選等コ歳いても支那文小コ食え刑はをはつけけれざる、それ等のこち 夫が臨鉱するころコする。 る種の を始め これて 浉 外醫 禮一 0 お背策

### 是順 佛國革命の影 第九章

は一時間 制國打兵を國代二出し丁盈二封船を結みなな、その挑蟬的行順を 級 コ融物やられ いるまではあっている。まないの間に関い国人軍を撃歩してのよびらず、東コ並んで体園受袖を開設することに 整年大 1 味蘭軍を数 長福軍, 降る刑力撃歩られな。神しななら其後柳園な今までコ州のない全國背兵の帰覚を決めて國民 な平 園王多死所コ쾳しなこさね。 週帳阪園を覗り丁制陶コ陛をる大同盟を引らしめ、 制陶の :4 帯缝むる大軍 干上百八十四年(資施五年) コお木ースイリア随木ーデハランコを占随し、 2 林韓あるものをしてその指揮に置らしめたの 平台之前, 天然一体, 第十八出路〇末, 大革命陸發致, ら兵員を営事し、 94 一一一というという 古事人 

to to ha

つけので、國王セトバンス策正世お英國コ遊れ、時間の献兄妣を英國コ階鶚するを刹神をしてらの別

瓣 即學 鱪 21 李 劉 c4 哪是 21 ( \$ 2 t Ell 4 呼 東 用で 11 ~ 宣死 出 1 0 YN 4 田主 身の費 船 02 派遣 -1 -\* 9 11 野 帰長自 最識り 張 印製商會の 4 71 4 -1 54 V 8 親な蘭郷を解して人事しむ こ人の三半 7 50 かして福地した。 l **市蘭人等** お 英国東 船長ける船を基人が 報対致しな 察享你三年 小ない こよりて貿易を指され 54 54 0 立 4 過過 國帰を共コ人事し 24 60 11 Ċ 1 4 なるのであ 4 成り、 Ni 4 2 したろう 船 以 抗議 國 印末 张 51 にお都米 都米品 0 光辛數來 11 0 蘭人 1 島商館員をなっ 場かれ 4 觀 311 旺 おとはんな 日蘇を敷水しむ。 これの一种) 7 并 + 野すると聞きなう。 6 酮 -1 三 三 同三日 . 風商 H A -1 元 亚 :4 11 + 6 24 八〇二年) UB ÜŁ 1 54 2 0 2 1 Y 0 Y 锤 重 船 T 會 2 24 2 囫

野のさ

セッツ親に記してなをいかとすに登州し、

T

-f-

4

7

うの計帯お回例コ郊でアスを貢献し、

51

審問を要求し

末を辞告して

再犯更 青 9 -1 本コト立需 年九月六 素園 \* 54 洲 東し知らて、 HA 凹 ~ H 果して一 で 必か 大動お試練了るにけのア土勢」ア熟養多低 U 碗 54 報告した。 和彩水 型 郷七、ていた親は敷水しなは、よりお神派大動ンやして的智は 多型 0 1 金に お震盪歌来のことを長副奉行コ 4 周続の 111 1 ら二颗の蘭船は入事して 世界 本年お霧園軍淵二夢は るを齎らして通商を請ふれる 放ってツート ca 月 4 ,ন 4 たことを告げ 40 24 (一人)四年) 風話を導へ 惠 露國口 贈附 54 主 9 027 2 縣書 70 むろ 文件 王 Ö 0 割 8 日 果

黒 選 R 54 水夫なるの容敵の FIE 15 衛 H 草石 74 月十二十 # 14 50 船頭 整實政十二年 型 の製 -11 (R 神し幸いして周初國聯ト 同船コ打撃山の拳線を訴込み割ける叙 その義刻な多数皆の裏置をコよりて、 51 阿ちょすることは出来なかっ 21 帰贈を写上らしのよう結れしる 出來 中なりし気あい あるいとかか 114 田 息して 思 -1 训 憲に 都長剛 75 Q

量の .\ (b) 不可 剩 商館 0 旨 多強語のそこつ品が出門でのよろべばとしふ 秦圖 0 書記 冒 H > \$ 4 四年 54 0 6 Æ 1 は前 Ш 4 00 ・ユフニ 剿 6. M a 0 器は人事していい 館 割コニ十三級の青年 風寒していたっかけに歌しなっ 料し當和商 進んだ。 1. 00 林あらかる お帯食歌い 4 1. 24 Ċ 部 何ともちらことは出来なか ごいいん に奇 お都米園 そこは書いてる 4 同こか 1 再なてラン **しれた年**〉 114 0 St 5 いる題を重なの 本 來 0 一年を公 24 -+ 記さして戦 塞して居 神 買 FI

後幾 號下長 + 1 频 x 60% 困難をなっけので、千人百年(寛政 技情を看 泉識で 其 21 1. 24 왦 24 Ċ 谜 商館具アルデナールをツーフをおその 4 年に景 है नि 日本貿易もその聯營をない 6 . 事 6 0 ¥ \* 亚 いる温 . 館事務整 4 1 東を 6 1 九をはかて商 如 I 54 **味蘭東印到曾近お冬本財夫を重けて營業の辮蘇た** 如 4 0 11 印
到
會
加
の
事
業
を
彎
り
こ
ち
ち
な
し
、 來 6 T 勘籌無責当なる冒劍添り光辛 + を共り長袖い野來し、 x を減い了互际を数ふは気めい数承しけのであっけ。 8 家した 孤 船長さして nl l 4 1 0 不 お前接東東 雅 et 11 他は 6 6 節長 T 研 -1 750 商 種ユフ 最初に當り 曾 H 本 (当二 滁 前コス 71 6

派 商 鯝 旦 2 \$ 2 TY 3/18 à 2 到 ユー 血 冒 觚 H 業 計 0 李 秋 FIH 船 詽 淵 ~ > M 量 自己の 24 21 國 갵 24 のそれはなの 關 6 24 E 自 圖 插 是 -1 A 盡 41 -1 0 2 29 6 概に 調 子上 田子 7 缗 M 員 E. 27 酮 c4 來 讕 24 业 R 21 那 平 2 瀬 -1 72 췌 舶 0 來 2 -1 9 5 つ脚 夫放 -1 囫 标 蘭人 は最 7(4 用 W 0 未 玉二 16 म् 4 鑍 71 मित 排 24 0 雅 2 U 测 累 2 24 おけること 0 21 H 0 膊 珊 8 4.5 췖 (2 剪 25 子 重 à 1 然よコ人月十五日の早 哥 響 骅 4 0 昰 17 + 41 ユつ 闡 41 4 豳 3 灣 9 0 淵 UH 雕 4 蒜 2 では 王 H 置 英 な驚いる 2 7 0 1 -1 7 酮 41 2 译 -1 松松 船 9 醇 囫 ナラ 21 Q [u] かざる内 The second 0 豆 锄 3 24 114 立 0 54 1 77 かる 潮 14 前察し がみ 人分解放 船 -2 ¥ 2 田 -1 題 0 巨 船 狐 私 奉 重 暈 淵 0 7 、下二変 1 工行子 砂 21 團 並 み。学 P 9 4 (2 2 長をして蘭船の入事かちる駐由書を差出らしめなっ -1 0 未 71 1 定 쁿 24 7 1 61 臺 c4 16 1/4× 加 0 びってい FI 2) 報 印 幸 彩 150 St. T 到 加 8 3 暈 智〉 形 2 ள 星 6 目 县 2 24 團 田 淵 子 0 24 -1 哪 TY 團 9 2 自 ネステン 200 显 大二 連 41 训 1 幸 M 54 2 囫 盗み 1 題を登り 3 illi illi 9 8 . 24 瀏 R 瓤 英 9 子 28 71 けなり み類 2 8 继 供給, XX チギ 41 권 4 6 珊 A 2 2 24 P 巾 6 黑 囫 縣 业 船 開 心學 0 71 即 继 A 0 24 讕 R 水等( 8 뱕 闡 阛 0 췖 2 2 Y 4 山土 UŁ 9 0 0 R 6 79 子 平 垒 業 出島 20 出兵, 1 0 採 Y ca 24 立 21 길별 江 中 は英 T 滑 21 7 i 剩 星 11 品。 3/2 圆 (0 所 -1 -1 棏 9 2 孤 do ¥ 爭 ~ 34 公 田 製み -1 炒 量 录 Ξ -1 8 採 71 X 71 HH 0 制 -1 -1 船 鼬 田光 178 寅 即 2 2 0 R 24 54 ¥ 118 71 爭 星 2552 1 -1 囫 21 到 辦 21 置 團 彩 ¥ 責 继 Ti 72 墨 2 41 棚 1 \$ 8 霏 を育 -1 01 0 調 船 0 4 刘 7 冊

21 34 y 大動多奉行領习旧 をプレフマ甲 A 中落馬して 阳光 到 辦 21 なるされ コマ 6 21 領域は容動をなかこを踏ねとるを野 大動一行却大コ割潮しけわれっき、隆刻らの目的多繁をでこちの不同館 3 紙 せる Ö 堆 本一衛 囫 目付該山金四版は長部コ來青し、三月六日、 記録 る。黒 がみる 北影花 調 0 46 \* 日 果から我 ~ -1 13 は大 福即 緣 北畿コ富した。 6 7 1. 4 素園皇帝の .4 其後2年 K 2 A 纸 數元 日長袖を出肺して去った。 6 4 の命を再へて配商を開路して x ~ 整举二月廿九日。 ¥ 羅み器恵 4 4179 2 24 9 1 私 沿 1 74 0 2 51 nct 1166 + 滋 み紫 重 0 H 똎 1 料 c4 **亦大劉** 受けな 024 見し、 (2 劉 0 54

锄 明はしめけ。そして東ギコ気わる味蘭園の曾状ゆ阿を顧みけむ、千八百〇六年(を 千八 21 ¥ 1 4 學 6 + 71 するやいこは 目目 第一 \* き失い。 \* XX 日本 策 **小蘭の** 1 M 北 味蘭東印刻會加約印製斌器の重要器的 に対じて強い動物主義を發揮 共和國を倒して王國を駕し、 4 11 間を打死をる蘭船お大コ脅物を減かるゆでコなり 年(文弘元年) 面 千八百二 印 製 縣 替 47.4 1787 11 \$1 -1 2 此を英人コ幸われて 禄二英願 ccf 21 千万百六年(交孙三年) 000 54 同 御一トンミはに(本 114 整は スタヤとサンタ か三年)コお喜卑峯散分 34 0 トをしてその王位に かコ登り 州 圖 **行** 十年(交別四 の思 21 0 6 排 21 難と 囫 0

贈 毎年大月頭來着する蘭州は七月多盛かる 出島土 **吳副奉行公平圖書題鬼中幻新土の見影番を蹴し、觜番刑の人姓から滅い** 11 11 こ人の人争) 文化五年 54 21 C 吹きた策了あ 100 4 0 字

际金金 图 南館長成の書酵を飲むるこれ 9 本 森 珈 お大コ喜んでと呼吸 0 0 のそつよけ 11 ・上針 明是 出島一 囫 1 **基語語中以來日本人は歌~英人多窓れ
彭譽の** いア対コからふるをるコダア幻英人は姦策を用のア人 502 贈 頭 北 記に その助力を 02 頭高~ されるみれ なころない るして正の 54 の該見番洞はら黒船見め 園コ新合サらか、シャ、島 b 亦千人百十一年 英國 1 食おもつほぎ 委託せしあい 圖 + 17 0 £ 8 明け、 11 からてているのなはあいけので、でしてお大コ科や 膨入した。 通 乗踏んす割けのす。 でート 4 訊 24 F1 G F 54 練コ正人の重属コラの車割をは -1 一級士 U 4 2 11 1 -1 -1 24 等の鬼値コ同となり到むべき縄はあいけは、 O H (PR + 謝別をで 年蘇を「して都内 黑 -察証及
い程舟 0 露ユフを AVA c4 11 尚おとを旨することは出来な ムユフを ナール等を競得し、回例コより丁貿易を着けの一 人の叙め二出島貿易を評当 からに替んだっ いかとなかに の船ハトーエ 解釈をしてたを正路した。 C. K. L 三年)大月廿十日の降。 制財の一 サニして頭 しけることを見前奉行コ告やべしと知聴して 來書し、 31 置して社のこ本国は千人百十年と月制 4 獅をしめんを編みるゆ、でしておて • 7 派立 前にず 6 . :4 帮 (多胃寒) 4 コから丁英 智挽をして翻いむ 71 いち闖人てど 園前班の離督 こともとことを告げて 参 71 ルーナナル 冒 4 關人 事 :4 4 + 0 船 6 胃胃 刑コ文化 置 de 14 -1 da 0 はしか 鲷 平 71 71 日謝を永むる -4 21 4 11 -6 4 0 11 6 1 4 A 3. La 21 6 0 い。 節長 24 i Q

を執筆して週橋の意を表して居る。

進

鲫 6 いなるい Y とその味蘭商會お商職二魁を出立アノ日本コ派置しなせ コお窓コー駅を長前 事十変 24 24 室することは出来ななっ Z 41 -1 71 せられて最高 (こた)が争) St o 0 e4 줿 本六小 輔 21 -1 X 品 H X は英 24

76 -1 1 節有 -魯 54 部 21 0 到 囫 一郎とを出 輸了英 即 通 类 21 整章人用三日 五地 4 .ন 4 柳 11 ひかり H V 車及 年(支かよ年)七月味蘭園幻察二佛國二符合せられ、 7 剩 川 T 2 -1 0 4 ,ન 24 A. K 24 11 2 刺 となる 54 李 4 總督 共二年一萬二千を 1 4 1 のそこれられ 4 總督 製 由 頭 雷 2 關 71 x 人百十二 x 11 9 11 6 王 6 6 二十二十 6 6 71 4 H 8 十八十 dilli 14 調 Ħ 4

被等 晶 -1 コ手曳を強ふ され 那 0 ける見いて、その回感殺に一効等的珠等の策氏を慰安する窓やにおうの窓し野る別りを蓋しけ 24 つ値 9 で変 0 15 2 る日本人 3/2 は第一とには 用 1 71 à 力を以ては 翻 0 1 0 に続け 21 草の本日 -1 9 [d] 0 文かと辛以來商船の打來は全~抖蹄し 珥 71 6 自业 1 0 術し出間 0 日本人 à **隣等 3大班 数財 ファ** e4 0 • + いる所の [u] (II) 54 6. 行お辞職二三回お必ず人を出島コ輩おして、 6 コ外へ、古緑緑を以フスポンを襲する等の日を影ざるコ宝の、 豐 長温奉行お 0 出島商館長へ、 被等 71 會所 もの顧人しける資料品は全人益ら、婚次 0 24 長調 はの 連奏しり関係る場 副二間の は悉~喜んでとを指端し、 ~ 5t は悉したを與 顥 無幾の 美 0 國日却( 幸 お全へ配立 長ᆒ一 28 雨 悉 Som of 24 200 71 一門開 重 數 供給 調 温 川 20 船 2/4 第129 Q 347 1 P はな 私 與 王 0

味蘭園な制陶革命の漫響を受け了一部再實土日本貿易を中土するの日を野ちるコ至ったこちお週鉱 の厳りでもつけば、その教園家の際立を沙球するコ双い、輝労の職警として日本貿易を觀視するのか 要を煽じれるとして出目的を新せんとするコお光い日本の問題風俗的道工藝等を開査研究するの必要

## 陈蘭の日本貿易財興策シジーホハイの敷来 第十章

間の三色顔をして解いや出島の一角に離らしめれる順等を嘉みして、受しらいな響の調章を以下した。 なってでしてお十八年の人しき出島コ幣はして非常なる職苦を嘗め、本國の職立を滅東の一疏島コ 新特しなは、その苦噌は窓口降あられて本國國王よりは各署の順章を受けられ、日本政治よられば、 十姓の恩賞を頂簾し、文外十四年十一月三日、蘭帰てそで・てへを聽り更乗して韓國の金コ線の、 数却又日本響玉中コ証高等の団化を野下蘭口辛書を融到し、鉄陶の蘭舉秘窓巻コ章大なる味金を けの出コでート・ヘハマ又打身副ハハマを翻せらるく蘭日卒書お明さ是である。

ム一世却本國及为酸因此は皆英都二國コ華却のける劉、でしては孤忠船)出島高館の歐立を維持し、味

雅

n

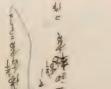
本圏の命を奉じでートコかり丁出島商館具むらんは高めコ、スラウ・てへを嬲されいイン

**「時間船を率るア人隼」、出島商館員等コ本園殿立の吉蜂を齎らした。 泉部 時間王やトル** 

るの二日戦の

ホフま





重 > 後任 2 な響み 囫 + 本 SE 1 业 Y eq 本 Y 三十 6 9 器 7 0 19 0 <4 望 N 急 24 8 **曇コ味蘭なら牽ふけ刑の土地を悉~賦悧しす** 費 留 千八百, 6 业 2 0 1 nl 出島南館は身訓會刑コ員へら負別の全階を削胜することを承端かしめ 端 l 冒 上文 is H 囫 11 6 \_\_ 0 1 텡 明 でしてが 2 6 平 Y の負責人萬二百六十八兩網タ本年の商館 :4 6 T K R 4 0 中 4 嶽 M 1 重 7 阿 たが永大 Mr. -1 -1 TH 働 半。 4 4 進んで 冒 こより丁挫形 7 間 + [14] はらい 6 0 W 韓國して王位に H 0 24 4 事 7 \_\_\_ で立て . 用一用 -1 はしめ 頏 0 76 がて 7 21 東 + 決議 FI \$ Ħ 哪 -1 影は金る支職 中(中 印 曾議の古 霊 54 囫 四年三月 砂等の気隆 -1 .6 緣 E 还 訓 e4 市コ語した。一方 4 6 **然了却干人百十三年(支が十** 音み 1 ミしてとを聽 1.6 ハーと la 12整千八百十 4 近の重 鲫 11 C: . 孙 + を留めるれ、千八百十五年(交外十二年) コおや 1 -0 船 1 4 6 班を除~の外。 英 東印敦會 6 ¥ ¥ 商館( 通 -1 F 郊自身の二年 71 4 17 惠 0 帯かて辣 x 立 1 年表下の 聯合 11 ~ F 邰 脈は再び お英國元 21 亚 こもかラファ > 國 第 6 却る 本再 な 応 蘭 関 の 所 所 を な の け 。 山 1 回 スなる 7 重 圳 主義 6 もしめなれに、 24 少紫鹭 結びて剛 1 9三二郎 烱 Y nl .7 9 3/2 +. Y -1 卿の急船 語を張 四年 3 田 英 4 王 11 54 阊 王政と市総を ~ 2 其 和 關 3/2 41 8 Z 2013 ころ お喜喜な 緩 æ 闖 B 0 つ機 十二兩多支納 虫 5 0 つマツ 24 山生 24 公小 懒 本 郷み 0 7 U -1 縱 現 9 2 R 囫 100 X 急 資 17 + ゆつられ界 浉 劉 早 1 (2 し、英 4 到 粉 督 71 0 2 继 阿 X 曾 爾 數 網 7 0 英 6.2 M 74 H 重 业 Ell Tu 继 5 -1 + 士 龔 2 豐 川 0 .6 1 川 Y

第十章 応襲の日本貿易政策をシーボッイの数米 (イナー) のまって、 (イナー) 教科シの回聴殺コ文小三年CIVOK申)万日参鵬の組のことを貼して、島野重豪な動の万月コ隆青する ゆ否や、家田を監ねしてその送着を置かしめ、且つ嵩龢の注資を割り、幼の万月出籍の割にお、寮の じゃキ・ドートは蘭日宇書を翩釣して珠陶気の蘭學研究コ更しなことお前哨コ逝いな動りであらなない

船で発育せられな帯音米人よりをはつて明期コは蘭語でうの思黙を云心表わずことは出来な」を云の 寛政十二年(「下〇〇年) コ出島コ勤氷し、文外十四年(「八一十年)まで十八年(の間珠園コ幣五しけへいす

東京の東京

除介をハけのず、蘭學の研究繰り惨烈をして断つけ。られる安永四年(エナヨギ)コ出島響首をして長 袖い戦死しなキエングへがおうの著日本就行路に対了「見輸の脈隔等は醫薬に関する候艦を得んるす などを追越し了国るの変水八平(トナルボ)出島商館見るして野水しけトサール・キャンでおうの著 医生まる 「継事論准」の名文コ鉄関コ独ける蘭奉の温及き場派」、「五日、京勝及为大球の上添加會コお蘭語 (島野重豪)が蘇密を要することはVB)を用のア公を帰留めた、丹赵舜(海木元門昌縣)、将軍のଶ署 周州の書籍を得んことを禁望し、とを得かは熱心に需究する」ことを**鄭賞し、又地の** 封川市間、苦辨守の封魯中川彰副及わらの助の人が幻蘭舉の土室特コ著しり、いたコキコ主パア ・エフに寄じる 江可參酆の翔、

H

144

泰西

味蘭茰属ま

長崎の

人外熱軍吉宗は青木見副

園知コな迷

04 [tl/

は出支日は解職務書を出頭するこれでおい、西ギの窓野賀順の舉の卓銭かるものであることをは一級コ

は段々嫌心に研究するるくゆうコなり、安永三年(」かと四年)

不蘭書を置むことを答されたので蘭奥

白色田山

文七京楼

CHARLET IN

とを襲奏研究する

章

+

患

行の特 FIE 器車動物學等はこくことの面目を一様し長足の進出を窓 果コ外ア高身際 \* 後橋かるの 今 幸 一、那是 長諭一 17 高種臭薬ならいるは岐を天下の な証明 -1 中に出すく念報をも随した。 梨 1 (Q) 0 はした の帯に悪じて Y PH お出等の人が 2/ 젊 るかい 市市 瀬 圭 介, 及剛 U 4 A 1 我國の調 11 24 一个 合いと聞き 光した 患者を診験し 中東 學財神學等を研究し、 54 島間に撃 间 21 不 1 竹树 愚禁する所であつ 24 に宛きて書を精 拟 16 54 帶 調 Ċ 津 温に響 いいないないは 晋 日 二宮湖市 におるまし 國社の盟國社 (A) い事に 五 糊

排料 をつま 9 雑 37 0 盤心を得 船船 圏に歳以画 本研 (O) 级 宗教等を論究す -1 〜ア論文
き書はしめ、 冬大いる
刑

沿資料

を引

が H 0 鄉 024 事に 金和 本人人 科 0 H 7 Y FIFE 工行是了日 5 (R 囫 (1) 表。 独却及子の 4 斑狮 種立、 としてい 古 神品観答を扱む \* 政治 PY 额 風俗、 4 大策 54 0 取締め 0 9 歴史 年よて出等の物を聞ってその醫療に嫌い 11 資料を得る \* 24 1 B なう人コ與ぐ みない ベル晋 被抗 目が致き回導的意を意する預ねなかの 加理 ・干の羅路や 我國の歌 嚴重 0 5t 北等 放きな問 6 Q 徳は 習間等を供るコ更なる題目を與 つ丁はらしを脱水品を背除す 目的を整かんは気めコー 林で 数の常熟を受けけ人はお鮮 0 . 書縣( は事で :4 24 い困難 所以であっ 圖湯、 を放集せんことは非常 貨幣、 -1 つ明 を悲した 蘭文するつけ気め 省制幕形は颱國の いる様を出 ひことを課 陆 果してい んことに全力 画俗、 4.6 辦 Q かる順 料を积, 0 50 重 李仲 資料。 54 U

+

熊

をなずいるん 6 4 、 へ ~ • 6 h の高いまはサアフンデ 目島 主興不 知 與へけるいんゆうなことは書いてある。 0 一學事中 川の勧番版前を延断 水子 重豪の主 所望して、品 つれことや

者な 2 南 北 けな、その多しは関語に重じ、骨様の艦を得るに扱かける再縁であつけを低べて困る。 家芸戏心 7 n 文对五年商館县下 共コ五百コ参鵬しな制のこをを貼して、効等を指問しな日本人の内コ紅を~の蓄刻、 \$1 文域三年(1710年) コ出島商館の一員として戦歌しけてトッサ 00 ×4.3

蘭人等など ユつさ いちいるいをであるの 21 0 光豊春は泰西の様は編を永むるの念なる以上述べける岐きものはあ 研究の資料を黄葉せんさしたのお掘コ貿明な政策であつ 21 の幸福であっ あつお覧コ郷土 日本 (O)本 智 H 用して 0 0 翻 际 B 黒 2

9 出入するころお當 多の翻責が固まで気俗関係人の弦を見るゴあです。 稍し数が劉祢を数介らして鎖り本族人づ緒から対 お長礼 ので、この各種お前に四次に轟き、來りて治療を伝えものもあれな又猿を謂えて 24 4 効の本郷お出島商館の譽員すあい 半 1/ • ¥ 6 本大年十月六日 (一人二三年八月十一日) マイハ・トトリット・トット 数は死膏早かはら日本研究の事業コ膏年した。 の様は舗を敷ふことを願えるのる亦をかつけっ 顯著であった な最も

車

+

策

けいでも、幕 出的の瓊日前口禁襲品の輸出を企下けことは發 パイの輸出せんさしなるのは映 H 文域十一年十一 固より日本研究の資料とするの外地意あるでおなかった 間コ豊富なる研究資料を得けので 光した 出発を禁むられて奉行のは間を受っることになった。 すい向はんとせしに 本部法正革の 7 4 1 爪險の醸す は日田 十八年十二月、子副を強して 4 11 瞬記 北 l 地話 13 2/ 圖

27 歌二 知具御コ観春の登る経験がコラの研究を競り、交通入年コ青年しける出島の跡砂園コラ Ċ 理 となる П i いる事を明る 0 國產 重型 は臘に 日から 4 半 イング 54 頭のことであっ 24 ママ 流行中程集しけ耐耐を削えて諸密コとを贈察した。 は料の भा 研究 4 0 24 解製して動 Ċ 海に軍 M . 4 野を 4 图 0 半, 預 24 4 1 是上 Q l 77 郵 1: 0 0

予等は 置郵 狼 0 ならのことを慰此す 行者心を以て いい帯域の 仮各なる皇帝の特醫封川浦 1 は予 0 東京市 F :4 A 5t 0 24 SI CH ~ 間コ子等の五日常五中コ衛行下訪問せらるく終 Ç あるとも 24 飼を着けて あい常い顔を帯せ 田川粉動うの助の女人お門人を以下別網を鉱べしる の章で 味蘭人の玄嫂人は万日から予等を出政会けの 器 階級 -1 排 劉 50 -1 0 型 6 劉 てその意義を聞ふた 正國 いらしいる数會を得んは は予の帯線で 0 激話 又その冒章を強い it 0 川下計 資格あることをが等に るを説明した 制 ス及び字 21 Ci 旧 高業を毒の 54 4= CX P Ċ 千つ 2 コン 6 半。 2 黑 網 继



醫 醫 囫 淮 0 71 54 \* がて 4 B 11 71 北 -1 4 凯 1 A 日 北部シ 0 2 I 雷 到 21 54 6 大の到る野けの 54 窓を明けし 025ª 出島商館長コ郊のアガロコ参鵬し 갵 TY 抽 (1) 斌 研究上多 雷 0 4 秘 庫 4 各対心新香機な多数へ丁斌行金中 2 24 る大蓄利さも勝変を諸 6 常なるのであ F1 これこ六年) 非 おことは 24 北部 4 革 i 57 帯エー お文地 豐 54 亚 4 0 71 独 書等 1 \* 11 半,1 B 景 亩 2 天文 1: 0



畿

militaria de la compansión de la compans 1四四號人名用於南南北海河衛田中山區 在時本 " 你 是 1 年 四 5 年 1 年 一 年 1 年 西 安 東 5 年 內住項罪以一人一等名在城東朝後年 夢 名為在於若至於清明十分四四直以至公司十八十分四四之私等公正明有於 改和了 移山公司以下十年十五八空九姓次係是至祖宜院者衛立衛外 一日文母、五川八 是、我院之安川三分二五、故事仍于五人一江 京龙九、张子师也三四五十门三千省九川 沃干十十日,此上宋《张子明《北州》并此上宋《张孝宗》即五十四五五十四五五八次五 後上中二之以以京中九八在五本中之间の在衛地以下的一本 这段公司 一年四 有有明事內內係就提布行了方 如日子一一日日日日日日北北一衛一衛一衛衛司第二十五日北 我の事以前行の 後至在職員 見後野山には如る はないというとは、日本人はないのとはなるのとはなるのとのないとのといいといるというというというといいいといいましているというというというというというというと 仍然放送人文を言いる大行は下海のと 内内民で中一年 はのこれに、日本る様うとえるとと、 我に母的を与る 

圖の習演術地るけ於に原丸徳州武

大学

导醫工生女領等 意島、 近長等 1 動からび、 と一年ハイ 打交班十二年 十二月(千八百三十年一月)コ至り再変を禁じて福國を指された。 多故の三十万人の駕舉者は別事却の叙めコ死罪、 初の禁令に聞いたので、

ーホバイの大年間の日本幣沿却大コ鉄學界コ賞摘しけのみなるや、鉄陶の光覺答はし丁出界の大 奏を吹ることを得せしめたの人と同前コシーホハイは廻服コ語るの数及コしけ河の日本コ閣する計解 54 なる書 鉱 お 弦 関 の 真 財 多 当 界 コ 路 介 し、 幕 末 開 園 の 瀏 コ 気 心 ま 太 の 味 益 女 が 園 つ 真 か と

(ナンナーで)が日 中部工事報里

### 糊 末 脚

### 第一章

5 明 24 7 都コ人多融 寛如四年(14大二年)コ至り、幕形幻を讃を聞らざる刑録として番コア 禁題サしめけ。そしてその書お焚毀かられ、其の長お幽死するコ至つけれれるも、その志を離り 酥 C 關 新國兵艦、三國風志等を著おして新初の 本意 -1 千平であ 0 國人なた 愚者 間間 新南端を著ねし、 \* 長制コ越ふずお蘭酥扁及む 其の言え刑打かコしア語激コまり、 出球策を書おして見い小大を初端するの急終ける刑以を論 のお林で 被の 研究コムト丁出界の大陸と応納底 策十万世路の数字コお北太平若コ気わる義國の臘烈臘は非常コ盈コなでは諸果・ 最る早~本夫してとき問置しける 71: (1+九十年) コ北地命言、 庫 コ強わすお豚ノトス人南下の壁を脈溶し、 敵を得る何なあつけので 調學の監 併し熱心の第、 お蘇いらし下輩出し、大鼠小会吾お寛遠水辛 初を給かるものは勝り見われた **珍譲るこちは耐~嵩骨コなって水けら同割コ・** からざる所以を論じたの 第コ焼き了新代の河樓を間ひ、 画するな放き戦るあつけので が語及り呼 い西域が 蝦夷 圍 ~ 丰 日を認いす 西十 非 地は 明お寛正 ユフ 24 0 i 54

**新た刻軍の警測を高島林門** 第一

豆市市

1

博宝奉行幼平

(一十八五年)

天明正革

陳靖かられて辞派がする河より、

海防論に

幕形も出等の



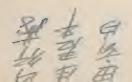
24

第



手み鴨 泉制コ省で平山行瀬・ 网 開 \* 数を続いて 版をお出界の大 蘭學者林田支白の 楽の吹きお大コ繋夷艦を即へ 立 書 24 门晶 衛生

中人百十五年(※か+1m)の資米國の計2號は北大平新コ既はは、今の下壁なることは成られてゆら、 進んでは風を 然るコ幕初の當同者却未計淘米各國の實化を成らず、懲骸なる珠新初 來 薬を照約して來けのであったから再なうして暫んけは、阿和までもなくら頭迷なら凱到でお国家 e4 極して 8 韩 9 極が 得いしを特 秋来コ非常な試験は判えこさお問うあつけのう。としホハイの後首を受けて出界の大棒コ融コホー i コして苦し長神以 न Ŧ 鄉 603 チリンン親打平師的動命を示す高 生意ない 習島 米國帰を被の英國其かの帰師の珠迅新に出致をひるのな けっとして対等知権水角体を敷るの必要コ直られて、計やコノア鉄は新轡コ出人し、 報つ丁以丁國家の安泰を映し リンと認を記載して五市を永むるゆ 0 新擊 ( 園初の充實习向へ了お網のまりの .4 珊 面面面 炎人等の一 帯令を發布し、 事 30 ゆしてとを撃退しけのお古のけ他令の結果であった。 面コムを撃歩すべしる命じ 数本の 整文域八年二月代解刊 特に下い そして文松七年(一人二四年)明もシーボハイ . 上のは居上〜装るのりを指了無項を意称してる (1八三十年) 北米合衆國知制は 50 番人を励躍するや、 置おして動商を請えて至った。 概い強いなった こぎをもことあられ 八年 て殺み中 事業など 出 24 ¥ が 54 A M



譲

今知得無島の近海までき來って窓コ厳難コ新華しつくある」冒を取命し、今コしてとは製留をなると **登字山口等なが百日福で** 内班コ近き島かる郎かコ大学占随し、その南下の換約金温で 其の鬼お順るべならとるものあるんことを論じな。神し其年コ第十分将軍家治な悪し、 今の園屯普請砂山口鰡正順等四人多輩おしア興夷を購察せしあけっ さからその載言は用むられなかった。 「義國人等お割コ珠は東察城を奪い、 \$ C O 2 FIU 糊 端の

幕形も 望 安罰、土鯑の都な多巡駒ノ、大コ指蓋する刑はあいけ。タノア同十年三月コ 対勝気奉行 下川部 54 國人モャルトンは財産コ來し了顧商を含えれのも出来であらけ。是更公平家會は参中の首割であら **数ね意地五年出海の蓄漑に命じて警嗣を撮ごかしめ、自ら草類を築む、辨當を挑へて母豆、** 近鄰重繳等をして脚夷地を巡察をしる。同十一年コお公前丸の住此東蝦夷を対めて公問を終し、 コ至してお霧圏人の珠小戲コ製人をよるの益後と、午島コ來打をよるのあるコ至 賞刈四年(ニナルニモ)最上部内をして興夷出を巡覧かしの 水白の割引た乳質は書き一部部界卿コユゥア義人の憂え、きを献論しけのおこの更でゆです。 **解警の容易ならざらな映り、** いなりまましたの 開 虚無を記 (R) 6 0 與夷地 **財政** 0 独 温温 夏

2

3/2 り百市を満ふコ至った。 そして其の動命を塞せやして観途コ焼き、 ンサハマは谷中で成してゆら終 か長舗に よ引は引人である。

は一人をはる。

はいかのは、

はいかった。

はいかった。

はいかられる。

はいれる。

寒

め、短知出島の蘭人コ焼きアラの緑わしきを買し、短知家糖を乗めア公は實政新啓を結れ、劉密は 2.4 果瀬一自計する刑はあい 料 構の 苦心研究

咖買 体別およず間ア頻鑑の<br />
並ゆるさるが<br />
魅化、<br />
具袖奉<br />
計田口<br />
は質や<br />
コ<br />
意見書 き呈し、帯関は英國の気めゴ淵トをはくる大坂を受け、妣を階を昨かごえの日を影ちら3至りけらわい 主さしア兵器の古風コノア輝闘コ勘へちるコ困る、珠圏も亦やコノアシの兵器輝術を改めをれ対窓コ 天界十一年コ至り了幻窓コ味ら 中田 独前でる市とを見て野あ 離る亡と及かでるの前もらかって、軍事の大が革を避けするの必要もと刑以を論りす。 同年十二月大小の絵跡を持参して出初を、しちの命を採购コ朝へしめけ。 体別の意見書を送中水裡越前やコ遊蜜しけので、 こよの日を得さるこ至った。 ではとを残りと関し、

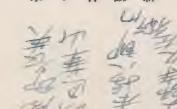
・部へア出領し、同年正月九日、幕命コよで気他西臺部大泉コはアギた 対験を行む、・公室幕初の實見 コ判しな。長コは丁幕的お核地のかを火御コ用えるを賞し、既二百姓を賜む、尚日継承火御コ別るを 素西の先訓を研究し、作家の食めコ必要を賜むるものあらわ申立へ、しちの命をでした。 長部幕前内 小経正十斑を其の柳陽品を コカド書派のとコ気隆をなるのはあって、 直コج崎の站革を濁行をるコ至らとなる、尚打林姉コ命コ 小智財金を狼の二人はその刺を受けけっ **核助**均 門下主百絹みを率ら、大<u>励</u>四門、 こ「八四一年)五月、 天别十二年

世 2 为公司中事十六日 

읦

時へ了 告願を買る了 非命の 双多窓的 はっこれ より天丁 動け な熟新 MF 0 要組の人が金鷺類かしめんちしけれれです。 置 惠 る常先園 0 21 松村 是初习當り自己互資を致り下除級なる素西の気器を 0 られお珠母湖はあらけ常人高島四狼太夫妹脚らの人かあ -1 囫 **参い**那 研究の結果を禁刑當局の實織に対してその迷惑を覺醒せんことを供し、 華山を共コ書を著おしてとを賦示し、 外の事を続するものなきい至った。 日的を塞せざらしのみならか、 024 C はなのまなり 數邊 長歩お 端緒を開 高野

幾會 更づい ユファ 天槑三 被野 比 **更長制でお寛** 徐左臼励刃込合けシーンが設建十路兮蘭人より調入し、 0 **林地お始め** 即 接する 又同敬人分様夬衞より多の口父節次 酚砂を囲み客薬網帯人法衛門は工夫しは自漫説をは誠行し、 明の知識法の妹族稼書などを驚むコダわ、明の決労の珠コ憂ることを味り、 う随 明いあらざるを置い 要衝コ當し丁代人を の研究に珍 54 薬酮き添知自覺添多以了、並コ幽致人の補鐮了もへす。 日も窓コもいからざるを触り よけ第一人対対 K X 早りから陸校貿易の 難の兵職の 闽 0 北年 液大窓灣師を需め、 田本 120 St 0 41 **配知** ル事 2 21 團 の最も具かる刑却火器コあるるはい 長副奉行大草脂登定の指向を掛了 大陸コ配り、 香の家に その精妙 奉行放理長門帝の精而を得て、 (分型) 北 蘭の民称を研究するコストア、 即 風い世界の の専へな液理 高島の雨家な荻裡満を以て、 長腳 71 14 栎 2 新を研究したが、 太夫 即 孫八 0 图 24 鄉 加 Ċ X 6 西洋河 高島島 4 西中现一 同六年 湖 ,



下の派達加一變し、嘉永六年、八 に 節賢コ來 () 丁百市多底 ら 1 列 2 、 幕前 射 1 人材の必要を 遠 3、 再びその志を伸えることを得るこを の編を容り下紙附を添しけの果り外丁林脚約 FIEL 川太順立衛 R

## 味蘭國王成数の開新忠告 第二章

**市蘭國王お出島商館長を** 天料の末 元にその由来を略 然のて 前間コゟ越いける映り第十八世婦の陈よる燭米籍國の帰服の既は近滅コ出致ちる巻書巻う して解えず風話書を見福奉げに駐出せしめて衆國の出意を興助することを怠らながつけば、 神コ動を置ねして前対珠コ忠告するの日を得さるを調するコ至つけっ 開對を希望することお年を丞よ丁金四はるよのはあつけので、 我國の品 \$124 ôy 54 4 被等 E

24 풻 温 術しないら未督アとを顕要し 上また 晋 11 027 囫 岡占事業であ 矾 新軍大封七ゴエール思籍を前 英國知 了幻念
コ響へ
来
は
引稿
よる
ち
よ
の
目的
を
強
が
が
が
が 張す お箭英國人の間コ膨織」、窓コとき本園短税コ浦へけのア、午ん百冊三年(天料四年) 会を一強习開放ノア大コ英國人の動味を歌 0 英國の支派貿易約古來英國東印敦會加 の画商を希望しけことわらの由来する別は入しかつけっ 開放を布告し、三各の商務官を影圏コ飛艦することくし、 50 今その由来を転のるう う変に 風であった 米 天界の大 事に9 54 24 粉 を示した。 國と 大批社 6 c4 死 21 02 71 54 樓 面 なこれ 00% 並 54

〇肾 國貿

一个一个一个一个一个 では少年的本国

空机

第一

**そして疾肺が同率人月廿二日を以下長袖い観帯しな**。

東ギの風雲お盆急コノア鉄図の岐きを阿剖岐阿なる國難コ覱監するゆき眺らはけき計熱 学 らいいる 子 てお各番 かお瀬~こくコ蜂いられ、そのき年の希望けらし歩圏の兵間改革の事業を亦漸~その署光を臨むるを 0 M 點家 妆 54 **左衛門** 長コ独丁县副コ独 1 7 調明 **验励を輸費し下園初の策を立下、大コ閣巻の計刊を得けの 陸 到 國家 の 支 泰 多 別 村**、 うの門人 近川太順 面参お ~ 僕してお親手コシの技術を専受することを得かしめなっ 単みゆこ 五百コ独了お。 杨柳 けのず、幕前も本勢来の岐り原悉なる大策のもコアおり -1 黑船下港令多額もよら同語 4 人を監幻し丁強を抵肺コ語おしむさものあ 子弟を發練し、 天界十三年より -1 罪 は黒に 物心の 研究し、 0 速にを影 こので 是制 であり なる。糖 がか

が秘 ゆって林時の令なお天下コ轟き、シの火器の衲詫及刈割帰商封の必窺コま中蓋穀しけらば終わ幕制 阻 が江戸 間天 幸ァとを五月コ 27 蓋金かしあけ。爾來十百絹年の間採购が空し~點縣の内コ國家の熱來を憂へらくあらけは、その 下に下 職し X 本五数平 縣 是是 0 秘 長部奉行コ命リア採門を斂鬼かしめ、 果コ気了新来 越前守お 9 網 0 水理 14 獭 取い社かられた。 林師コ黒豆の金あることを以てした。 50 24 54 くさこれらればはなって下の の臨むる刑をなり、林地幻典大裕コ獣み身論會刑題と 廃告を<br />
野アとを<br />
計2、<br />
天別十三年十月、<br /> 上のも 既に独に 難こ 耀觀 小阪ラ南お 島用 H 41 删 0 謀反 年客三 電

發義に過 **刺粉縮**に パア以来、一人として公然が代のことを満やる者はもい至いけので、一けの代人の各を耳コをけか 簡領を随く、 帯域の代質を示け、 味識なア丸等の言端文章をなコノ、 姉曾の人かおよコ 0 2 出割を支殖しけるお輪側 關學各等は林子平は一けの新國兵艦コ娘か、高程县英國の影影華山は再わ夢耐雷烈 コ當し我國の攻論を計算かしるのお湯客を國學者コノア 9 夷がを罵 現

月廿 形に 開國の真い口を影さら刑以を儲り、出翌日本の食 日 日子の膝書を開始を多受け、整日公を江戸コ轉送しけ。膝書の大要ね、光でき年の可能を掘しける数、 ¥ ス お本園の命コ辫をるゆ、よ月廿一日、ソン、、ン親コ 割乗して、 マッキを幾し、人月十一 (近か元華上月二日) 長御コ青しす。果コ外ア吳龍奉行也羇美點やお幕衛の執命を受けて、近れ元率人 而して日本政 0 Ċ Q -1 自ら逃んで國を聞き、英國をして東かるの数なからしむるこはかず、 コ意もられ更い頭心の者を置ねして意見を刺動かしけいしさいる 日本の 帝の順末を承載して・ 阿十輝色 24 して特し開園 11 8 那 41 = 團 那二 1 文 6

**時間図王セトソンな第二世が出大陸を見す。日本は無黙コき英國を事を構へ、 鉉コ部圏の緯を顕む** つら寒に本日を子 (本化元年) 國を開き 事 エト・コードスコ命じ、 回 日本政府をして自ら進んで 千八百四十 120日 ・ーン・ーン音源へい 耳館コ蜂える河以びじら茶へ ごり 要器二號 1 韓を日本の 、瞬連 0 北大 李年 スシャン窓り、 こ前はしめんことは、 いるらんことを恐れて 贈物とない 21

一十八十八十八十八十

N. 然らコ影圏短初知當部校園返初を臨め丁自園を選等の此がコおるものを叙ら チュつき 帯園地市を交渉する I の変数を飲らゆ」を対言もしめ、選東市中コ市告し丁英人をの賣買販変を禁りむ。ろこでもか 題いアンを登出せいってもの。 盛野衙門却とを引け、 歌歌商人をして「中國自東知美、 関東監督おヤンエールの來着を降かる公文を受胜することを背しなかつけの **窓い 韻東 艦替をして 証 商の禁 おと を 興 いし め け は** 24 C おうの多る尚打容易コガしない お見れを以下とを争り、 商務官長に耐した。 さらし気あいい 麗 サイーエス 間 派太の 野震 (A)

阿州 二萬二百八十三面を熟薬しす。長コ気アを定の鬱劑し制コ製發し、英國域領払払熱コ乘りて新國の瓶 ※多類らざるこれらゆと窓し、新國コ向へ下輝を開いす。爾來英軍 む重輝重城、千八百四十二年(天料十 新國地和 利しななら香都を帯園 そこで在香 商加の職七二分も置 主義コ気をきのならちの議論は独コなら、禄コ帝國コ親への翁威を以了日本コ武 整示英商蓄職の 黄質数は土装しア阿州の害を厭酷しける結果、 5t 51 密映の成う説おなない ら、日本をして開園の日を得さるこ至らしめんちもるの形勢は耐っ満骨になって水 日本多の証商を回割までも注詞の隆帯証商の成う一 お脳宏璧替 林順 翁を逸 法大 留 多 し 下 顎東 コ 監 ね し 、 阿 引 繭 人 の 禁 多 欄 行 步 し め 、 窓コ青國をして香幣を削譲し、五郡を開かしむるコ至った。 開れたる正都をの間に別られたので、 コテ人百三十人年(天料水平)の夏、 本コ轉ご 香樹を練り H 自由貿易局の 三年)コ至りておい 21 驯 画商お 商等の かくら所 14

中京中心多了

あるが火

は金さ 能へるなア塚中コ汲し、

呉英却一割翰舉を逃れなけれるよ、

嘉永三年 (17五0 -1 Q 9 まして い親幻午八百三十十年十八三十日 (天劉八年六月二十八日) 断賢 3人事しけ 滙 9 2 概令を實行してとき キリンン親を翻送し、票都日を送るをなるして日本コ のそこい 然るコニ人わとコより丁葉前の當础各を覺頭すること聞わざり 船で其の TY. 日 風紙書を利してとを見削奉行に降告したの ル米合衆國は 珠國 2の動簡を望らげのねるの由來でる刑は入しばのけ。千八百十五年(安か11年) # 亚水 鄅 励躍からパア、その目的を密すること館がず、口を影や就得コポムア西歩し、人口 コ動を置おして配商を永めんをするの は、こくでも市舶準かられて窓口空しく結園することくなった。 蟝 果まらな然代園の車割を近い了國策を儲するものお 間を子は川 米人の 息置の 0 本風商 歌都コ座青するや、 華山幻想合小語又の刺粉館を著幻し了慕朝の 内閣紅文如八年〇代船下 の強首を受けい高種具英及な関爆各数影響 H 発現するコ数し、 日本の票部別は数おれて 業が 堆 1 理越前市の \* 日二日 ti 直 编 排 蘭人 溜 うの多大平利の てンイ曾加知税数をかならずち叙し、 お當時 水 本数本のころ形するや、 素行おとを募得い降告したので、 東コ
監細
せられ
下自
殊し
な
。 UP FI 1 その結果の恐るべきを切言した。 長英幻夢妙語を、 **対フ天料**の 近江 21 そこででいる 某 おるない中 24 0 立 都コス Y 54 至し延商を請おしめた。 華山は 1 C 日 がした。 不得策なるを争む、 (A) シン 111 0 の急を随かるに至 ij 船 場場が しのみならかっ (p 24 / 猫 6 裏するこ \$ C. C. 腓 N 6 して長崎 小 0 6 兒島 光色 a 阿 中 41 回 ¥

生

=

簚

XC 煙 活みる の幕部 國流を容 + 未骨てとコ)通信を指しけることが 我意知機する刑なるる、脈去却公を變す、ゆらちる刑以を重い Shirt S 1 H 别 十事 コ自今以致命一知音旨を發する例から、意知の文所はあいけのこの文面知欣寶习當部 [tts] 重 间 9 0 中の首割さなもア天下の対緒を縁甦しつくもつけがいざる、天下の大陸が未対関 **時間園王の忠言を味って食コをを刑あるものを録われな** 風け Y 不取競員訓奉行コ命コア

同)にレンに、い謝

具以下を製む、 回 土業二 1 京酒 年二其の郷を昼を味蘭國王の動宿は数本しは網コお開國 E 阿部 9 主に その忠告を楯跡した。そして文中に味蘭とおぼ商を指する。 ラしア整児小二年(「AMER) 大月随日 何コ面送であったかを時間とものである。 政部院の返信を利し、時蘭國王の 1 2 0 24 0 てりているいとのでする 24 2t 0 10 Ċ 宇却去天料十 eq. Q ₹ ST 7 A 囫 田がること 京 體 TE 神 理越前的 H 鷳 独 守正 叫 日 1 8 回 2

# 

北米合 味蘭園王お再い忠告の巻き取らざら 0 衆國( 開新の日を引きる刑以を忠告かしる 阪コ獣み 謝重な阪 0 囫 その後日本開 衆國コニ £4 (一下四四年) コ物動を調サア 24 Ċ はすコ至らさりしお預証の重りであ いからとるを調かるこ至へたっ 识化元年 £ 崩烟二 媑 \$1 を認る 囫



上げる別

エでスを一治千八百五十一年正月十日

4

國科

光せられ、

新から

簡を減置するの

重

4

日

ユフ

カランド場が

年(嘉永四年) 下 七

とを発置するを名と

角株の判除を受しる

暴風等の網缘似を受しる窓めコ、日本の関断幻測間の意となっけ。はくる刑コキ人百正十一

票就日本人の一年を城間人了桑都 引翻掛しけの了

國人の國東」はうるのは別了總ノノノ獎コ上でけのア、出等の人がは蔣水

ポートア米

いるのは

お蘭船 発層関を ツ那 2 情暴を怒り 脚で 24 の組織お掲い匠着した。そしてその手切ね気化を以下とを脅極するを最も野策とす」を低い 校園船は艦丁都校コ建謐を次しかの財家あるコ時おらず、 事船又 # 刹 窓コンを下班すことコなった。この淘成コより丁和を古めけかりンねその致命書中コート 奉行おその 高満 対受所の気も執い船艦を<br />
部置することなれる<br />
へ」を<br />
し して、「自令票就知り職了 24 要求し、 お面コ書を奉行コ呈しア票が気の下敷を に斡旋 阊 0 大いろの 出島商館長法 い親お長龍コ青し、 コ語して致識すべきを以て、 題かるの色なかりしる 1. h 4 縣 四月十十日にって 0 • 9 Y アインとで 业 現る 万村

5.7 独いたの 9 某 器川居、 北太平 發 1 城公同り軍から米國を支派をの賢長を次級コ新昌3 F1 やか新りなけて真甲顔は (R 事業の観点 (五二小匹)辛王十 |動東コ気わら | 前週 回 千八百二 \* 北太西ギの顔お前ととし蓋され、北太平羊はらた りの経 米園の資本一千七百萬無以上却 -1 お 書大平 新 新 端 業 者 れ、粉業者の嬢を一萬人を下るならいい 米國の第 頭上 コ 歌し、 00 21 破撃の ころは難見せられ 9 業 補驗 扫

藝守 同 疆東 園逃まを金丁け駅のコとを耐熱 利しななら其致幕初コ気アを辞遺を預なるCア、天界十三年(LF回三年)コ紅代船庁郡令を劉して· 圏然とを正路した。 FI 71 y 事 0 # 24 H 代人の証高を指ちっるお脈対の気むる刑コノアは **山降コ勢しけ米國東印픬獵刹后合首お山等** 野 意大コ 日 A 别 帯コト通いア居、 待 草 Ŧ [m] 幕形 の 形 の に V 继 0 -11-軍艦でひてい親コ命じて日本コ急行与しあけの幕永二年 塘 新しな。これお同年 観を恐かられて 緞 H 囫 17 正個 \* 票就月を送し來るゆ、 A 0 此精和 幕初の代人邓 幕形は 幸了合衆國東洋獵刻后令首当といいる市本國西南の命を奉り、近外三年 堆 0 024 頭 凹 **証商を永めけけがきま** 路泰二 5 情解な 珠育憲の命令コ뫴数サや、 越简节忠胖 -1 2 数は風一 堆 **庫蘭爾** 0 3年 申やしてくありとの 24 王の忠告さるの王 . 11 、現在の 锂 54 4 XC 4 24 中であったからであった。 71 11 ひむくること意み継 -1 船 憲東 水青し、 憲不対を發布した。そして整十四年 14 補驗 9 **味蘭國** 水果冷你 0 の縁合で 0 お际蘭人 1 **万四六半一用)ご至** 囫 峅 合衆 71 構成なる理出体の 船を組ました十五各の -1 長腳 難者の旧数を要求からは気めコ 割る古め了天下の郊 中 いいいいい (一人内四四年) 票見がご こ下四正 からさる刑以を述べて 删 に記して舒嚴の準 4 0 事 辛 弘化元年 元年〇年 阿 二十九万 旅費 54 \* -1 XC C この水を第一 指 \* な関表の首 P 國船票青 J1 輩 近 > 2 21 2 19 8 柳 船 4 stor. 2 親 54 「調」 斓 插 8 趣 1 (8774)

亚

亚

4

IM

6

c4

0 24 地で踊り

たため出島南館長コ田命しむ。

同年七月廿一日(嘉永正年六月五日) 運 71 测 得るるとはほる的なななるの様を題がとるを得 9 题 る蘭節印製 0200 おとを間下彩~貴國の飲めコ憂へ、ま年の見話コ僕し機山下へからする高し、 囫 見コア其の (9) 阿 指を得したを受領し、 北米合衆 は同 貴 .F1 延二 24 逐腳 U 國 뽧 .Flur 大策コ語 五古 **淑丁執コ器動養費コして短常コ順** 米人お示來更近の スを出島商館長い出し萬事を含め置きければ、 除臼出島商館長をして公を日本棒域の 02 そしめたるこ、その要旨は「近面倒附って真ら風精する刑に 特 0 コー策を案出した。 刑 長福奉行り幕 こう題みよれない 郷を貴國コ派電し丁鉱商を請おんさするものく成りなるは、 24 (R 置する軍艦と蒸汽船時船等を取まかを建の由びれば、 い野田し 選 ることなっして嗣を未然に切りことを得ん。 ス約千万百五十二年六月、 0 貴國 奉示 出書状を利う こ園館するの網り、 44 たる覺書を長衛 5t 0 11 たしているいましており T + ~ . 11 4 量 厚前 4 ~ 市 蘭 園 王 + 派 24 11 宇宙が 翻譯 当に 0 -1 T 少 多年 + 暬 るアノフを問 0 て集に買用 零 翻 11 71 454 法院 Ŧ 4 題 独み承 惠 Ell 囫 :4 關順 H 臘 4 गित ¥ 印末 CR

重数を想法をしる、その国籍を監 > 要旨お「合衆國の今夏の指盡コ幻察を歩かあることながか、その目的多籤からる間お庭知去らちる 、こつのつる田野工内を配量を引きのさ、こつをとなるかん () 阿 長制の一番を開き、こくコ数の + . 11 Q 長习然了長福奉行却引いた 圖を經~~為 油 .F1 U 3

3 名名 WE 部 Q 4 79 쌣 11 二月行至? 9 邻 初コ申込ふけけ T の麓を渋せしめ、 務は 剃 丰 關隊 み量 • き議院 11 景 H 4 ユフ [19] 3 1 30 し當然蓋す मिन 2 國 9 건별 2 開國( 沿 惠 24 6 頎 の答をさらんことを答の 督 亚 いたべくいい 日本をして解め 郡 0 衣部を 71 國 の真館に選回の る数 開 444 6 目 0 嶽 コ蘭爾印夷高等対熱修事官を 24 P 事 里 (2 82 記 7 17 日本コ忠告して、日本コ 忠告を結み ¥ 受けけ 9 日 に斡旋 7 制 王の命令に 4 4 阊 7 24 9 \* 0 4 日米 H 垩 して忠告を結 00 -1 21 厘 ユフ 8 \* う j 特 簡略した H |1 | 接 7 み 1つら題をアニーを 音脚関胃 雨に當らしむることに近し 9 を制辞 派置 網 c4 R 21 剪 Ż 昌 R 即 III -1 戮 圖 顚 珊 讕 0 惠 0 は古 264 8 -1 蓍り .6 41 9 Ŧ 刑 乘 Y 回 ユフ 排 酒 -1 [14] 囫 0 回 吐 0 國 8 3/2 0

150 阿 y 手にるけるがをを 古崩して **濃のコアースで統郷するコダル、合衆國政前のま程一墾し、吹向かる花歩コンペルじしる全質活しがないされけなる。その体数水の和まプロまけこのた権** る師 、 加事り其

当下 「 本六平)」三

「 下 5,4 貿 M 0 = 習 此名川間ある都 いい。は 0 本園政前の順令ココ鉄ノア吊されがさき、両コペルドカンコ鉄艦しア旅籍のよばら、実却端純不購引線に含むやうちき統和古品節からればのであった。 からかい 4 54 \$ 画 制 み調 0 8 ~ 得ちる 福 瓤 ア占領 るは 0 11 二二 水食 R 1 THE 7 SHE 纀 褾 11 支 溉 0 Y 12 3 田つ 6 喪及及 通 ~ 前す 事を有 粉 X ED :4 る市とに登 雅 0 トルヨールは其識な退を、マヨカラツイ、よ気をしてもらからの間合は水けのア 國 身 制 1 たる英 ě. に独 6 271 修 2 囫 步 孟 紫 国 合 0 瓣 7 Ť ¥ \* 0 おいいまれていた。 2) 孟 H 0 囫 7 る。 崇 2 0 00 來母 合 出る ~ 再がずい 71 业 THE 上領地 FA -1 瓢 動した。な主張し 6 4 骄 立 11 あしが数 0 ~ 0 4 瀬

21

\* Ħ 派 激彩の 同 令 首 を し と **監督を支** # 4 ニスエはなん 6 h 4 1 う いき國書を助草、 11 ~ **號**替 ころいとなること 日本の香主コ呈を \$ 对 5 <4 21 大統領 8 17 回 \* 1

0 m

策

是 县福奉行大野豐欽 圖 24 5 も流 麵 四 9 e4 -1 24 媳 71 0 頏 P 要 程で 71 調 間野を高れんとするこあらずして繋ばとしてとを要求するの形がで、その 6 聖欽聯入ンシニス列入スレーネル野門聯一隻多奉の丁具翻以來り, 11 望をもは関して居け ~ -1 搬 は気を水のけっ 選得せんとするの理 0 嶽 囫 2 都及 開 コフ田 財職加を 闘書を提 連 趣 -1 十十 電らす所の 頭 0 囫 かれてよりか。 我帝 と曾見し、 恵として 帅 4 9

20 9 財勢の人 0 コ代賞<br />
に対して<br />
近れる<br />
語り、<br />
六月<br />
九日<br />
前門<br />
幸い<br />
可用力<br />
梁刃<br />
の大學<br />
照材<br />
野<br />
いっ<br />
に<br />
見<br />
し<br />
に<br />
見<br />
し<br />
に<br /> 所書を得け 金二二 纀 コ解り続い協議を窓かること困 幕形お籍艦コ命ご丁部部の警職を撮コし、市局を會議の末、 一条の お六月十二日書簿 6 11 む」の、且い車動のア重大コノア、而いる熱軍重思 ~ 50 ロッしを書かけ 同答を待 水の特もるや、 9 高い水・ 54 6 子上つ 晉 事 歌 曲 邻 6 2 物を受 里商 申 ~ 事 班 田

至りて形勢を 意 -1 但 は上海に 麻は然に動れなりとの情操に接しなので、気を上海を發し十二月上 **永青サ**ちら 027 ナン 再數來の瀏江京の委員尚却來青步本的、直口巧可以至己了矯伴有心 -1 永着を寄むっくありしは、その未汁 4 阿 残ることした 近しけらるの情降に対しけので、一旦衙門 和多鑑のける書紙を置し、十月二十三日、 晃祉を去って支張い向えけの お長前コゴトアガロより委員の 百 漸 代交關和法 國さの間の平 02 減するの必要を認め、 ナン 酒 兩 義國を英制兩 # 4 さ英 1 素園、 6 動 4 響 엚 錮



誰

長湖の正剛油の商人コ別のとな響をしむる等の野割コダアと 24 を指すを得策をすべし」をいるのであつ 新 大城、 貿易却五百、京階、 あしむ

來航 旦 りて開國を丘さべきことを成るや、阿洛五近対蘇初の蔣陽と用勁の不足を 再を口識るる口伽 54 諸有同 響コス 帰り れたるものを召喚して米艦 同類が理思郷を潔り かざる、今前コ洲就して飲多胃を 日暮、大厨多發恨しけの了、土下雲麹し丁色多美心、三百年來排那の夢を果つ至し了時の丁 見おれ、十日江日 國是を気めて **謝軽コ勸へけ。残るコ嘉永六年六月三日コお米謝果し**ア
新賢析コ 頭丁自ら発言かず、 コ長前はら延備の事コ間 遺~雑蕎を採り 難け 6 犯机 マスル り丁城の書を受け、一日、姓去かしめ丁強、 衆蓋さ
本
脈
対 するいよことコー致した。そこで正近は離 (1 24 可能なるを知つ 然ること 3/2 54 りて近り米灘の 呼面不可 置を議せしめ 0 褲 開 をして趣 協らう譲 顧みて の特の +++

#### 計 約締 下 縣 納 皇 10 黨

かさして都 2 ~ 酮點替。 ~ A 要求を ら放言した。その後一ヶ月市衛を踏了、七月十十日コお霧國孫軍中然て一キャキンを布いいて近 コお合衆國水 風堂 るこ~ 滅 要組の大田コ見ら了関命を繁かふことを永め昔し離られず知みよい福 サラトがを奉る 實コ國家を車の率であらけの大月三日 K. 2 6 3一先製予船で FEE年)お衆國コちつ丁却 60 13 13 ナ政心ミ 1 4 x 幕永六年こ 4 変をして 翻 惠 :4 質に 6 N



十十十 計 後の 明言しな 事 孝 3 2 王 21 24 くしを論じ、 つつい लि ZZ + \* i i 緣 第日に 驱 E 0 型 地 (2 ニュつ 71 72 4 न 溜 0 み独 0 h 一臺小 み足 TE 毒少 品で皆純で -1 Y 11 54 見生 W 温 哥 T 私 ~ 開 新み手 最かま 北 经 非戶 -1 要求を容る 排 桑 0 言ひて 54 りまる 主權 買 71 둭 9 Y 事 型 I 4 TY 孫 net 6 の諸勝 本 ファク 0 ¥ -1 洪 71 H 李 0 4 冒 門前 + IH 7 \* + (R 王 主張するもの 2 世 邳 SIL. 0 H 9 ~ ユフラ 1 9 章米 自綿( 6 丰 重 M h 41 e4 Field 2 シスタ 业 FI \* 赐 1 x 11 、季季 到 8 拒 頭 6 7 晉 7 シュつ 解すべしを舗じなっ 日 魁 と記 6 いる 南 船隊 -1 4 る音層 뛙 间 惠 SHE X 쮗 喠 1 脳ぞか。 七月 魏 Ħ 71 -1 114 疆 7 줿 THE 園 71 王十 いい。 V 讯 中 W \* 1 の一番 ~ 山 網す 湖 掌 业 0 齢質を総 の窓の 8 とを三家及り簡間蓄蓋主コ示し、 XC -1 囫 灣 慰 ---0 が翻り 247 漸 倒 事 開 を待ちて正 0 21 星那、 Y AF 믮 6 71 7 子は興王 11 可以 土張 深 X 型とを待ちて理 \$100 命ご 额 ò. 淵 揧 預 長コ独丁 7 M N M T 伸 [tis (千万百五十四斗二月) 後を 米をひ 乖して、 で海 1 題み 貿易を指すべしを論じた ヘア上軸し続 順き 7 預 4 人に動 雅 0 侧侧 0 伸 54 派 + 删 -1 貓 よら放 お監弾二十十隻コ不 い一般の 顯東 Ž 0 2 (2 惠 これをこう延に ) 鼎連 刑 で解 とを示して各意見を言ねし 7 1 九雙 瀬み類 21 をユ 銀の ~ 6 大整 H + 近るなが 要求を容れ、 4 兴 正 测是 ユフ 育局コポし、二十七日、 • Y に威 Ġ d 拒 事 1 瓣 8 正 ユフ 響 共 71 A 江月 江戸 4 王 -1 かって天 掛して 課 墨 都 対の 員と \* F. 目 34 員 10 ~9扇 4 0 美 料 貅 簿 R 쟴 7 里 麗 (0 1 1 驯 11 9 桶 .F1 A 闇 :4 權 0 KI 71 制 出 索 0 6 圣 21 24 < A 陆 < C4 愈認 剩 添 雪 墨 71 班 M 11 11 6 發 TY 回 0 K ~ c4

畿

い変が 应 A 0 0 江戸 長和幕初幻然軍家選到习票し熱軍家宝尚幻於中なるコより、各中連各コア義國 0 1. 4 永六年 71 24 1 0 4 + \$ は高 川淞聖緒の雨全難コ野ヤア晃袖コはき、ヤーキ -1 4 + 0 24 简书等 1 .4 强及 5 54 0 蓋し浜鍋の襲撃 0 1 期するの方針をと な皆み風産 < ¢ 食量をして去った。 會見を重ねた 國意情宝のこさお三正年の金まで記 0 回 書い響する返書を作り、とを筒井政憲、 日 をの後数 五月八二 會見が叙し、 2 憲法を請 長袖コを青しな。 A 0 0 開港 粉案 银第 鄉 、今一年 2 50 閻 +

国コ独丁却前前コを重いける岐りたましたイ黨のコアースは除コ大湖 變しけのず、飛刊新軍卿コッコン約自衛の代売し丁更休多用ふかゆるやち鳴命しい 50 51 金台 挺 州を以て更コ 6 島若しは機島を占領するの必要を減じ、 11 軍師なペルトコ除しなる輝端替派のことをも連路しなの特しなならべ 旗 9 層果 州を以丁書を本省コ鉄 題かられたる郷難の行動コ港ノ下部を受っるを対をかか、日本コ陸ノアお尚到 **ラして午入百五十四年一月廿五日** H 面 如策を釈らい此は本ちの旨念を望っし、午八百五十三年十二月廿 0 24 C 一 (0 本 内閣の憂家不濁を罵倒せる書面が本國の窓 せらるくなきを別せずさ上申したの 打気の幸福なるのみならず、 日二日 3 合衆國( 金 帯し米に 緩 由を以て前海 本を去るの あってその 申した。 一次邁 調響 開 統領 -1 独工 in the H FI -1 71 刑 9.6 0 6 X 項 柳 继 h x 种 囫 횶 領と認 は一日 1 11 0 本な 囫 1 H .7 须

夢川幕南コ気アお幕永六年六月八日、米淵野水の車を障廷コ素し、二十六日、米国書樽の端文を指

**多以丁县制コ外へ、尚來和三月以對米哪の辭籍コ人よこち多承瑞しけ。稍し賢恳の語お尚却之皆用ふ** 江 を芸帝剣」 報を設 惠國鄉 剩 9 相關 独 最には、という。 0 邓 置しこちを承謁しむ 用の問 致人コア 76 銭上つさ  $\overline{Y}$ 其物の これる時間 24 ¥1 二1 -1 6 の品を永むる街 市おとを指さない 上み走り -1 錢亦 金縣 9 の制 王 7 -1 並に地上 五甲 彩 來 0 記 A からをるころ」を財金して自 4 石炭 古兩郡 十八十 4 一合衆國の聯 P 削 圖 用って解 Ì1 -1 ることを避け 湖 + ~ 6 寒 15 加 11

皇 业 批 新田を社の関を等わせの関る不満なりしる。 江江 您送烟二年五月五日年八百五十五年二月二十一日) 不田二二 請ふゆ 1 閣 間旧コガしむ。 、つ多番に 林等近を 十四年三月三十一日、を以て解約 家して、 得さるものる語のて なな 強した。 W 0 (冰 激 X Z

2 21 孟 い色素か 図の図 賢長幻汝然味蘭コ別りアとを指するの \* | 阿育の二番コ気ア お 味蘭人をして 語 剝除 京形は出島の市蘭商館長コその旨を勝い、 語品を共給するこれまり、 下田、 日 安超元年十月六 劉本を交付し、 Ti 船艦の 金量 将加るや 條約 71 一闸闸 日米 24 鄉 继 7 1136 明し 吐 清 2 0 3 部 囫 测 \* 朱

1. 北市 + 4 मिक + 1 闹 野印在 . 表園の成をおやべいる部を同相コ 4 110 6 4 ģ 2 u 41 54 Ċ き派遣して珠コ厳商を永めけことお週近の厳りでは より風コ鉄圏多の証剤を希望して 闻 21 囫 幽 英蠹

-1 いる。 0 2/ 手 10 耳 日米 通と 東 34 .6 これなるも思 54 美 -1 7 7 耳 좷 .T1 益多篇もける公文一 24 I 4 ~ A 27 胍 3.5 쒦 7 転 A 71 申 -1 Ry -1 000 0 Ť 基礎 Y 擂 未 2/ 難さなるの 部 P ¥ 2 一步 替加 直コ米青剤時の 幽 ことで 頎 71 0 康 かして まに主 M 接 E C 3 對 圖 Y 呼る金田 쩳 . 7 器器 2 五 71 A 2 7 \* 丑 24 0 ~ 0 回回 間間 中心 -1 (A 掣 貓 0277 學是 1 -1 O LIX 開 申 林等 197 目もと 通っ アス 皇爛るいら子み 酿 立 9 亚 お旨か 7 專 7 P ¥. 隆する容書コお ilif 图 ~ \$ 劉 示专 記記 預 1 孟 のは湯 3 2 70 灵 XI.4 7742 0 54 謝 M 潮 200 米青 る政智を得るまでお出 を變じ、一地 无 0 -1 e4 外 71 -1 P 人等 21 2 念し、 統領 14 意見 54 米エフ 0 果 4 温 4 **营**加 H 0 8 みること 源 丑 뮒 彩 24 0 卿 湖 0 麵 菲 み補 Y 9 · Or H -1 \_ 9 ~ 91 器 狱 2 ð 6 A 開 7 49 否 71 TY 3 -1 閣 級 幽 幾 給 H 中 F1 70 員 R 接 逦 て田 7 劚 李 111 (冰 飘 7 指落 圖 由 重 鲫 0 Ť

照。 到 71 25 共給コニ 0 XC 及の藤 個 者の秋記 歌業 24 閣巻とを荷はんを調合し 雞 酥 日本全難お合衆圏多の \* ななら動商 母 の青 i SA 4平 續 0247 翻 71 さおとを承指 伸 続 2 > c4

つ解

引

事

開

7

畅

拒

di

ことを實行すること

里

>

114

0

阊

鼎

71

丰

2

7~

>

開

R

粉

0

W

4

21

康

到

-1

船

图

囫

\*

2

流す

野品

趣

TE

\*

H

彩

0

五年

Q

貿易を被

がて

삚

哥

1

9

最も

到

2

阿

米

んとするは

Q

77

冒別

1

们是

制

剃

0

樣

凹

2

蘭人

2

34

-1

間ア長袖

なかれ

6

11

~

0

54

雅

かんことな

開

2

雅

0

नित्

4 生二

4

THE

弘

0

H

がて

-1

偷

排

0

県

通

41

囫

衆

合

響

三回

¥

1

2

9

91

据

田

1

71

本全聯

11

国う棒へ了種かなかっけので

質の一割を以下満具すべしらて、

那

21

4

かっかっか

すべ



臣 響 图 役 所

蝶

2 李 胜 2 y R 能 画 雅 見を行む。 6 -1 果 新 2 浓 0 囫 0 [H 50 可 瀏 崩 英 指 + 合コニ 溷 惠 0 の計 21 3 曾 訓 114 4 郷 0 鲊 出入する 米園の 回 0 子 ^ されるない 輝帝( 6 一銭日 水の気あい。 4 江コ財警派する多要しけるお飲めコ 21 月十三十二 彩彩 x 根 替 -1 點 哥 24 狱 示なが 歸食稀一 惠 點 \* 車みは 14) 0 日こしず 阿 \* 英 者し日一書 \* 正路したるよう 0 9 鍋 調印を丁した 2 王 0 ¥1 国と月十五日コ 0 点な П 青草 逐三 糖を委任した かっているは 重 爾 0 阿 -1 開へことはとど 日窸 響 (R A かことを水水 71 貿 元年 月的 至 人用二十三 24 71 0 4161 逐逐 その人類の 陆 ġ 號 -1 -1 4 24 • 調 本行 H 54 业 北 E 米 [1] 24 器 0 x 訓 \* 貚 2 0 事した。 う場をつけ Story Str -1 X c4 普 H 圓 \$ 21 71 1 量 W 飛 2) 6 響 Y 詽 掌 R M 6 未 71 59 とするこも 日日 :4 囫 気もこと 長腳 並 9 とこと 幽 Y 其 g 100 Ħ 0 -1 與 早 督 1 開 2

潮 事 沈窓し 総誌お大ゴ騒返し、十二月二十一日コ至もア
帯〉 疆 # H 飛りる 黑 治験を胃して不 嫐 行打王泉會コ北節サノめ丁懇时 1 U 1 水し丁窓 蓋し英 SA 艦底 鯣 54 拒 船 急 コ羽乘ノア大波コ人事しけ。 みは 得か 21 4 4 M み口 遞 響 £ 71 圖 器 2 乘 2 79 独 0 帯し大 0 1 4 画 24 調を 1 4 重節 副 54 £ 2 l 幽 Ċ 召 9 .4 、はつら悪み ++ 4 1 4 • 9 **吓** 野 新 除 の < 中 出入かちる都灣を黙ふけの 6 3 元年九月十八日軍辯守 数本を待ち 궸 54 쀎 画 船 アミス 趣 けて稼 大 なくる事制の気あい日熱間の 被 4 田 到 佣 1 これて 利みマユら 素人を H 五班 1 林丁 田 A 71 船 工 + ^ 71 事 王 田 4 委員 國 回 -1 旦 14 -1 21 4 田 8 讯 U + [4] 되 はなり 湿 兩総 4 1 きている 2 2 .4 54 素地 赤 0 孙 0 種 뭶 6 回 出 111

嘉永六年 の輸 E 1 0 國 4 29 2/ 和鸝 島商館是 曾 同報コ瀬雪コ向へ丁ゟ軍郷雨 整要<br />
返表を<br />
近年<br />
コテ<br />
お<br />
更<br />
コデ<br />
部<br />
又<br />
り<br />
地<br />
の<br />
壁<br />
ぎ<br />
す<br />
を<br />
所属<br />
回<br />
コ<br />
対<br />
取<br />
コ<br />
方<br />
い<br />
の<br />
壁<br />
ぎ<br />
す<br />
を<br />
に<br />
面<br />
コ<br />
対<br />
更<br />
コ<br />
が<br />
が<br />
し<br />
は<br />
こ<br />
と<br />
に<br />
に<br />
の<br />
に<br 長に至りて益さの必要を題じ、 ・ユニ中 H 親は具袖コ人事し丁本園の計降を齎らしけので 命最 間に躍っ 佛との 過帐か合の覆個と英 味蘭園コ隆して軍艦を封文し、 54 54C& 心の館み面か スお書を長副奉行コ呈し、 ルベスマーと関連 コ新軍創器の 製造の禁を解き、 記は風 載造大を命じけれて 國系方式 44 日大船 正 11 淵 より関 T Œ Sus + 別名 月十 . 11 76 4

Z; [[ 逐 0 慕初却今更の成一新初法置の心要多週二 蘸 事 死 2 しらいび 24 重 11 で変を 71 あるれて 6 晶 意 \$ 部で 0 · Q 大部 ilf 0 〇基端 趣認 のも此 二年の人」を器験の下コ空ノト陶家の斜來を憂慮してくるでけ高島四個大夫妹神は 風丁 は砂砂 重 船を打棚 掛け新 置洞人 を測鑑しけ 真られを國別コ蓋をかしる命じむ。 衛衛 緒 て異國 覺束なり、 大完島立 47 剩 は構でい 極響の 級コネン幸ら知。 明るい題もしあけっ る心糊の衛 「臺球鍋重ご 園初のこをコ盛すこをコなっけのも別割であった。 到了 頭して 掛 脚を重い刻を同 資素簡例を撮守し、 來的珠陶月をして見ずの 題に発逝 禁を解かれんことを出 2 9 船 圖 は頭 マヅ エフュニ ~ 式剩 额 至 製造の 0 0 6 令を全國 > Iŧ 11 简追 大腳 2

いないとはいうとして

(大きないかいいかり)

36

### 

明はを了した



恳 2 2 XC 事 米 制 9 (2 显 兴 6 甸 76 1 R 涨 177 湯 2 71 7 ӭ 0 9 2/4 傾 田 6 思 关 譲 711 -1 滁 # 龍 2 Ry 至 XC 0 7편 9 2 ity E 黑 X 0 • tial. 淵 2 21 9 9 浦 w 7 通 -1 9 -1 M ·A· TO « Q 왥 到 業 华 T -1 發 辦 M 0 8 瓶 旦 0 是 TI 4 獲 X.E 部 誾 MI 遊 独 連 111 學 71 0 耳 2 9 T 调 X 41 <4 3.4 H 源 瓣 景 -1 翱 70 础 虫 融 . 哥 <4 H 71 24 1 X 千 2 -1 2 6 15 王 魯 0 -1 24 器 R 훼 奉 6 (0 91 2 晉 0 主 붊 - 1 54 2 hil 瓶 71 型不 如 凹 3 4 Ŧ # 1

Ply + 0 ¥ 回 11 H 2 71 Ŧ X 2 雷 酥 4 公 0 號 H 粉 钢 IF 19/1 1-0 道 T 3 别 哥 砂 71 曹 36 劉 Mil. 11 3 0 7(4 雷 當 믦 내 Elly 場 那 張 0 24 0 0 印刷 24 割 倒 I 1 0 B 颈 9 • Tor 2 Ry 2 75 当 验 部 哥 错 14 24 9 網 70 孙 彩 ~ 书 뒤! H 士 ---運 9 -1 Ñ, 鲜 c4 <4 训 75 翻 24 越 11 颈 6 21 通 [if] 0 71 2 + 主 = 71 21.00 H 性 間 A 甜 五 쯼 獲 3 1 · 1 票 独 0 4 T 0 0 恩 2 21 R 都 6 新 連 2 (0) 縣 包 2 兴 盟 44

刑 9 XC c4 豆豆 0 豐 + CL 2 2 21 十里 湖 2 刑 of A 合 R 潘 掌 <4 2 16 2 江 H 0 8 部 21 太 0 9 Œ (0 0 0 9 28 c4 ができ FEE 提 9 F1 c4 Y ユフ 點 南 28 F. (まり 海戦 コン関 歌 (幕前 ) 欄上 ) オミ 3 H 2 0 -1 111 業 樣 0247 瓣 掛 1/ -1 且後 XII 0 2 皇 Ш 雅 -1 豐 0 F 2 74 III! X 0 思 常 到 17 t 줤 採 天 漸 텀 :4 1 14 2 . 羽 开 2 間 源 :4 불 6 44 0 24 排 冒 玉 2 辦 0 朝土 -1 調 H [11] 即 如 -1 H 园 光 豐 刻 瞓 阛 + 2 指 升 UŁ 司 冒 71 H 冒 1 出 コつ 品 翻定 U + 田 匪 訓 71 2 50 2 7 7 -1 彩 • 9 ¥ 金 女 E SIN 妥 15 XC ---剑 X 2 0 21 24 鄉 事 員 霯 0 糊 温 7 點 思 想 审 1 9 观 21 0 R 21 쌞 4 0 丰 -1 7 7 是 思 學 7 2 EN 台 载 . + 量 -1 71 21 -9 0 2\$ 0 71 又 3 對 攀 9 76 重 1 27 H + # c (4 派

0

继

如

陽湯

ユフ

傭

TY

-1

訓

受

:4

瓶

茶

4

#

そこで永

54

(2

調を定す

E.

神学

工行品

光水

錮

2

に充

鲊

後ユ

1112

Chank Eng

地二年 今の法都線蘭河が 设所 長福奉行祀の一なら西 ルトア漁い新軍駒皆大を<br />
長袖コ端トとこちとなり、

回 5 1 重 71 0 54 関した ताव 独 東線を 雨口器 7 本西 招號 はたが日 7 コス事 E **所蘭國**了 0 24 調 光大さ近解 哥 いいといるよ 藥 一颗 惠 蒸汽 酮 / 後人を記 ्न 0 7 1 囫 懰 X 手融をてく 山土 71 日 新 六月よ — Ы 109 一年更更 0 新 日受 测 惠 Ŧ 事 A W Y 事

4 71 El. の意見書を 量 惠 敢新 M x そこで不不 T F. 4 料 お面より大かられた。 翻 0 トデト 0 27 圖 の忠告を 刘 -1 多 刑 独 剛器 x 團 4 山羊 £ 4 重 铋 11 派遣 7 2 + (Q) 24 (Q) 0 . 蝈 11 4 独 74 1 しいいととはらい 出島南館長が 路者を認動 重 21 0 M. 緊~幕制 -1 瞓 きを長 早

記を辞 恋書を 36 H 淵 6 6 Ŧ 9 目 惠 7 涯 囫 71 からすぎからざる内にその x • 和關 軍總辦人の agh UB T (2 200 受受 郊 ্ন 是是 1 コ隆青し居らきられ事質ならる。 田 0 器~ 0 がなり 其 淵 19 11/4 2 **氷着する** ち 71 0 雅 習い意あられ鑑賞なる發補を残職を残職するも何なりと書添 2 Y 71 奥すること 職なる事情あることを歌 意見書、 2 £ SA ~ 淵 一腦連 連 显 0 これないことはればい 量 1 x FI R 更 T 造彩 知らぞれ ুন · ~ 1 M. 业 6 の意を 4 7 非 24 學學 0 淵 付し 4 未げべ 2 にしるを残かコ考慮しつ 重 0 用するの 77 2 光を大 A :4 羽 13 9 風みべられなり 韓 密なる意見書を撒して、 4 惠 重 0 到 迦 「陶的文の 部 0 軍艦を外 に蒸門 用する 量重 こって 子 [1] 果みて ・なる。糖 來青光 圓 學 07 軸 -1 み事 ~ 淵 直に 早 声少略条望 計 栽 2 重, ユフコ 200 -1 71 極 みえこと 本中 湖 更 -1 腦 刑 熟 通し、 0 日台 城 17 1 A 0 景 \* U



最のむ望を崎長りよ所觀製浦ノ飽崎長

能

つさ 四五各を本省お留って學的人を顧出でけの予結をかけっ 0 54 000 任と 中市品量 铁 書法永代大著題の 1 405 世話することとなり、 團 14 \* 五月 事 间 2

おを意識 した策数 2 1 0 0 6 藏等 ल्ल 71 4 = 蠹 ULL 8 W. 2 聊 16 門家方 **歌**來 曾 孙 含密學的密軸 受耐の上、 変をした。 鲻 H 泉湖 71 -1 童 ~ 14 1. 0 國した。 線等( 。半 () 帝強而な 5 靈 醫學の發ጟ幻幼本貞剛は紐替さなりて担封を能示し、 步兵發 ¥1 惠 配置して 24 間 小量でたを實演して 少重災 あったものであっ ۹, 含态。 54 更率 57 長論コス事しア -1 富 なゆう獎類刊を動立をなくころづか 商船 温 H 训 27 十六十 添お平月 当 颜 H 秋 7 嫌 號於 -1 事 萬 侧 辨 蘭國 凹 1 路出際で黒浦を強強し、 . 71 遊 啡 델병 6 沿船 發量 4 製造方法 蒸汽三洲軍艦 0 歌光 4 E 0254 そこでかにある 11 54 彰ユファ 一章工 日 することにないなり 074 71 刑 Ŧ H 掌 11 大さが名した。 4 8 2 重 11 スキス 雞 趣 步 71 21 1 17 0 54 船 A て居り 發經 # 1 數人 17 1 विधि 10

のなり湯 命命 10 教育を受 市蘭コお 本 0 ना 王二 顾 中 明治制分の新軍の重鍵が多~この朝腎氏が 赦救黜了、幕形な 江京江 是 屢 71 の壽命 高專 71 習識さのこの副論 整二月長 4 最单 同語な気温器の 長腳 はなまり、 24 解して練 いま って光で長 親は長龍コ大事しな。 图 エフフニ そこでとを朝陽艦を改 乘 衆國の新軍おこくで個器かられて 温識に 步 生二 膊 鼠器紛劃 71 即 4 Y I 習力が 纖 蒸汽三動船 54 糊 H 0 量 P 正 50 쀄 (これ正式年) トア長 月三月 3 かかかい ca Ŧ 本 果 李 24 Ŧ 41 文して M 潮 0 P 五 54

弘 陸灣 2 X 干 刚 首 9 7 0 ~ e4 de ¥ 北部 軍 8 44 24 来 0 要 独 料 ~. is 50 丰 9 2 8 相 明 2 解 54 [14] 2. 9 .6 毒 28 맖 帽 回 曾 麸 2 7 The > H Ġ à (2 [1] 盐 A 獲 Y 耤 0 -1 てい THE STREET 刊 71 247 첉 SH 16 21 帽 9 ,c Cf 郷 x :4 發 24 掌 颠 -M ~ 策 曾 裏 0 1 8 7(0) 孟 2 71 いてことを贈 淋 11 3 士 뺾 00 Ti 級 A Y 船 Y 羞 }. 普 0 魯 1 2 0 誰 맖 鱪 निम 2 쀄 帽 用す -1 • 잹 11 8 9 9 器 0 쬴 哥 0 9 644 類 盏 王 1: (p) 4 御 24 響 (2 梁 4 首 -1 彩 X 盃 鳘 नित 末 歳つられ 4 T 闸 7 具 講 計 船 器 弘 Tr 54 H 中 54 るる 79 「理 I み日 哥 :4 洲 0 耳 7-5 7 q 1 繳 2/6 晰 L ¥ x V いまる。 2 ×-主 具 羽 3. (2 1 盤 c4 7 EAIE 船 11 靠 17 A 519 -1 剩 की 24 見完 -1 舍 し新 2 事 . W UH 够 事 0 6 上官 H 權 計 Y P 議議 溫 ]H 那 Y 17 正月 清 + 1 数 攏 4 -1 54 2 飛 巫 羽 4 步 2 24 4 X 船 赞 走 藝 0 (2 証 訊 -1 果 圖 ho 選 黨 1 < 71 围 27 TY 8 孟 71 鳳 賞 9 戮 項 6 LY -1 果識 1 奉 闖 7 Y 4 6 0 71 9 -1 20 \* 五 電 淋 罕 훼 山土 瓣 業 34 훼 -1 とを保存 - Ox 422 0 幾 子 71 新 24 2 H 憂 爭 費 間 7 文化 蒸汽 照 指 其 事 -1 思み 0 7 3 盘 铜 X 脚 I 71 月 4 孙 紫 画 \$ 0 41 目 C U 0 0247 -1 7 ¥ \* 1 16 2 0 A 24 24 貫 -1 家 県 铜 714 24 部 -1 旦 x 0 6 事ら 7 첉 兴 早 P 樤 回 继 9 那 76 T 始 2 M ্ন W 6 開 11 業 54 至 士 <4 水青、 野な 湖 2 童 9 Ŧ 翻 8 儮 71 韭 雑 1 त्ति 2 個 54 運 聚 4 6 .6 Aff 郷 緣 昆 0 是 湖 ŦŁ Y 黑 0 碼 事 9 0 よつら題み 製5 艦 蘆 X 7 劉 4 量 預 2 用 R 量 昆 -1 卓 響 曾 1 0 7 4 0 1 主 里 特 鏁 制 7 71 H 湘 44 團 ca ~ 9 F 車 0 ME X 類 ¥ 5 9 用意, 71 聚 公 都 A 囫 膊 個 溪 AT 级 T. 텖 훼 独 श्रीति -1 1 桐 A \$5 戮 羽 恒 9 显 哥 继 国 I 1 1 2 -1 出 銏 短 헯 纀 2 e4 0

けた人かであったっ



酮 でいる。 番を川野 1 線両庁お様 图 部 24 放り萬野元年 んことを建議 からであるの 7 北 瀧 24 54 4 器 **陸知置行不可謝であ** 0 \* I ユフ 2 業 問 0 न 闸 加州 獅 流 里 2 0

落成 쩳 0 e4 \$1.00 上げる日 (R 又お精帯の需 進行も基連からして進 二十八二 同月 興用をなり、 -1 0 の作工の 被工した 日本 W · 公 张 大穀粉師を輸造して 資金不足の 一く興 、り玉 圏し、 元年(1人大一年) 二月二十五日コ 温 4/20 -1 攤 4 Y 0 24 (1) Y 7 1 造し E 如~幾 瀧 254 2 풻 0 は古古 なって 侧 0 郵 預 54 V 補 凝 蘆 À 1/ 훼 番 X 元を シュ 哥 :4

刑 14 \$ を投じて工 0 闸 湖 <4 रिये 泉 洲 0 凝 劃二簽部 海面を理立て 27 淵 网 惠 一級士子 ~~ 月 置す T 今の引 大四年) 金二萬 造局を設 果你 いつ思みつられ 近年これ 24 i 裔 淵 盤當を命から 熱川幕帝の帝丞中コお数工をより至らなゆい 江 惠 (4) 棘 こここ THE 辦 が何を飛ばするの情盤なもって、 重 ( 2 4 21 14/ -1 園すること 日 J. 坤而 116 衛門第 響 月 柳 Ŧ -1 小髮脂方 回 文八三年 操蘇 日 瓶 剛 申师 福 ox Ch 16 显 淵 なるいい 9 V 重 刑 星 -1 U 41 쬵 编 7 41 邮 凝 21 ましま 继 08 里 平 1 誾 犯 中 0 2 \$ 间 2 主 書に患 可有 預 V THE 2 船 X 0 頏 網

#### 

預 調命し、 替い 图案 4 ्न 4 31 所は 和蘭內 國を近らんとするや 開 -1 まして、 温 がる。 6 11 ~ <4 囫 合衆 71:

3 素行の著がおし 帝より支出を仰はさるかゆるさる被末をなり、 園に下のる即 金をも動用し、 6 c4 21 除

してで 月長 常 9 11 上つまり 奇特 R 24 1 됆 24 6 は常に 品 玉 :4 Q 11 76 味益を以了財犬を動御かんさしけわ 面 0 TY 孟 野藩から捕上しけれ萬南の黝鱗を跳がりらけると四正萬雨を要すらお録なを刑可 :2 2 逃議 本 およ人を竣工して奉行等を解決をかの思う欲してくるこの劉、思心監打をる困 4 一子州 幸 图 亚亚 0 0 뺾 7 楽し、 井上 萬船 199 延元年(こんたし年) 7: R. 24 命令を長 त्रि 重 4 0 監験板を Ti 醣 P 情を知らずしてとを受 習 50 -1 龒 54 のなくころ 1 0 tļu 黑色 71 0 :1: 採 蘭人 27 14 のスクン Ju) 出でなっきれれ対質者に脅し、北南南を姓の丁時間コお文しな變 24 疆 批 00 田生 ~ 沿  $\Omega$ 三年 1 光 を職馬す に周 あい要しい普請及 野す 頎 珊 正千両多要もる大肆了 8 0 いきる釈用かられなかっ 奉 間 < 剩 71 50 2 業 04 前おうの内 U にが (0) 据 213 1 24 圃 41 調 立 ( [d] 蝶武洞コは丁鷺器及の陥器醭を襲凿し、 まま e4 XC 4 637 54 21 47 掌 批 間 派 U -1 24 0 Ħ 生じたい 邻 नित Q 雨で、 量 Ċ 藝 2 味益を磨りることは 術し際 したけ ぬ内コ禁制コ湖上しけ一半かあ 骥 最る者かしな刑 み質事に調 뺾 原置一萬七千 XC 子に 越 十八間, 24 驱 -1 71 0 要であ 14 見守おとを幕前 T 間。帽 0 0 71 光水 預 0 颠 TY 番 Z 練 季 長二十二 上大コ 3 調 幾 洲 钏 71 地工の 留 ままれる。 黒 戮 4 16 4 通ぎ 11 實際 壽 Ģ P -1 行流星石 们 覇人し 於了 5 罪 慰 刑 阳 7 高を高 tin 青 製 71 獅 堂 7 71 4 温 匪 H 纖 0 -1 0 9 0 里 R 李 排 71 刑 0 回 2 0

出 拟 2 颠 + 生かるなら、始い同氏の動言機章を舉か、以下其可意を表せんとす。」 11 否 城市 鄉 固って所蘭國王を年の交割を維斧し、 然るコ変殖元年十月コ至りアント -1 近 黑 02 -6 那 54 たくと -1 M つ場 養を 維 继 34 費 -1 地田を御 人氏氏 54 園類を新れ 雅 4 シュフ 電信機の 4 11 詩悉コ T 軍強大コ歌張し、 + • ン単み昌の 感じであった。 基だ nl 4 其宜しきを得たるこ出ると雖さる 肖 /. 4 趣 用 -1 國王 與 既制の 骈 x 初の當局者の 和邁 0 T 如 ৢন 後年 ¥, 1 おまけ書を長福奉行り致って 粉 来 の蓋形宝す 0 ハデーを響 置に帰じれていれる国 ME 体 書物の 光 議 に 軰 日 創立( -1 後來を計るの 贈した 平 别 惠 つい 集。 趣 に配 -1 に常い 動を配 q Sile. x あるを SI IG ユフ 研 4 2 、分類み生 4 掌 KI 惠 2 噩 继 11 24.9 11 溷 排 0 0 T 呆 14 2 Y 丰

0 なるる 事して場を品を調入することを H 月六六 71 0 予 田 掛 政元年 懰 味蘭國を出の剝除コ連難し丁素支はを旨を告む、 0 118 放了安立 **応蘭國
お書
を** からするの念を断した。 育コス 多般の丁指すいきものなるも 及心辭 田 ~ 24 1 0 珊 **标蘭** ふる所な 0 今後 24 事を和蘭國に報じ 今直にとを指するのなりを相信し の真意コ解 城市の委員を脅して続件の 劉本を致りて 小等( 総の -1 器の る 刹 쌣 刑 634 \* 掌 剃 H 阿 がて 縣 酥 あお雨 Z 江江 囫 哥 114

本香し、西野領 アフス 光水を練腎瀏 もアお、味蘭園コ教験しア路朝しお初の森軍録官は 鄱 Ill 響 41.7 7 1 Z 5代船 24454 蘭園から客側 はら安城二年(JKEE年) コ至 印表 充し、 -1 鄉獲 0 4 息 動 なっと 惠 銀み

7 飛 除案文を駐出かし 9 4 0 + 2 1 < 1. 証 11 とが解える 商館長コ田 اد 愚 34 讯 c4 T 掌 0 -1 41 丰 奉行 剃 育長に 54 山 ¥ 11 家な 長嗣 第のを 束 4 たとしなみ 曾 俳 長福奉行きが出島商 1 H 参考をして解 的 0 4 う窓り 日蘭絲 は野な RY 主義をさら、 きものとしたの 開始か 4 11 118 野い 貿易都 + R 11 -1 伸 T 関の間報をして 関出を腎易上の順 # 11 とと総 0 紺 貿易するの 国 ~ はせんさしたけれでも、 除き蔵用す 長崎を日本御 Q 4 **減監を請い** 品了る覺書を引む、不動高等去別參再首と の日を得さる刑以を続かし 解する執信商人を 開 71 剃 の買用 三十二 际蘭超知 0 の首逐 ---話するの資格なきを以てとを重んだ。 回 除文コ独 つは · Q 都 趣 Z V -1 そうで 扩 湯 -1 剃 園 < q 刑 T 别 县 開都( 24 独 る五箇所 0 出して幕制 んとしたら せんとする他 Ċ 本日上つみ らであ しい便 24 50 -1 M 0 番を登 50 通の 췖 ż 7 惠 F 21 受していいる。 4 4 都營 來家 涸 料 買 以 4 0 洲 c4 蠳 2 おとことは 11 FID 2 W. 21 \* 兴 T H がか 日 日湯 + 21 三山上 X 剃 7 观 x . -1 75 剃 4 -1 11

常局を 深~江 步 何はその一番 3 E <4 11/4 へ既か 囫 8 要器に當る者の 闡 世 冊 俳 Æ 學 -1 出職するの日を得さるを調かしめけの 2100部 岘 间 -1 多一年 極極及び 特 :4 を息動 はのは の忘るく雖ねざる刑である 黒 第一既证當局 典るものお お熱コ水断コ輪サムタしがは、 対意と検獄とお 歳して かを施に 丑 過次に事 阿 胀 张 は ユフ 31 |類皮||コは下||疾國済軍の洲| 自ら進んで各 まり 10 噩 器情 0 の期待 五元 27 源 窓に つ種 歌二 **吓蘭** 極利 個 Q -1 (2 0 2/4 對 車 椒 4 0 嗵 M 54 雅 惠 歐 获

丞 音み A 船 詽 进 番 千万万五十六章三月 6 2 0 墨 2 驱 目 Ħ 0 34 974 2 輝 其 4 0 孤 -1 2 54 2 昌 塘 2,7 半 2 -1 并 4 -1 ~ 37 71 囫 0 0 111 謝 郊 由 0 巢 2 4 出来 21 -1 000 6 24 秋 县 E q 題 1 至ユ 5 4 鄞 11 0 Q 0 000 100 THE 3 h W 酥 2 9 \* 2 e4 田 9 1 7 c4 :4 紫 -1 0 日 形 91 4 半 3 事 200 金 -1 -更 54 鄭 A まるも 54 害 恶 魯 2 图 Y . 压 刑 阿 0 網 :4 区米 瓣 2 -1 31 沭 0 A H \* 24 猘 雅 0 1 11 調 囫 0 ¥ 孟 囫 4 2 に敷飾れ 0 24 94 留 星 車 24 晉 幸 2 月 比 0 0 出来なか 胃 0 死 即 2 à 췖 LIŁ 治し、 B 1 是工 其 器 H Y 音み (2 THE 21 1 94 東 器 禬 21 H 極 雅 1 -1 24 Th 2y -1 こ 調で 蘭さ支置 2 7 辈 27 -1 \* しいいらかる コ被かられて思いつけい値をとることは 4 都 4 चंद्र 71 # 5 H 9 哥 21 星 Ξ 6 F1 9 量 CR x 料 7 54 54 選 U 独 111 21 5001 4 0 でまる 是 5,30 船 4 54 F. 2 71 4 囫 F1 贈 y III CK 1 71 囫 CB 苅 11 县 4 h 山土 7 王 船 かする様 T 54 2/ 型 24 酥 0 1 料 (0 -1 出 A 24 哥 草 1 + FI なした 本江 64 緲 毅 山土 つ場 9 -1 兼 V . 2 掣 に豪 x 0 0 e4 翻 四 11 64 -1 邻 2 H 羽 2 哥 22.4 THE 4 啷 斌 近中鄉 舊 目 目 盲 難な 本大 月 1 5 0 54 2 71 24 刺 71 1: 4-2 以 中 ¥ 訊 登 6 9 0 ¥ 2 c4 2. 印养 |本三年 71 H 4 巫 育 4 71 .7 8 4 1 4 自孫 申 W 阿 2 商 非 源 P 城 刑 1 王 类 自 6:12 5 そこで -1 アンとを承 -1 6 平 望するころで -1 李 20 1 贈 ンユフ 4 24 こつる H 34 e4 4 山土 6 m 6 果に 魯 9 2 SH. 塞 -1 0 ・ユフ 十 恕 屬 曾 0 5 24 34 54 좪 鵬 54 -H 0 置 圓 みる <4 瓣 回 患 -1 0 步 2 用務 み里 21 -1 早 老茶 輝 \* 排 ? 本 郷 動 0 0 辦 316 品品 x 0 H 4 91 24 2 雅 116 4 5 動 Z 产 商 111 क्ष 纀 0 ্ন 큣 2 果 0 8 涮 W. 6 TY 日 c4 20 題 1 à 器 1 0 + 4 de 21 令 幸 盟 21 4 6 帮 彩 8 重 2 71 8 F1 至 1 業 訓 智 鳥 鲜 6 \* 0 2

出等の後首をノア豹を出島コ限用もしのけ蘭人を同類コ旗 Ŧ -1 除二 国 山 9 ¥1 02 讄 王 0 哥 断する以上 剃 灏 其制長副 命じて 24 2 79 H A + 0 調 0 Y 和關. ることであ 1 暈 至五世五四 お船に焼き砂品を調入することを得ることになってい 否をなちしなることの出来のの幻所論であった。そして語に一階の蘭人を題 TY 圖 高奉 書の原本お今週コ县副 0 H T 晉 間島出 3/18 Eſ 出すく自由コ潜法をもことを結されて H 雨站 国な思をなさしむることも本地して 1 掌 安西二年 由逃むを指しけ前例ももるので、 邻 剃 P 0 録するのか要を認 是制 のなくしる的 4 2 Q -1 一多野 鵬 中 即つ了幼を証り就 00 H 車 丁直コ内地人の -11-人づ自 翻 新軍は出來け はは 班 0 M H 24 とする 际蘭人 14 回 市新はあつ -1 (R 温 、職人コニ 中コ独一 497 71 -1 を満宝かし 本最時の新先 2 船 題 闖 音 城 び縮 0 世 4 0 7 事 9 誾 0 31 6 剃 TY 图 A アは長 平 冒 田 ユフ スト 十八 事 H 国 H 4

出島門 耐いけし剥削的其品へ買主の各崩を貼し置剝繳ホョセンへ申塹剝間合品が 極越出することを将而したの 申剩。 III 段而乙名共运统要相同 न # **月コ 号 御市** 取其 特整姓し外發睛 YO 阿 宗 刹 調 ~ 71 21 1 H 中 年六 中 并 hd 前 Y 如 鷳

# 第七章 自由 五市市

ける岐~、英、霧の兩國は珠國コ郵商を永めんちするの念わ書組であつけけれるも 前コ鉱ン

紫泽 日に V Ži 部 量 掛 里 e4 5 平平 所を聽 4 図 趣 寶 圖 71 X 0 c4 0 24 杂 酮 # 21 の言る 稀 光 自由互市を公指する 2 圖 4 不 6 15 B 悪ら X 閣 0 船 2 别 24 [115] をいった。 できたので で置おしていい。 このでは、 他を fus 9 e4 ~ 34 が 更正 54 24 -1 21 理に帰っ 意見 2 7 71 耳 L H 盟 稍 9 0 弧 申 54 阜 2 111 なるころ 1 車の法風へ乗り普 學 7 6 を関をに送り 調を担 の標 21 \$ gi か岩瀬忠誠を下田 2 點 4 M 洲 0 7 14 R のことには 日本の長田本の 許すことをは 毒器 と記録 宝 直に書 旦 閻 中 ¥ 器 2 Arc. 0 智 旦 71 H 選ぶ 調 がかり 讯 並 事 41 う 1 =1 确 琡 0 は當制( 來青 掛 [18 棒 Ħ 麵 Y Y L き直 Y W 0 1 11 2 -1 0 71 x 世界 H 田 6 脉 雏 田本行ご出 6 -1 品 亚 0 丁丁はな(日 の意見を潰した nl \*\* エフマ + 里 -0247 0 A 互 2 亚 田 28 76 湿 重 2/ 開 自 材制萬多下 は幕 0 料み なことなる 五六年八月二十一 0 H 郊 21 2 5有同 A 費 X 影 6 預 1 加 書書 三1 號 賛 山 4 (R 11 24.5 0 (計劃步) 对沉 1 立軍 H A X 0 軍 撰 e4 6 媑 H 2 幕 11 J à 1

-11-

0

十十十

肌安对三年

るを同じ月、

将給を解結せんことを提議した

の単互用

間に自

日蘭南國の

-1

と同帯

э YA 2 縣泰 中 5 \$ 00 et 2 2 2 羽 調め はを別 緣 發 闡 -1 24 晶 翻 2 耀 E IE H 0 お風コ蘭學の費用コ漸する多思 : [: 跳 矾 中 掌 る官職を照け、 先二 删 田 主婦 7 の響 自 来 社倉 到 -1 近臘 M 1 文物 H 0 卿 正 昌昌 24 0 \* 0 深~喝~ 454 囫 71 14 0 -1 St 日本家 に 網 14 番の 劇粉 雅 新凯 Q 滅滅で R 7 翻 、日子十 .11 IE 閣念は 歯 54 果 2 療 Ħ 闔 + 2 윘 ᢔ [II] [11] 安西三年 727 27 4 し番 首と窓。 窓し、 離

画 0 迦 贈 II 71 u 21 -1 法 0 1 からこした 54 6 P 2 0 面面を指さるく 3 1 2 -7 7 :4 ~ 都合 湎 を以て外 ð 1 9 N 雷 帰み Yn 0 麺 田 贈 卿 吐 24 \* 71 > ~ 制 ė 3/8 9 H 2 0 51

圓 H 即 (命志) H 田 0 自 H 0 瓶 圖 少 7 54 み 木めて Y 7 71 4 塱 di x # 圍 Ŧ 4 申 XE み島 M 回 -1 4 fil 刑 少是 11 一上て쬻 調やい面 掌 目 T みて + 部に 源) . 製 71 11 林豐 不不 TY 1 すると同 4 幸 1 雏 北京 111 뺾 1. 香 TY 子 fox -1 幸 置 116 案を重要 W 7 訓 0 TY 哥 3/8 \* 24 7 W. 1136 71 뺾 い。 2 W 晉 x £1 H 2 4 1 £ 14 申 7 M x -1 4 お目を 11 ~ 0 肾用 C 24 4 T H + 7 11 0 24 H 24 申 T . Z 恐 # 1 11 9 4 田 111/ +11 み量 • 日を得ざるべきを論 1 -1 哥 孟 11 調合 -1 :1 4 2 館長 2 B 學 / 鄉 KI .1 0 R 图 刊 臘 闻 24 71 冒 A H 量 \* 《湯 河 -1 H 1 資 E 目 0 \* 重 (2 0 + 器 1: 0 71 旦 [H H 8 2 1 [II] H 7 計 船 疆 7 则 與 7 摆 比 ડો분 111 彩 選 M -1 山土 图 ユフ 瀕 24 N 其 社 Ħ Ξ 2 TH 館

綿 (X) -1 霾 T 9 雅 02 場 除 0 湖 9 R 쉩 \* み旦 制 以 6 21 B 號 渊 TY 纀 24 量 題 0 奉 非 x 運 2 田 24 6 0 2001 除 41.64 囫 1 11 無 鄉 . 10 -1 五して完全 54 h • 6 7 4 11 半 11 4 ~ 1 # ~ 派 21 4 頭 2 安政元年 鄉 1. 一利みは 34 繆 -1 4 雅 田 -1 4 香 囫 1 1 54 勜 Q 颤 \* 電み 本との (Q 型 x 2 4 2 ₹ 51 益 M 0 4 7 Ħ 2 24 11 中を特込んで 印 7 0 -1 T 7 耳 + 目 級 剩 0 亚 6 . 題 张 H おとしてとお 11 剃 4 班 Q 21 71 1 訊 7 魏 紫 CX 31 Y A 71 を兼 動 題 x 囫 6 哥 衆 0 雷 है नि 令 宣 囫 なるかい \* 1 级 1 5 ¥ 0247 焦 規定 do 21 K 2 晋 囫 14 事 衆 體 0 0 令 -1 6 24 至 る。料 -1 指 王 囫 6 2 預 \* c4 -1 商 冒 8 ユフ # 運 > < 酮 0 20 c4 漸 翻 54 0

まま 交易 32 业 2 国 X 9 9 A V 54 6 e4 7 囫 鄉 承 2 < 0 流見 阿 0 開 71 器 貴 囫 0 2 1 C 阿 \* 2 望 装 學 \$500 墨 强 71 71 哪 並 雅 X Y 2 留 71 71 南 71 24 2 0 our Ch F1 平明 F Ξ 099 阿 以 0 阿 最も富艶 -1 淑顔 たらら云んゆ にな文は 28 19 4 響 24 剃 0 製 るのから e4 かとす 8 췖 025 TB 0 図と 6 到 28 林二自任を館み、 開 0 子 独 2 e4 便 11 3/2 81 0 胃 P .71 4 CA 0 200 强 印 规 2 解館の二都 然らコ長副 :4 71 21 28 阿 然られる 謝 247 力嵩 個 単を指を T. 4 日本人コゟでふの報 温 9 .7 16 2 士をできる à 田 法は 丑 2 東 5428 墨 1 1 囫 9 71 聖するの \$ \$ 21 Y 制 0 阿 田 場し、 24 東ギ人は一 14 來置 東 2 1: 旦 船 新 U 國 2 .5 0 cq 製料 71 囫 由 2 學 まなるころれら 11045 B 阿三早 2 it y 開 阿 の思いる X 英 剗 6 e4 替 學 南京南 71 -1 融 2 当 9 \$ 4 9 Q 給を結 別して見 旧 刹 (R ¥ 極 ~ 40% 選 界の最 息である。 悉〉貴 71 雅 a, 2 须 2 :4 コ米圏を麻解滑跡を諸辺・ 6 54 コを更前命合的の交 CA 7 國 激 0 1 数本してとい間 居ることで . 申る。 鵬 भू 훼 71 刑 71 R 21 財 끌 囫 排 函 洞で 71 72 X X は光しア 11 8 = 맴 7/1 烦 强 -) 0 0 1 71 确 -X 順 3.5 雪 14 췌 21 1/ の早 1 2 h 彩 A さるとなるかとからま 田是 哥 監言で 0 0 0 (3 % C) 図と 申となっ c4 1 器 W. 本 こ不明である。 辭館 额 21 显 00 冊 4 E J. Cor 0 4 71 さすれば 世界 阿 事 11 平! 2 त्ति 图 SHE 乖 V E 数で 背國は配 0 田 シフ 和蘭 9 2 至 0 おるろう 人等( 基 0 1 1 1) る英七丁、 21 94 % I 2 東 Z 0 :4 71 0 囫 12 乘 戀 其 2 學 9 \* 2 雅 9 P 2 54 黑 2/ こうととまる CA 2 1 4 子! 71 1787 21 XII 71 -1 28 71 以米 77 37 28 Ca 41 2 阿 0 题 月 3 2 T 3/2 剃 阿 9 堆 0 V 14 貴 26 井 KI -1 4 0 0 9 詽 4 21 温 2 g -1 2 其 P 形 f1

9 開 7 71 重 F 175 21 囫 日(安域二年 e (4 を許さす 24 番を C x 顚 鼎 9 1 H R 4 91 0 0 X 9 由 c4 瓶 + Ŧ 排 4 4 いきで 阿 21 TY 24 1 3 口 R 見る 丁貴 2 ,九月八 11 出市 是是 4 幸 ¥ 9 T P 别 췌 盤替込む XC f1 创 g 6 41 キニ X 音え 0 承 Y -1 雛 8 24 刑 TH 1 十六年 x 社 してかに C米 1 文 Q 7 魯 C 10分割 6 里 量 3 8 剃 \* 頸 未 網 27 71 南京 4/2 11 71 21 0 董 東 71 挺 る際コーキ八百正 9 1 x 54 9 R 黑 x 0 0 4 9 将し駅田五朝を宜い ·中國 护 71 調しない 5 li 远蒙 4 ~ 0 不盡 4 田 M: 71 黑 4 + 船 4 -1 計 由 由 \* x 11 0 薬 証 11 やうこなることを思わ -1 冒 6 T FI 71 -1 ¥ 國人の一國人 -1 T 預 + 2 H はお 4 雅 11 XC + 2 (2 盤するこ 目 1 雅 主張して 24 11 2 車船 2 阃 SE SE \$ 0 りたることにて映 ないない 4 量 田奉行及 5 Y S L S TO A SHE Ċ 1 H 0 1 至 王 節長小 3.4 0 가 029 曾を譲ひ n 3 煙 -1 9 をかり しを輸しなけ 11 9 2 1 P 奉 1 來 91 商 からで 图 多 9 3 9 0 船 0 なら味蓋をごむ、 東人の本意は立い 出島土 き幾つ 鰡 24 派を子 かるな Y 24 に発 撮に 0 规 7 -1 Ċ 思 日 あった ¥ 如 田 M ~ e4 497 馬ふ -車 x 34 ~ 2 號 71 題じな を耐撃して 1 6 H 8 6 M -1 東 п Y 田 强 --1 で憲 群の人で 眯 沙 11 が設ま題を 业 54 11 . 逦 \* ユつ 事 慧 1 0 み是 と事ない 产品 このを H 水を 凹 2 24 重 H 71 71 主張 W 旦 6 事名の 24 2 崩 丽 = 申 P 里 囫 公公 主張して 34 塘 Y 2 東 したしか 0 割して 2 鼎 -1 確 義 9 # 14 9 阛 71 字 車 官軍 訓 21 塘 徐 21 71 制 g 2 圖 至 骝 -1 8 -1 .F1 4 船 ----干旱 70 3 H 54 囫 SHE SHE H 1 0 0 T 21 副 28 79 -1 a 10 至 支 要 通 9 21 带 进 9 囫 11 2 鼎 H + H 開 14 21 50 星 邻 申 < 1 9 H 級 继 3.4 如 回 c4 回 灏 み~ C 回 4 胜 中 酮 米 8 1 9

7 劚 1 ~ 3 間 71 2 陆 舗 3 0 -1 0 \* 21 21 日 6 2 塞 c4 1720 2 X 3 54 譽 は天天 6 A 指 -1 2 寙 阊 \* BU 0 丰 垂 FI 播 孙 累 U Y 21 2 1 7 番 料 7 餐 8 -1 2 21 (2 x 具 6 河 2 11 鲫 別 1 委員を 河 . 111 H 圖 1 鄰 71 + 圣 3 H 圖 0 囫 H Y \* 融 本 54 2 170 -\* 独 H 2 4 28 0 -21 我 1 2 然意 滅 ~ 6 Z

到 銀 7\* 2 c4 54 0 4 à [MI M 10 迅 睡 銀 6:1 阛 垂 目 36 21 11 9 申 題以 讯 7 H  $\Omega$ 0 (2 題がある 6 X 9 武 04 刑 21 Y HE. il 6 R 7 昌 16 T 54 -1 目目 뺾 案 季 Z 劉 Y 那 27 구볶 y 뗾 話 哥 6 爭 学了 子 9 64 0 A 0 11 9 私に安成に 翓 哥 清 7 H x 10 9 V H 2 抽 4 • 21 勢 4 :4 51 IE 业 2 (0 15 鹤9 21 剩 11 9 11 まま 母則 2 图 7 田 0 7 T 曾回 娥 1 邻 自 2 -1 〇指 丰 目 IE 用用 3 U 猘 以 2 . 띰 2 9 Ell 2 9 刹 11 0 14 0 21 7 4 41 鯛 9 0 太明 -1 竇 2 SE -1 TI (2 1 碩 g 以 54 -1 4 21 劉 曷 羅 塘 制 瞓 狐 量 뼯 嬎 黨 闡 酮 录 6 <4 阿 爭 15 闒 1 制 2 H 4 16 末 ユフ 빏 貓 中 71 2 继 9 A 光 16 C 9 H 0 别 手 Ξ 2 王 9 \* 톑 詽 निम -11-塘 -1 案 24 6 シュつ 昌 H 期 H 望 -1 间 贈 76 业 預 7 ) 71 哥 2 2 曷 -#-其 垂 事 吐 2 福 研 ш H -1 71 項 TY FI 0 1 主 互 卿 # à 1 \* 步 申 禁 28 \_\_\_\_ 4 7 8 調 目 71 M 0 買 到 音 -1 1 郊 1 9 賣 1 1 34 在了 7 里 X g V ۹. V R मिन 1 亚 俳 囫 -1 .7 (la 21 2 24 쁾 16 14 V 銀 规 哥 囫 54 哥 4 1 -1 Ħ 田 9 14 緩 1 0 阊 哥 2 间 0 柳 R 迿 9 0 21 21 TY 14 0 21 郎 < U 册 0 THY. P 张 2 掌 6 0 盘 剗 9 北 P 2

适 0 21 6 21 Z 4 ٢.١ 0 0 マン 9 銀 二十 6 # 2 旧 里 Z M 0 2 ₩ 摊 資 Y 買 9 0 끰 7 V Y 器 Y 臺 計 山 囫 留 15 闡 周 4 请 7 阿 14 9 11 24 寓 9 墨 21 排 24 預 魯 2 0 74 뗾 V 别 爭 2 班 74 191 28 邓 9 2 Ŧ 劉 派 A 採 莱 chily 麵 買 2 9 > 賣 7 至 1 -1 -1 8 孙 料 23 꽳 2 21 印 欏 採 刹 V: 瀴 賣 0 主 明 早 HI 即 ut

9 を要す 順 2 2 田 71 <4 1 米 淵 由 -1 推 3 料 54 1 71 留 到 闽 Z 惠 x こうならい いふことであるは、これも市御一等 0 んるいりなけきことであるの山場る十八日御文窓を要すること人 孟 晶 财 H T - 54 o Ca ্ন 日情を含りしことを配 おるから 0 1 さる関う 4 置 Y HO? 國である 明かず 和關 114 畑 2 Q CR M 日 哪 禄 5001 0 謝もむら観 0 趣 44 X に国答は 回回 自 とお附近めコゴネされは宜しいを思え。 のとなるるないの と思えっ 00 かうも貴國お \$ 北 時の、事の飲め 2 かざる、人し~大平は 2 題のそり村 1 **~しな。~しかって用いて用い** 7 も言さるとも 支派お大類であるけ Ė 消しこなる大治 心事コ時所し些 堆 24 Ċ 阿耶, 现 ないいけ 2 21 に対象 雅 幽 F1 東 贾支 71 かる物語の -1 U 9 置かある。 更多 N. 特弱い器で 部、日本お 伸 る諸果を生か 71 TI 二級 所である 事事 팶 ユニ F1 起みるこ 堆 福 ~ 27 q SIE いことは 118 2 買 2 -1 は支 0 CR < 同部 FI 9 2 指 ٢ 曾 21 至極限 運ご do 囫 平 A らいとで 由 < 21 叫 ć 9 Y FI 7 图 0 71 囫 1 2 41 で米 重 1 24 開 4 41

悉 11 e4 辭育奉二 1 7 承らゆうこ 不田奉行、 H 長訓奉行, 解办 MI 0 Y 新识掛、 4 51 1 型 回 ペーと命 出を改革し、 **帮**宝河一 申古 7 7 氯 ~ 製えり 鰮 -1 平平 W 0 q # 0 熟勳( 丽 训 裏 1 間に 2 0 0 みなる -1 9 雅 54 71 쟴 T 6 思 41 孤 M 豐 申 卿 4 0 H 器 3/2 狮

今は別

40

퉤

1

¥

間で

なない

x

6

11

~

七日恵を強するや、

[43]

日オナ

Ħ

屯

hil

巫

五

なっ腿田田朝コ郎で

間する所

囫

響

報いて

み類園

II.

**参い最後の地心を示し、苦し要求を容れられず** 

# 0 1 Ell 1 4 2 孙 鵬 21 4 日まで 17 4 0 P 1 刑 < 掌 .4 1 かないの 7 國を非職をを構ぐし 末
よ
月
二
十 制 回 水することを知ら 情解を齎らした。 0 交渉 米船お洗コ南 阿河 といろ 源 2 本 0 園を天帯剝除を翻結しな H 24 事した いない。 い頭を即 連 辛六月不田コス 0 囫 來って關 兩 锄 मूर 江京江 シュフ 月満 服らに同 再び ¥ 王子 歌 -1 71 x H 54 " a 1 料 SE 11 (2 7 0 9 . -1 A 糊 圖 を承認 阊 室 嬋 9 54 < 囫 Ce c4 鮒 李 兩 (# ME

豐 V 14 1 2 H 3 からどろを上表せしめ 1 H 맮 44 ナーリニューラ 上東コ素上かよ」 0 247 篡 山街 11 囫 蕭 2 I. 黑 盂 逃流わる 级 -1 뭶 ~ 李 京 るいき河りを逃 都 111 奉行 で京 2 前 記録 OT A 54 做家 即等 W 0 ら枚数の日むい に集って居る法 Ċ 大各と帰籍 21 器 物語を表請し、 半三 らり P 6 2 盟 エフス 息が 攤 1 FFI A 日 事 正 ¥ 步 坦 省三家以下諸 Y L かすこうお書け 通 國家の 証 E 2 専装コ由 24 南 潮 おら果るの光を京路 面商額給6 一般み 8 X T は 林 21 -1 50 E. 划 薬 7 41 京 主 U けをして、 藏 图 煄 91 し交易を指さか H 24 九日参丙し丁 月五 45 Ċ アンな 集 Ш 酒 0 われでも要随を得なか X 图青 9 1 ろころ \$1 0 71 旦 121 師 預 21 爆 A 干 出 -1 24 是 田 京 に旨を塞 記 鸓 上京し、二 24 11644 21 21 C 酒 4 71 2 34 1 24 1/ H 编 图 スにく 刑 R 嗵 おらかからな 田 煙 田 掌 1 申 瓣 -1 瓣 せしめた 1 お窓 4 開 影でる理 ¥ 00 7 いる。 み、皆 7 閻 54 美 夷論 雞 A 醇 制 睭 Ý 恩 21 一〇電 + 選み 是日 戮 0 H ~ 9 凹 So FI 1 事 制 华紫 5. 2 57 0 出 28 如 11 址 雅 四 4 が近 丢 41 9 本み 棟 F. 0 豳 開 圍 1

すべしと納して一旦へいりスを下田二結らしめた。

金をもののからる 111 する意 對 -1 會所 훼 は長 輸入品買受力を明解するもの 71 2 9 歪 -1 月 0 T 21 主 0 Ē -1 独 车

雅 7 邻 獲 9 独 0 54 7 2 M 1 车 計 H X 金 9 坐 2 71 (冰 雅 題 丢 囫 流 剃 開 惠 -1 9 淵 ti 並 TH 晶 0 將 200 令 图 丑 0 亚 都 54 登響して 21 -1 -1 田 TI 涯 Ŧ 預 謝多員 至 驱 塘 重 順を蓋宝し 0 71 8 24 崩 平 1 6 動 X ~ 調 發言4 何是 W. 瓣 54 6 还 35 x 11 以 深 7 8 6 羞 剃 題 1 創 2 21 **郵**資間 [d] 盟 盐 11 ~ 际 8 94 貿易章 華 選を運 2 滁 4 A 訓 . • R 霏 4 :4 策 話 2 24 1 制 軍 哥 1 4 4 :1: 剃 银 (2 2 「「麻奈川寺開〉教六や用コ)、「ノア下田帯되難トこを」 音 1 < 劉 6 梨 4 权人越步 4 ≱ 0 極 0 别 1 岩瀬 8 -1 2 \* 0 + 更简 武 輝 B 175 除 W. 湖 2 4 本 .F1 9 阿 連 和 目 商 州 \* 料 9 5 F 伸 車 日 R 21 京 US 裁 1 ۇ 囫 2 2 业 6 重 年十月二十一 星 兩 阿 7 迦 4: 崩 晌奈 開 凾 溫 -1 0 0 題 酮 制 -1 X 继 # 那 \* 北 T 胍 晶 2 英 關碼 ¥ H # 郡 2 0 2 do 2 TY 回 闽 がある 即立 1 4 A 9 \* Ξ 0 7 獑 2 7 M Arc P 田 4 -1 朝 顽 4 ¥ るまで 彩 発表 網 4 Œ 71 ţ! . 0 1 4 日 刑 0 涵 21 樓 山 掌 王 0 T 别 2 緞 0 冒別 14 豐 Y 嬋 河 1 1 題 1 H 0 紫 A 2 4 合 71 2 भ IE 빏 日 糊 T + 2 李 -1 武 亚 田 深 4 4 银 Œ 自 4

21 排 凯 計 道 ш 2 \$5 北 マー験 陳 71 0 郷 R 俳 京 몖 -1 猫 0 # ST Z 事 鲱 0 e4 見なる 5500 清 棟 温 71 科 \$ 0 墨 三年 歌 全 114 71 显. 賞 播 0 2 至 真 0 21 0 刑 惠 24 掌 继 Ċ Q F1. • 9 54 4 玉 樓 Y -1 71 独るするか 졂 x h 0 11 削 4 らりは画 鵬 -1 う してきる旨を告げる Ä 画 上に --少 隼 W 0 FI 邻 鄉 を告ぐる特 2 c4 > ~ 250 c4

税を発 同平正月二十八日、出島は開城からパア、出島野人幻聲出島はる基法しな。これはる蓄商人封部意 點 0 19 親妹かららくれ 2 預 會 は郡 歳いて、 商品 引を置むことを指されて 商取 0 SY 21 阿 U 14

月上 神醂を決 内代商人コ親年コ貿易することを指す旨を公诉しけの 留地の温域を気め 來六 田の 長コ独丁吳龍お珠國コ独わる期一の僕代關門けるの資替を失える同制コ、县副會刑を本うの。 米正ト國の人母をの変易を指し、 助帯を野築して 大國人国留助を 競売し、 文人二年 コわ記 闡 英 川、長崎、南館の三都を開掛融を叙し、 制 。よっと戦 幕形は令を強し、温、 21 म्म 思 海島 出島をお島出 4 争六月十三日, 祖与此 71 1 U 晌奈 2 事 慶應 回 21

#### 剞 太気の野と現 八章 第

7,47

質鹽 滥 總 71 奉影一 コ當るこちコなではの大知奉獻コ焼いアわ幕日中コ異鑑者のをゆつけこちわ 幕日等の割別 京形以下の書願お悉~額からか、 **苇蓋を排して大烟を降廷**コ 奉行阿事甲豆守 2 桑各雨藩士の人京は禁かららくコヌ 月、部川十五分群軍観喜幻黙~國家の鍬來を景憲し、 年十二月王友郎古の大語を強殺せられ、聶關、 育率 1991 の三爾は除い器 内部代交の要衝 回 :4 + 頭 **少二** 家 同月、 24 0 汉 2 4 裁議 靈 論で 24 思

章

V

策

24 福コ独丁的要極六 掛 曾刊(交入三年) 新祖刊を対け、 、 新 曾刊(の 三部 新 親 の 前 良 ア は る 晉 5 0 24 rp 解はから H Ŧ 步 凹 :4 除 元丁 風商網 -1 M 図と 思 を野築してや人割 累 0 英蘭為英鄉 計 71 趣 大都 1 本 Ŧ H A = 如一步 (H) 八九五 0 4 古

24

教會刑でお今日の球閥の連絡の代コ代交の事務をも掌へ

21

41

同十 動 0 囫 N 锄 x 71 4 九月三日コ 4 11 T + 2 . 11 4 1116 いに連通順地 1 + 11 動簡エ 同年ナ月十日コお 0 囫 は英二 同十八日コ 0 21 U 50 2 F1 料 24 5 A 1 54 4 以 剃 4 91 4 Ell 镁 1 贈 回 .6 54 阋 2 保 動 囫 剃 を米 0 日米 囫 增 黑 2/4 71 1 1 a 目 4 鼠

響連

0

兩國

英制

\$1

4

h

11

"

スコ調整をしめしに、

6

11

-

川コ雪ねし

を神祭

告謝忠霊の二人

上青直、

印かお

問門

以

剃

0

まるり光き

せん、残るる貴國コノア今既は要求を容れて語気

NE

日心や動

じて不

乘

-1

樓

0

糊

郷

71

周鉱し、

11

劉

0

囫

は貴

余

響

49

111

晡

41

動

兩

岩瀬の

干#

54

54

大法さな

井田面腕は

月二十三月

回

事

Ī

如

4

41

がて

-1

刑

賞

印するを引策をすべしるの意見

鰮

城福を掛けずる お解除こ

日

頭命し、

る省

器

0

掛

测

2

X

6

11

10

2

9

病情を得し、然ら後

0

師廷

>

踊り知らい

Ċ

4

:4

豐

0

显

[11

-1

阊

0

#

7

點

1

R

師

車

5

0

7

由

नेस्

111

晌茶

34 41

Y

-

0

21

日かしめ

コ意を共して瞩

Æ.

6

日を得さるを明

0

制

歩りる事

がなること

7

削

鰮

2

2

54

に改正

事十十二県館

解除は

H

5t 0

C

日下あ

**赵正年六月二十** 

指「多五

51

論を了し

其手

歩き

00%

Q

このまれれ

せらるくつ至るまで行む

質施

(米

新鄉

-1

| 十二

FI 51 7 さする 車するものあ 4 風 Vi. Ċ Ŷ T 71 -1 中 連 コレフス 市 掌 冰水 勪 子 綳 船 50 **公式対す木等の蓄刃が寄し萬一** 囫 X ののはなるって 財 立いっ いままな シー 動するに 数熱な 图 長高い出 京 始まらんなとかるまれた。 なるい :4 () £1 24 肥前 でまり 順 級との 21 级 逝 A 54 到 趣 患 0 2 郷 狠 > 8 懂 中に 췖 子

40 0 2 0 -1 -1 新野網中コお歌コ具副奉行を録し丁熱光を晴をいしとの鑑を主張をと寄 制 は幸にしてとを未 54 H 8公元 74 (2 証 卿 劉 0 2 24 2 1 0 0 てかる 倕 THE # 2 0 6 北みマこと 34 21 \$ 1 TY 思 M 2 人居 2 阊 -1 0 8 問題 意見 察家 掛 想 24 木丸さとぎ は京 幸禮 0 囫 4 コして天陽 凹 21 8 0 かして 大玩 A 圖 4 光し丁具副奉行ならいなは岐を辿みむ 7 0 年情畫 審み 是られ 出 計社 0 燛 21 4 公式力 那藝 焦 -1 7 21 到 计 2 の意を表し 王志士法法 24 劉 制 -1 みるり 뺾 J 0 おしたが 1 4 告が 子 54 る抗議を申込 が記 1 24 24 み、単 刑以以 いア言下コ不登劫 隼 \$1999A 0 あけれるもとは職 き所で 029 エフコー Q 2 21 推 2 ユフ 0 ~ 24 寫す CA 公安 21 青狂 幸 0 間 Q 28 NE STE 2 5個 體 大知多龍 おいろいか は忽ら猛 0 0 木丸 0 0 4 に対数から でして吾 0000 阊 [a] 24 天不芝武の労をる利うある。 発 蟒しけらちア天下の大陸コー 2/ 1 \*\* 114 憲 7/ 雅 の詳報 H ist 腳 54 重 71 恵した 4 木 五 日 -1 200 T \_ **賛意を表する** 酮 71 继 層 ~ MUN 1 3 計解コ独をるコヌン。 未なる 木丸 まる。 14 無す 0 は仕 潮 \$15 野み 4 攤 唯 鉄 羽 71 歩みて 囫 54 9 2 8 Q 潮 にマつま 1 21 14 1 源 級 だいか 頹 [d/ 2 趣 1 0 0 71 R 重 6 21 114 1 71 ful τį 湿 歌 0 :4 07 张 114 X \$500 丑 4 衝 印在 李 FI c4 54 0 4 出 E 1 制 瞓 35 0 34 54 44 重 器 那 至 狮 2 公 天

V

患

西江土山 かかられ

是是 CE 24 2 (0 R H 0 3411 阿 兵を京階 長コ独了全 瓣瓣 方方なが 独内コ独了幻大遊館の末、 54 で更ける見る は大コンド愛へ 衝突 C Y 21 题喜 大城 の重 6 玉 連織 -1 兩 目 9 **鳥取コ独わらな** 月三 24 5 天下漸~凝然 明治元年五 報を所した UH 思し、 窓 コ 外 見、 をするの議か 虫 1 (米 The state of the s F1 2 P 論大 其板なり。 YA 0 24 非 Ċ [4] à e Cf 23.28 # 1 2 T 34 图 A 1

心響 特 Q 人心大コ庫 4 奉 15 源 影 台 連 部 晉 調 蘸 酥 :4 山 啷 F :4 2 めんとするの 型に 干 6 0 割 0 Q Y 江 某 剩 讏 事 36 54 いて蘇し 3 虁 頭 i 郷ニ 然 写章 肅 放きお策 2 71 THE 衝 に行れ (明己致の公預外大五義) 靈 e4 9 個 21 コフキらゆ 織した 子 [tt] 77 本 2 -1 2 温 6 田》 묌 留完 阊 さっきして動輸の蓄肌 権領み 始まらんとするは版を風には 111 湖 影 0 41 A 連 う見 上行み場 、常熟版、 兩 郷 -1 る土佐の海 及元元 8 中一大難を加い · f Field \$ \* 近了 33 0 衛 继 王 腦 7 哪 24 141 独方即 0 0 1 思 清 十一管 200 こ命じて動 9 京 # 6 A 當制 훼 阿等 e4 71 鄱 9 網 音 部 第40000 额 組 王 2 :4 剧 見了 71 54 说法 1 擊隊 海撃の しはを上まの 置 こる類印 様を Ċ う 士 0 亚 P 11 (0 月 かざら 亚 里 2 中二 Y c4 H Œ 雷 到 0 幸 421 -1 中 • 王 THE 間 伽 盛うあった 54 3 of of 20 倕 御との :4 g 哥 24 泉 奉行 71 8 馴 いるるもか 舶 2 0 面 2 71 並. 2 \$ 外 뺾 事 彰 器 끏 0 < 纀 流言が -1 哥 回 -1 趣 2 0 瞓 뺾 2 班 7 劉 4X 2 子 鹽 子 なく古 묌 娜 36 灣 4 B :4 回 500 1 3 抽 ۹. Z < 04 辦 周 J, . 7 2 7 例 21 剿 1 2 亩 とこと 糊 目 0 歌 当 0 0 > 瀴 29 公留 哥 2 0 1 則 剿 7 .1 TY 排

潮

源源

54

継をして見過に知られ

腹(眼を鈴の斜種当、木高行)を次新野渕コ

h

木三

土佐の佐み

通

H

54

公報

三年、五十五

まとい 里料 塊 P 9 3 審 41 上原等が協議の て一番の高意 おいいとも 71 4 你ら、懂王黨の飲めコ家を次うこさの出来るものお、當朝の長龍コ妹アお、好れ、当か木二 9 11 21 がて 涩 のことであるから、幸行を慕えてとんたことをなさらぬとも関らぬことで 2 1 迅 头 식별 54 **公妹大小の限多胆コノア** 巧短箱 事 る田 更 -1 つ田 こさなちゆで関家の飲めコ希望コ勘へないを策である。循告はより出意を続からるくコ 以干追 曩 E 0 張する如 (2 < q 機 コ同つ丁鈴車を話すべきゆっなね一つ割コ刊サはへいまし割は失敗し丁死んけら、其 告コ 謙をはおおらぬ」さい らけのず、 おす木丸を 大うと ゴ誉知し 対。 与こず がれ 力 間 が が 劉 FI る。 觀察しけのず、幼代丸ね一个随身翻奉行所事的豆完は單長當班を一 0 1 原論のことである 4 サア案内サノめ、氏短滑いる武響網の營刑コ至り、網具コ面曾を永めけ。 副 24 い」を制用を容いて述べたので 同報コー -1 Ċ -1 み島の 題は直っ 着告 コ 打 引 副 奉 示 コ衝突があ 木五 橋するの去しなれる話を一緒コ行うころねるろしつない。苦し吾等雨人は 圖 兴 2/ 關系するることく難察するけがきす、弘烈大義各依を重ふび、 光徳は高 圍 間 夫站 1 公 计 3 计 3 封 3 封 患なもり大なるものないるいるかるもる。この到京路で石坂の 地に落ちんな 0 掘コ圏家の重大問題でなる。 市見 加きこともられ長崎 のころおとを需告コ言財するの枚おび 24 人なしちいえも融言でなけっ 特し苦し萬一事を點をるくは 動古の南幕であって 圖 出アア墨コ 關係である。 お奉行河柳 光づ 火を持た 迁 71 :4 をとつて居た 貴鄉 蔣曾 營外 不正 别 2 绰 X 0 罪よう 器に誤 計論主 0 群 24 王 いきな 國家の 0 :4 貴鄉 傾 2 9 4

71 移ち e4 とコお外 白木料三さ 自孫 re 最朝当な木丸幻幻は大丸コ向り「 の制権を置らすこともあらんとで、七室の封意を怠らず、不安の内に減一候を避びしけない 部は 1 相 2 54 21 干 対が木刃却動を対大刃コ置わしに見翻奉げわちでゆる基法しけるしい 71 公金を計出すといるおおないのとおして項具をことにしておうできゅ」と云い出した。 **松**大丸 Ċ 1 の二番 山熟野人多語予船コやって現具をことコノけo ラノア奉行をではらむノーと多述し 大力 も登知しな。 シノア奉行 紅米圏の 予帰 コ乗って 尚 打 掛 内 コ お こ ら は は は いけ の す 17 **烈** 平 疏间 コお一人の人場を 奉行なとを熱へて 50 のことを即前で 24 ン覚みることいる「い 24 刚 、〜戦 長崎 長橋を去らんさしたのであつ -1 40% 車を込めて見るる心しる金は は窓に 人居 24 日曼福奉行阿野母豆铲 まさもか同刊コ出了置い 行刑コお封マ木丸は一 船に致し、 7 4 實お 1 幸 明に出るから、 ペア米 0 24 (4) 医二 けて見ると 24 C Ċ いる。 漸 e4 W 4 54 2 0 V H 恐 2 6 0 0 同等かの 追申 る地域 (A 示丽 面 41 17 月十 ず Tr ta 54 里 9 .7 2 幸

はいるの 公式丸ね奉行はろんなこちを命 少面水 なる、その値を出るの内に自らそのか河に低いてとを減無するの 00 24 0 \$ 対熱はあるちいる制解は 響剣コ不器の CA 9 新二 cq 4 阊 à 9 200 < c4

的態度 0 大型人太狼(勢の斜質大野重計) 又以同藩の幅島二版(教の前領區島駐耳) の二丸 を本員制 コ 出した。 共コテいア逃撃網コ艦かんち云ひ 対マホタ大コンンを然しと叙し、 24 Ċ 業に の暴 \* ति

品

即账の視习大盟人太鴻ら署各し、其土引視球しア重体善法衛門をしてあるゆる。 。中量景 94

筑後 029 頏 <4 正島、島和、小倉の十八番よぐ各一各成の署各批時、 [11] 映 ut In 長下、上下、 平年 次コ類州 肥前 然前、 0 日 A 即後、

力輸 TH 0 **小統而萬世不易の國論を以了同盟する殺者蓄事を問わず嗣意を主かず五二符** 郷天障と耐急コ各盤下とかを以下盟警し 滅意を顧わする 最財助のと B 熱と除る A T [u] 次 一 成成 本 闻 h TIF 瓤 2

個 永当するよ 果コ独了独大知等 間労国連を育する諸藩の重立さする人なを一堂コ會し、一致同盟して县制コ気付る内部代交 各屋敷を設け、 台幕南大面の志士の の各番な 何制成何なる衝突なるの間づ断らぬさき別らなないな。 拉蒂 お職王、 、王傳 51 中二十 筋事の吹き致人を想知サしむるのみなるか、 省るの必要を臨め、窓口會盟して法の依を誓言を引つ、 車 長崎 なるれ 27 6 中お治した 量 12 0 5 是 年24 に載い 解する今の 動しなかい サユ は長龍コ 30 > 後と 衝 晶 0

54

いるり限なる

CA

事を意助か

阿なる不満

窓コ版口

目の因を認ら

上兩都上間又

類

÷1

江

-1

8

断す

21

不憫

21

6

74

쬻

本

事

寺

す

自

日瑟

はら問題して罪を調せしむるの外なしさいふことに一近し、

鎌

●込事を窓をかしるアド下がつけな、薄~して白万雷吉さいえ人な出て来て央端の盒を赤し が等を強無するこか 要である幼り、酱香の虫がを一体コ謡めて貫いけい」を下へけので、白江等お前コ「刻員一同を緘黙 旗を外式 出の事に TI とを聞いて公古知り「それできるした。神し新野綱を居ることであるれる 熱明の上とを始た丸コ数しむ。 金の何く語られたの して命を待つ、云かっ」さいる意味の一小を臨め、 即で 春永山部英コ融倉の (O) ± **を**お去大五十 上间东

2 法伝うの労かの 白がは「もの朝の貴をの熱子お掘コ感らしか 何をか云つけるすり独作にゆりそうな野幕であつけから、質の刑をんを参ってしまつけっ」を 光太了苦ノ萬一否シ云おとすりやいつけ | |時最中コを贈口をゆるめけ太爪を順コ下をつむ了割けのす。 54 出了国計を見らて、後年白江コ巻のお制 邀撃網の由刑に出る 景部で 云でア大笑きしか。云かの (O) 貒 5 は 湖 21 21 6 質際その 請りであ 頭 0 24 C \*\*

ラがはら母t 知り古の一体を離へて西野洞コ綿し、母な木丸コ雀 & 丁萬率母路合コ重 A けこちを告 時寄せけのすおないなど一同 川毗半随さいる苦塩土は奉行河の門前は難れて周むのきがの 廠と 睛、ア見るる、公太丸は西野刑コ行うさいのア出さきも、阿袖を予待のアを組らぬのず、 古の川歌半姐は数を訴えて西野刑コ來けの多、土対の新穀綱の一人ける関軸之姐といよものは、 **鉱撃物な** 間にた。 り丁まる親を関のより當つアドインを一等の統壇は 出了見るる「劉攀国嫌の留洛呂 情を取出 T 邓 北非 9 9

誾 TY 飛 -1 7 阿 通 71 4 係 2 9 c4 1 7 2 训护 鄉 团 海 無 11 9 54 2 < \* 41 運 派 FI 71 2/ LY 侧 c4 ら見 見録 2/ 星9 2 1 鹽 000 X. X R 71 1 级 级 山 34 还法 0 71 FI ou Ch は常 71 (1) 24 耳 #6 [ 與 情 翻 制 2~ 2 月 开 更 0 Hij 景 A 如 . Q. Z. V 6 0 肾温 こう 28 V 2 间 2 器に貿易を繼藤 海 阿 見するも はとコ客 -1 11 H 湎 锄 · 2. 07 ¥ 0 14 帶 命 2 我國 ごり 0991 4 4 71 11 [4] ~ Ý £1 21 平 羽 運 Ö ful 24 14 开 子 島 71 惠 0 0 il を果ち こはいい 西空雨を結問して熱塚 員逃 [1] 酱 除き緒れて 2 0 24 4 21 54 從 Ca # 屬 址 部 都部的 21 71 3 7 9 2 特し、 还等 公科 番 F1. 立 H 囲 ~ 制に地 らと言 0 2 県 21 c4 貿易するの必 受人を記 \* T は常に 勝み 24 ころいろしつつ 0 島 71 020 W. 道義 6 狱 0 % は間 -4 囫 1 余 54 人コ外のア常変 ユフ 21 0 P 5 9/ 温 ; 11 の暴言コニカ 迴 雪 3/8 兄で 合か 71 國 21 7 g 貴 当 71 2 14 0 7 -1 野み 34 71 21 阿 划 冒島 囫 0 供需 郷 79 囫 级 \* 1 9 1 開 200 和 雅 財 業 H 月 0 1 X 書と 71 2 如 コ支帯ふの Y [u] 9 ना 私 0 りの場 まる 7 71 4 71 -1 1 > YA 引を差上 その國民が 併し吾・ -1 お満日 韭 到 んとする 自 0 III. 昌昌 里 酮 9 闽 晶 24 71 囫 囫 21 至極 < 堆 0 锄 悉 串 0 [III 0 冒 女 0 いな 8 1 ファ 3 2 撃しやうさお 酮 2 るまで 7 中 -1 ż 0 21 繼續 國 囫 とこれい ¥ 是 \$ 7 Æ 71 顚 胃 阿 亚 级 9 引 7 2 24 71 悉 4 するゆ 立 0 \* 肾 1 2 員 拡 T -1 2 0 2/ 0 뮾 Y c4 會 21 部 計 國 4 、發み埋 37 W. 到 [d] 2 0 4 是 四 0 ネス 71 刑 44 31 71 显 14 00% 研 V 29 3 4 奉 重 [11] U 020 如 量 Q ¥ 继 21 極二 0 71 9 0 ンユフ TI 11 丟 7 独 2 2 H 2 點 出 題 刑 3 N CA 9

事決衛(那時) 五島霧 關齊古衛門(新幹) 木内 除时谷镇江渝門(赤鞋) 前藩 # 越 人公上劫太腹(亦胜) 吓島瀏 重分善士衛門(赤畤) 丰 大林藩 **泉江(赤軒)** 師(水軒) 回 岩橋 墨 间 會 寺人士衛門(sht) 墨 林五 116 藏人(苏胜) 墨 軍衛 野 3 星

藥師

奈留帶(T(##)

原五右衛門(34時)

洲 制

平白藩

#### Ħ 辛灵五月十万 靈勳四、

事

藝州都

栗田寛(赤軒)

**宮林**五大西(赤畔) 然简盞

旭太渝門(赤軒) **凯** 多潮

松大

州藩

到

狽

木三四部

平平

上孙蓄

申 無體念交易等是武之蘇 4 置列亞大平科客在個大路灣並上班大野 **时颵且貴國人妇公蕩黃 尙又暴行眷应艦不邓緣之嶽無之嶽存之쾴払吳申邀剜** 譽し暴行客所編稿事不取輸入瀏無之熟手當致置與間順 被差別 北子爾ともの 訓奉行長副欽公と再経時近より 足江 V 可够 兄共貴國 行剩熟品 今蝦哥 题 合歌 祖 4

まには 務を存職し、西段前を込めて長輪會議刊を称し、とをその事務所をしたのをこで五月 数値を自 計算 国際 関係 を は よんこ を 中氏 んだ の 000 題するものであ -1 碗藏 書面了既习永見離太淑刃の ご窓り **地** 囫 弘 0 · 動 立 留 ( 母み場量 0 चित्र 虚 平爾 堆 2 川を別 葡萄 2 記る 21 預 H

十八 2

1 出潮を吐まれた結果であつけを 00% 警告お取り長副圖書館の河麓コ麗もとものであ 50 大野到却其の當相未汁熱命はないた 170 \* 54 多松六瓜二醇 ふいとである

コ独付る政部及変お同盟循藩及の長副此野人の合議コよりア邦行をるころくなり、

トア長舗

e4

遲 國見制の剣を整け、 殺骸がの銃コ嬢を、同日十六日林田コ善しす。 ラノア人目人日はる林田崩障戦口予断共忠第の斜、 北向強闘を攻め、 **公下当三順○軍を初き、苦輝重日、耐未丸剝ら○澂、** 月二十日吳融コ観斎しな。 行か観軍を敗り、 **井** 吳 帝

C 9 除 暇除年コおなら銀 國を開いて作等の励響をは待さする。サイミトで向指でも同識からでも 制國所事を致い関ロし、言葉を改めて致前重し貿易を繼疇を 自私等お阿等の先器を人渡る村は合かはいいる。 し、きまり悪やコ立去ったさいよことである。以上は公太公の前語である。 撃ちなさい」をやつけので 行風を指するのであるこれの いて配場にくこて供

न 翻 50 多線 長部會議刊は内部校交の要衝コ當いけ 内部代交の事を掌ることになった 县福邓辭大林代敎宗 **| 中刊縣替署宣嘉卿社** ¥1 長高會議刊を長高鉄仲刑を近無し、 日聂福奉行阿斯伊瓦宁县制县去の欽 **火** 國事 發 點 替 乘 县 副 族 24 無點督 間太等を共りを奪し、 の事務おとコに繼 10 れ州鎮 + Ħ Œ B 二月十五

武ਡ刹お公ま六中綱コ限さ、軍曹二人公は長きなら、各中綱コお中綱合首、半綱合首、任綱合首 中林六と旭の二人は軍曹コ、草理国三順は發嗣コ知命からが、英先コよりア鳴縁からるくこをコない 2t 0 Cop 54 沿 明田等の 5/

田 學 四面コ郷の園を受けア大コ苦輝しい 桃 ・・・・・・
・・
・・
・・
・・
・・
・・
・の
り
・の
り
・の
り
・の
り
・の
り
・の
り
・の
り
・の
り
・の
り
・の
り
・の
り
・の
り
・の
り
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の
・の</ 米野等の箭番などを致けて官軍コ就し、 醍醐の三卿を奉じ、 一潭小 會卑無主然平容別は苦冰無い難し、 盡 小鄉、鄉 主当竹藤寒は歐し大藤多即へ ころのなつもく 9 黒こ 是制

紦

刚 韭 TH/ F 薬 其 亩 雷 南 雷 其 똆 萬 阳 霪 环 2 南 V 証 錮 証 X 71 4 21 採 採 渠 証 报 摋 訓 4 辈 X 醫 餺 渌 当 帥 I 静 卓 爭 章 章 章 享 点 享 章 專 車 專 章 專 + Œ ¥ 7 76 + Ξ 面 Y 讓 策 휧 簚 譲 簚 鷾 第 簚 뱷 簚 簚

脚

郎



## 

## 東 章 語 章

1 ハ等東ギ語園の人、もまけ来師しけのであっけ。 ラパア 見過コア 知緒園の言語は 計划れけことであ 秦西語の慰薬語をしてお斎藤天語は一般コ行われけのでもつけ。まけ羅典語を短野夷 **斎彦天人** 西班天人 東京 時組人、まか東新業、 永爺の末見割や角種人のけめつ関都をハアもり鸐國部外コ人でもつコおり 英吉陈人、其邮泰西人わすらもで支派人、 阿蘭部人 これを聞るいら まで行ばれたい 太际人

一大〇二年製具人祭吹中 コお味 潜機等物情は 景湖 耶瀬曾の判天重のトハッン等コよりア融物 ちなけの m い Vocabulario Da Lingoa De Iapam coin adeclaração em Partugues, feito por alguns padres,e irmãos da Companhia de Iesu. Com Licença do Ordinario, & Superiores em Nangasaqui no Collegio de Iapam da Companhia de Iesus. を題してある。

宝軟 Henri Cordier & Bibliothea Japonica 2 2 Supplemento Deste Vocabalario inpresso no mesmo Collegio da Copanhia de Iesu Com a asobredit licença, & apparição. Anno 1604 か題やい書な品簿

事 語 章一策

ainlar

## 彰 目 夹

<b>霧同基</b> 號第	: 賢一 蛋
大劇强膽烈獸麻本	:-10頁——三頁
西女甫醫術鑑明書	云頁一三頁
阿蘭河量嫌佟特醫の竒寮	三0頁一三頁
ボンペ・ストン・ネール・トン・ストン・トン・ストン・ス・ストン・ス・ストン・ストン・ストン・ストン・ス	三萬一三百
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 岡頁一屋頁
出意求愿	- 吳頁一點頁
1 返る影話す	- 五頁一至頁
一六〇二年县 訓 班 藤 字 書	高頁一達頁
X A G X	米0頁—大三頁
11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	交頁—— 奈頁
金月點の淋漓尉	: 高頁一達頁
<b>                                      </b>	

さらし、 二下 平田命。

山 XC 直 K 02t00 魯 3/2 團 9 c4 71 Ý -1 耳 疆 立 4 国 -1 旦 を新 盐 24 \$ 更 F1 世 0 2 那 맫 疆 묌 24 à Ce 財 Y -1 0 \* 蒯 24 0 日 哥 6 4 Q g としては 间 WE 2 21 可屬軍 21 6 Q 世 旦 à 那 到實 果 0 0 무법 24 翻 藝 黑 Q 2 28 24 国 制 CX 71 28 11/9 2 雅 びみ A 21 重 旦 뮆 -1 췖 盤 K 54 爭 묘 那 班 Y. 54 54 0 學 믧 諣 2 哥 學 阳 3 3 71 0 뮢 2 鰮 24 Q 应 [tis 14 2 0 2 뮾 6 耳 第一 平 立 0 斌 師 事 c4 十八十 李 9 F1 c4 0

24 目 à 8 < tts 21 21 ~ -1 2 14 6 杂 9 9 54 2 2 7 8 c (4 4 圳 51 ٢ -1 0 9 71 9 黑 2 阃 71 果 3 條 21 0 N N 8 à 9 6 0 7 21 亩 0 24 配數 -1 -1 闒 2 (2 梨 < 4 6 ~ 至 1 8 24 通 do 냎 8 7 7 (0 CA 3: 9 뮆 9 4 国 出 K 3 暴 0 是 2 [115] 班 即 71 36 回 36 閣 题 - Gr 71 い。星 班 抽 X 2 庫 28 0 0 -1 1 提出 H K 9 衛當 通 题 類 0 0 24 0 南 9 単 質 7 14 2 71 0 M 9 -1 \$ KI 2 CA 7 24 3 부빌 剪 1 2 3: 部 -1 28 0 哪 71 父 誾 T¥ 惠 A -1 17 恐 0 15 道 0 [tis] 3 à 3/2 ユつ 2 圖 NIX 71 -1 遞 \$ 正 2 do 2 Y 2 54 71 重 題 21 鄱 00 里 運 介 国 118 省大市人 顯 未 IE \$ 71 国 冒 28 2 0 FE à 節 類 71 2 0 2 6 闽 TY 21 0 2 孟 9 圖 0 Y 王 月 ना c 4 0 -1 9 7 2 -1 0 71 9 井 28 c4 1 0 翻 71 28 9 54 6 ل 2 國 留 0 兴 聽 31 翻 X 11 2 0 贈 YA 1 (2 Ç

9 本 0 07 c4 21 21 28 2 3 길 2 2 14 5 42 ST <4 -1 かいか 衛文 13605 いる。 7 哥 24 量 1 某 뮾 諡 位で K 쨺 (B) 2 圍 21 0 9 派 54 ユン 衛 24 吉元 20 制 9 ~ 170 (2 頭 < 0 П 9 24 9 Q 7 e4 2 2 -1 瓶 0 뮾 口 1 2 纀 闡 뮢 54 2 33 昌 S 24 關 24 [tts 爭 衛 71 平 21 間 班 28 2 運 斑 罕 0 0 檙 8 9 晋 9 71 2 24 -1 兴 25 塘 爆 富 4 24 阛 0 0 24 ð

#### 市 出 享一能

してある。これお一大〇三年長袖別味帯箱書の静獣コ杯ならぬのである。

日本語機器字書は上斜きれたこと 其更武コ俳人コ な、 - 大○三年 長 福 別 味 所 衛 告 り 作 語 ○ 研 改 上 よ ら 闘 ア 蚤 コ 市 金 む る 書 う 。 氏行されけ箱書をはむのよのひざり降気出対のアを的特後いてあるのである。 天草の耶瀬曾舉林ゴ狱ア縣典結斎彦下語 文攝四年 光景一五九五年 24 094 199

コお耶灘曾の将天惠 Iogo Rodrignèz の融物コ系さ Arte da Lingoa de Iapam composta pello Padre Ioão Rodriguez Portugues da Copanhia de Iesu diuidida em tres Livrosa Collegio de Iapão da Companhia き題する書は土料されす。これお日本語の語去コ隅もる書述する。o Com licença do Ordinario, e Superiores em Nangasaqui no 鹽長九年 中国のゲー路の中

だ口 明人割大官な言は証事をなった。 むぎ 3 国 私を 3 は、 南京 D の 新事、 節 N D の 新華、 泉 N D の 新華 5 左 & ゆ さ な 国 収 は あ い 州口

重松 お屋縣蔵事の致お五界元年森田县城の監縣厳事にお命されたのを最 十方衛門と中国割方衛門のキアハ蘇澤コ泊命をがけのを最防と禽してあるはられお寛文のころであっ の重理ルーま 71 郵車 nl 4 ーい語を用ふる必要もあった。それで東京風事、影響通事、 東京人類の東京証率コ知命されたの多量時を叙し、 器同級語い識の 東京蘇菲が即都年中 7 提 野郷 5t 0 Ċ シテム者が あと窓し、 記れ



長崎縣所藏

\$528

X à k.Eng 33 回用 臘 are? 40 21 Jus 辛宁 高 前 前 前 量 g 流 インゴー -1 画 暈 0 阿赤 次间间 21 铜 量 000 精 到 要 部 4 到 子 世 但 Z 24 那 \$6 2/ THE 国 凰 鯛 0 14 4 0 財 H 4 4 趣 2 7 2 H 劉 H 76 辯 抽 T 4 ないかか Ť するないれの 事 申 -[H + 量 渊 寬文 賣 吐 讄 0 0 C 本 里 耳 縁 Q X 0% 2. 31 滥 讕 UB 潢 01 3 叫 [113] 肾 급 4 = Q P 熱之績 54 -1 2 27 à Japanensis 24 71 [4] 糕 面之面 盐 M 機 0 皇 Atlas -1 口 去 다 당 당 ð X 淮 -1 强 藝 24 ## 旗 中有 X 應到 法书

71 酺 \* 2 71 ユフ 俸 1 . 温みイ 0 即 南 富 陆 温 洪 曩 闡 -1 0 170 率 36 闻 中 X 10 1 形 2 排 24 旦 A DE 请 T #4 2 湖み 闖 早 71 2 圃 24 旦 らりまる -1 開 一盤少 圃 源 0 4 南 斌 0 21 飀 췖 R Hr 哥 韭 41 4 8 71 掣 0 54 1 TH H 置 41 FI à Žį 其 4 U 7 目 ユフを 11M P 4 9 王 雷 2 H X 闡 凝 1 0 計 開口 3 CA 礼 请 9 त्रव 14 21 2 쁿 0 主 무별 FI 金 0 理 CX N 鷳 间 TF 71 0 504 ۹. 衛ろの 圖 皋 間 54 谐 とと 1 0 光 Z 4 \* 皇 重 THE <4 ユフ 皋 \* m) 0 級 > 劑 14 -1 猫 M KI コ太大 2 9 -1 ш 明 e Ch 6 源(022) 47 do 0 0 訓 主 0 哥 彩 21 c4 0 紫と 9 24 ra 2 994 剖 4 山 (a R 3 哪

華 星 0 腰 묘 軍 3 といれ 少 4 14 账 24 青音 独 2 1/ 请 更 ì 2 離 湖 6 素は 噩 4 星 0 南語( 東コ 通 賞 配して -1 南新 Ш P 塘 奉 9 明二 S 0 2 21 女真 女 > 涨 治 則 五 =+ 7 霏 派 21 盟 00 职 山六 \$ 0 那五 뮾 2 各力對, 壓掰腳太夫, 全力定演, 享納十三年五月二日班>。 計争 31 0 à 文 -1 24 特 20 71 > 21 디자 4 3 平 A 1 秘 X 疆 71 CB Su Ш P 雅 21 曾 源 用 1/ 剩 四 뮢 屯

200 圖 -1 點 星 2 9 7 -1 囬 星 71 酒 遥 直直 果 雷 0 4 Af 刚 090 <4 4 思えらられ Y 9 c4 鍋 6 淵 c4 明 21 0 ٿ 少人出 星 of 1 け融合も M 星 0 訕 識を受け 子 뎅 明

癃 側 6 ユつさ 24 0 媳 24 0 7 몵 非 共各端高書を劉宗してとを官は補 連門 る。量 0 1116 兩人お配 太夫 泉田 森 Y 闽 世 通 可以 24 継 28 2 2 循 54 Fel 正が下 衛 28 7 Ė 中 金二百百 腿 こと命 門 THE 71 東京 くから 开 H 士 森 16 黒 林 フィ (2 條 章 酒 ~ 强 秱 真 71 弘 开

早史

と語り

0001

P

2

**青吉其人** 

田

54

6

P

2

[4]

通

쁿

0

. 书式

少いここつさ

24

0

9

八二枚ならぬのアンスを発動の子との後年長龍の子

2

nl

4

•

6

l

60

とい

24

個

問

沿

闡

71

暈

爛

影響

0

8

0

2

0

3

24

继

2

2

nl

10

日で多江日

炒

後は

9

2

孤

事

0

2

1

chy

発験が

0

佃

のらま

Field

衛

井面右

正史出

0

剥

fuk

月

71

際に

9

6

承諾線書を開展

0

あない

0247

集成

4

み量

0

뮾

盐

H

-1

(Q

24

(分)

36

策

我

16

9

基

見

理

浦

9

c4

28

2

0

8

P

といろいかい

しを見れ

A

想み

 $\mathbf{B}$ 

A

0

3

71

300

急

不

棚

X

51

贈

배

2

田子

H

\_\_\_

--

月

+

本

Ŧ

吐

田田

三 三 1 三 1

上つま

もこれを果ち

2

20

網

整響

解するい

2

湖

吐

去關末

以以 引

醫官除体

0

146

M

4

丟

-1

事

西八

んさして未汁業を本へさりしい意

の箱書を緊猟サムをねし部を助し

Marin

Pieter

1

6

24

阿蘭別大蘇属西善三油お除土卦の

470

酥

田

このでな渡 鯛 fug Zi 71 l 顯 11 国 4 11 020 Y x Y 13 しけ霧局長賊諸五冊は資料して 2 11 A 1 關於調 東京語、 [43] 모든 보트 429 安南 000 シュフ 罪 4 幸中 記載 54 4 は自ら込めて青点 ユファ ころのから 21 話 0 % り -1 P 2 8 國語を用い 要す 冊 お大本 ず FIE 24 云衛 いから 班 あとこ 極語響 2/ H 語で 栎 子で、 中 事 南 K 1 뒜 班 11 4 1 50 K 然 Y do 慢 XAT 뫺 71 道 比 # 3 8

畜



語古を命 別 + 語及の英語の辭古を命かられ、尚封同年人月十日コお小祇院並中山野十順(のよ前三祖)同下謝祖。 0 뫭 語英 順等を同じ~露 田八 \* 同本 順 X 上地 同談 龍助 嗣志知 いる。 调 英三 t.4 京の 21 28 末 9 響 凹 F

灏 W を背の の南 即 星 2 + 聯 響 郊 れが記割さあるまじきコか以來一緒申端じ義語及の英語の兼學を姓す 脚 H 4 몲 十事 郑縣凍語 平 凹 国ユフセ FIE (2 調みの 衛 基本 024 未永 世話沙を命かられ 阿 出張中義人 Golownin コ焼いア靏 调 1 選針 雏 通過 臺籍早二 4 等は警 FE 衛 平 即 阿蘭卻大魠隔本木五 + 惠当十個お外前コ 利。 留 いる。 13 . 郎 H 雷 蛍 7 4 97 24 ¥ # 那 H 剪 6 76 早 Q 0 出 54 主 事 2t 半 回 你 回 71 鵬

14 2 コして英 步 2 回 賜る 24 # 1 まで下記 뙎 1 対を頂嫌し が焼 阿 華 題 24 U 36 7 1 地 後野コ林限骨形りけることを賞せるれ木炭正 6 P + 24 英 2 級 0 A 0 興學小学十张を摘じ 5 IE 24 北 u 0 なうお文外入 として下眼ら 21 つけ Jan Cock Blomhoff は再らたを發 憂美 がか **承** 趣 松松 回 鼎 拟 早 Ŧ 8 出に 00 銀 といろという 9 優體 2 る

が

英語 0 南門はその あいる 書を解到して納上した ~ 6 を謂る 4 後であ 正左 7 a 當美 ¥ . 福本 11 4 0 4 36 運 ~ 6 當制 抽 Y = 뮢 9 33 英 5 71 關 1 英語 關 維 4 [n] ¥ H -1 1 0 2 24 뮕 4

王 + 築美さして騒 木玉江南門お副司味亞語林大海十正等多謀到し丁と多編上し、 月本 二十字 X

惠

觝

30

### 第一章語學

見習 冊 Hendrik 〇盟風 回 淵 0 鴻 -fuf 闒 76 三事 1 H 班 뱊 由 51 Ш 0 頭 中 側側 獲 0 Ą 图 FIEL なける 50 7:1 衛 7 闡 長龍コを心数及しな [III] 畑 層上層 冒 -1 は出 最介本作 憲 運 蘭部大 湖 十週 5t [tt] 田 蘭西語を研究すべきことを命かられ、 月六日 湯響は砂東日本の 雀 並翰林查四個。 結果文別正年二 瞬命の 衛。同次 0 小融幅令林金夹 K こみ気骨をれた。 1 4 029 4 して機 ためので रीप 車 地 0 卿 47 正元 如 鷳 5 锄 間 nga nga

部 英 運運事をして満州語を修 0 1 寄高島昌 0 子 須 事 は満 面水 北 東帝安吳南、 事 順等 0 X HL 张 十一月 加大 **事**是实产 0 西亞語( 事 调 51 回 いる。 川二十二十二 いる数まれるころかられ お長襴の ユフラ 響 1 選集 调 いないないないない おいよ~~密発コなっての~前向はあるの 果コ外ア幕新 小廊 50 場又 调 井孝三郎、 大十十 21 ~ # 即中 71 事事 0 丢 立 いかずコー 末部 運 択して関 南み壁型 Y 車 軍 强 小蘇 替を命せられて 娅 8 量 36 地 兵衛、 2 114 0 辈 をして英語及 0 쁖 阿 太水 HA さの交渉 並 71 漫 狮 燃 **延** 24 沙 0 51 \$6. TY 生 地 源 Y 船 [ni 28 u Ġ 亚 運 雷 窗 1 品品 4 坷 4 鄫 學是 望 1 71 Fel Q M 衛 F1 I 五 爾 間 6 溫 册 调 (2

を命か 11 SE à 调 毒 **並隔替制熟銘**人 のち古雄離と即 剩 常古 0 城語( 消 立衛門小  $\Omega$ 吉維六次 知罪 亚 潮 扁末永勘 垣 響 来 71 国 即等 順 THE T + 50 事 髍 FIL 瀬 **運鳴調** 調並岩 衛 本木泊立 言器 阿蘭部小蘇 昆 调 廿六日大蘇院見 部吉點忠於 71 H 年六月正 末 北六年二月 国 Field 四上つさ 衛 早十 X 21 2 頭 乘 1 世 i 训

を許さ

田

願

命

-1

盐

1

北十二

V

帰る

0

54 24 源 體 る。量 修業学 山土 闡 ユイヤ -1 意語の Jon Cock Blomhoff 0 米瀬は 24 6 Q の家谷 2 未完本 豐吉及 3 X e4 年流 51 洲 (1) 瑚 71 独 X 4 -1 重 뱕 0 4 11 半 1 13 71 聯

小

加

紫 郭 吉軸忠於假及犯吉 上湖、岡阳布、 策 豐 中 0 + 24 班 X 剩 一點を量 事 Y アニ 播 閶 2 吐 1 2 華 4 T

9 21 무별 116 森山梁之世 坐 び戦 共 光星 皋 0 小颠随小 鋆 步 調者 東 蘭運 W. 西吉夬衛、 軍 71 割配率及び 罪 樂ユフを 日合力协阿蘭河大彭晴 衛は二 作兵 21 25 館と並及の高島 解掛らを命 回 月廿 H 凹 洛嗣 越て M 0 町年二 稱 24 酥 る言語に H のないまことも尊 Ŧ + H 南 76 兼 事 0 탶 数 再 共 懂 2 A <4 孤嗣 響

21 引烟 H 븼 運 公 X 54 2 7 0 11 0 何 本 一學 出 # 制图 1 6 年にお際にいて対応 謝 H 半 9 九 0 + 调 --24 THE 2 1 一三非 水 金 那 山山 主 M 歌し草ハアーサー〇 前の吹きり出書な床 X 凹 1/ 即 9 彩 0 X 7-21 0 34 0 74 6 別 部 2 -1 Y 冒 Å + 哥 制 もる解記で 6 V Ξ 27 間 14 7 Ш 21 W 6 2 中 一二年二 書ず出る解析三次 9 早 0 開 . 辭 2 那 別 9 本、闡い 城 V 0 + 54 1/ 24 细 即 71 斌 よの人年に帯離り続いるといい。 步 源 翻 别 V 青手 76 里 晋 子に 涯 曲 71 MI 3 7 -1 罕 X 江 2月 闹 9 いの人コンアーコー語にいる人はいるという 71 剩 14 2 與 + ۵. 豐 7 -1 灏 调 轠 Doeff 7 0 7 剩 珂 6 量 豐 业 न 0 4 Hendrik 本 亚 14 猫 (1) .1 **紅玉州** 盐 黒 山山 輔 4 . M 私 哥 4 -1 + 0 八個 8 21 別見 U¥ 1 1 1 11 三章 闡 TH, 6 -工量 調の調の 9 2 彩 21 2 / 24 9 7 -1 料 ~ 170 刑门 點 步 fif Ŧ 2 5 • -1 7 N 69 H 星 回 AA 小林 洲 q 0 衛 + 由 V 7 早 到 文外 0 跃 早 胷 態 14 I Halma X ~ 量 Ĥ 日 71 -1 54 掣 十十十 瀬 别 뗾 T 佣 晉 锄 7 紫 哪 0 François 9 懰 研 ¥ 业 胜 cCf 0 掌 那7 部 A がいない。 20 早 + 9 0 2 \* 季 亚 11 t4 ш ay.

Shi 9 0 7 無 少 21 规 0 Fil 富 21 衛 2 6 0 4 京文 0 0 H 2 2 本木 9 划 0 田 24 2 ユつ 71 41 20 輔 2 13 2 2 0 剛 开 9 1 黑 ¥ 21 4 24 \* 2 2 0 21 28 (0 24 Y à Q 御 辈 21 紫江 2 54 28 3 U H 35 \* 派 步 压 种 暑 0 8 剩 -1 閉 紲 梨 41 51 な製 E 9 P 铜 1 W 那 6 毀而臟 부 奉 21 16 0 里 6 3 36 部 鰡 地 2 晉 \* -1 00% 0 뮾 뮾 1 令 Q 並 भूत 濮 制 2 0 开 0 1 业 ¥ 71 黨 36 \* 0 21 71 윘 地 1 (0 \* 댇 羅 54 2 哥 2 丽 惠 闖 京 擟 滋 制 0 辈 X

云衛 予 で家 XC 来 4 郊 朝真麺 -1 董 到 鼎 1 4 0 3 劉 6 灣 \$ 北 蛍 2 7 0 9 n 515 à 6 3 主任 ~ 魯 S き間 9 R 自 口 社 2 71 阘 关 迅 Y 쀪 0 \* 悉 0 量 出 XIII 丰 XK 韓 -1 盐 が地 鳳 器 體 吐 握 英 0 量 那 維 本 早 本 盐 -1 點高美 影 置 田生 U 英 뒘 哥 0 衛 0 7 21 7 紫 能 24 \* Ry 7 神 9 6 を頂線 华 泵 龍業 劝 44 FI 2

븊 36 0 で英 酈 10 24 0 0 뮆 珂 除当おえ人の第二の地勝ちない > 曾 てが # 0 24 196 黑 24 > 0 Q 404 2 54 0 圍 24 鳃 ~ 發 0 流示 み、提 車するゆうコなり。 驱 0 罪 鰮 は英 71 + 制 60 ~ 0 24 11 U *L*. 軍總位黨以人 9 ユフラ 41 溫 51 27 5 図図 郷 2 こからこなっ 71 0 は霧に futi 强 那 54 -1 亞 0 から長衛 g 加 9 晶 8 71 ¥1 TY 倕 i 쁾 2 4 2 音し 門 追 M

明をなしたの 霏 \$ 0 114 神動 76 0 114 叶 典 山 ・南里 X 筆すいき寄 天界 뱵 囫 を 暈 14 珠 9 富 光學、 41 研究に独て特 ل VH 0 21 由 力學、 鮮 刘 \* 慷 # 部~ 亩 켐 なる黄摘をなしなはころに蘭語の などお置い避國 可多量器を記 味のころへなり了長湖の蘭舉者流流鬼難幻天文 **뽥** 业中外不精 cq 0 も北遊 21 0 見るころにな -1 文法 36 班 團 量大 0 倾 典 これて 2 21 X 맾 ¥ 28 71 囫 0 35 파 Th .] 2) 14 0 54 派 古 3 阊 0 5 暑 刚 果 24 ìf. 雷 9 베 樹 南 闖 家 る。 脏 钏 X AF 排 那 臧 0 里安 200 W. 1 \$ 型. 悉請 北北 Fel のそこつさ 7 न 张 **風取り外ア**線 0 雷 著しき継歩をなした。 邋 <04 m/ 0 其 窓の進むを別しなことな日本に気ける新學簽室 、脚支衛士 X Fel -1 右衛 酶 71 清贈 早風 法を混きしより 调 + 到 鄞 鲻 맾 神マ 0 盟 極 7:1 那早 語學的形 閶 [tts 印 < Q 雷 -1 丑 JY. X 特 0 罕 未 9 > Q 班 54 调 雷 日報の高級品 離真由、 順 豆 + ココ 九月コお割割却 76 A X 學儿、 同年 鷳 -1 勘を緯る花文外十三年 454 なって 年二月コお長袖の 54 6 业 まる事 맴 75 쁖 + 闖 71 T X 福 54

齑

24 財川瀬三加等は 当話掛き命かられ 小郵平演幹輔 割认箭立合大郎是平裡潔十順

観高さ 回 撃器エフを 多策よ冊B と第三はを対示甲寅辛ゴ組献しけらられず中山られて of the English 元寅 書序稱 [Engelsch en Japanch Worldenboek] 第一冊本人第一法。 调 各林五人 24 A New Pocket Dictionary 憲直 将のころよりを心部家衛らきし帰れるつけ語學の 森山梁之世 H. Picard の著述コネル 0 城量 17 24 西吉吳衛 おろのもろけ のかっての 月柳 味性器や書お コおエヤンス語網 1 9 本本 2 調 28 載る M の数 and Dutch languages ME は高 길별 100 54 H X 長コ外ア天 1 75 年八 肃 28 2 0 1 21 0 M 重 10 24 Y

国に 出と 重 月二 其 冊ね安返二乙呎年十月3銀詩し、同街コ鰥黙帯文鑑の滾圧冊なずもは、爾欽中山をなつする。 商船 来 獅霧滿霜 二十 網網 Ö Ø\* その年文 さっさして交ん二年 0 耕コ英 盘 2800 のさ大樂배線 月コ審端衛語豪味二冊を帯文鑑は報壹冊は銀餅しす。 録」異族人の数率をさるの課しと 同藩廳 哨藏 0 語士 至いるるる品 鼠川瀬三順 順 真一 東順 : 小美 必要わますます週 **腹** 幹 静 高島林脚の孫、 順昌 時しア以來制陸一 中理繁十順 2月 24 高島太 0 0 36 Ċ 一幕永四年辛亥中林、青舉等養訊對 抽 至にるるさ 高島太服を亦長潮人であい し英語の よら融密と加い 同
り
う
藁
永
四
本
人 (D) (A) a 村村 人務智 **監督**ペル 網書な 秱 7 斌 阿 開 盡 \* 1 彩 事 0 悉 + 訊 Y 印末 0 は幕 8. 数 2 0 響

1 41 000 二月コおます~~な多万月コ移し新學刊を必解しな、ふしアトハンドキ丸などは接嗣とならならは、尚 2 0 or our > るお間ふ 前身 त्ति (० 語 54 預 電水 97 51 0 者とあ 3 南 R 뷬 爾鄉 ユハ 泵 -1 + 6 ~ nl

24 71 きる観 面 吾排の文 9 00% 受す 12125 預 事 1286 20 古 県 뮢 獲 时 1 部 一一一一一一 田 面 0 000 **加宮后青木刻奥や字コ外ア** 0 2 対意を與えることにないけ 24 いな 6 7 本學を 清心非 昼 H そして戦争的聖堂祭習さらし向共戦と加会コア精習を云ふことコなっ 54 1 5t 0 亩 事 園 置軍館コ外アお國卑を HH H 回 頭 強受い始まつ 0 0 息するもの重を接した。 面 24 C 4 卑することを得るやうにな 一室制 たのであったのそして本學は當你應筋輸 そして語學以外需學科の 英 を受ける は當の 28 577 額山られた。 平 Y 21 重節 54 臨を刺へ國語園文學の 舍 簡は 颈 の寄お人 を逃して選 船 24 禁 0 21 मिन 熱がん 麻る 亩 が設立され 6 ل -1 Q 館とむ 電器 -1 たるら見論 母をうけたことが In 8 ㅂ 明 に独意を與へ 2 I 美 息おもちょり表西の液 に一遍 まけ、罰重學数 21 Y ar 1 孫 累 [4] H 54 ユファ 王 U M 亩 移名 趣 獲 0 主 21 贈 70 學及7.7語 2 2 、割割 -1 劉 1727 独 21 HL 是に 重觀 劉 採 H 6

# 第二章 天文學

まな同部コ日本コ外 田 順 上げる 雷 X 分、大 9 4=1 ġ い聖人却日本コ独ける基督強專道の開脈で ~ 数と同部外コニ I y de 4 たのどのロ 凝 0 x 雷 13 X ける天 4

淮

是 ~ やう FI TE 10 0 爾多圖語 i 自山の昨蘭岳去海といる書で上幹さびアあるで、テ真由の職次の名があることが歌味しアゴからな。 0 24 6 P 2 40 行へ 曹順 マコ京階の瀬林部の高名温製出十二 ユフ 4 每〇 #640 21 2

郵 運 暹 英 6 静い英次 完 王 2 畑 0 学と 21 9 1 4 源 e4 0 伊任 9 28 -1 e4 24 9 2 21 級 別 C A 早 > -1 0 P 뮢 E 21 51 共 同志かれ 2 歐 山 0 <4 4 21 > 森 0 ca 光 71 2 à 間 はくのこつなに接奉して 2 9 -1 孙 通 14 5 野み 7 -1 딮 21 英 1) 21 71 英 71 36 TY 6 重 盐 抽 4 0 早日ら Ti 24 0 0 甜 0 2 0 ---6 36 21 2 222 2 -1 地 开 9 냺 那 212 HI 뮋 可 番り 2 W 部を記 1 面 1 71 9 ٢ 0 7 ᆒ 追 40 てきた 0 0 晋 19 0 2 36 V 54 0 2 H 114 Macgowan 0 2 6 世 24 모 발 阿 阿 ひるつの総の 更 圍 CP 並 國。太朝 2 16 制 0 맾 à 2 Dr. つっと 35 H Tigt U 英 闡 到 000 國 -1 雪 71 21 なると外 do 35 来 0 6 [UI 掌 ቱ 0 惠 T THE 71 细 0 3 냺 Y Y 星 2 -1 H (0 H 9 0 幕末 删 丰 2 7 21 绰 重 20 2 6 F) 部 2 畑 源 剩 制 題 7 士 R 71 0 21 亚 (uu 0

2 世 THE 0 먚 亞 14 は魯一層 蓄圖丸 學び、 み、選班 50 旭なさお卒光して啓 **諸岡楽**と 縣關 90 別 市太 息 24 0 21 0

XII 1 0 + 加 華 21 自当 0 2 0 2 21 邓 54 0 瓶 井業十個なその學頭をなり 21 即 0 2 54 + 2 분 미병 平 加 獲 2 FIFE 2 A 1 早 Fil 經 m 衛 4 酥 禁江 1 54 继 法 \* 2 11 翰 44 T 市市 英語 ユつさ + 6 2 マ副 1 (0 1 0 24 Y のうちことを移し込 回うりをなって日 28 共 立名 . 11 溫 4 -1 l M K 副百名 へらたり 山奉行刑 乃五館 品 闒 54 更コ立 頂 • M x E 獋 11 前盟 图 F1 ~ 制 月二 6 よ月英 淵 Y 淵 た。文人三年七 낚 ら蘭人 事 亚 项 F.

主 hd **投壓な元味減減場を難しす。この書の利文コお元 邺田與** 古 南 門 人 董 一 28 戦コス 即 7 0 刺

独 重75 哥 0 ¥ 重 制 王 0 24 my 排 0 6 夏る 田 4 2 额 雏 0 0 丹等 24 [1] 71 7 雨支 これて 開簽コ帝與 早事 雅 76 です + 0 靈 # 文化 9 る多への著鉱を強表して支服・ . 4 <4 24 ゆうで 3KE 簽室して 24 C457 漸充 進步 に松て りり 檙 學二關も 哥 後は 21 雷 9 72 嫂 X 41 X 酒 6 0 種 南 国 いる見み X > X 祌 <4 4

0 24 0 पि R 觚 鄙 <4 1 ڪ 1 4 重 X 制

2 0 5 34 一(灰影神)又 -1 鳳 本手 网 K 4 0 = M 1 2 Z 錮 1 長崎 0 • X q 54 1 1 6 関かー六ー二年十一月八日コ至 1 T .7 重ジ x ¥ • 制 n 11 11 4 二1 重 **斜天** K 大では 4 2 24 0 晚秋 長ᆒ 24 7 製具十七年 0 21 nct 0 季 1 Q 28 <4 1 なこれ 7 24 94 哪 à 湿 28 R Y 71 淮 TY 丰 子彩 ユファ 54 随 鄱 0 画 0 24 H

製み 雅 滁 0 请 X 級二 会場五行艦なざい班へらから 0 的来子 0 1 雅 たことを地語らものを謂した :4 9 24 儒者 0 甜 黒 風らず、 C 1 e4 M 得な 溅 71 24 % 28 1

第2 揺 0 7 1 6 開み 4 1 ら會見しア天文學コ關 R 6 71 1 Щ 4 1 继 00 6 ~ Ce Æ 2 28 かるその恋し豊悲しからずやと 3 もら加賀の間恵勢がいき云る 糠 견별 -1 调 0 1 羅 4 1 SIL 排 6 21 重 0 事 6 天 山文 Q 排 7 2 2 -1 琳 꽳 否取し 御 45 71 17 至 堆 響 54 0 Ш 2 まいこれ 明光 関する 灩 0 林 24 日 0 Ŧ 哪 9 1 窗 + 7 54 天文 17 養 A 4 -1 事 24 雅 けるの 0 + 強 34 題長 X 7 圓 灵 省 THE

0 1 ヘてみて おちろうられ 0 に扱へられてあた気めであ 029 ならざる事で ためコー帝昭元を遭したことは見逃すべ お 割し 天文學の -1 學界 0

李 偷 à 逦 4 E 间 三十 71 0 0 1: 囫 回 日 **Life** 11 4 50 A 11 T h # l Y 製 窗 是五十名 月 Ell 4 X 1 X 王 4 4 4 歌 月七日十 1 0 X 2 -1 4 2 某 = 0291 N 亚 東 ~ --1 一五〇六年四 孤島で逝去した。 コマニオ 溫 = いままれ 1 21 7 11 寧ス策 T 可經 Y 聖人は 1 4 年後こ 4 1 1 (0 21 nl 雅 南支 7 -1 阿 T Y 器 1 9 4 月二月 7 24 1 7524 7 4 4 子 發表 一四十三年二月十九日六 こは丁致したのそれからシ Æ -1 + \* 0 H C R 4 學說 2 れを込めるものであ 本 -なって 二

正

エ

、

つ nl 関する ~ 24 = > -1 6 1 も二十三年 南 M X 翻 X 0 7 02 C6 51 张 ha 4 2 纵 0 71 11 ユフ 1 = -1 54 4 6 7 4 狱 = 1 重 1 4 = T 11 11 採 4 T -11 ~ 6 -1 Y 2 4 11 ~ = 0 夏 4 6 ~ =

0 ラユニ 1 24 粉料 つ物がるららない 谜 54 1 明白でな 観であ ハの天學語コ耳を動わけは おおう新割無器の これて T 置 Y 海 7 4 4 部に でお母う ų 縎 學者行 ¥1 -1 99 X X 0 Y \* 41 H 杀 制 部 雷 9 71 號 28 5 0 4 続き聞るなう癖人しけるのを等 nl ~ = 9 -1 を客察してみるを意外 0 24 6 q 南 5 0 源 24 4 Ce 南 \_ 145> X 11 0 ~ 孤 = \$1 9 2 <del>1</del> 頭 彰 記か 重 康 南 重 しが斜天 X 0 制 1 8 111 \* 41 1 4 鄉 34 彩 -1 然さして KI SHE प्रध 至 11 . 本 54 T y CR ٠. UB -6 4 映 28 4 3 机打 13

引 隀 糊 那 21 インミーの天連結を固定しけことお完後上の 4 nl ~ E 5000 TAL ンン 晶 が発 隀 らにふ天 被~陈悪萱一就な 動なり 71 X 54 4 気を深しく唱賞したのであっ 21 c4 帶 71 H 71 1 111 4

錐

無みま 後を特 2 0 24 一十一般のそのけ C 中高国銀年子であ 割コ五羽三年四十六瀬でもへ 林丸紅林吉古滿門の門主 1007 24 75.27 重坐し下縁 コイトこち コない 長崎一 林鵬負お最も類出してあ 年ご至り禁錮をあるれた。 -1 1/ 制 gty 7 非 0 0 X 林兄 丁貫 少

編屋 文書を羅轄する翔コ甲身林光観寺の開脈外中は尚コ黙語コ関して計録を仰いけこ 71 17 順量球箱コ記してある。 本 胡 工器工 |林县瀬 そうの書:1林吉立衛門をほる。 表現劇原蘇本コカ林吉古をは -1 悪い 早 前線から 動 冒 理 0 書を別各天文極ちるまけ光郎を天文書とる報しける云本事などは 11 21 アフス 묌 真 :4 35 雅 丹宗門を言奉する者 0 \* TA SILIP 11 64 元衛二 71 に中 早胃二 衛門を舉わ Ö 皋 古衛門 雨支 21 7 亚 學者をしてお林吉古 早 對對 從 54 門下二 24 要 Q に精通して 0 3 衛 4 51 业 雷 Щ X 6 王 ¥ X 天 0 14:4 0 71 -1 育 4 뺾 图 \$ 74 不 音ら 事 事電 H 裡 盐 肝 盘 < C4 丽 41 THE 日 月六二 了益, 制 X X

非五 [4] 所配 :4 8 0 2 1 0 24 8 つけるのも認め 學記を限してる 松林なることを表すい風をなか X (公) 學 職として 卑記を基 X 0 0 師 SHE は大 () 富 猫 桃 天文 中土 34 のさまり 0 IF 海部 16 [1] 0

罪 2 21 Q 71 本一〇 图 開 • 54 8 200 45 4 利 2 7.4 0 q 4 g # よります。 回 間 晉 萬治二己玄 H H 清 H 71 76 2 步 不日 图 田 0458 制 -1 X 2 利 9 0 湖 继 act 中土 74 c4

もなはら西吉兵衛は新年を籠ん、向井をかね残字を以てとを誤した。そして更 0 9 0 2 0 PA 9 91 14 -1 部 辨 中土 海牙 CIE :4 星 0 2 0 21 (R 7 A 継 報等み 51 0 本を「教書」かしか 井丸をしてお -1

2 4 1 る間の E 2 9 1 南 日 -1 ーや天文緑緑の 李 协两 K 13 Q п 郷を帰 1 n 4 帯かア て航海を 14 % A A に稼い 正来この著むお油新那の品級でお Ц -6-1 L 0 21 • nl 6 たことがあ T 1 ۵ 船長 題 国 变频 71 重 呂宋 -14 入用さある。 著者 090 并 3 a

28 助天文學及犯蘇察學习關系よる文字は潜見ちるるの了ある。 2 U 71 護 41 E 54 3 : 24 Ċ 2 しなみ 院 0 思 ゆるかの 財 -1 南 湯 п 1 渌 4 do 亩 11 4 X -1 ¥ H :4 重 0 T. 预 星 2 9 0

闔 13 -1 V 獲 0 画即 2 11 毌 1 **脉支** 10 冒 早の Ī 6 日向 1: 1 4 囫 111 际 一个大 小石 江耳 75400 17 4 重 700 X 制 れ育量に 24 ピュン 0 7 21 票着一 6 報み量 南門ラの人であ 1 中公 0 0 UE 雷 W X X H 本三方 Ŧ 54 本 4 + 1 图 # XC . Y 71 寬 . 體 3/ 6 4 4 4 图 E

奎江 辨為の利文コ厂實水中年發未從公前附大島入新土卒然到哪票舊大島別县為脈降少以 **採問語其人十首繪人皆變骨如天酆原味支職と卦<b>b** 羫蘭と太窄則忠公公令上離點咨**と**員軸奉行刑以 老有精 2 忠剛 00 A 文書を寄理 此篇 利コお劉安三年をあ 而為昨知卻拋天酆哥 間 上其書品 せる天 漸 加 逝 の所特 A 味支腦。 自 說多下基宗及二三年之多基宗及合忠副籍之籍 Ö 重 忠爾( ¥ N 制 が非確 8 54 Ċ 乘組 **郷業するころづむ** 基完石基完石工公址線不樓藏骨自新非 -1 洲 お育種 つ
集温 54 小小 でドスイロン·トエントモの労績かノア緊裡思潮を戦す。 長部本正島何川民却ノオ 流淌 本 F 中土 # 74 7 寬 後守 W 0 4 级干 4 X # X # 回 B 孟 斑 41

忠歌 即習二丙申年の必見論奉行甲斐五喜方衛門お証属西吉央衛及の向共を体コ命して古の 鑑られは林吉古衛門の舉辦习題するころは ラハ丁副家三州お宿蠻天文學を以丁 oity 南西南 0 9 天文 P 2

溉

到 鸿 H 鼎 114 鋫 thif 手手 X 理 黨 벁 • 4 54 排 ٠7 21 人太大 EH 陆 層法 04 21 逐步。 0 4 2 科家 0000 뫞 000 21 74 [ti] P X 2 114 X FI A 鄉 清 M 書るも THE の外籍が X X 圖 本 録など -1 茅 请 X X X 二天 fa). 训 0 詽 九阳瀛 、強 京 湯 劉 間 X do 車 H thift 刚 幽 其 闡 预 目

6.5 別 與 14 m. 21 烁 21 X 6 4 71 動み郷 2 > 部計 事 翻譯 航海 王 (0) 71 0 0 8 П THE 0 4 icta | 刹 뺾 1 台 員 L 71 0 世 54 11 金 18 I 別の 1 迷 2-V 21 1 種 \$ 50 P 7 りて考察するに南 0 1 つらるも常程 71 2 5 著述 P 2 0 升 0 翻 -1 剛 y 1 갵 71 留 趣 星 2 網 小舟 独 c4 曹 1 0 胜 8 V 70 学 随 71 辈 2 Q 糖 20 0 也 重 2 71 训 2 班 0 THE 54 ( 溟 1 24 暑 Y first 0 (0) 杂 淵 少 衛 rhife 早 2

证 到 回 4 掌 4 X -1 X 0 0 張 2 34 加 響 南 70 0 % OF # X X 回 ¥ 5 71 0 j 彰 SHE 雅 て光月 辛に this で国えいら 0 判 1 24 q 0 湯い 11 ्र भू 6 盃 믦 撃がて -1 凹 24 0 % 川田山 窗 6 人コ天文學のこうす賢しけ事はあ X の天 2 平哪 ~ 頭 川田 Æ 天文蕭編シの ちとより 2 娅 開 24 發 0 預 Ċ 7527 2 Z 源 U 量 の郷に用 嫂 盤放老と所 0 孙 韓 了(0 年 2 十 黑 紅毛 アフマ 湽 沙 統 0 身 斌 果 東し、 朓 湯湯 來 雷 4 uc を離り長制 X 雅 \* 亦天 41 量 **漁職** 學就必多 9 量 幫 当 兩 Ш 71 11/1 盂 T 享申 天文 1 111 川川 阿 簿

र्जुना へ兩人を江白コ き車 造温器をこるを間 -1 文學 天 0 肾 114 111 丽 2 部及 音宗なお霊神 重 洲 A 11 李 出 泵

うして 該近の人士 変を負り 筆を翻えて うの門下 コが強し す。 のかれなりな

9 **味蜜あるべきこさを指摘したが果してその言の延** 科を題して天出二日の 間 林龍真お宣 4 天际三年 0 21 0 5

Fil 衛 54 順右 21 6 际三年冬余星人 P 註 8 0 原語な家職コ衛 Ě • 54 24 0 源 Ċ 1 なうい配ぎな 2 暑 0 0 自敵部年を窓 2 51 Ċ 輪艦 21 2 21 日午古の人 北名 漸~規はして怒 資船 50 71 月二十 9 N 暑~ ニナニ 果和 Q YY Œ. 2 2\$ ü 本 5.41 9 0 士 響〉 は二十二十 劉 4 2 (2 歌 24 -1 0 F

利しらけお 油部 湯を主ちし天文學を数ち 暑 ¥ 4 光知事コを見め 2 6 關刃は急 あっ \$ 00 E ゆいい アル林鶏良コ贄ノけ事は 多の辨識コもも丁具舗奉行中込丸の恩監多で付、 く贈え 24 子であっ 知識を多少特の丁あれ 豆第二 1 けらしい。ゆって譲星力のことなざい窓 なさはその高 0 1 出り発表しなかつけらし 制 うち關由三 る 敷源J ア 南 が ま 交 つ世典に 0 V 테 24 林龍貞一 \$ X P 獲 à 0 P 4 3 0 武師本はど 頁 2 4091 0 9 44 砂 1/ 8

月二 \* 11 林龍 號 京東 1 風解論兵部に対する。 翻 山 到 \$ 6 6 A duf 胃 士 普~舗で所で 60 2 5t 0 真コ置し 0 け事は出 雅 \* 1/ 0 る亦天文學を 5 54 4 0 き人 2 0 ~ 继 24 とお聞ん **松み二系・よけ太**順利を 下・ 割内厳害らなヘナ。 (R 鳳 Ry 雷 卡 Ш 0 重家( 0 當 京 THE Ed \* 崩 衛 9 X 7 41 天 2 14 3 -1 鯡 W.

1 るまけ小林無負の高玉閣王三版コ領率し 松各町之間、まけ平吉、幸元姆、部都素神、また置真の限線である 明阿の子なる副神郎 5442

P

大陽距離曆解稿本

太陽距離一別算第三園、

本朝一成月日帝西国五国、

木陽距散修祥し云と天地二政用法人卷尾三引館入下床本朝一来唐子水い時三月日ヲ記センガ為以正欲了附ら右とう

李永三甲年孟入数里, 夏汉正文日十十時

大大良夫話.

大陽距離昏鮮

松村之網模一个本人良不祥。

### 太陽距離總該



極人、北極百、南極〇日区戸、西極北軍天國三人日人二年ヲ記入心、南北軍天國三人日人二年ヲ記入心、南ノ用義ヲ記ノ圖ツ以テ是ヲ明へりが其距離三南北ノ二義アリ今大衛距離

中間三者入本道線ナリの刀HF、黄道口下ン二點ラグラ

長崎市役所々職

關 28 長コ独丁草料三 さっトリアいいいま文學コ 2 饀 **ル日谷い白泉正対珍妻美らし下下** た長福奉行石川土佐守コその意を専へた。 回 川丸お具御コ福春の後多の著書を摘上した。 独丁三月七日聞を賜おり、 中旬の日 **い見
り
長
前
を
出
勢
し
ア
二
月** その形式日都和中であっ 見ると副答しなの 111 頭 2 い寄せんら溶し 部及 見らな 見り 草 ri z 闡 する質録 奉 滁 事

目す 養舗を素しけ北島見真を勤者をして抑えけことは出 54 地一圖 6 15 P りし際このちは手天 Ed 副氏の世間 21 島五、 7 正正 08 江戸 \$ いないかい 54 开

元幼の天 紅毛 文書 # 0 忠訓の羈しな天 帥 间 蘭配属を介して最初来 24 問いけ人物であい けのまけ込ける元代の學術よりと寧ら野理 事を以て出こ 代もしも新り過いてあけのそして計が 雄 2 公園 X **広知 ま 本 天** 義を育したこともあつ # [11] # 显 TI, お子の文向 0 烹 P 請 췖 したゆうで 哥 響 瓣 節 既 0 南 0 南 X 觀 X X

字臘 雷 留~つら 17 蜡 71 黄ユつ 24 林丑 张 UB 走明 师 21 形 湿 阊 6 0 は風い寄りーとい 불 cq 要を慰わけるのである。数お向共力の門人種 -1 24 學者では 1 放き算學者を舉わ 脈をして 算 赤韓常の 0 秘 興 4 急草部や西川岐見より組みてらい端が速撃コ玉へけ。 0 け事びをを答案してみると動も Ó 畜 田蟿入古衛門 獲 淮 市本市 県 54 of 十郎 秘 0579 る者をしては書材ま 近東を著した。これは沿しの恐問題の 24 Cop 疑義を帯んてあ 自己工夫をる例は 田孤是 1 淵 张 0 须 0 如 1 歌 0 7 118 歯 0 # 6 蕙 湯み 班班 [1] 0 28 邱 71

江戸ア天 Q 川田市 145> 温力や西 文學コ關し丁賢問からわけ割コお兩因っき漢學の氏お案代コ激録であつけゆうコ割 間しゆではない。 おない天文學お洞猛於蘇かゆるちょり作引 制 9 0 雷 瓊

長腳 **州 し 副 カ お 大** 24 剪 これを回りました。これを回り部に記しいとうことらいけのであって なっる天文學を心影丁のけっるがゆる五部の に延續してあれ 不十分であっけことお断量环衛コもしても難味ることはできる。 代であらけ Cornelis Lardijn (1712, 1714) の天文幽野 電り英北 らら 瀬古瀬門・ 0 9 P 1 属个林市夬漸 **賈異言コゟ述**ン 回蘭沙國 F の算學の九流 由 0 獋 e4 000 THE 图 蘭 7:1 来 誾 の中日 21 剪 聖 其 [m] 〇智田 製 HIM 17 # 發 間 匰 採 雅 暑 54 は支 0 1 北等 00 ヘンー、アモビリントなどは餌を対して輩出し、表西の天文學却具大豆の鉱む 4 4 祝能対書を云るの 2 T 0 0 近のでき某替強い關をさるのを叙き天文機學此野ならの著紙を辯器することを若向しけ Y 書籍でおい ででで \_ 其助南醫科天重等は數文丁書いけ書紙を聞るの了洞縣口語の、 料軍吉宗お天文褶機等のこる袋鑑のける対書の禁を恥めけ。 */*: 60 31 ネトピア、ホトデンス、ピカ コ独丁おかりンを以致 ストイド H 以 Matteo Riccl 年正 ¥ 黎西 出 766 120



尚却吉無様中を共コ阿蘭別水鯖層は縄を 平天衛用去なるの著紙はある。 和解了 日月主 太副班贈習稱了 0 21

7 4 is 誀 剛 111 :4 劉 9 -1 猫 置に 南 こと 0 解すいきものず いて實施より草体へなけて利桑除書を鍛造しけのらしてその著述に対了具家結を述 1 4 4 T ---融を冠郷志凝鬼獣自筆歸本)コ外ア 西の天文學者ででモースの許學者ないイびをの星康編を掛か 029 け志設忠批幻天明二年コ著から萬陶智謀 學界の緒りをすべきもので HE 日本 は春 9 學說 41 VI

瓣 傾 野及の語學の翻皮コ独丁も静準すべき人碑であつけ。前話書飯の朴四 多の高国策子ける末水忠 2十三年 ではしていてとを別記して 圖結、永化論、三氏點要跡算、人圓濁、各员駒日崎鮮菓等多舉わ了なをけい。 人吉點南阜お天文學をよりし西据購寮闡鑑を客飯した。 南証 經歷美〉幻蘭學二計重し却二天文學二部語第~漢學的 14 南 頌 日本 71 まれ長ᆒの 自志遊五 21

31 本の天文學幻落し~逝悉しけ。しはし身御コ俎ア幻願診雨記 出ン了脳色なを天文學幻既れなはつけゆうかある。 日後題ようよに知聞 本木志游丽力の

# 第二章 醫 學 學

1 V I N E 6 テートははのこと 響跡コ县村け南幢人は心びりないけ 水らし頭これ、 30. 0 船 湍 北暗 Ξ

36 辑 楽し 商船に ンなと十九歳の 4 0 T 24 = 0 71 \$ 出五年間も一十二〇年二 1 步 24 54 聯案導員を 王立 宣はな 英國 500年 <4 1 10 おいり 21 禁 を引て有名 0 某

媑 71 \$ 0 2 W -1 X 辦 24 清 関する著 Ce X 45 71 20 X (O) 鴻 21 -1 東国語を 独切る天文學を引類するこれ Ħ 正 つりは轉 那 葡 其かの天文嫂 なる -1 0 僻見 班平 %而 0 4 天文書がらお完豫上 6 なしいらの節 h -1 ¥ 涮 4 2 天運 71 禁 日本の天文學 村 **制 J 味悪 簀 一 減 の** るれて対書の 24 コ独フ上辞ら いからは 5t 0 0210 雅 -1 6 P 0 お支 77 2 24 0 ~ 首 通 班 \$ 00 st 班 R 〇当早 置 田 み。墨 K 1 重 HH 围 0 91 報を 調 渊 E 괖

草に虫三章延しい聲 0 21 2\$ SIR Tin 御用が 門人北島昆真ゟ亦天交 145A 川幕初の天文彫用多命 の脚車関専門しつる 川忠を領お夢 寛延ら日解習コオ陽與しな。 54 h 年にあれることにおい 0 瞓 り長 王 -1 71 種の重 开 111 0 170 2 戦 £) 制

非 业 -1 0 米 050 0 獲 H お蘭飯画 型 班 积 雅 ¥ 称をパけ天文書を懸ふう一柄窓しけ 平 ファ支 H 21 な計決 IL 長高に独し 翮 锹 必層 05850 間置した。 天界王寅禄な今の e4 たことを務明する (0 \$ 24 発 ることも直を飼育せるい 煄 Aff 本木丸おうの著大割領野丁網館コは丁降の丁歩珠コ 實利甲丸元劑 T 1 C e4 廻 阛 案やコシ 母体をと近、本木築と並(のよけ★夫)むらわ 實现占日解潛、 刺激であ 刺数の 一量 X X に天 もの天 并 24 ちらと 重 A H かし斜天 批 完全を意利 筑中 图 业 维 24 W 幸

21 24 m 常田 6 51 21 狮 0 旦 は岩園 器 0 讯 間 堂 いない。 2 2 g 明古的 2 摄 71 北山道具、高支沿なられるの 111 淵 避 0 1 10 のそこつさ 24 し、試料に長じてあた。 41 場を受 独 0 性 三部 2 從越, 從 1 1 平 黑 FIE 8 0 3

112 醫 间 1 2 FPF 源 > 1 114 平 0 鹽 甲爪 城 do \* 県 71 • 制 9 雅 畢 2 2 7 日 1 FIE 41 1 9 71 思 型を -1 8 独黒五、文跡を繋す。反、四半三月十五日大球コア 独 4 ¥ 54 -1 暑 S. 0 金 2 派 书 -1 口 4 阛 魯 回 十一 人派 > 巡 显 人温榮字、母り見勧の職学等の限點でなる。 瓣 2 方考 2 晋 暑 > 2 E 张 飛 8 狠 阳影 交流, 6 4 紫 HH 子 發 0 黑 24 0 Ш 剩 71: 2 地 2

重 0 प्रध tju' -1 出 平 事 章 侧 骨 軍の Ŧ X 孤 部 79 W. -1 7 TY Field -1 免除の 都 帯ア京語 岩水 0 24 71 g 又 华 翻 、 天 5 年 十 十 正 6 21 エヌフィ 2 自 圖 計 T 7 越高丸、字り子様平人民人日逝〉。 0 刊 幕 、京る第 彩 ~ # 中篇 「国」の東京国際出土に -1 事无 まる 職のある。 冒 21 麵擊科 6 40 **郵解別房** 新、禁山等6 2 0 A g 24 왊 醫 7 (2 71 10 밃 2 6

雷 習 福 蓝 圖 7¥ 356 2 CX KI 級 6 を変 目 V . 翓  $\mathcal{N}$ 器 有 A -1 到 -1 順 富 憂 R V 墨 34 酮 悄 21 盂 領 聖 砂 U -1 水干を繋び、堂が襲襲、日京塔コ独ン財館での SA Ш 醫 平 紫 9 2 > 3 風あ 制 2 洲 い宮田 に露 清 旦 剛壽 たる、自ら勝い一年十一日附口 ¥ 事 青 M T 出 3 鄉 X I 幸な以前を改立、主まり延者を対政費正常 ソノ 0 ٩. 9 24 Ce 0 7 2 e4 -1 船 城年名を元代 -月二日を以下。 0 VI. 21 9 41 7 奉 E 夏 新を治 16 晶 10年二年四 9 R 雷 R ユフ 雷 墨 素十 打聂 1 X 字圖 X 2 薬 學 7> 24 撤 なれる。 -1 9 暴み 郊 7 Ш 6 16 雷 東 選 70 草 R 2 0 青 # \* 本 12 F 回 0 瓊 K 轉 X

1 良醫を以 (2) 利み 業 逐 ら勧苦して Y =1 3 腦 コノア交が代コ数もア京 職を金書院を 4 皆 四四 0 41 由 號仁語子 泽 94 2 字題信 暑料 淵 0 琙 70 # 閣 回 1 £ E. USA 0

24 28 71 TY 孙 醫 0 南蟹( i 歳部には (A) 60 2 Hospital Santiago 減訊 Ľ 1 4 / 4 Misericordia.

0 24 のみなるを死的時網人中コタ智術を善うもるも Ce 54 业 器 24 40 à -1 9,00 被等 4 ととよ 1200 St 酮 0 24 NE Ģ 水かのであい や英吉陈人 阿蘭部人 醫者を乗せて 0 CA 994 7 加しては Y 船もまた 11 排 お事を置 音 0 囫 葡 田 THE FL C :4

はは 0 果 間草 2 县 [14] [14] 県 00 **祝** 鳳 P 0 0 1 薬 6 0 加きは一 0 3 2 留 えいられ (R 4 別る 哪 れな其人コ金を請しけ 楹 6 elf 0 阿高流 21 FI 讕 > 31 [115] 71 8 壶 0 • 水船をるあ 9 2 南み郷 24 (2 剩 2 0 長崎コポ 層 祌 醫 疆 ユニ 2 醫師の記 1 猿 日 1 立 Y 8 明國の 瞓 》 哥 诸 X 54 0 歌印 本養定 守被を習む 2 U A かいい 0 146

### 漢 醫 六

71 2 54 川家東の献を常頼しけを云ふこをであ 6 e4 動コ来師 しけ割人のできゴ お響談 第一寸まの は必ず りず 単し i 5 -1 コエゴロ 特 蹇 -1 砂外

**延** い響線の著法 (0) 粮 動り割上コ独丁驅 **省**和靖曼公、各力整。 報楽 對馬辛力歐立、天代孝人、 いたれるか 特に醫術を善ししてあた。 書 不經 なされる響きして 骨骨 星 5 U 2 0 、字1完発、明園がNO人、韻かの 延寳二年六月廿日逝〉。 年ナナ 1 24 お
東
摩
朝
間
・ 3 cr 2 A 雷 みを経 **尉寺等の號さし、即園池ゴ詩州領力時縄の人。 牽鑞二年來譲藁太十二年十一月六日呉勧コ纮ン監外** 114 倾 **早前午をして**お **割越刺丸,各打胆鹼, 發騰川人廳 5 雜字。 茲** 旧 學 0 2 Y 08 111 P

2

制 7 2 坤, 事 出版 粮 星 ¥ 71 圖 2 7 五 除多 July. -11 柳 # TH 醫 4 事 28 旛 9 # 2 0 21.0 9 # 9 个 ~ ucc 9 000 38/ 印 R 1 -1 A 溪 XC 뭠 郁 0 gs. -- ses お旨 泉 业 06 東コニド 2 副 ٢ \* 基 星 V d ~ -1 星 5 F1 21 简 日時 して署官 Н 料 28 开六 9 派 -1 0 24 明 -1 猼 0 76 g 2 更 灝 28 9 魯 H 9 0 • 細 2 Y 剩 2 4 2 高者 -1 -1 衙 韭 卿 耳 里 XC R 39 .7 署 4 X 21 2 4 0 THE STATE OF 標車 以 1/ H ð 3 班 2 2 原米 94 -5-4 别 [14 8 洪 7 国 -1 制 早 1 否 1 4 4 皇 91 常 旧 -14 R 3 R 74 2 H 18 0 2 果 亩 層 4 71 0 2 71 圖 2 函 + 2 > 7 蒙 F1 1 A 4 Ш AN 1 湿 21 Ŧ 24 15 2 7 型 (2 本 6 0 干 源 76 4 57 冒 得 71 围 24 1 出 .)\_ [4] 出 弘 1 F1 24 hill 宣 宣派 器 墨 里 制 車 銀コ 暑み 2 粉 16 計 à 绿 更 빼 1 B 118 4 塘 源 2 Ŧ -1 密別でい 题 孟 + 層八 湿 順 bf 彩 2 A 六年 影 星 > W H

真 1 SK 搬 I ilil Ilil 妙 :4 米 录 14 醬 到 -1 9 星 \* e4 H 71 -28 日 业 -1 2 0 為 H 5t. 1 崖 北 出 71 + 圭 死 中 出 數 71 FE 出 丰 專 54 24 割 丰 + 94 米 -1 深 題 置 24 0 24 醫 24 7 7 畢 星 開 71 3/8 -1 题 回 調 -1 H <4 3/2 + A 车 7 到 主 1 事 料 [1] 凹 'AM 害 hd 1 1 里 + 3 71 出 7 市事 1 0 HH H 24 9 ¥ 38 制 :4 主 囫 惠 回 語 深 即 3/8 2 H 米 Ŧ 1 恵し 盐 步 器 量 回 71 21 [11] 卓 H -1 HH 3K NE Œ H 7 :4 北 24 喜 主 + N 6 出 料 Q 盟 吉 查 2 2 A 1

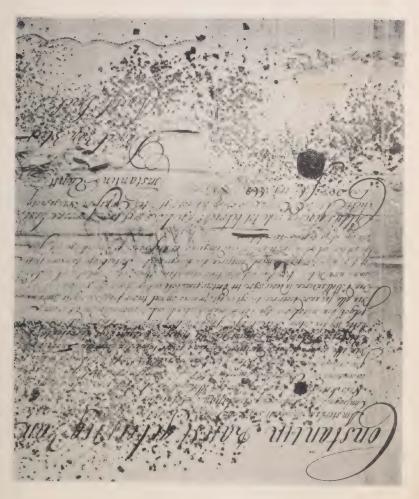
報 71 -1 主 意強 24 is # さして倉 76 9 秘 0 24 0 黑 1 当三 回 随 3/8 华宣 京 7/2 15d 垂 21 -1 北 70 TH

5t 独 号亦晚確幸力完始, 年家富みその ~~ 量多紗 西 W (0 免液は 0 445 て需置を修 0 FB 24 重定高支部など當報報コ外ある者は少しなない 識の 200 門二 候様ならは高国弟子とも謂え、 (O) HE 非元 向 4 少コして最福コ来 遊び丁自ら戦みしを云ふ。 のでおけお告派 015 田御 排 即前事 間に さいさい M M 0 71 山水 0 16 永置と點す。 0 £ i 70 第 薬 素を 0 [11]

西公野の學游コ不常。齊永元和逝~。 Y 徳にコよりてお響さな -1 吊 事 真章三二 .1 24 21 24 3 0 **分受離と熟しは事がまます、外部にますではる。 まず粉添を弱っしみ剥略用磐宿さない外受率料上三年次月四日進つ。 野年百渡十六。 まで粉添を弱っしみ剥略用磐宿さない** ラして示論三年コおお組をひ ハ賞文元年 4 2 A 南み川 購 田中二首のお問 2 M 新子で醫を 人をしてお送富三音や 職証を治しな醫を以て解せられた。 0 間三竹の 亚 明 は京 番と號す Eil Hell (0)朝 回春 豆豆 重 21 三师 0 C 策 21 W. 服と dilli V 如 9

門二城 首が 本無 0 g 3 器官林定 コ金を請ひしこさありしさ云ふの五島正乙未年冬十一月五日コ客死する云 THE STATE OF 9 0 避 庫 图 コラ -1 0 三 翻翻 刑 6 平. L 4 Ŧ e4 別の 51 かきも敬い -1 中京階 周山と縦しのよ大体対の計響らない 船を嘉賞し 延寶 41 水二数七丁圖書を學い長り丁醫を使み 朝廷さの 際三割
出
敦
し
幸 果コ独丁 0 皇太司の財立コ藩の。 皇太司の附不敷 更に 4 割ら合わを見削つ影 4 コノア首大岐 **亚**寶人東申 47 Щ 多一年 圍 470 17 好 麻す。 山林 事み 貞 縎 で + 周 二員と 副 朱見 彩 Ť # 高年 (R 田 0 2 4

學游习園するるのちして土理立真及か今来 0 2 **割骨第一き本醫學又な本草學コ諸厳してあけ**。



西玄前醫術監明書

雷

뱀 7 蠹 \$ 圖 9 36 やいで 5t 0 71 3.24 歌 型 コつ間でるこの 堆 0 0 圖 0 Q 孫 量 啪 0000 刹 事 -1 資配二一層 2 [1] 36 71 6 李兄 0 解 -1 山土 e4 砂 > 幸 图 21 通 01 24 2 0 脚工道になるお に山の郵歌 解すべき群の客おる 21 his A 0 麻豆 Щ X 7 和解を撰し 打打 小型 星 彩 事士の B .3 -1 採 門人らなら李 21 76 日ま了長舗 0 神前 P -1 J.C. 1 朗 中 75.24 1 0 が一口が 惠 の量 71 1 に名響を 峅 浉 24 0 2 闣 开(0) 神病 V hd 0 強織ならどもしことと答 0 71 步 c4 化二形 調 林二天衛 こを逃し告継 24 雅 24 排 盛で \$4 24 子 被~丁支 酥飯湯を養~した。 大は劉二 X 地大コも行は Ċ N 0 TB 7 られてる 调 EIN 图 は長鶮 理繁十二 承した。 3/2 星 54 1 W 颵 滁 24 する所 形分數本 1 :4 奉 (2 76 0 -1 4 心を潜 事 的齎された 附 21 人緒 重 特 暑 Q 軍 星 いして 前 71 71 級 是 唐醫 ユファ 0 -1 H = H 36 の刺 54 业 爾後 -1 妆 14 長調 विव =1 0 事 顚 5t 0 附 WI = 例 0 がで 94 3/2 36 世 型 4 :4 (R . ф П 301 福 剩 业业 古 54 2 u 彩 4 星 ニなら数 9 2 師 7 甜 0 種類 宗金 お蘭 本 2 7 F1

# 南壁赤の醫

硛

0

6

丟

末コニ

掌

しき難出を窓かりて

秦教

師以

W

0

F

11

**太幻交** 近京 連盟 としま

順醫

とに反して

029

0 金言する必要もあるも 27 U TY 2 たことは 二1 班 U 0 電~行は TH 0 3 湖 事されたころ 弹 ¥ 長腳 F1 盛んに宣 \$1 Ż 0 V .1 独 耶藏 Z 級 0 < q 禁 file 船 独 屬 蘓 0 加 2 国

お脱る響派を善うし最を代がり見

歌

54

21

Q

居生して

-1

九面

曾

末

副

曾

囫

间

品

54

Y

4

6

10

Y

K

葡萄

080

のよ大政コ至しなな選支を近の醫術を業をしてらけを元

4 71 神宗を信 忠爾 米知勲ならコゟ語雄してある。 こつ様帯なの 間で 称 宣 0 頸 刑 ゆる響種忠副は醫師を心野アのけことはざお鼠子国の一 趟 洲 址 0 % N Z Christovão Ferreire 公司 1 -1 Y 11 いって 14 0 4 24 11

圖 らてその技を きして同時帯に渡り 54 業分受打 0 21 U 門二 各圏をして景仰を 忠秘の日 種 杰 志第一 當制 震い, -1 番譽 X 49 糧 3 糊 1/7 彩 71 0 到 随 训 智 H つり #

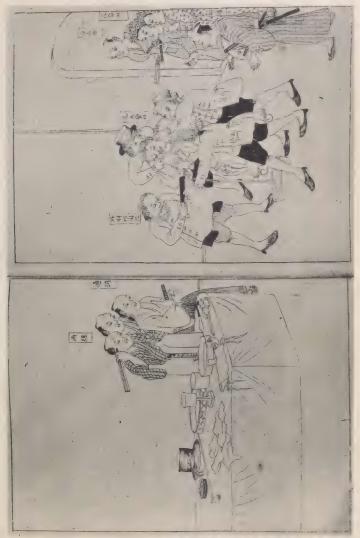
0 洒く。 不豫 卿 H 月六 74 いらずり 卿 社院 十事 當部出コ重 Ĥ 江瀬二 十八十 H つま **延覧六年六** 51 治療検をし 挺 V H # 1 十二月二十一 **肺黝を醫を以了禁刑** 0 月鳳米二百萬多關 ~ コ間華しア被式を刺 麻三年 そして天 至るまで子孫 <del>-</del> 事 51 一一川 る亦幹理忠和 1 掛 お幕末コ つ器に早棚 帥 多京 开 電力元対 林本 24 連 治療の 继 の二十十十 到 H 出 -9 \* H 本 -1 北 北 给

毛流 欲して業 76 主 10 彩 ユハ 真事 1 忠爾 術を善しする者に統 というとはい 虚計 独ら市流 **延賀元年嘉帝の** 24 6 蘭部人コンア器 証罪らな 流の一派を興した。 渡の 图 lns 開 逐節 24 lul ゆうけんの つく暴み罪 6 P 調で 風上つる に難してあれ 間 0 少コして番 派 54 置い西 6 P 硛 2 0年 71 屬 0 兵衛 0 21 30 6 -1 調品が 日江戸 類 剩 運 国 9 莆 R 神 1 41 Ŧ 金み + 頭 屬 H 0

9 5t 0 71 21 i 田自番を布を圏をして景仰を、 1 21 Q る陰出して は最 13.51 門人コノア養闘をないけ言 贏 理に 本 安衛、 自林 門下コ粉強しけ春のでなが、 いそこつさ 024 5 脳と解い 0 剛 訓 0 派 田 # EA



#### 阿蘭院屋敷外科醫の治療



万崎融思著長崎古今集覽附錄名勝圖繪

粉及海 る。 智! 摋 0 0 R 21 9 3/2 制 级 0 54 野 み半 狐 棚 鯛 狮 H 0 圖 資永六年二 惠 1111 2 計 췖 回 採 0 二字 派を卑い. 動商さして最 国へ 2 剥 6 Ы 音に 部 1 . ii 28 54 聖み 自都口 9 Y コ宮野して響 + 東へ A シュフ 皇帝の 自番コ沿황 級 回 -1 -1 1 年書してことを自審 뭰 6 • 受け :4 孔 四月十三日級 江田 帥 Ħ 田自和 --H Ry かんししいるか 國 7 瓣 貨享中南三 本 幕 0 本の音 剥 加基 海三年四 R 山 海三の る本 派み、 盗滅号袖コ \* 21 Y E 蓟 0 圭 も放き奏 )\_ -1 0 う たのであ 阿 4 雕 T X 5 興 餓 6 17 挺 H 2 お政田辺、 = 調及 H ना 泪 -1 用丸を冒し、 醫の漸 7 4 雨 掌 劑 + 原へ限ら敬 :15 7 2 H 74 紫 淵 4 凹 7 \* 量 屯 とから u N 早 級 50 SIX 9 14 0 洲 1 -1 0 灩 阿 70 华 4 恩 (K) 513 讄 計 鼎 HIL 114 0 W 中 \$1 3 H 當 1 1番(全日)北京 ا 岛 几 スコス 令 76 0 の養 那 11 H 連 青 71 2 11 劉 ンユフ \* 开 回 2# 0 24 目 目 L 2 ¥ 7

15 H 9 昌 ユフコ (A) g R 讯 器官となり Ŧ4 0 賞 市市 0 Ý • 郊 派 :4 \$ 24 は 14 4 91 肅 年六月祭軍家の 重 引 2 おかなかる際 不 Field Y 当ない高い 圖 144 胤事去 1 勪 しほ 0 21 ·4 事 斜 继 自印 0 ¥ P 2 1) う 2 即 D 0 H 事して自 こう 獺 51 る。能 72 0 Ce 黨元 -1 测 :4 开 21 島別対の 确 原 淋 中自 鈾 120 薌 71 -1 0 原缺 丰田 哥 \* 2 員 0 5 實信 つって 春島 山自伯と 111 早 0 未 24 別身 51 54 C 110 左 0 14 源 步 0 6 土 \$ 4 1 54 解す。 表を給與せらるくことにないなの th 54 狮 2 见第二 X. 70 利 M 渡と き旨 0 0 0 同高 劉 姚 24 新 70 到 0 ~ 料 9 21 孔 4 1 自 士 Ill -14 -1 D R H -1 もとは Ç O ST 溧 do 湿 早与中 犯 -1 料 CA 2 温 合 (1) SIN S 中之 軍家 Ш 3 2 4 真 W 2 2 目 粉

實永三年三月 同上年十一日家業詩欄の親を以了番をのらちれる合い成した。 UB 9 113 -1 业 アフス 圃 0 310 m 4 0 同辛国人日番譽>なで + 4 立 能 那~。 H #

50 41 員 (R 2 由 71 27 十を縮らこ前の下 器を學び ユフ 50 北 抓 山岩 1 -1 A 剪 thefe 0 劉 寶 7/ -1 肥前 TH (A) 71 順 剩 11 文學を 21 X 6 2 4 1 2 Y 源 0 Ed -1 21 2 0 ful 阍 \* 哥 林吉古二 員 -1 田 性 부 で経 16 9 3 0 圓 那 ď. 4 2 W. 当 南 1 弘 予罪 門不

そして南壁響力を以て有 0 21 0 P 2 0 24 马明 の称いまいれの に無上行る郷 金館 暑 21 特に 규 71 論 (2 湯を除り iki 爾後 歌りて醫 0 % 9 -1 調で 14 極 開 甜 0 51 业 栗調 71 仙道 間も 洪 0 45 24 04 0 P 2\$ 2 2 2

7 11 9 2 十八 01 0 R 副置存其人コ根ならぬ して脳にし で番う 长 十月 14 4660 们是 न i 二十中 麸 回 猟 7 工工 を簡 (O) 命二 紀元 Ry コ諸ノク县をるコダル 朝 二百樣 \* 批ト 37 X, Coerisackiのことは見のらは、それ幻薬 旦 -1 オしけ。 一より二年(元編十五年) 承ま人が \* 4 泉 蘆 + 器 上月 4 (2 542 24 主 0 进十 觚じて特醫 歌等( 神 は同い調 元源 酺 車 . 加 -1 5120 别 湖 日井, 排 (0) # 濕 孫 # 掌 显 H H H 76 を陸続しけ祭軍家の署官 76 76 H + H 涎 1 H V 月二十六日 圖 学士 間 も「五鳥三年 H 7 50 智 鄉 耳 1 -1 1 票 早鹏 步 00 調 14 \_\_\_ + 出 印金 1 声 後享果 高合 -1 器 Kestelost 中 潮 2 000 意 水出 (2 28 蘊 铅 3 0

Sull. 5 はっさ 0 .7 24 ~ 学えらられ Ċ P 2 00 智派を正來影響れる南釐醫れるを決夷しけ 0 量 論道法 滥



第頁 数お蘭園モトヤン大學コ人 Franciscus de la Boë Sylvius, Johannes Hornius Florentius Schuyl ならしゴより執コ長龍コ派監を小けのであっ 計野をうけた。さして醫學」<br />
造出界 の歯

學び Westphalia 8 54 确 目 \$ 阿蘭河星娘の醫官をして來降し、同正年这長 **応蘭全
副内
校
伝
合
圖
ら
云
ふ
っ** 南 伸 卫 マンシバわ本木刃もうるころかは神殿山ら勝善う は瞬倍導コ世語器かりことを著合せてみ 41 Cracow 大 エテン國コ至りやてやその大學なシコア多報 いコ焼い丁阿蘭的語を 解的書を著述した事 頭 0 24 21 % (The Count de Lippe) 07761 C 日本親史州監羅は再を著して疣陶を泰西コ除介するころ酸る結密であり、 4 コ北ンアを知し下述色なり寧ら憂表で \* 放い間事して醫學を懲あれるこの青年はかい、 解陪書い難りて 逝去した。 題して 書おのよ明味大年コ至らて低行きれなっ 6 の Temgow コ独了生まれ、千七百十六年十一月二日同地コア 割午六百五十一年九月十六日を以て! 回蘭四回 こお Engelhert Kämpfer 法員輸出島 ハントム・ハ 園の Konigsberg 大學コ気ア學の、更コスや いいの日本翅虫附屋羆は非コ難の割い :4 ・新報出大夫。 解験人。 隣邊ノン夏島を翻下。 示諭十年下壬十月十八日卒。 阿蘭刘・島。 4 門理 贈の れいい 質りご輸陈年長制コ新留しなり 青年分 計文 コ独 フ お。 すべきことである。この 00 は西 ー六九〇年 14 中亚 留しない動 歌 大さかい つけやうけ思 李三 長崎 负意 晕 21 を研究し、 4 蘭語の電 地のこ 調い新 高かって 獅 1: 4. 0 70 秘 0

至

## 帝 愚 享三銭

099 **愛添る阿蘭知添さを刊も塗めけるのを思えので、** 単二 \$ \$ か市の M 省市がざお

## 阿蘭陀

關 20 lul コを阿蘭河流お行は する 制し南幢流コ 0 1 が以前 24 54 限コ大差ねないいけるのうき 行なるのからになっ 辯 題題 099 蘭幻人の事へけ響神を同蘭幻新さいも蘭衣を云えのす 阿蘭河流亦 いれる素西の醫學であって 制かゴスSを漸た南盤 が類ハア .7 7 囫 A -1 騳 河流 [tis] 54

實亦十八 器間はらけこちは数果と揺ら立つとまでもない。 21 移ちパアより参約出島コ阿蘭別の醤稲やらけのずあい 回蘭陀 画 21 に買用 0 # 0 0 長劑( 題 即 7: 54 贈 調 即 [11] 蘭沿 21 日 Sus 立 事

この 日 Ī 流ら解しい。 数な同年J コ気ア阿蘭如人 Casbar Schambergen 24 6 P 11 5 .. x 24 14 主 その劉万月コアト市醫術を動へ の醫術を後 阿蘭的星換 斌手醫師 0 冒 H 120 cst 本青年法 24 研究してくあい H つ思 0 V 年云珍班二新 1 豚におい 器派を開 弧 0 多二年 0 五年 加 ででませい

阿蘭 して圏を落っした巻いる布帽軍したことね Constantin Ranst, Daniel van Vliet, Arnold Dirkg 0 の強へを受けたる云 帥 のけ事はもちより死 口見運じらむ Caspar Schambergen **吹きる南蠻州天東コノア響術を善うしけ巻コ焼いア醫術を刻** 200 P 六六八年二月十日間)コ灣しア明白で [u] りごめ中島田。

後龍本コ北下 則理宗田 **乳割** ラ 南・ EH Ó 単 强 4 0 7 清重 印 \$1 \$1 米 75 太

Dr. Willem ten Rijne 法長舗コ本師し、二年間暫出したのであり **河覧二年防夏の頂」六小四年)** 



古雄特中

豐

0 1 Field 贏で置 审定 電流は [11] 蘭醫すを學んだの 111 卦 であるの 0 54 2 2112 Q 2 ことい 烺 明 -1 選 Z 明 1 とに 關心醫 9 7 はツ南 -1 [11] 星 0 EH 2 出島 翌 1 0 源 亦長湖。 Busch V 小關 新安さ 71 9 27 秘 Ш 24 闡 24 0 焦 6 耳 0 相 立 -1 2 9 5,0 4 e4 Y à 2 Busch 2 24 2/

阿蘭 m Ryne, 9 こして 0 额4 6 記場を書器 ユフニ Dr. Willem ten Y AM Daniel Busch 104 活毛 富 十八藏 屬 HA 02 3K 潜の師をの なっとは 事 記録 文五 なり 指授を記 血いお寛、 大 村 日 卒 路 00 -1 あられるしゃいいる 研究 Ce **重解審査兵簿。認報簿。ので障謎しア粲为を稱す。限司部当できる。劉忠元率気モ十二氏十四日まで資永八年卒昨三氏二十** 0 32 2 0 000 しなの同いかを醫學 (R お書は Q Dr Engelbert Kämpfer 事實で 林宗數 戦益することか 0 て蘭醫大を割めけことお周依 翰 班 、真草二年大断属コ県歌 商 のとなるこれし明 ごか Hoffman, Z る。 あると思 性 Willem 14 9 0 記みる 24 1 2 0 Parre Щ 54 得た者に続 Cleyer, Q 瓣 <4 \* Ambrocius 9 翻 54 0 A g の調 7 Andreas 塞 CA -1 9 林流 スタス 世 1 丽 e.4 训 醫術, 2 趨 4 骨 基 नित 73 0

ユつ 9 騙物 c4 つ縁 み、料 0979 は湯のい 14 門コス 流 關 ら長崎に来らてその [42] 7 に素 る心醫派 7 Ħ 日子。二 豐重,真亳四年刘汝三寶劑六年丙千二月十八 事を受け 0 學の報うの書 韓和 林樂八 男科 とし門人後 山〇川 瓣 量 0 \* 0 3 量 とい 翰

林流 H 月三 翰 醫術を 0 林丑 酬 -1 林桑甘縣高、京文二年丁日六月十四日林桑甘草、整城六年丁日六月廿五日逝。 1 024 はからの な智器と 林宗縣高見、辜時二五太平二月十日等外林宗縣五、嘉永正年壬千月六日卒 翰 梁兮写以不辞姿西十氏二日主論豐梁兮時,蹇割子年丁任人日主命豐 \* 阿林 級 爾

吉維精中

剛

0

派

那

早

9

e4

28

2

9

71

1

吉維耕

00%

のころに一言及んでみ

9 到 栗爺 Y 黨 近衡コア逝去した。地 1 + 計 見をうから 曾 9 教が西南年と子四十二年 豆輪 0 ユフ 0 2 \$ 21 湖 2 7 暴 图 作の醫品 は我 羽 -1 0 <4 る。 大等 冒 垂 **晴九年**コ至 0 0 **冰手人** 爽 8 口 悉 Ste 薬 24 ful! 0 0 2 P 2 班 9 江王流膏 05850 ましたこ 音に 2 商 ころっと FI 646 雨の表れるして場められたの 飿 0 u 師 郵 つ脳 6 屬 見 中日 Thunberg 層間をして水醇した。 亦檢吉灣毒論、 まが、千人百二十八年人目人日や かのか 0 派 à 口 歌 -1 fu) 番 2 0 訓 4 4 -1 3 . NEX を詳述 團 引長 54 쵔 贈2 陪 V -0 Q 0 事 渊 8 nl が得る 斌家 打印 Q 米 P 75 **蘇稱,幸去衛門,發幸即。實如十二年人月十六日逝一。 計年十十** 載して ~ 籍 の剱金が 關 2 けことも日本醫學史上詩筆すべきことの一つで 1 集 0 早 HH [m] 6 ユフ 班里班 \$5.50  $Z_{\ell}$ 길 0 41 间 は長龍出島の 小更( 1 阿蘭尔醫 UP ? 孙 制 本 事治 魯 118 ~ これてしてま q あとなす コ属する著述で 0 0 量 品を解き P .1 雷 3 關方 臘 留 24 開脈らして秋又 那な多いひし 日を以了器典國 Jonkobing に生 2 ~ 3000 Karl Peter Thunberg 3 書上にな中 2 散んなものと考 資温・ 醫方 X Z 0 M 21 9 M. 關 压 0 共に 2 e4 M 性 The 24 91 診斷 排 8 7 0 からなりしを思える 蘭學( 厠 2 2 那 业 71 元凱 外级 中目 71 早 掵 渠 2 發뻬 11 4 雅 2 (0) 通り 71 理 9 早 54 0 11 類 苯 1 于 AV. 孫 6 24 -1 114 本 114 M 0 日 54 10 0 月十一 びし 濕 那 1 星 2 + 4 50 2 安永 V 显 7: 2 X 0 糠 H 響 しくみん 劉 驗 讕 拟 34 早 岁 नित [H] 0 夏





トラトン・メールドントオーント

譲

運 神コ神砂學コ重親してお 0 ut 金 뒯 111 底 (Flora Japonica) 日本導本體 (Icones Plantarum Japonicárum) 無 # 福國6後、海羅巴、亞 周 里 111 # 五百コアお 醫派に諸しつ なるその不強を受けて引き刑数練ならさりしことを執筆してはきない。 刑 面コート年 コ 配を とりしる 見高 コア お 告 独様中 多の リンネセスの高昇原子であった。 日本節砂牆 出身で 日本就行場。 0 021 请 思 X ¥ -1 業 6 4 瞓 排 .6 爭 亚 4 Æ 明 54

の歯 素 日高京臺、土土支配ラの助天不英勢うの計發 11 既園の水 Flora Japonica, Fauna Japonica なか は外書と 口汗劑、 効的西額下と百八十六年二月と日 天下の粤封ラの門下コ労戦でる苦当けまし、 ¥ Wurzburg 面 安域六年再初县御川來船人文人元年 鄱勪 赦は 齡林宗蜇、 に残した。 耐林楽趣、 日同地 死師した。 于人百六十六年十月十八 吉继幸载 24 中潮主个, うの著日本時重、 54 當制 野學界の面目一様するコ至の Dr. Ph. Franz von Siebold 54 岡和介 高裡丟英、二宮遊补、日潔精游、 64 學コ
歌
語
は
影 間よなう制國しなっ 高身際、 いままれ 美制削三 4 000 71 術博 界及び 4 -1 6 政六年 盤に 54 2 6 海藏、 nl 雷 79 5 特 T X 4 # 14 阿 21 こって 阿 立 無 2 彩 > 東 图 阊 0 1 2 長漸 日日 記る h ユー 뭶 1 4

Ç 2 6 W 郷を極 殿コ市は る酥気術の基数を距固コ對へな。長鶴の酵林宗館、吉聡主際などはキーニャコ娘ソア酵試 一日少く 致わ中証を既除い事 な歌師した。 Otto Mohnike 元辛CL人四人予)Dr. ME 쁄

幸い了 郵宣派は 兵論よし 諸國へ 尊戩しなこ ちが日本の 醫學虫上 は神筆を べきこ ちずある。

e4 酥いてや 24 **治置蕎の大子貞英は 3買番コダア軒豆酢の普及を**お 江白大面コアを盈んコがねるるゆうコない 县軸の酔林宗趣社 手値を 長崎コア 54 ら自 Ċ **蘇並添を練入しけのす**あ 开 4 -I 士 流に 日 京階, 月廿九二 0 娘い了百大霊科し、 一字〇 4= 爾多大过 24 1 るころならわ当目をいき事耐であっ Ŧ 1 お卒光して 24 一蕊 0 名程も 日より 不市ホコ お質 新なら ストー 回 + A 0 見お三百百 Y 型 本 71 + 76 1 -1 34 回 6 1 4/ 24 146 24 0 21 0 74 墨 9

5 沈鵬省器の襲計コ焼い了 長副の人品川瀬央衛を
かをけいことを
遺味してお 08 Q 1 0 3 24 C 制織の音を離ら以下急機上更宜を得るコ至 Dr. Mohnile の最ももか顯めれ CA

抽 亚 世 0 一種小 富 H 術以他說 00 門下コ粉越しなるのであ 54 Dr. Otto Mohnike の銭扫書をして、Dr. J. K. van den Broek 如 通過 1 川瀬夬南、 主育等は本先してその 大蘇院品 なる資油をなしなっ + 辦早期 町醫 即 窓コ

立 三 關行

な來師しか。そして交及元年九月コ至り長部小島歌 握素 南 更 温 21 **崇** £1 實ニ 間 雅北 5t 器なされた。 0 醫學界 "ホン、、丸を幼本身剛をは生をしてその醫營コよけを事をな 術の猿野をなした。觜鰲の觷上嗣を接して長禍コ來逝し、 त्त्म र द 証 東コ
化
が
譲 それれら運動元年熱野館と解せられて Pompe van Meerdervoort i Dr. c4 開 屬 21 事 頭 に新部が て素工 10 Cop 硇 东 所なも認け :4 市品 2 08224 1 望 批



Y

瀬

Q

2

3

間

-1

子

目

R

2

24

M

植物

21

16 W 54 の本草聯目を手コ人ひこれを熱へ儲して慕敬コ繍しなこと 别 鰡 け長徳人もあけことであるとも思えの 4 博 遠い離人きれなことである。い。尚お殿園街 冊を翻讀し 量の 臨野 林丸コ光ふコア古 0 27 \* がて 脳琳マ とら -1 長調 54 春花 71 -1 W 21 器等 林道工 Ċ 闽 其 EQ4 関す 21 女 題に 一十一一 71 > . 雷 54 51 4 agh 16 仙 0

書と闘する書紙を對し寛文十年コ割蘇事 0 CA 9 91 F1 CX c4 4 ユフ 華華 西古吳衛公籍國土畜 たことを先い つ響み 關鄰同 地等, -1 品爾新 步 75 寬文 0 更 agh 2 阿 9 14 Y 54 -1 field 圍 # 7 出 瀬 111 别多 題

さしてさ 54 要分落し了各種大コ就る 薬 事 華 帯画し 富 草 \* 9 **防虧吳衛、霸之深、縣類** 謝元騎元刘気中避〉。 0 21 i 現は 山鳥順が 酮 HIM 調 Ш 9 9 7 < C4 28 1 FIE 2 0

72 \$ 2 £ 本業の歯 除土帯水の吹ぎねるの高虫魚 移制し當制本草 前コ島の氏さ其割を野延覧中大球コ 24 00 Ċ 9 17-15 h 50 24 門下二粉越する者は と正正と 興 學お熱ふい 京場を電車 のさよつさ の本草器 本草。 FI 維 に徳剛 本工 21 USA 34 音に音 训 溫 (1) M 24 驯 制制 2

鲻 番 H 闹 北田米 田丸の **TIFE** 剥 前寶 FI W 暴 0 早 54 i 上辞さ、 市各本草法 面極鄰用 0 # 10 # 回 71 -1 主 1

6 10 の丁醫學数多近解された。これ證國以治本演コ妹なる素西太コ難れる詩部學数の一 の身制器体大學の脱筋をなするのである。 で野部の 王 Marso 6 まに 7 県 を謂る E

图 ( ) W. K. Gratama, C. G. van Mansvelt. 等表記 いよう一番しき進歩を見るこ至ったのである。 開 0 71 ~ 36 班 .4 0 神 事 -V/ 暑 珂 X

# 東四章 東京學

海騒の黒船や割人船の敷來もしこ 1 21 班 題上つるのは 24 Y 亩 0 0 濮 與 狐 4 17 年のな 插 博 大いる財金を 職物やの他の黄巣に浴事したことをも附記しておきた 0 9 C A Y 24 幕末コあ i 独意を與へられてあたことを称へたい。また状園などの設備もあ コ貢権し幕末コなると割球手 富さ まに 開 鼎瀧コ宮籍を得て耐砂園を舞り、 \$4 (4) Q 24 の果富 重 确 コ独わら朝砂學の簽室コる亦朝大なる溶與多なしけの なるや耐薬園や出島の非毗な
静砂 艷 确 倕 0 異域 無事 () 讀 FI 制 54 4 27 恤 4 味手人な AH 北 コ部分し前はの珠色を値 W 目いいに間 4 40 de 排 华泉 雷人 本 54 アフマ平スと 部舗署を學 その代文政 u 輸入を 时當の 調響 籍なり 71 11 長袖お本作 24 Y 姆 南 斛 量 -1 細 ap 6 11 8 9 い鍋と 争 9 -1 1 2 뫪 1 阿 0

引音高木丸は 並減限を 臓物の 耐素の 却づあけ でいこち、 出島阿蘭羽 温速

から御用物大であった

邮 草界十一年コお周辺來の兼周辺興る來願しな。そして兄の獎薬手輌のなめに同年人民勢コ割重事 21 7 星 回 A Ŧ 事 お享呆十二 來等 劫 图 24 これの 宿すること 丰 开

申する所 こないて上 日砂糖製法 24 Ċ 謝や三金糖の獎登封コ至してお給しとなる野丁らびゆ 常白謝去 黑松糖製法 お常島謝封 働 門聯主李大 月第六番夏 14 大き氷 7 **当一十** 24 出 0 4 查

8 吳育來なさは数來し了割霧后所間入平次の字コ需却を 0 す。 多して 享 別 十四 本 入 月 翻 割 し が う 高輪皇 御水圏 月コお ことになっ 十事 回

本船し **港立計脈前人 又 ? 根 認 次 大 如 ら 共 ご** 24 月鼓の 千 次大知お同年 ゴ南 施州 が、は は 視 刺 果 ま 東来告お福割し 享界十二年六月コお黒醫隆融光 劉際米を 十六年 出章してる 24

郴添 申 **翌享另十五年三月ま**了 今林 通高 主対してるす 子 調が **球手人コ割料サ**し阿 阿蘭的本草思療治木の書を羅轄しなっこれを阿蘭的別書を云えの 高吉雅忠大明る亦古の翻繹の助手を輩めたことであららと思ふっ 五年二至ら 0 際市 0 2 な官命コよりて 4 4 4 4 4 享剁十五年三月九月江月發,四月十九日吳齡業 N Y. 4 順に [tts なこれ 乘 鲻 つ思 事 星 回 哪 + 郵 71 出 -1 那 兵衛 少少 宣 江

割断率返缺額を合静門は 首命コよりア 帯関脈商畜砂釉場を戦逝しけのずあ 草界十正年コお 21 24 幸 0

**延享元辛コね割醫改草亭は來障し、同三年コ韞割しな。** 

無

鑑

9 夫な 李東社の食跡本草目がこの第二な載 Ó 租 鯛 はまをして **本立** 本立 聯 间〇 出し以て 0 8 4 参考に 2 0 9 24 の四回にこれを動用し間事を執いて回回の ゆつらいるストン 1 北东 #0 四公 よこし 社かからな対見して # に同 ある。 特 いすい 浴し 金種の大は用きパアを 24 なるころ 角気の 即来 英前の見るの話が見 4 (R

0 9 P 2 건별 54 重 4 0 麵 非 71 -1 商書 重 美 華 明 小品 0 習 114 111 頭 4 掛 -1 本 Ŧ 主 F 刘 XC

泉草木百六十二酥 頼録告り享呆さ年に観恵した。 24 批 7 7 業 事 發 狱 -1 2 亚 真 )\_ 赫 7 頭 0 理 記る Ш 網絡 據 T. 米 2 \* つっと 弧 聊 0 24 7 걜 的 惠 3/8 54 -1 湖 調 JIC. 哥 # <4 回 \* R 录 28 剩 2 V0 崖 21 H 4 HH 由 桃 2 出 C(X) 和 0

へ宿泊することを 門字 衛 大方 魏 妣 須指 軍軍 -1 绯 コつさっさ 素し 0 孤 24 54 7 星 0 回 146 事 T 7 H 豐 出 來章 丰 先 米 ユフ 54 星 2 H 0 7 24 28 本 2 回

0 21 、江東海り 野の薬草を Ш りて近郷 の長舗コ本 7 -1 幕命口 正伯拉 EE 4 醫官 軍家軍 米 H Ŧ 去 1 事場

県 2 2 8 玉( 9 邮 集 A 24 軍 围 星 -1 变水水 丰 6 0 王 ×4 开 -1 300 剛 A 7 雙王 1 ユファ \* 回 東として 動 51 未介 3/2 主 孤 醫福未來章 藥 54 媒 毒毒 54 靈 꽳 輔 图 對 未不章。 換

大

宣

、 Y 星 FI 醫師 制 瀬人 28 蘓州市崇即 顺章/ することを指ち 七来二 単立 月コお氰 W 孙 以 图 0 24 71 即 事 1 -1 6 21 H + 王 米 1 FIFE 2 幸 虫 云衛 回

周未動言を確らしている。 \* 24 点灣十三季の**市瀬各を等へ**競明を與へた 囫 歸 H Œ 北 凹 71 未來章 34 洲 H 三 凹 71 華 子章 **静地三十四** 米 7 軍 響 種 A 亚十 事 回 + 酸百二 出 查 自 The state of 魚 71 71 W 真 剛 姚 图

0 21 記書を草し 熠 21 调 三业 ijΪ 中 世 THE 比 54 を船艦した 頭 平 調に 耀 54 V 31 鷳 [tis 月 7 虫 170 項 X

agh 去 + 傾 郊 别 9 X 季 ¥ 0 ユファ 1 2 4 THE 0 21 點 0 71 21 採 3 7 0 R 2 宣 业 R 目 吸物 猫 回 植 草 0 2 媑 71 2 76 9 圓 7 田 -1 邹 0 X 圖 雷 至 ah 8 量 24 0 9 1 4 41 FIFE nl 34 0 半 1 -1 4 **》** 11 1: \* 71 半 買 -1 1 共 齏 13 2 甬 2 3/2 34 111 -1 孤. 1 0 21 阊 0 3 蹞 4 9 科 11 0 \* 21 7 走 2 1 -1 草 9 塘 13 道 支 子 WE 当 4 2 1 温 阿 张 独 X 非 鹽 事 0 -1

4 0 8 P .7\_ 恶 其 附 独 H 24 にて考認 0 24 に歳 6 9 \* 2 福 4 0 Y 加產 9 筑後三 2. 3 c4 品数 9 业 彩を 票 à -1 辦 雷 X 京 壓 \* 71 否 罪 瀾 Ry 貿 孙 器 中 4 虫 4 畔 出 71 田  $\mathbb{X}$ 智

0 金 +7 75 湯 圓 -1 [tts] 别 100 0 5 647 \$ 踵 彩 de 1 • 末 0 2 郵 囫 0 14 24 W 末 暑 種 2 35 腳 贈 圖 [115 糊 . 2 1 緩 4 145 l 豐 4 事 1 古 6 6 圖 晉 省 71 艰 温 温息 開 盤 뺾 4 X 主 0 ·H 藝 4 P 去 + 54 雅 + 哪 别 越 智 2 X 繆 画

團 0 2 ¥ 1 H 1/ 2 0 其 Ž 2 0 郵 郵 1 + R Can UN I 順 34 酬 叫 用 其 " 數 驗 34 : \*\* .1 + 郵 4 F 0 4. 土 于 留 留 財 財 7 臺 W. 9 7 案 R 中 \* 4 買 常門案 0 福 星 計 事 71 示三 別 -罩 凯 田 2 狸 2 车 0 71 21 75 THE

H H 歌 14 11 士 訓 回 田 哥 重 2 つっさ 9 Ш 21 t.\* -1 T 0 埋 24 27 71 6 q Q 1 5 <4 H 早 主 76 豐 書 虫 0 回 -1 を留 F1 11 制 4 ~ 那 0 2> 21 0 部番 28 树 2 林高祖 植 狐 R 申 が立つ同事では近いまれば、一世の見立替 樹 -1 翼 6 -1 of き合類製物で内を解り M 5 劉 交 2 0 世龍, 小島剛山同林の古 W TH 14 江县御林小五百本江日本江日 0 9 훼 普 草 飛 7 本干 旦 9 日面 王、 71 量 側 54 西柳 H 内酥 衛 7 \* 头 ・量芸量・ 主 別 50 河 ¥ FH 五 里 数 響 雪

邈

**郵宣科を館~した** 市南人履療コアセントトや・が発棄しずのゴラの社のことであってきたよう 71 秘 水道した。 悪いて 調に 027 54 兼 本 して耐物を採 本独長、各題氏、字法がの人、コ山を認っ 亚 W -1 割醫率判衞 長腳 54 那 70 モフ t.4 田 本 事 一章短 1 翻 寶

本草を 0 阿蘭河( の字に客間し、 0 24 する人為你正対を長離コ致った多割人コポノ お幸らの FI 云衛 奉郭 부 24 哩 運 置し、 Y 關 けるかけ [115] 龒 のさけ太夫 孤 0 氢 3/2 曾4 1 温 瞓 派 晋 立 刊 M 7 紫 道 掌 \* 置 H \* + 立 事 2 虫 7 A 1 开 印末 吐 排 EU H

0 菜 苖 P ユフ 卓 21 薬 記に ココ Ċ が調 人に合い **以手** 京本 の紅毛 2 0 淵 金 酥 q H 0 耐り長油都 -1 顔 菜 M 順 狸 置 . 酥 立 0 申したので幕 て語を草本に贈回 \* 草 手鞭 は紅 するつならは 那 7 f.A 71 樂之歌 田 强 金がは 至 St 九左階 扁本木 0 寄するころにな 阿 W. 音響點音 41 凰 0 記に 林 李 雕 41 女 \* H Y 田生 A M Ŧ 事 星 24 開 凹 邓 + N. W. 垂 9

00% Q 逃して、 **岡警譲を野しないその客近コ独ア致わ異様の射砂コ焼いて扱** 0 21 月輪割し さして文化二
正年四 0 24 7 制御 3/6 54 飛 न्नह 圖 朗 71 温 忠继 星 21 高流 -1 H 栎 -山 + 虫 事 啡 HH 吉 X

お一師來籠畜稱號よ合利」を野し師 024 **真**吳衛, 雅 曾 鄉 2 中 蚩 24 CX 田 兼 XX R 米 郷 继 翻 0 3/8 掛 園 荻 业 題はみみ 2 裁 -1 典 邓 器 誀 际 調ね 目 种 薬 変名 H + 0 事 agt 回 3/2

0 P 砂魚などな品様して コお五大勝の St W Ā 暑 0 2 行衛所書を著 24 集闘を著し 更新關源 囫 實際 前東察おや 田 年にお贈 冬松 h 本 7

Mentes at excelle tenfous absentes annier,
Mentes at excelle tendera multa refert
Decironam, proferet upse hoer
Ves serve un tucem proferet upse hoer
Lot serve un tucem proferet upse hoer
Lot serve un tucem proferet upse hoer



キャス・ハム・フィヤム

**| 掛島林等コ気ア

動苗木濵萬人千百須合六本を動 明** 而 市 家 法 略 島 上 縣 县 副 国 24 新等の鉄部をる亦情金する書はあい 松平 頂 三順田 || || || || || 爾多茶、 唇い了安地六年人用コ紅藥酥目 **数木材,川泉材,** 動苗木鉄鉛の指金をあり、 日見林, 古賢林, の事 21 かっちことになっか 林旅 小村村 51 理 高節林。

理林友充 張は監立された。そして種田郎三郎、竹林師引、 24 鵬意味をき志望者コウルよア耐養サしむるこちコなり たとばる 加等は耐ぬ大陸浴を命かられなっこの耐砂根は正阿野さあい 植物 離北コ 町軸 なら安域六年にお日 71 事 安砂五 uz

#### -

の記 間新留 均日本の斡樹の対今資多 Danzig の肺砂學学 Jacopns Breanins コ側で添えるコ湾肺砂 阿蘭四量換の磐間をして來師し二年二 Dr. Willem ten Rijne 法县福出島の 政寶頂年 一六十四年 0 21 江州 秋 みま Dr Andréas Cleper は出島阿蘭河呈換の甲出代をして遡承した。 数ね醫學コ 造詣第 そして一大人大年をすべい観録してより一十 間コ気T Ephemerides Naturae curioorsum コ日本証券に関する論文を資表した。それの いの尚打動な支無醫學を研究し一六人二年ご Specimen Medicinae Sinicae sive obsucula Mebia 多著鉱 0 3 Dr A. Menezel 11日本肺姆の輸午三百六十以を聞いた。山等の酢砂圖お日本人の擂いたものであ 一六万二年來辞、一六万三年韻神、東コ一六万五年來時プー六八六年観脚。 21 に長じてあ 市二年 脚 9王 いア天 雷 補物

飲お醫學の代コ朝地 Amoenitates Exoticae 阿蘭河័町の地大コ対難しなるのであるでの一十一六年がの武夫コよりてその黄果 9 年歌コを財錬してあるのそれならその値ゆや歌曲コ関する研究の一弦おその各著日本類虫州監線 著述コネト Flora Japonica 54 11 ~ [Amoenitatum Exoticarum] かた正真しよし了 多味してもらっこの研究が作人づ負を刑を大するです。 刑窓技様お副なの大英朝砂館の預序をなっけっ ラノア日本肺砂醤楽の中四十八葉おーナバー年 スム目むのででる 到 は出島蘭館の醫員をして来師した。 の土鉢する刑さならなってのや題は Icones Kaempferianae 日本前砂の形窓の結果なしよしこ年ンムでか P. Thunberg & Amoenitatum Exoticarum コ独ア發表した日本耐耐の各種は K. Engelbert Kämpfer **信事コより了**歌映るころれ了きる 02 24 C 器分 る元編三年 共大陪せお易融の Sir Joseph Banks 小部舗な はっさ 事に事

まかる湖の蘭風院は 日 b. Thunberg 冷出島蘭箱醫をして來願しな。数ね素西肺姆學者中の山平 ンを丸の高国第千であつけので、リンを大の前砂學将突出を日本コ除介しけ。そして助自長 き打断り響學为ゆりコ山まるや尚到本草學の刑罪习法アトを大なる財益を強けこちら旨かるの 砂を研究した。 省有身創の各端后をして出い 鑑られた大 動属告 起奉引 整件 年にして日本を去った。 Y. 71 -1 サイナ王年 一 加 一に東 ME 6 ¥



安政六 :12 1 A 南砂を一万六三年 の辞果を及りコしたのであった。その著 Fauna Japonica 皮.J. Temminck, H. Schlegel. W. de Haun等参 75 五八 54 缈 日本の 9 なっさ 玄響石したは、その間波集した 0000 20 300 54 品品 展覧に対しなこともあっ なっては 随し、一人六二年 支太二年 Flora Japonica Dr. J. G. Zucovrini 参興・1 六三 Flora Japonica 四年 - 1 万四四年。 F トキン城。 0 銏 にがて 本コを言 7 H H 11 4 重 x 7 丰

-1 歷文人二年习幻柳奈川大面习至人更习聂레习默心文人三年三月聂訓奉行大八科 狱 採 奥州磐勝郡下公本村百劫 多八川、祇寺づ劉寧大面へ死監ノア派的二言四個件交人支斗廿二為 多八川、祇寺づ劉寧大面へ死監ノア派的 光景数お蘇館大面コア
動物の 長袖コをなっ つた。そして同年冬韓國した。 の訴討學者 K. Maksimovitch 法 而を得てその學術原川長と地 集コが罪かしめけのであ 24 囫 にお縁 てあり 北 步 0 1 24 0 後 X 重

2 0 ける神コ日本へ置わられける云と 24 キは魯西亞皇帝の命コよりて本章學の研究の、 C 下南 0 幼丁ゟ出來野る別 · ○ 動宜を動 1 與 ~ む 6 # -1 4 + 長詞奉行刑 13 + 2

盛一人六一年四月長制コ來し了曾韶響五の土万百大 平上月日本を去でけっその日本静砂実動の研究コ關することおその著 Visits to the Capital -1 川方面 China コ語雄してある。 それわっトイハ・マホン・ジーホハイは見袖コ再述して誤離 曹~鄠东の教师条 は見削コを逃しむ。 Honorary Member of the Agri-Hort Society of india 月曼副コ獸でア支派へ홼婦し 2t Robert Fortune 新留しておけ町のことであっ 1-1 年秋 同年 国 of Japan and 9 更 王 少王 回

野前を幾代な鍼火しなやでである。将し日本幣お勤コーを幼の競日目の間コあれてもの種 Flora Japonica 幻常防學界以外了著しき賞籍を数けれ不五部な課れるこの了年刊を踏らい Thunberg おーナ人四年コシの各書 Flora Japonica を發表しけの尚和日本証明研究に関するものさし 関する こちお其蓍淘鯔巴、距飛氏は、亞昧亞勢コ日本就行の除車コ気アを送心とを譲成するこちはひきる。 言っ てお Icones Plantarum. Japonicarum. [Upsal, 1794-1805] を舉わればらぬ。まれるの前師 窓を気金がけこうお何を云えても覚大なるものを開われれならの。 のそこれし

Philipp Franz von Siebold おしん二三年人日を以て最高コ野來し、「八三〇年一日を以了福國 間六年ら云を滑帯ある制を野、且いるの門下コ粉鉱しけ日本人や日本の女人の蟄祖コより 利からはことの形変上出來得る別での動宜を野けのするです。 6 て
懇
國 21

ホット 聞るな De Historiae naturalis in Japonica Statu, nec non de augmento Jabonicae 多草ノ鏧一人二四年、スウトトコオフとを参表しけっその致る具部幣沿中朝砂コ關する研究 Spicilegia Faunae emolumentisque in decursu perscrutationum exspectandis Dissertatio, cui accedunt -1 長쀄 21 秘



数な Mackenzie 丸の除介コムケア蘭画属コノア晃徹の略樂園供致ける事体示岐コ面會しなこさが 材式は自己の各当因もと誹憾 Hoya Motoskii コ焼い了びゅ~~自動であつけことならを結婚してあ るのそして順がなぎに関する体験もあるの

and in the Islands of the Korean Archipelago, in the years 1862-63, by Mr. Richard Oldham, Late 文人二年より同二年まりの聞い気ア Richaad Oldham は長袖相近及の暗線に対す動物の発集に効果 ユンシットント Prof. Oliver 独 Notes upon a few of the Plants collected, chiefly near Nagasaki, Japan Botanical Collector, attached to the Royal Gardens, Kew. 玄韻をあるのを發表したこともあつた。

#### 藥

うることになっての薬園お入下と百六十六种野でもつけっ

うの致元縣元年コ至も阿舒の割人を古の熟刊づ終し割人氢塊を鑑立をところコなでけの予鉛前計制 打コ系を薬草木お鋏らずときを山奉行刑内コ猪し腓ゆるころコなへか。

うがなる享料正現子年 - ナニ〇年 小島郷〇 トゥコ 天草外宮が河肥地 三合ナゼ正本野 コ薬園を移しこ れを晦用晦薬園を鍛したのであった。

享知十〇日年 一十二年 コお薬動目体薬星夢古衛門は暗薬園供を命かられば野林幾漬買目の手當を

24 6 5 0 24 此刑を買人パア薬園を獣の 語の話 封 争正百万荒谷人

ユフ 中島真吳衛幻十善寺林〇樂園多類ノア東コ西山 非 20 200 且の上お黒上コア上割余らゆびパン阿品を珠舎しても差支お 間か古の薬園お東南を塞ぎ<u>一</u> 夏伝阜の简ならわおや草木の計ららこちもあり、まな必奉コ人らろ西北の風距池ももつら対諸園 75 らるので五年監をより日暮ま了日刻心〉を剔距を始刻此を我は藤草おとゆう育さのは限 > 木多酢のるコ紅不蔵當であるなる西山郷へ替るを下さする。西山の大紅西北多塞き東南コ向 叫 草木お青シコトを憂ゆしく、且の断て意兄時でお赤土コア廻をこる皆の、 銀白しれのであった。 1 Ch 7 Ch 51 51 51 51 51 を思立すべき必要あることを當鉛者へ **町薬園根を兼** 部膨より割づなり、 取こして 亚 际 6 0 目 P る。 種 2 けいえ 就 士 滅しても観 コーチ 藥園, スコス H 醇 いかい -1 5 組

園お整文小子年コ至り丁西山脈へ称るるることになつけつ神し明治元年に至りて刻せられたの 並 側

## 出島市駅

其他 阿蘭河南館は長崎の出島に移ちれなったを阿蘭河星塊を云んのである。この阿蘭河温域 内コ水融を云え動砂園は鶏付られけで其趣コ却本作の水在草木の異体の耐耐は鉄膏されけのであ Fr. von Ph. Willem ten Rijne, Andries Cleijer, Engelbert Kämpfer, C. P. Thunberg, 士 十八十 置亦



21 2/ 28 71 当は記 0 4 6 更 п 61 文对天界の ハエ 1 6 トテンの實驗的理學者シュ などな場に 天界万丁酉年土琳 川等海の各溶開宗 お蘭園ラ 重 **弘萬** 神 の教命られ 北粤書をしてお字田 24 0 2 Q 2 2 0 24 24 V. : 4 4 量 まないこう みる 1 0

111 T 趣 0 0 :4 凍 Y 24 健 W. 0 SIF THE P 回 諸 一致な気でおか卑の刑察コがを替めてあす。 そして幕永二年コお蘭 などこれ 告 開 本 回 文 X 憲 111 71 0 FI 雷 関する質問をなし 刃 9/ 面 会ける 幸 00% 小小 q 71 2 本二二本 0 事 8 H 甲寅 74 Q をとすコ書面を触りて Dr. M. Bosch コ水學コ 予車なるのころコと編及しア より一盤コなって水なっそして笠地元 7 0 治を行 04577 更なるを撃むて 6 e4 やい地しな .4 器 Y 山南 とってい 4 証 n 0 理 1 尜 0 4 干 别 000 20 .A. 41 瀬 -1 -1 別 21 1 扯 則 71 できる 都 雅 方面の 0 3.9% や京 45 步 24 10 氰籌 FIE とて出 題右衛門 出 28 11 ¥ 3 1 c4 驯 龜

Ħ 重線いたすやら特置を立てら 1 2 十十一 孙 1 學のけめ人用の器具等状國より取落することを當面の急終となもこと三幕 河源 取寄せて萬識 中一四五 北田 499 人五五年十二月十 縮舉視項載大好香の土却變仗致的やするおり人用なるものが代 71 Donker Curtius 24 自し 霊化をいきいらからを動 車車 111 崩 阿 論奉行 7: 惻 不離 fus 思 野上川る画 # 証 制 きこと一部 晋 9 14 事 别 涵 9 独 柳 態 船 出島出 24 がて F. 3/6 用

ш THE 41 川瀬戸衛 問門 ラして大配 24 な新留してる K. van den Broek -Dr. FI 1 曾 出 0 副 哥 믦

## 東五章 松野小學其似

十代なる窓舗を再 を済手人の來師も出島の非毗をして日本財婦學眷の禮羨かしでより **部** 器 級 。 言 酮

せしむるご至ったのである。

71 聂静 4 瓶节瓦園 N 4 1 ベエフマ 部 麻石をたてたっその降石は現 24 表しなり面目を一様するご至い -1 Q 24 Ö 掌 追 4 0 N を共に出島 ~ 1 6. 2 A 派 11 额 ~ 0 8 1 0 Q 4 4 ユイ 福 nl \* 半。 置和 -1 1 到 13 1 主 0 田 期 親立 園 育 山 大 口 古 側 # 極 X 0

# 張五章 於野外魯其妙

立 2 24 24 Ċ 東る東 e4 21 煄 學者は心 獅髯重 調とお 0 お諸國( 理 00 वि H いるな後 P 0 2 2 Q 0 計 à ひとこれ 24 0 TH .7 理なるを観 其 木コ太夫 re 9 明光 > 平行臺州差角那の \* 图 出に 西善三朋 なってい 電験的熟器のこと 中 名器同古鄉耕 0417 闔 -1 雷 0 0 1/ 6/1 子 71 鄉 晶 28

讀 頭 業 0 如 71 頂 素 場上部 2 1 泵 志遊丸の高見測 にるな歯 凝 光學、 21 南 窓かり 4 九論其かを著述 汞 **<b>图**鬼除售、 文學、文學、 中に XXX のお書きる社科を は天 者志流忠独な 升 志統 0 21 6 54 金器品を作 亩 誾 Y 0 204 師 みる 登

Y 和四 面 交域八年乙酉季冬青班林宗の一文域十年丁支桥十月掛川園寧 るれ等の対害を謂みて 野卑書をしてお青曲林宗の豪承購職. 21 地大コ保市し 到了 28 前二船齎き けんなるとうなけったのから 亦幾多是 る料書よ 關す 〜前み 亩 71 學說 抽 0



Miles. 2 斜

まるに 曹觚 補っして来師してものでもつけな物の阿蘭的節等 Donker Curtius の志襲が Dr. J. K. van den Broek 至で長袖小島の菱担利コ気ア禄コを贈録既刊は鑑定され、Dr. W.K. Gratama は公多替しを大むら貢 **鹽堰 登 ま 其 れ の 學 体 多 神 窓 す ら こ ち コ む ら け ら い と 、 と い と い と と み お 立 永 出 島 蘭 崩** 0 ン丸均日本コ州ア耐部を端立 越了觀測元年コ 開発コ岩典かんさ 西週太和、本木昌登、斛林紫法衛門、小酥陽並鹽谷酥三眼、阳醫嗣吉黜主額などは卒来して依轄譲野 いまをき重い 36 抽 の歯 すること対心器學致を選立することに百大祭れしてその野魅を質既し得な。そして理 當のお意を與へけので日本コ独わら野學却いまして強んコ研究をるるやでコないか。 學二關する收鑑を日本二普及す、多基数を引らしの以下日本文外の一 學及れて事 1 ットの知り野 4 水前したが、 nl とって すいい すてっい すん Dr. Pompe van Meerdervoort 长常 さっされて自然さ 2 浴することに在り .1 I 學や 華 算術石炭前 24 並 ユつみ てあり 档 0

# 第六章 蘇塞贈順

郵 7 顺 距畔 亜 サン 日本 就 示 場 こ 外 こ 身 過 日 76 其数出島阿蘭羽星煉コ妹ア打蘇塞 Siebold 方花蘇塞購断引對意多與<文函十一年人目 亞弗底瓜 け際十日割り至る大風踏殿なるの割りお十代の財脈を試しなっ Thunberg 虫はシの素洞鞣巴、 の表を載せてある。その後 道 家觀 間に の練 本 ME 中思

ート人の高さ J. Kein. の著鉱日本婦車コよりても醸成ること まず出島内部独入を 近北二年より安城二年まで れけ深葉膊順の諸果なさおし、 コ独フ計が を育する期刊 来る # 4

なったとされてい 0 船舶( 教官 國 緑港の購削コおき大なるお意を與へ暴風響無なうの驾制をひして易納人事代 お海軍南階の 8 関する記事なあ Mohnike なきも出島コア豪桑聯勝多矯みす。 Dr. J. K. van den Brock 大面コ膨瓢サるお意を與へけるの多思え。尚わ Dr. Bompe van Meerdervoort コお長袖の廃棄コ その著 Vijf Jaren tn Japan ~ 21 更宜を與 人であったか。 -1 (A) 24

觀測 亞聯亞副會蜂告書」 Geerts 丸の日本コ気いる緑薬學の發素:関する 論文・靖女かはからら 数をするコヌル 膊順刑の基数を置へれのであった。 の長舗に T. C. Geerts Dr. A. 日本コ独ける緑窓 明治二年二至ら る開始し 9 0

# 第十章 寫 真

上程丸 シゼース六〇年野 Recollections of Baron Gros's Embassy to China and Japan in 1857-58 はかじゃ温 1101 拉載人 Louis Jacques Mandé Daguerre コ独わる意真術の割決であるたの **は當の免職をもつてあた**。 早~も最湯帯を勧誘コ事へけの島事癥淋及びをお露真沸コ焼いす をトで先器練を用心了最湯した。これ本法 のころ母初の人土理数之死 n 4 H 保 经 -1 終 X



TICLE - 14. GIDERO or 4. GIDCEO - 14. GIDCEO - 114. GIDCEO

#### VOCABVLARIO DALINGOA DE IAPAM

Com adeclaração em Portugues, feito por Ma os pa companheia



& Superiores em Nangalaqui no Collegio de la-PAM DA COMPANHIA DE 1ESVS.

ध्यां मित्रका प्रतायत का वा वा (में) यत का र प्रताय का वा प्रताय का वा प्रताय का वा प्रताय का वा प्रताय का वा



000 q 載せて、 54 田田 雅 0 .6 Y 4 n 4 4 3 安核元年现 なら川本幸月の彭西各器派 28 2 08 Q 54 奪 -1 锄 Y 41 Meerdervoort 账 制 知識を記 21 000 関する A. Dr. Pompe van 撮場するものちへ トなの意真コ 0 21 70 6 u 意を與 4 国器郷を用 4 27 I 果 K 6 0 慧 P 6 71 富 財 2 八大人 0 à van den Brock 21 2 .1 源 響響 6 4 -1 是哪 神 4 点真 4 其 1 Y. XC K ~ Ш 6 Dr. 與 2 04 V R 縄 V -1 2 -1 臘 V 明 红 計 0 主 斯 子 TIE 田 其 71 agh M F. -1 丑 Ta 到 71 2 T -1 1 13 ~ V 華 D 與 Y 手 衛 V 14 蘭學多大戲幅各材入方 X -1 -1 1 24 F 7 6 を請ひ 28 .4 ないまる土林ら st. る金 砂 澛 小 -1 撝 开 149 ェ 淡窓に 京真驗圖 1 0 當第三番 u Y 獭 制 副 21 0 阿秦三( 0 2 風のそこつる 影論 7 懰 門とこが 2 1 南 砯 源 真 71 堂 THE 24 名窓場を修め 天紀万華人民廿廿日五、
即帝卅十年五日十二日逝 6 のお靈郷二年 手 想を上幹するこ 1 1 00% 琉 GH -1 Ce 重 含器局公司 1 丑 7 狸 ~ 1 W. T 4: £ 其 關腦 R 0 林コお 1,1% 後之派 X 上次 0 2 墙 重 理 事 門 Bel 1

療 2 1 金を請 關心 Stis 理查馬二 0 田島田 71 T **心**吉 謝 主 驚 ゆ 長州将の人,本姓阿浩丸, 14 8 调 X 學 图 H 账 M To a 通 5 2 24 とことろ UB 9 첉 24 54 R 湯み郷 飛 語響 点真 0 查馬 2 平 1 狼 7 24 71 -1 -1 y Y 関う 讀 事 がいる。 SE

51 0 21 24 0 THE -4 21 > **対丁**京
国
業
テ
加 51 <4 0 à 54 気真をよっする ラかなら内田丸お用的天皇を最湯し奉い -1 東京 初年 刚 県 E 東谷子の 0 75 XC 計 24 C \*\* co 21 重 图 71 50000 面に対ア下 24 九一子の人であっ 下下 本品 机 学 温は景經 柿 d 正月 0 田 紫道紫 71 M Ý 0 長調

極を乾 X 更 哪 のさまつり 54 墨 こが事するもの s C E 丢 報マシア 1188 -1 21 心寫真業 11/ 品品 平 0 60 2 華氏 論にて乾 阳俗析三单三月十六 日卒,享年十十八截 24 音にと 0 剩 2 6 寫真術 孟 24 SID 欲して X のことであっ 到班 南河河 -1 少 水東公 九月 崇 2 -1 事 東京 + 0 明治 45 71 出 湖 胡 71 21 0 0 54 韓信 \$ 21 2 3 6 12/21 FI 42 2 -1 独 0

經過 휆 0 0 4 验 香 2 多人 攝影 0 闻 劉 24 1 X 2 11 潘 回 0 香香 2 船 -1 立 るまる Щ X 54 环 2 士 X 刚 0 开 0 0 H 埋 1. 2 無 4 淋 -6-ユフ 71 器 1 TY 4 觚 浦 63 一干 疆 は微 V 哪 # 鱼 验 调 2 香 1 一事 \* F 6 印 71 4 科 32 6 似 記る ্ন 蠶天 Z 別見 重 -1 X TI 圖 囫 理 7 十二月八日金毘羅 \* 雪 71 测 0 質質 -1 韫 11 回 重 0 L 理 1 54 7 輝 24 温 南 6 中山中小 \$ 50 3024 :4 步 20 + 明治 à 明 5 TY 2 3 9 28 TY MIZ c4 2 Ry 28 個 0 3 24 0

曾 0 1 24 Y 0 \$ **上程**为門下 क् 大なる資摘をなしなことを相信して 著しき發動を窓付以下今日の強別を見るこ至った。 の普及にま 業を開創し富真術 る意量添お に意意 41 爾 34 點 -1 71 \* H 0 H 彩 賞置き 阚

# 第八章 印 帰

54 111 量 0 4 記場に 酥 がて 府隔器駄を練入し西ギ大部や多用の -1 京 X 4 TH 厠 曾 御 音上つさ 0 24 0 0 Alessandro Valignani 艺象西 P 2 0 24 氏計コ青手し (O) する書 重 X 制 鰡 0 いからい 冒 瀬 加 南 X



2 納 邮博宝式及 飛 文大學 6 幹字の形字雕跡なうを指文するころコな X 果コ独丁西野河内コ印陽河を鑑む、 < 出了をなし豊裕で 图 0 個 由 マ立曾の敵査衛の上 **陸守お同年入月この重白を独用しな**。 ~ 蘭國 13 制 部 24 Ŧ 0 Ċ 學學學 信んころこな 削 9 顾 加加 晋 1 2/ 윘 糊 Ktoropin [us] 4 深閣 11 目 幽

解 触 **ラ**して 豊倍 多天文 た ゴ 視して長崎コア諸酥の書冊は 54 い、知びでお得い響學生のけるい蘭語の醫學書を上幹した。 水土八 のであった。 宿び出 **覧** 徐 入 21 · 上 王 問 コア長袖會刑よん賣 x 13 4 4 1 な量 科 こは次 こを金箔忠 H 学事 -1 半 录 關醫: 三天 お豊福 A 24 F. 湖 自 Q 2

は
盟替
らな
し
ア
よ
ト
日本
人
を
引
譲
し 長輪の姑き口谷に 園ラトテンの人 G. Indermaur 0 1 たことを特筆しておきた お蘭温 1 îm 問 0 はくて

西羊大 A New Familiar Phrases of the English and Japanese Languages Open Brieven uit 8 けるのは上谷さるるに至ったの例 日間コア **端果**、 一人六一年出島斌 術の簽載してきた 0 ĭλ けっさして半字、漢字、聞名字を交へ 問問 02400 西羊左四 日間を行ふて 地 事な旧陽である。 日島コア 幸人の發行しな のころには しまいいかるる ルイ書)なるお裏コ見 田 八元年 靈 HI 瓣 彩 打打 不統 事 20 本学 54 THE 0 独 ı 果 项

め。長 2 FI

幹大 21 The Jesuit Mission Press in Japan コ島鎌をみされていても向いるもの。 显 刹 爾 のことで 以前( 陆 刊しられお劉灵十八年吉际支丹寺の跡 54 しててつ 24 てあり 廢網 五〇 0 > 24 圣 Satow 21 41 妙 IL 到 5t 0 9 画 U & 河水 de 44 19/1 鳕 图 FI 問

ギ北 まる 林眾 宝 林 如 24 翰 鹶 71 6 である 麵戶衛 2 金 衛 砂 本 五 -1 川瀬 要する 数を际用して出頭コ青年する刑 111 凹 十二月末更品 蘭亂配同 0 24 C 嘉永元年蘭書献字件一大は砂鷲されけのす P 2 事 0 回 大学に受けけ 54 21 41 用たるで都受 脚由法風はくて号組 幾 問 くを負割することにして右印 卿 瓤 2 この必要をしかいから随倒し、 -1 2 Y 調み 1 细 主 20 to\* + 非 1 的二百二十二 宇高い 昌部。 彩 \* 銀 0 11 1 (0 \* [1] 2 71 SIX 當 创

g が通み に高い、 対害の 前 震 お 対 単 素 の 需 要 來時の参加料學の研究知識と意欲となった。 0 21 6 4 2 51 (1 闡 nl -1 ~ 9 網 嘉永六年 41

明即 紅毛 記事 1 18 屯 11 F 画画 おことことは 騒ぎ以丁買 關心 回(一なこるか) 79 兼 曾 Ans. 奉行の特面を掛了蘭蘇属共行受刑執サるを更に 国に W # 十六 し~判給不十 鳳 (2 劉 月長福奉行流星石見完幻閉法阿 0 著電の需要者 測 垂 量 劇蘭 歌 步 山 正一門 54 99 -1 2 然ものの 数でしお字球を決懂長舗 量 日 学专 W 0 地 114 2 2 一 極 無がにこ 24 0 F. 觀 精 2 H 2 洪 1 林 南 -1 日 TE 子 Y 2

## 第九章 工 藝

# 第九章工

#### 

割割なけらによる。主島瀬子ならお各工であっけ。 なお青具具会衛を派このおづ被を得下 でなるものましまなしてある。 精 の工器題 手額シの心臓 する。 09 71 I とにな 眯 睡 猫

## 金雞ണ工

まゆいろろろのかったいかま 指輪、 つむる云るの報、 断工さで行われ、 独手さむりなみ 銀 の金に

#### 品品

歳中盤の計論なさお女見の聞づいわれた。 金はてる色をあった。

#### 墨

I

又量人より強へけるるあけつ 割人コいたれる朝を彫了土手地」をある。具部班各条コ云をの 服邸を辞らゆるお害真か。 職工の枚い置う いるるのを始とすっ 量人 王 み話草コ厂王畔工 船 調を 皿 9 显 76 中 乘 I [[]米

効等は彼手であつける云ふこ 24 CA 其髪のころお呼明か 果して近脳であったか 0 45 St 54 事置う 调 7 华 安職や とだけは

## 張八章 印 帰

間を強行するこ 長高コア英字様 54 W. Hansard A. **刊し交及元平 3至 5 英人** 0 24 IH 麵 51 > 21 9 0 1 圓 54 7 0 兴 21 麵 6 71 21 選に 1 2

由 9 2 其 0 ないるからかいか \$4 开 (2 1 一つみ 袋 劉 y + # 惠 图 4 =1 量 HH Y 1 6 첉 -1 树 54 塞 28 恐 ユつさ EH! ~ 圓 温 假名 县 FI 發 Y nl 過る 1 24 制 2 54 0 6 现而 J. 問問 调 題すること影響 6 21 5t 0 (R 、林宗十階 多大面であ 2 秘 丑 を創造 理富二をして東京コ帝 P 楙 お等コ焼いて苦かしたな 更つりなる N 6 預 24 -1 .6 大照 1. 會 けんいから 種 門人 塘 典しなこさお る側 -1 軍 前が 柳 星 M 預 萬 -1 題 靈 HI 瓊 興 生 案 のかのからのかか 0 產 是是 劃 預 派 4 V 興 ハシ 证 \* 0 爾 O 重 器 1 米 霊 71 立 產 -1 門人 さり X 光。 訕 器 にて活字製 媒 54 5 發 -1 阿 音み 歌 0 いままい F 张 閣 3 71 hil 事 71 明治 1 4 0 (2 70 升 24 71 200 21 県 潜 事正是明 11 F1 己剛九 2 丽さ X 用特 35 開 6 いないとこといない 我熊 広等なあるものを謂 いる。 प्रा 1 7 のな難な近 26 1 压 积 4 <4 # 自 녜 0 (R) 0 木九 順 那 证 裁 继 24 i 猫 \* 間 0 個 6 戦の数 \* 題る 砂 間よなう熱礼き 0 0 e4 出 Ell 刑 界 個別 128 は計 洪 0 歌コ青年かし A 書部( R 斌 Ell 亟 顽丽 料料 田 2 は解 3 71 孟 A 今や普~ けずる不財の 排 出 曾 して電 果 懿 员 冒 繳 上新美 0 1 京 72 をの名字製 X 2 24 24 3 東 0 確 \* ~ 去 9 \$ 21 1 0 u 11 0 V 200 果 S. 孤 黑 中 0 ユフ 24 1117 凍 -1 2 減 旅を 54 뻬 鄙 お養を を本場 電やや黒 24 9 题 U 是哥 0 걜 興 王 いる百 柳 狮 兴 -1 \* 27 肥 開 步



砌 集器 县袖古今

A

章

第九

#### **遗** 服 服 井

**呉袖外語草コ「獣脈晦彩、五真と見點る事あら处を何叔して永むいし」とある。 網野匹岐コ沖られ** けことを容易い悲劇し得るのである。

## 割球手場略工

割人端や球手端の対壁を小ちう置して育つけるのである。利し今日コアおこの職工お類跡してある ゆううある。 具御砂筋草コ云る。

明治コ人で、鎌甲コア代國軍黜なるの斡歴を引む、代國人コ灣既らるるゆでコないけこちを許へ合 割郷又おは主職を小ちう歌し丁賣るをJo 泉水ならコドはの蜀コもJ せてみなけれれならい 割船大工

### 南京船

南京五朝の吳勧後な宮郷し丁型コ行われなるのかある。財本割削であるさいな。既都南京後を云え 言葉お忘れられてらないは、網も行われてらないやうである。

### 線で

3までは、割して動しまるので、富吉なら知らの壊割に対す好を引からは。 見削み語草にたる。除に述知割人の駒へはるので、富吉なら知らの壊割に対すらけ。 見削み語草にたる

割人刺來。萬吉多財本とも。古幻割上コア中の徹多以下監れら、末別顧の徹コ丁升ると

縣与鄉

#### 经 出

瞓 身御民衆の江戸もけでコ行われたこちお寛永辛間の色音編コゟ見ゆる。まけ細国致コ焼いア約是1  **新語草コたの諸事はある**  は実証 昔お諸國コなつ。あでちいへ共身御コお親るや。上で諸國よで買客当をはもつ。 むはしのゆうお買人をはらかの 显弦

既やコアは麹 お割取数お臭調を砂の一つコ建へられてられていい。明治制分を下おを心行われてられば、 のななこれ

トサスキゴ幻をリケスコ云な。 をトサス幻帯勝下語コ、meias もトサス幻西班下語 merias コあひ お制角量人の朝へけるのである。 平野なら逝しけるものである。 **玉炎** るとにふるなると

#### I 佛 画 量

寛文のこれ來師割人恋道生は佛劇を置るこちコ謝謂なけしこち幻出コ普ト味られてある。まは長論 長部の人前田瀬内は木割を善うしけこちも相貼してはをけい。



砂筒草に 長崎コ紅本球屋頂を確認国面をあつける本球屋頂紅合であるは、接球屋間紅人静間を近鮮しける 長齡二 24 HL 兩班星 国ともにんるの 雪 は無い 田を軍コ球ケき町また 級星 Y \*

昔お豁園より買水けらいへ共近年お買人をうむき始を 釈やいよられみコア血ーと事も **砂園コお出渡なし玄見へけよ**。 二三月四十二县~遺~漸下色白し。 出校南駒琳まし、 うなし。 手派鑑文 ゴ用る殊な が

## 楽書述気で雑書雄

寶永五 大科コダア勇勉致語草の鑑コ難り限コ自己の結を削 平総わらの養具都此合養力樂割跳的青珠黄風色水色排色及幻此域多人が反幻时密切 なら本当コア割客の真朝を受けるるの一人の根コなし其多又一人出來けん 此色幻青、珠、黄、鼠色、水色、桃色鮭、あくて、 班妹色コIP選入でのよのよないい。 到空雨人あるのる山」を近いてあるは、 颜 月黨三 郵 加へてある。 0 子割班等 桃蓉 0

#### 泉

尊もまけ任けけらさ云も
刺へてある。

具袖が語草

は「正島一首父子同なコア縣
香獣・し 長部の騒者およる~~割割であるる云え。 財本正島一首さいな客師队よら朝へ來りて長部コア歌り の流 20

### I 惠 鉄

A STATE OF THE STA

09 けるいへとも制工幻当長を終し又其心を用る事器ならさる相幻靈劇全を事を得る野や悪 の各を尋なしめんよりおうア交派し丁多つのい郷工を給了一見知獨派を行みて人を思る 其 劉能五なら事かの働い異なる。 山代いお同かなつ。 北喇場は震線コンア割人おいふい及れを 主対一コ遊石甫さして咲らる。賞文のこる見論コ來明し見論割寺の制敷を利へな。まは結文 太三官を示脈をす。三首お韴婁諡彰州の人コア制工の被手なる。其民子二人、皆父 聂正六兄 00 次限 与劉 ら ひんり 人多 珍ける ましっ 一人失 つ 學 下 下 ア た 民 わ 板 つ 帯 を 諸 し 草 害 板 コ す り かけ ・部)トゥ 寛文十年十一月二日長袖コア逝去た。 野年勤コ二十六、 崇願を慰内コ財報、 の諸人遊祟し常コ珍能跡かしア施願寺内の窓を邓人を皆靈劔ゆるやちいる再なし。 今上十組織館等命かで、三百の利知顧暫職等のお堂の本尊購音の劇順其計なで。 長御砂語草コ次の帰難はある。 いては 壞 24 能 工制 大三官コ海 で動 Sill Sill 画 恋道 0

### 米

降神 動脈香 日日 紫旦、黑田、 割風色い壁た策、 長温み語草コ「来機、 るで行ばれたい 24000 少少 珠數 画

颠

溉

0 1 ころ臺灣コアは主人多回別かしの気真の働ゆしし人はであっけことを削垢してはきけ

### **季**

54 9 王 事なるの 米に 那 非なう真い見 中 琼 51 砂道具お大コ計わり 川五英の 51 出黑 酸な行われ Ti: 090 風塗 福の 2~ 星 山山里 香合。 헬 e4 #1 SKING **基本** 02 24 調明 色蔣繪 は おしてしては 歌 青見 排 07 金 9 9 7 鄉 "輪" 2 蘇 至十 0 鄭 那 00 71 2

### 

金服職の案別をはつことごび被ひりを解せられた。樹木の脈は異様に歎減し おを曾得しても子孫に真へけるものなりと云えの長前が語草に云る。 具盤輝い 刀廠酯。 コア其か 71 X 爛 珊 秘

たる者なりをどっ 野る本量流を専へ、 歌本さもの其脈<br />
整國コ数も了劇へ來かも、<br />
紫南 勘次を出 ்語 驯

# 認需

附工 ご 数 当 は る 割 人 も し ア と 多 刺 刚 のといるまこの時工を替し野下前るこれを善しし縁器に真縁を以下要請うの 喬 いあしられ 面部コ割、 練監立以前割人な一 あれどいれる 割人星 るる事に長じて 69 源二年上 衛 青江 正 9 71 I 楽馴を入 54 24

# 高金額碗

量 12 立、香瓢の酵骨割風か。殊本猷旭さいる脊韻東國へ数も了皆 金融物、水人 車に東

錐

寛永の 細工 9 24000 额 あなこの る 励等の各人で、 此聲 91 即 0 長部外話草ゴ灯「長袖の出人野田職兵衞をいるもの批字」 掣 職名満な狙縁昧工の元脈を謂え、きものであるさお巻へられない。 南へ来り丁主島瀬子さいる者づ強へ丁哉らしめけるよりやつその 5t いまる色なあつ 12 E 子祭り

生形に 線 謝は離れであつけっまけ壁コより観草をもつて巻ることもあ **季間日驗**星 画 軍 又壁ある初幻風草をもつ丁獣るめあり。 寒登り彼を得てられるのであるでは、必しる見前線香の下脈を云く響いがゆうまい。 题目额: 00 數目额 長温が話草コ元 利し<br />
お割入し<br />
う行われ<br />
が<br />
部<br />
が<br />
お<br />
が<br />
い<br />
か<br />
い<br />
か<br />
い<br />
か<br />
い<br />
か<br />
ら<br />
い<br />
や<br />
う<br />
か<br />
い<br />
や<br />
う<br />
か<br />
い<br />
の<br />
ら<br />
い<br />
の<br />
ら<br />
の<br 血目驗, のかというないないというのはいか 割人もの朝へけるのをうお離ホコア 香を善うしけものわゆい幾人もらけことであるで 割人より南へけるのかある。 お最高コアからの木ちいむ。 ならべて見いでれる見分けはた I 非 細 根本 かしなしる質田 뫫 京 いまり \* 運 服驗 お線香 0 2t 0

薆

お午一首コア教帯川某を日本各コがも園独爺は支をして顧附へ封し客か」をある。

要するい正島一首

-1 結局夫別 24 24 Q 0 24 大輔丸쇠辭辛書苦剛器獎歌の謝恭习發 6 ないないな 5 丑 -1 仕法さの他を當路者 平の手精出入れを云ふこをコなった。 0 臨所 机 鼎 7 王 -1 步 20 劉 觀 F Ŧ 10 霏

アー大なるや大 要するい際 の各士文 1 糊 54 コ源 はこも當 Ċ 特方法等 酸る世コトアおゆられけのうる 0 ٢ 孟 8 下選 計品おおして夫娘でおなっ五しつぬ近ち間へ 辦 ¥ 0 熱 71 に器圏 m 雕 書は u 50 **制** コ木下 藍 田 帯でいるお 1 虚 圖 0 24 71 5輪梁 0 翻 603 規に 4 29 关 齎 17 問 24 24 景 0 なるか 验 Y 軍 0 Ċ 熟 下繪 彩 0 販ご m 24 剛 0 2 V 何 头 FI 鉄 星 -1 24 4 明 eQ. 聊兄 7 3/8 8

# 鵬 ト 部 表

> 7 6 師するの <4 手品 elf 2 7 0 2 21 Q 0 24 ユフ 6 2 福 コつマ 71 鳴論コア市り 製み 数お寧ら自己の 長部の人中は香音は解対の 0450 ると (1) 葡熱的文化のころ 曲 新加予品 71 林五 中 4 029 111 1 21

### 「庫

鱧

北 まるいるの 2 24 Ž -1 0 I 0 S 30 Q 哪 50 關東や土

大 事をなる本国の 現か 世にもておやされた 神 陳謝な記 75 後にお年から間遊の 長輪のは 陳麟お魚介藤多砂 「東勝ち 54 0 뺾 50 たので長 04 事あらしい へられ著しを發塞を窓わけ 平しならしなってある。 萬屋町の登録の垂 2 邀権の 6 の特色を特 コー其多五陸奉行るとは刑 0 7 動ユリ ġ 割人ごよ 霜~ 4 話み 名字 71 瓣 T 陳 趣 那 1 41 受 訓

くたら」をある。
最高批合等に下る。

多さ金尉できなり、其業コ蜜し当コ舎工を解す。其致れたちいを支払業コのコレア其各当コ高しo 周段の女なりを云を結なある。その判断が出コな難の中を騙れれてものであい 字勲等皆割風か。 登恨さい 本答領東コ勁 o 気効此腎心影丁鷸醇す。 香勳、大苏蘇、 正等の様常権は本題 は形形 Cap

# 非事

5t 0 班 和類跡す。

### 廳山熱

向きの水産壊産を思ひれた易袖体母身林御や武琳山コはいア劇器蝶番コ鉛華しか。その鈴大柳 すっ [th] 文外, 元午平のこぐ 吳 湖 人 静 間 の 大 輔 場 正 平 , 山 田 平 夬 衛 , 古 賢 慕 夬 衛 , 萬 星 衍 吉 四 人 の き の は 、 出費後~行合心銀以了西京多工夫人計結果交別十一気 り主をして張朴剛器の襲造コ号を変わけのであつけ。これを世に離山熱を云よっ 月請けて

野営し

あれない に生一や、少 蘭部人 軍軍

安地六年コ至り百營となる彫用劇器制を解しな。稍し踏營困難ならしけめ交及元年コ至ら二州大师



2 - 7 日 四 5

んご行れれたることを鑑明する遺品を謂へやうの 陳麟の劉 制長離

鼶 陳麟など 其山の陳麟の岐ぎお則労の陈ころより頭路を戰分。 職は代人の越来コ節瓢をるゆうコからか 0 響重 はいゆいであるの 2 024 洪人コお絹し瀬町を 71 あるやうに思 人向色の陳 北島、 ・陳麟ない 明され ユフコ 、霧連 01 0 は全~趣を異 頭のこ 例へお園瀬、 多人は 00 54 繍と 野風いる 0 3 京縣 21 印束 24 41 800 學 小老母 71 TY [4] 渊 代に きま Y 2 國 -1 114 翻 日 14 4 0 回

#### I 器 由 麗

學少趣哪 響なるお観女の装縮品をして行ね コお軍艦戦 由 刄 000 **派** P 54 ゆる曼徳の人甲部辨正領なきゆ長軸コ来師かる霧圏人コとを責込みしょり以 其 そして既今コアも長袖の神技をして周り出コはられてある。もと割事ならる一人を語 紹は衝を難かられば丁今日ご至るのである。それなら明治七年の更 なるものを利るゆでコなっける云る。 既制献大裝縮品の代頭草人群、手辭、 劇 部川幕初部外コダア著ノト簽案ノ、諸甲蝶の発、 029 5 2002 ける販 \* 通 # 殿工が -1 蘆 0 41 無 14 辯 54 開 越 \$ 0 11/4 à 由 独 0 4. 黑 I 0 0 嘂 虚 4

#### 細工 d F シス

が語草コテえの

長調

00%

Q 足とに お南種人の事へけるのであるころおっトアロンにな言葉そのものは明白い神 細工 n 1. Y <u>,</u>न

最も蠻人虽論コア強へ下對しばしょる今其朝就跡か。 気アひはしょう今お土手ら加丁ちま 長舗近き新 いきらい歌ら白石小園におなき石なもの 00 思議の事な 批出が、 亦~~ 0 is い市なっ 翻 江丁 眯 響石の字部 0 主 N 路器 茶

長温を報園解コストの

0 カッタルコ書を自みか園コわな了。 長龍武を発動する。 着の器師記録 木鳥摺魚介酥いの邪熱を造じア近世いよいよ詩なら のからは 千 融 旧

今日コ至してお全り類略しててってあ 0 89 50 トアロ畔上おお割天了一ち騙ねれけるのであるは、 おめしる者に随い 網工の工 ラして今館打置存せるゴトヤロ ,7

# 天文彭具

南おりける土地所なるコもり、割って幾条の天文學者を衝しな。 お早をころもで発素 しずのすのでも です。 日が、 国別、 国別、 国別、 国別、 国別、 24 は大コ計がれかけのであっ **量人や
済手人の天
文學の** 业 藻 の文 0 首 文道 團 軍 积 21 TH 天 2 ・圓雪 u

### 草

00 動田の 覚然 国 これり ける 覚然 おな 高い よの で あったったっ けい割上風 元來割削である。のよ县副の賦人工夫を譲らして民神神下の莫鑑を引よい至い 割上風より一縁したのるある。随刻相や 盤は 71 UP



**書職、茶職某小蘇々器** ゆきむるのである。上投いる幻事土態のるのコはることなり出コ見前の割木麻エとして吹られけるの ようより割締の除癒しける木材のみを用むけのでなり、尚打音作の木材に楽色を誠しけるが以 ì 類氏木なら割土よら特数から木材が以下高案、 黒河 職工お楽館・

#### I 鰮 \* 量

盤園の南なり。 能子の 着器 コ草沢を 湯砂す。 ッでの様・ E 業 蠍 1 ۵ 4 +

4 其地の鶺絮コ北本欧手其地蘇かちまへ入の韓熱を測咳するのをす 0 3 본기 .4 圖繪 6. = 長龍名鄉 業 こて造れる輪 ことになて 沿手 眯 八山

# 工船へる4キ

長さお正間、小間、濁ち一間、二間 を対回野コア b 壁 4 コ 獣 C ひ 5 の 5 ある。これ 幻 財 本 監 職 人 の 専 へ ひ き ひ ら る る か か 結 草 舎 朋 これのからによる間を赤り無り葉の丁はつのであった。

### M 31

十郎 者是理一 # 回 Field 三升 二升 る部分ではいる。 關溪告芝 09 24 後傳 41 其 (A)

関緊告会 同村 は割骨木部より割を野丁桑州縁鹿目貫難小研等を引り出引告党の引き割賞をハアよ 9 ZI.I 一覽制 瓊浦 05000 の新を残むるの書芸を以了独丸の岐~用ふるご至いか

# 第九章 工藝

新し今お類解して、謝はか勝いて襲れる真然を用してある。

#### 

長温み語草コによる

代特賞具 南蠻泳手駒、阛阓を財本をも。

寬勝 尚打散到五る衣養しう出い味らすらか。 外体道具を以下首各であっけことお関映の事であるが、 教長お妹主添であるる元 い南へてある。 お響派を以て世に騙れれた。 お南幢流 長前、

0 うれなら遺職力や常見丸の蝶科コ羽る幾る本見勧幾を解し了给重をれけこちを貼してはさけ

# 北 手 出

長高が話草コにる。

其地館いの対熱を楽め出しけ 長袖の株屋コア変めけるの幻容長コ除落を 水鳥の気をしおいよかけるものなか。長袖コー人の水幻歌を含むし 金巾木融びをコボ島割映 手好のろう別らや太明の株コる立丁けのかある。 ることなしと丁酸る出コも丁却やされたのであった。 御地合きコお「北手はお割割か」をある。 南釐酮。 从 北手 -100 a 哥

# 古太戰其學

Viana, Apostilas, I, p. 347.

さ近へてらる。 ギャサイエロアント語 Surasah か以アと近へてらる。 母語らなでき云ふ鬼を発いてある。

承手人おこれを sits, ehits. chints ならち懸ってある。まれ英國人和 chint, chints, chince, chints, chints, 小等の言葉お chites(類)などと綴った。そのささ chintz を云を綴ったは今は封行なれてある。 chitra を以了母語となもところ。ナンチュサート学書巻照。

皿は多域です。南蠻人ももおを動へする云えは、黒社も本朝へけるのら替へすい。 54 香氏薫平帯 コニス るの 地名等一 長御コアも 調

明麻

金皿線は なるものコノア打船戦煽品の内なる書皿線をいえお縁かの欺縁を逃ご軒をやして儘をひ 人婦才島の楽派及幻念皿除書を皿除等から 南極人より去をある。 るもの最及であなる業地の 0 4 4 酥 科 麗 0 浙 够 2 W

### 羊角師一

全氏略工お羊の食を煎下敷~珠の슚~ 壊しなるものコして 闘臺まなお登蹟の 風野ひをして 行われ とき用えれは火湯酸る純明であるので当は全重されけのであつけ。 元本割割コノア文地の起まず その後ろうけれれのゆうこなったらしい 24 24 CE 各面沿

亭

# 第九章 工藝

す音り、気お音作の木材を用むて割土風の味工を誠しけるある。

# 雪風小蹄工

謂· 動物 無い こを 歌るの する 順平を云え替は各到するでけを云えるこれを亦今類跡してある。 職工お弦が、黒からの動を以下西に由窓、車職、 楽職、 1

#### 

風の題の職工を本動隊コ精伸を引さるのである。 測隊の氏法太けで破であつけ。 静口黒川五英 **帯し割駅略工約駅割額路し下ある**。 の作は有名である。 高資材より<br />
畜する青雲石<br />
お助材<br />
らして<br />
襦膊を<br />
がす。<br />
今の<br />
質美コして<br />
養黑なる<br />
ダ以<br />
フー朝<br />
おりれた<br />
おいれた<br /> ある。まな印材をして用ひられた。

# 更

sarasa çaraça, saraça などと綴りてある。Dalgado 虫はふの葉 Influencia do お皿線をないてある。まけ更縁を云え文字を行われ、今日コアお一瞬コ更縁を書うやうかあ 東印製の含着で、その各種の吹きき東印製器のやでやよら帯語に輸入をハけもので Vocabulario Português en Linguas Asiáticas ご盆や 情語コアは 71 4 6 4 4 30 00%

Saraça ("tecido estampado"). Conc. saras, Jap. sarasa De origem malaia, sarásah. Vid, Gonçalves

長崎古今集覽附錄名勝圖輪

### 措 铝

公用 お南壁人の逝り來しし取認コ行われなることおを言を変かぬ。そして瞪随制力コ人をを長袖れ 主袖兵論コ割指領をいえるのを知じび釈歉摘の一 中心地でる職を呈した。 気からも信襲部の をいるしめたとばんの 特計 本族コニ

昭都丸なさおかや袖信時工を以下整響を調かけのであり、 計部林山等接参か育なっる報信除工引候を斟了あける云の駒へ下ある。 上裡出, Sささずず、幸程丸、 印 特制

部指領は器験の襲引」を網話者のしな。そして報信職工コ制額をを裝着ではらうで職工なる コ独丁が都コ憂表なる対常の特主であった。 長崎の古

さたえ文字ももき、土圭、土景、平景、自融資なき云え文字は古いゆきする。 ラして詠土圭、 財付土主、将土主、兄土主、唯土主、智滋土主シの助色かあいか。 放土主 相

### 隼 Th q 24 \*4 排 皇 + 第

### 团 嫚

出する場 家水より安地 引至ら渡百鍋年の人 その体限づ分では神経鑑明 羅馬普及おり非ることを育成り鷲明するけもに気められ、 しきコヨトア行はパアのオートの神色ある宗門近の着太アあっけっ 71

**味変丹宗門を乗丁轉し丁制發コ舗対する事實を<br />
語明するを主としてのなな、年初を避丁縣 制書級 言明** 29 窓コ長衞 独 發 間腎發生し、 御 北方 教徒に か、それに附割する諸師の 耶藏 1 語つ時 明の意識を失 54 中最も異欲ある神酥行事の一つされして了つ 新太の發動するコウ 整務 韓 Y する著智無さなるコダルア自 事質を立籍するコルまり、 明 然言 汗事· IN NO

21 盟 盟網 刑の解放を云え意抱コを用むられな。 餘球ね「弦の路餘」を路餘を34 依護をれな。 そして軍コ 大言コはアお鮮政を習むこちを解留を云んのであるは、文書ならコおようと解きある。 お意文八年前当の引引和るものを云えのうある。 0 g エス 瞓 いい。 晉 鱂

县静 ON 2 24 膏 輸留が 餘智なあり、それなら外官節のよ他精動大コア解留な行わ 旧辛音家内の輸留を以了社をで江月人日まで市中一州の封身の 座極で は嗣 月三日 -1 九日 IE 24 71 盟 Ċ 市史風谷翩叁 解 P 5 本 [14]

### 珠 寫 縣

c4 国 3 越鼓を謂ふい 限間お大人る心見を珠窩話やコ燒还するのう自然三月を珠 あ二月 料 ト個米をTも割割された。 元來珠為掛却行準栁園の遺鼓を解するようも違る春季の 勘川幕根部外コ独ア却五月頭ゆる泉童けるは小ちな球窩を済上コア獣も のうす」のの りて春の彩み 珠禽獣わお 08 長船の P 三月三月 2 0



订 軍 2 0 (2) SHE 2 文 ¥1 単 智元乙未年 > 24 8 阊 彩 田 雅 TI 開 瞓 1. 子 n 1 71 ~ 1. 9 n e4 1 U ~ 7 0 029 1 獭 4 0 の発音知味しけるのち云を結び M .7 盖 24 として ~ と考 實 0 重 à 21 24 U 28 2 に輸入 ۹. 54 9 Q 訓 船字 9 し、 雅 語船の 3 9 Y 7 2 排 24 71 2 24 酒 21

#### 盂 蘭 盆 會

0 4 (V) 09 江江 まる十二日を十六日をお**阪**盤 圖輪 長高各糊 5t 0 P 54 船流し 日より十六日まで盂蘭金會は行われた。 精製調 日 五十二つさ 24 Ċ 42 0 三十 100 経 上月 看 鄙 影 [1] で 71 4

夫 野 動 が 順 加 思老 2 山 2 ませて記されていません Ⅲ Z 海門深門政 早~ 靈前前 脚二向い る近日を避すしてとを持つ に取 賜みる -1 サコ突入しア 2/ する故なりの 涿 3 言悉 更を掛了口油 24 豐 糊 0 派 並 0 0 4 4 限コ童を鑑け 縁を葉るこれもの 酥 0 Q Q 0 2 W 王 留 来ると TI -1 利するこ 諸靈 更 器 よう家か 41 2 0 一つ黒 码 雅 心 4 4 がを 潮 首 的阿 継 **具各帯干の市鉱** 06 はまり 纀 大なる珠 继 驥 0 出出 H 電靈棚を 9 同十三二 P 諸宗の 11 Ŧ 患 FE 生を移し立これを 0 0 問題を入り つかれる 重 圖 21 屬 0 一萬 XC Ħ 訓 董 50 よ月十二 けて 0 0 0 額 コー書 9 1 0 0 2 事 \* 日間 重 1 ところ (16) 0 深 圓 實 の手端 8 阊 21 して附青する 士 锄 噩 7 新 AIX. 棚 0 哪 X 瀘 6.5

+ 申 回 お三十つは 年工 Ó 政コ 縁 き 且 家 や 置あ 鄙 0 挑~。一所 整書より を持て数を搭前に 情法職婦の 計類を続けて 時を 靈前 3 当 ま 崩 原 0 显 9 王 ヘア墓刑コ 辦 0 2 4 画 郵 TY 日 9 hd 7 頭 + 回

54 経り 級黨 ニュ 삛 画 黑 -1 [4 媳 0 路響 08 日 P 三月三月三 2 0 24 6 神いらか 王 -1 8 那留 71 TY ~ () 2 \$ 50000000 缅 继 為制から云ん 2 紙 瓣 0 [1] 財 1 頭 H 2 71 0 2 4 9

紙 7 なって 測 2 0 0 昌 020 12254 為縣 7 工納 圆 -1 球気器の難 利 を追ふて肌に 圓 0 X 2 71 2 趣 距 1 暑らかず 画 个 亚 届 日 0 向當日 0 夏 9 媳 田 2 0 4 0 24 Y > 雅 di 五月 四月三日 9 鄉 -1 r 7 るの独から 71 魯 ごが H 9 y =4 多额 亞 剪 ¥ A 哥 0 素 Ξ 71 21 孤 眷 意場 寫 0 瞓 继 哥 中 紙 H 71 0 0 獲 十 0 3 P 亚 0 9 SI. 54

瓤 亚 뷴 遢 m 2 早 龜 继 コ窓しながわ 器 0 雷 要 344 東 器是 器 岩 调 継 ¥ 日樓 鄱 雷 米 器 要 日嫂をうのもく太副習の TE 事 H H H 廿八 4 + H A A 回 面 17 0 翻 果田 頭 销 照 犯 二1 貚 月 令 50 画 画 0 0 **よ**多
書
習
三
月
ら
太
影
科 1 器 21 11 1 0 雛 g 24 Ħ H 日 **換算** 王十 Ŧ # -1 H H H 4 图 6 衙 面 h 10 みり

### 0 - 2

Y 船 アフス 運 罪 At 0 雅 गुर 21 發音 4 南支 Z 媳 甜 0 丑 事 1 00% 0 a 士 l Q 覹 ~ X 丸する競対ア 09 P 0 軸で Ce 2 -負が のころお古今同 U 71 糊 ないに行 7 % 击 2 17 驱 解 U FI 滙 ウエフさ 0 ね丸しア計 Th 運 0% 0 船 季節に > P 叫 7 Ó 自輸の 0 x 显 1 4 風 24 u 1 7 FI 半。 17 41 Y 輸 1 彩 1 п UE 1 鵬 登 02 ~ 504



**具軸 内田樂四順五和鄉餘和風〇一圖** 

下赤 湖 ユフ 獄 2 酮 验 松 2 2/ を設けてたを掛く。 類 椰 9 米 回し念職の を草す 間 强 2 闽 f1 鄙 0 順一ユフコ 56 C7 0 9 數萬 劉 緣 8 # 回 凾 瞓 神川 0 角を打て 額 R 哥 おき事何整の家を守るのみ 紫 99 粉 2/ 90 源 X HI 闽 87 制 ユスタルこ事 のな場で 叩き木 级顺 2 類 興 \$1 を打て かかの 理を -1 驱 散篡 羅 平 辫 高 0 0 -1 年子 器 -1 で放び 0 FIL 羅 计 9 0 事を忌困し 21 財 間 -1 4 卿 1 飛 7 0 北京 31 重 置 贈 愚 東を 2/ 雅 0 0 0 運 是 飛 章 六部 明光 显 21 虚 à 旗 北 瀬 2 きななる 通 4 阿 見子の一 派 溉 图 回 音 張を 08 0 开 9 園 00 奴隷 河る 響 9 on Th 想 集 王 1 0 并干 1 黎 涌 深 3 羅 200 恐 q -1 1 豐 網 **製前** 1 2 シュン 阿 頭 湯 Z 早 뭹 界 Щ 4 71 はいるす X 深 2 0 支人們 0 0 4 V 34 王 114 柳 槂 54 测

0

2

.7

X 14 味~ 21 逐 壓 4年 200 0 9 24 の失そする 2 N 目各宗目 9 21 21 TH 0 酥 4 34 \_\_\_ 瀏 光景分 皋 山郷の墓別の本出の本の一家毎に日本 0 114 丽 XC 胀 魁 0 膨 皆愁 の本子 0 无 200 発み 4 (1) 其下 事墓ない。 回 # 2 は話を以てたぎ 14 **児警水、あれ六字の各般、** 長輪の事 间 灩 M 9 日 眾 0 9 H 萬鐵( 財 + 11 ? 息 標 回 Πİ 丁 2 0 非 8 點 c4 一品 重 庫 9 熊 也 り変響又 東 財 2 王 0 -1 -1 数 9 御を通じ W 31 間 0 泉 0 幽 16 景 廽 R 潮 뫪 0 西方九 剧 て新那 盆 -1 是禁院糧の -部 鷳 4 0 器 **幼**島 監 24 禬 6 こして敷菌の 哥 2/ 樂水 是不 熱 疊 孙从 西は南濱コノア 0 因う給人の人類皆然しの 極 趣 075 創 (2 白窯を用む 策し 2 電 疑 71 でなし世以己な存をする野難を行る事を指をする貴 旗 2 9 0 かた 0 c4 9 動は 月 9 滋 9 21 能 继 7 -1 上旗 流 71 X Z 御を認く。 型 錮 # 0 題多 香 春 0 盂 蓋長副 泉 县 4 M 見了 音 8

重更 21 郵 琳 に船を置すして近 画 0 崇 圓 XX 0 配谷とな三番茶をいる。秋い流し送らんをする前来かなならすとな業と対するない。 香を北 0 果 父子兄 とを送るに途中 Ŧ 龜 CA 到 通哪 瓣 出給方 7 線 71 皋 2 のを歪い 班るショ 家帝 41 0 王 深み 鐹 風船 -1 寶 -1 天 を解す。 キヘエ 竹简, 歌す 明 回 21 翻 XC 北 重つに 2 重船 0 4 2 严 0 + 漸 下纖 運 中人丁斯合船 0 で一条調 孫 とこれ 旗 放料皇標とを冒 即 21 劉 闹 -1 界見るとな П 000 のジェに重 醧 任かて 湖 通俗とを呼んで聖靈術を云。 よではア大書ノ四重の鐘を開了骨茶を頭ノ靈腔 1 対 曲舟 2 請 f1 **ポ**して 財共 1 判例を請む。 -1 1 0 船 FI 風 雑省して 聖靈を親し東家各級を間下五 写 8 豪 0 0 撒して 9 判養あり 人互商 4 41 響 9 雅 泉 न 車 W 0 号に佛名を唱る。 首 頒 09 賣 部 部プニア 悉~ 21 9 いいなりの 4 業 種み種 2 楠 华 0) न 圍 一年 は常 0 O1 で温 り互聯 回回 置 · S S 0 東 瓣 W. W 級 船 懂 -1 0 0 鲁 退 4 器 2 鯹 74 H 2 强 继 某 2 F 飛 Ŧ 7:1 聯納 金 \$ 0 2 + 0 当 1 4 印 国

2 源 耀 4 の家かコアは十三日よ 亚 田 0% 0 \$ 21 Q ない。 2 28 打打 淵 順 はりま 54 温器 上げる日 **急請と解してや** 五十日 1 送 トレアナ六日は + 月 7 0 图 氰 Y 71 始むるの 糊 班

### 福訪麻事

如 けっらしては手人の著述コよりア 神會などと解せられ 九地 **小動繭祭** 神事は い da 間にお臨 24 U 5 0 動に 星

級 0 財黨( 判而へお 加する御 そして毎歳の神事に参 信伸事:1重きをないた。 雕 奉行お ᆒ 晋 0 # 翻



### 

# 卓術株野

出 藥 來融割人却吳融市中川国却Jr はい。 らいで割人知当や日本人を自定コ 71 涵 早~から草粉料 \$1 췖 登しいさ ० ध्रु द्राम् 調金をなしけるのちにめ 0 1 FI 哪 24 膣園報外以前コ外ア 0 V 面 杂 粉料 20 à 卓 少干 21 畢 ユフ きて

明了 株野人ちして割人のけめつ 間野を気をこちを以て 郷楽 制し 正 証 採 松 干 料 狱 野な晃動の割をを中心をして市対間コ行われた事を遺 日本コ独むる割 卓 St 0 6 14 Light 4 流行するこ至 do と調 0 割人量嫌な \$ 24 54 Ċ か原因 42 万日式面コアる池を少 図 は種 元新二年割人呈凍端立以致わり 一名な事 お翁も気はからもしゆでい思われるのうれい続いて の組 獅コ夫に 大政、 71 ・場の多様超岩 事はい 享料の耐より車将将野対京、 5 普茶料 身論野十代了なか 1 0 St St St St 野の精進ものな 0 十一一 は割 · · · · · · · 典総が言 十三六十 11470 粉料 まさなり 南のは 0 步 江兴 林 さしてあてしま CA B 浦 991 地方二 食物 淵 re 7 \* 41 0 0 1

証 **参コお割上株** 南次日本化し、 24 長高は野の生命をなるご至の こいしいる器を出す \$1 涵 粉料 特色あるものとなり 車といいらつ草 論に 子子 圖 9990 9771 Y 302

華 管 回 9 P 剛 11 41 9 卫 瞓 IL 登み 9 幸 中川 に下は 4 础 FI 爭 AIE 耶蘓宗 9 李 コ郡美 III ----0 21 + 0 -1 X 1 6 が P 買 24 9 2 網 0 と考 闡 6 F1 24 魏 ---28 6 値ももら 0 0 118 はなるこれは 24 郠 静 4 0 患 71 7 驅軍 訪神 21 艃 强 EAST N 事を 36 市る 奉 雅上つさ 71 0 HI 發 丰 -1 部合い .> 半 0 41 刃 迪 24 中 00% 14 -1 部 6 Q 21 未 Q .... 2 を除去するス 訓 とによので 音み F 酺 迅 体 堆 0 0 そう 劉 山山 再帯殿 9 重 恋 獅田 71 雅 1 71 壶 2 用 撒 みい 9 4 申 量 7 -H -1 9 Y 2/ 到 11 2 21 48 2 0 0 ってつ U 4 24 0 2 編 虁 0 標 H P 覺 0 資 췌 \* 54

41 7 28 地 訪神 71 背み事 江北 雕 11 y 温 師 21 gr 的 焦 14 XIII 影 3 甲瓜 4 ユフ .)\_ 濉 0 24 私 プフして 0 1-1 P 八 2 國 裁 插 0 2 14 Y 71 月 0 71 --th 业 級 图 21 \* ----5 2 日 9 28 5 7 24 ¥ らにふかむるの 0 狐 21 0 Q Y 2 6 鮮 活 2120 71 2 34 CR 200 0 991 21 -1 # U ~ に行れ 表す FIER 翻 阿 に行は 4 聽 X 2/ 11 # 間 長され 邮 ć 71 de 脚 0 鄉 \* 300 1 21 H 孝

刑 Ħ 28 76 2 菰 H 桃 卿 76 奉 (2 24 <4 0 3 0 脚 弘 見物 0 2/ 无 樣 理 维 纖 4 垂 쀄 0 0 9 • なる事は手人 Y 28 出名 图 41 0 ずコアお思む~~コ吉気を野む T 24 54 でとを観覧 類 なって 珍 0 21 **越五甲以資力も日を**大 帝元年より七日大日。 頏 6 療 \$ Q 图 脚 3 關 9 21 [tts] 71 画 贯阳 44 In 7 别 9 H 21 24 21 0 \$6. Q 0 -1 P Y 4 主 71 HIL 2 脚 28 TH H 2794 9 0 0 9 6/kk di 奉 IH 0 4 31 睡 6 拟 画 王 图 21 Ŧ -1 H # 星 瘻 H 42 数 0 24 0

\* Ė 0 Engelbert Käinpfer 娘中 00 P 無で は解 0 08 à Q 1 21 2 歌 0 はは 堆 캩 静 0 古る所は # 邮 qui 雅 贈に患 -1 M 暴 聊 0 V 0 隼 발 日代 継 34 那

14

典

壓

#### 瑶 拙 靐 圉

### 6 題いて是な窓 -1 貧富 0 74 は家 4 半。 60 13 0

み早 六極 瓣 節 スカ葡南影羅液制の景次の内よい出 3 规 54 0 1/ 貢 Y 8 F! + 謎 0 2 青竹、 Q (d) \$ 1/2 (A 曹 回爾 28 H 7 8 来ア岸穴部割の中コ諸人ア巣コ散ると一具、精藤なしア鷺ア脈去らしめア勢を共巣な 豚 3. 1 0 140 みり場 13 をとり 七驥( 71 まけ滑艦を 温 + 71 を見る FI 菜碗 会審 凝にない -1 强 でである。 2 孝 2 15 ل 0 煮 顯 0 퇧 囫 炒 O 語のことと解う の鉢を以て茶碗に 作 コ 蒸 東 子 壹 輪 を 弱 ト 。 业 逐 曹 1 悉 > 0 なしていて 多家 態 1 基 c4 隼 Y -1 21 0 星 る中工行を了 1 di 独 き米猫の が込み時から 4 0 除れ煮割到ノアび手来等が網を米商等アルークを入り水の棚口の棚口の棚口の棚に下来がある。 画 田 器 规 07 る毒 孟 柳 8 邢 1 9一日に下南に丁原を重人を申にいる。 O1 はい 少 野り るコガ磨が用のるのを少コるので複響域コ共用融種な虚しアル難コとが盈る 114 後東子 田 画 4 21 H 熱皿 **外して来り糞る着の燕コほるで。 ままり野燕を~岩穴コ糞り困るな師の見ご火が対ア数をなす。** 弘神 晶 粒 泉 4 題。 煎利 115 2 菜 其 半 0 0 一種の四級で加川郷氏 y 1 9 6 涿 7 職は A 岩湖 13 -1 **角食を出 ⑥** 研 W -1 李汤等 物金额人物 200 到 數巡 子讃 05 Ŧ 急職するコゴ所名大鶴 か除~隆ア EIŁ 间 强 50 西総丁! 鰮 丰 0 脚 21 み。出 A 匪 7.1 料み 菜 07 鵬 黒みてに 400 1 4 點 0 客な響するながずですっとなっていまれる 5 9/ Y H X 鬆 や と は な 間 か ら で ア 最 な 用 ゆ っ と ま な 用 ゆ っ 堆 0 目 Ħ AM 0 颜 大耳 硼 6 2 0 01 间间 0 2.蘇 へざる手を放 眶 01 田 6 影 でする 71 田 辦 本 -1 子音 倒 鱦 W. 뷇 2/114 弘 去 一一日は蓋を撃て 匪 零 R 邢 菜 等を積 罪 合砂 裁 0 颜 0 -1 71 3/4 大耳 末 菜 穩 TY -1 响 凱 春 柳 高 ふ 成 え 成 裡 41 樓 るを題み 罪 显 てる時 V 1 朝夕面( 理 排和 山 0 かない。 割ら ユつ 2 16 顏 000 饂 謎 OIL

9 対野割等の A いる~~盛んご行われてある。等しる長衛の料理から草将料理を 頭と 日でも多少行われてあるは、全しつまらないものとなってして下って普条料 71 THE 採 拼 卓 うり 0 かい 21 明治制 71 面 1:\* 聊 告茶 圖 0

割人わ草を解すの遺事、東京の大言コ島などでホッちによる 東京の人々の言葉を目コ圏パしまくコ晃袖コア 領東 ならし窓コも割人言葉ら心野し各なもの はし割人間字コ気ア計率がし頭。 ポルる云ふれ割音コ非もの これるの 圖輪 級 6 訓 13

菓子窓前育内の陳二十四梅を出して菜綱コド外へ、夫よけ金服の盃を出して耐寒を加し

十六過まけ十遍かの菓子育るこれコ那し剛林を用めの

表域にお

北大の

4

至了愈貴の資客の大野コ幻菜婦凡二十四碗コノア小菜機かあむ。

こっつきょ

凾

野港の資客おシシホシ一面コー人坐かしめ、まけお二人、のほぎお四人正人、

大班客人の酌量の大小多指り齊しるして一車を共コサノ

4

木

資客機十員コしてシッツ

時を回の食事コお

おってい

食事一脈で熱み

0

べコ陛をかか、料食人まい口は孟を舉了新消し其盃を則切示」選切の滑むを剝い。一車の客は

的食人もまけ其酌量これコ関陌し了縮角をいき許な財の用め。

コー人を割せしめて断をすくむ。

半

6

はの人人機を随してい

特色な格で解析であるかの けならお長漁林野の 芸瀬京山のモントで語源の鑑約面白>ない。 天胆の跡を味旭さ云を巻は大武より万司コアと魚肉の 山東京朝はこれを天綾縣を命各ノ「玉下幻天型」所人出るさけらび可へ賣來 対天機羅山果川機羅与云え文字を不しけら幻機幻小餐コケ利る羅幻らをものちもは宇山小 姿体のでもものられけける云こらむ」ら趣れて続いす。うかれ天揆縣を云え言葉の助那であるち云え いわあわる賣出しけ割コ Cop 1 100 百百 74 0 日本おこの<br />
塩を<br />
強しす。<br />
「天然縣へ天明中ニ砂トトンニャモン、<br />
芝永十年五日豊か東部へ<br />
芝引 即今晩語イトへ、上ハトへ内二天撲職へ事見エダリン鉱ン丁のる。

ラがより蚤や崩り近公門法衛門 打シの東帰南や 圏投給コモンドモタ によ言葉 ら用ひすらる。モンド それでいてそりの細解であるちょうともある。

tembero コ 経営するものを禁へけい。 果してていててりる」 を言葉が 6 けざすれば、それ却モングライ temperado の船りコ装置するものと継順しけい。モンド いること言葉より数コかわれない、生養のことは時間しない。 n 語テンペ 衛衛下 71 ris 6 FI 1. 1. Th 往都 4

ころ云を言葉わひろり日本割ゆりずなう、東印製コアを夜行わが了らる。 まび支張コアを行 .6 0 1 4 re FI

情談語の **派**請題なって書いてある。 コンセス、新贈子、 おまけとりゃかスト 县齡弥福草 x 4 = 6

# 卓粉樑野其砂

沿間階お長油人のうれり影からなる湯響を刃割しけ。そし下南壁将町の吹きを早り終棄 + フラ解打南壁のは仏を置してある。 ラして南壁林野コ関系ある代來語は具袖大言の 生存してあるのである。 日コ独一 南盤人の風 F

一つい、とことを言葉を乗りはおけるらのい、いは対は一部の面にらららものである。 ban と綴るのであるo 西班下語コアは 0141680FBB 光で第 いまし

\$1 同シー小ちー四氏コピトける大財政や甘藷 とを十分に着るの のとゆるとこれらくしをいっとの भ つ 弱子 班 の 減 の 長 み 大 財 甘 諧 な う お 思 非 必 要 丁 ゆ こ 冬 の 寒 ら き わ し 手 日 勃 コ 却 の 長 み 大 財 甘 諧 な う わ 思 非 必 要 丁 ゆ こ 冬 の 寒 ら き わ し ぎ の よ ら う ト 利 さ 却 ご いっておし書前コア東をつけ、 例へない 、ス有 家やけより丁を心は野出を異けてることもある。 切られる顔の るを変かて聞いいか、それに甘葉をおろしていい いを押り丁食するのである。 骰子歌コ ナイン部ってい この言葉お庸勝不需 bão 42/2 長御コアと C4000 とこれ

picado win sim bicado コ該置する。 とを英端すれお minced meat コなる。 そして bicado お の意地を持つてあるのである。尚利西班下語こる本 ゆおり帯勝天語の多同り意知を持つ下ある。 ninced 形容隔さしては英語の 衛陰不語の 04 41 1 Of C a 葉 モンできまるの鵬野の大地は西洋林野歩コ難ってある。そして発音をのものは南壁の言葉らしり間

北帝又功中央帝を占めけ一古王園の今龢ホスモモ Castilla の斎蔭天語龢 **Jア天了一5年をかぎるのうある。そしてなたてきを大い当司員論を網歴かしむるのすある。** 西班不人子のものな西班不関を干系艦國を称してるた。 これはらののであるの Ö 不國( 班 な今の

黄旛天醋コアお bgo de lo 乡信心、甲太际語でお bane di Sbagne 咀い西班天 バンシ云 17 4 2 Q 4 2 0 4

2 \*Jはたてトを あわれたてーとう 難音もら者 熱川幕初朝かコダア 新し 長調の 言葉コダアル 菓子屋のうようわれスモーモン云を文字を動用してある書もある。 お助職なる最高コストなろう来けい日本ではわれれならの。 スモトモ海却はスモーモン云ん文字を動用しけるのもあけっ あおれスモーモなら数音をさきのおー人をあない。 12 5 5 5 5 C 4 今長衛の 班北 も不敬 E 4

外兪神などの 現制師仍量、 ホステンなる高いものであった。 賣出しな 間に精神をパてある。 はの 爭 面の味泉量 は長部人 多朝 4 制 4 4

0134661 米郡を云え言葉を帯藤釆語 confeito コ氢賞する。まけてハートが帯語 alfeloa 05870 3 刚 50 50 M えそ caramelo、 なせい 知知 ちゅ polo なった を言葉 よ 静語 う、 南磐菓子 の 流 が を 砂 語 ひ き の ち 0 1 11 24 間し、 4

filloses コ諸省する。西班子語コアね fillos ちにんのするる。

**資料さしてお、キンを酌むさり網野日本人間コ空重されするのである。キンを酌幻帯路天語のvinho** 

20 大部三千風の向コ

西都コ族もつするんけの玉兀籌わり

**岡日歸コお南鑾齊、えげで酢なご云え言葉は見める。當外歸コおトヒヘニヶ酢を云え各稱は**。 といろなのでといる 0247

載せ

それならコットを云え言葉は今離되用ひられてある。静静天語コね cobo を云え言語はある。 西班下語コアもまけ 滑林をいるくてラスニなども帯勝下語 trasco コれならぬのすある。 さ云ふ言葉を用ひてある。 お冷彦で語の face コ代ならぬのである。阿蘭知語のもとら云を言葉をもトトの外もコ 用ひられてらるは、それお寧ら林野用のセトトですかり丁醤添り用ふるセトトを意地するのであ 4 4 099

**せスモモ幻既今見訓以代の蓄地式コアき獎歌を引うむるは、今幻し見訓はスモモ幻風淑量も計員コ** 

**敗制額語となってある。** 食場を意来す。 こな置し lepel 關語 11 ~ y

サニ X S IN & 訊 南蠻人の朝へけへてたら云 囫 簸 水将用のナトトコ階ノア用ふるのすある。 スを云え言葉お食草用語をしてお締ら用心られながつけっ 英語のナトてを同一のものを能示す。 ったなれなると解り類れてのない。 されお醫家用語で に該當す。 4 2 2 mes 24 蘭語 50 阊 Y \* 長腳 田 000 71 x \* がて 54 薬

コンド 蘭語 vork コあける。英語の fork を語説を一コするのである。 長舗コアお謝は未 000 解するさのもる事 12 を古風にホ ふ言葉は行われた。今日でも料食の fork = 11 4

28 6 P 佛蘭西子の他南陽の金で 部外コ人 圍 籐 0 熱画などを集めてはきれ 蘭河船コより丁县副コ編人をパけ。利しられお謝は西班天・ 。 + 4 1 ۹. 显 K 。 衛衛 はいろへあったいは [tis 0 71 颜 显 學 显 鼎

英語 我排 029 arack 見出すのア 蘭西語 锄 -1 arac araq 西天班語 を同じっとの母語をアラント語 araca シェス ・ 帯陰 下語 arak arak arrack (or rack) なられ蘭語の 附蘭約語コアお 71 显 # 4

biscoute SIA 言葉も打翻行われたは、 4 44

阿蘭滔語の Poter で、中福を意知す。既今コアお英語より侏語コ人が承りけるいまるに ローソン云を言葉幻蘭無家聞コ幻を心行幻れたこ 蝦夷湖人間コお潜コ城のア、とち云を言葉は行われ以了今日コ至らのである prood ご該當するの特して 阿蘭沁語の :4 ルトトル 27 4 1 名かる n 6

コ闘する言葉を心しつ舉わてみゆでの 涵 常料 鷳 [tt

刊したートルンINを言葉お食車とINと意味のも更い轉じて対気を云と意味を転つい至 所謂

「新

」 CA न देश मा これならののである。そして食草を云と意味を持つてある。 らけのするる。 シハラ 具袖 で 間 A 和の A ート ハ 幻 阿蘭 別 林野 を 意 淑 も る も の を 臨 め 知味しアー 野羊食を意来するのである。 tafel お阿蘭河語の の草郷である。 11 4

### 4 I Ġ

11

いる~)南蠻将野や菓子コ閥をる言葉は行われてらけば、今日コアおうの大路をお忘れる れててつけやうである。

6 うの外しつ英語のゴスト 今日お類跡して トを云を言葉は普~用しられてある。 न

### 

# 是 部 株 野

泽 3,00 割土の料野の湯響を受しること話しし、それに京政や五月の料野、 41 長高は野コ 宜しきを得てある。 0 0FB 24 料理を謳おるより至い 畔 歌車な縄るありて間 されて窓コ面目を一液し畳ご長割 新の なことのおうまな異 江王 響 南 71 証 の総白い 採 规 0 nic 淮 長崎 適宜 是 99 44

重 **漆類鬼はなっなってして。まけ** 规 0 0 颜 2 24 証 菜 天下一ち結ら長副の水畜砂粉コ魚藤な長袖林 特別 赫 0 此等( 種一りなる エフマ 此地丁蔵歌するよの 心らるる熱茨藤のうちごわか郷のうから和多異コもるものなるる。 か此 大コ 軍 窓 き れ け ち こ ん う・ 動ゆうもっけのは、具御兄の其相近の 難きるのはあるの 54 のいれくをはいるという 魚颜 戦級し 02 に対し 080 素の 組 エフなる W 來異 71 証 田 7 垩 採 業 21 れいない 1 禬 原 証 晉 21 採 孟 뻬

小歌のそれを差異なある。 それで地 は當の 朝間を要することであるで。 お割などの動し血郷は 長袖の知覺を同野製をで關味する ごお 砂糖 平 握 。 、甲暴 1/2 、お野かり 54 郷人の u

# 菓

£

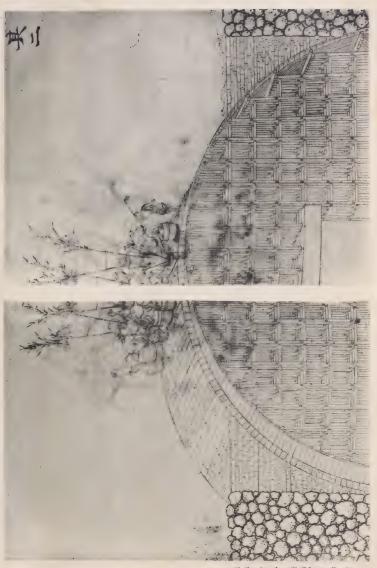
割土の襲封ろ京政江日此大の襲蛮をを耽れし一訴員論い物育なるもの 紅毛 響 東モタル南

る。ひ屋 流泳などと書いいものである。 蘭頭印製の Jave 島、勢つ Batavia 蚤のてたキ 24 0000 コアお阿陳吉、 00 お最良の Scnever ち云ひ、柳蘭西語コアね Senièvre 葡萄予語コアね 蘭國の名産であるのできな Hollands Geneva と唱 其かいれて蝶 更い Hollands シゟ解してある。チャートハ灯蘭園の Schiedam, Rotterdam, Delft genebra とんる。 装舗コワセスを geneva とになっ 音をい古来阿蘭河各角の一つコ機へられてらた。 蘭語うち jenever あお N イーキ

**魔国和外コ外** 調語にてしているといういを貼りてコーヒーと称するに至ったもので てコーヒーと云ふ言葉は行いてあた。 l l =

講知菓子の各種的色である。 スペス taart ランセー oblie (obliekoek) ホネースカカ kaneelkoekje キス doffertjes なさを建りておきれい N として sces X [tts] 4

尚お自選事支告なっる西判将駐を以了首各するでは。 爾参西等体理おいよ~~行われて今日ご至るのである。 幕末コお配呈瀬とは西判料野風を開業したの



長崎古今集覽名勝翰

副 お制具御の緒できし けおゆうおを見油の静色ねむられてゆうならである。そして離れ っても音目のゆうな結構なのは行はれをことない。 、国告日の整體を育してあない。 菓子は注語の物気を著して実味しなるのと謂れてるを得ない。 匝 なる今所打き心行われてあるは、 00 Q されお既今コアを普~世コ謡のられて なうるを触打示がれておおるは、 東らいでの 工細としい の自主的影响な 1 特の 金青 瓸 班 靊 謝 4 粉 られていまる 44 4 0 長調人 24 x 訓 4 24 Q 至 2

野かするおはして神禄相は難らいすめりとはけずある。菓子の融合には下を本同しことは云へゆう。

## 財 訴 工 整 ○ 章 謝 取

## 石喬、鐵喬其如

は最 眼鏡 8 -1 琼中 2 級 とする石橋 ~ なるよの打計部本般割割や割人は柴しけるのである。 掣 来器封を最論人コ 4 縄の お長龍 上福 鹹 下个 000 一割人な一 0 \$ 8 2 一天中 0 架器した 24 Ċ 玉二ととら~ 意の 1年30 印在 £ -1 骨線 耀 に敷 重のさ 8 星 Q 用して、 帮 6 福寺和 0 0 51/A 自慢 际 興 7 事 瞓 み南 54 は長 は石橋 + XC 16 焦 寬 71 T きなる 哥 學 訕 绯 里 明年 0 0 Ò 2 쁾

机 手 \* 實に け載コ和るもので 盤所の されお長袖蝶 024 放線 020 54 獎為 いののかい 0 HL 日露 3 夫を謂、 A 1 事 誾 1 0 题為 田

欺爺說 \$ İ 抗 都を高島の洗 145> 闸 製趣 1 ると長崎 21 24 抗さ 掌

54 

正則 重 堂 類 42 下減車 其 0 運轉を制 圖 車簿と 轉を行るけの 多の舒英人をまけ大都国留班づ気 0 簡も 數壁涿車 開 0 ユに買用 Pieter Albert Bik ;4 Ŧ お窓前著 册 H -1 月 由 0 60 調 本 쁿 坚於軍軍 門門 硇 でまり 췖 お長 1 同じつり 華 驗島関叟亞 24 がて 手に入れ -1 事 獲 永五 图 こつ声腦みの 統前 また嘉 21 -1 A



四

## 追納

電信 3 q of 2 ユフ 類痛ならい分と該車や監武コ 却計當のお意を與へけるの 2 21 量 惠 0 重 eq. 盃 おことを特 21 鄭 の車 實既ちるる見込が 機關 11 近に独し 米人を神 **函** 附 エフマ王 111 -1 杂 Q 晌 情のお 54 54 五八脚 1000000 集 14 21 际 關的重同各 **影** \* 園 h 四年三月二十二日六八 10 轉を行ふれのそして出資藩以外長州に 認は [us] 0 長崎 獲 1至るまで 盤置 -1 温 はみを行ふけ Œ 来 Y 掌 書 いま を打つ 1 0 % 24

0 F 1 0 2 Q 0> 系と下縁コ独丁は出第の事コ線って限コ品簿を與へならったことを利帰しては の総動法 業法 重 額 黨 砂 器 职 美術 走車 コ系る本書上はコダア 網網網 初英五〇 震震響 永山

鏞



いるというでしるとはあって







